

北 区

地域包括ケア推進計画のための  
アンケート調査結果報告書

令和5年3月

北 区



# 目 次

## 第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査期間	3
5. 配付・回収状況	4
6. 注意事項	4

## 第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果 調査票の回答者

1. ご家族や生活状況	11
（1）性別	11
（2）年齢	11
（3）家族構成	12
（4）要介護・要支援度及び介護・介助の必要性	14
（5）介護・介助が必要になった主な原因／認定を受けた主な原因	15
（6）主な介護者・介助者	16
（7）収入源	17
（8）世帯年収	18
（9）暮らし向き	18
（10）住居形態	22
（11）住み替え	25
（12）住み替え前の住居形態	25
（13）住み替え希望	26
（14）住みやすさ	26
2. からだを動かすこと	28
（1）階段の昇降	28
（2）椅子からの立ち上がり	28
（3）15分間の歩行	29
（4）外出頻度	29
（5）外出回数の減少	31
（6）外出控え	32
（7）外出を控えている理由	32
（8）外出する際の移動手段	33
（9）転倒の有無	33
（10）転倒に対する不安	34
3. 食べること	37

(1) 体重減少の有無	37
(2) 体重減少の理由	37
(3) BMI（身長・体重）	38
(4) 固いものの食べにくさ	41
(5) むせる経験	41
(6) 口の渇き	41
(7) 毎日の歯磨き	44
(8) 入れ歯の使用状況	44
(9) 歯の本数と入れ歯の使用状況	45
(10) 入れ歯の手入れ	45
(11) 歯科の受診状況	46
(12) 共食の頻度	46
4. 物忘れ・認知症	48
(1) 物忘れの状況	48
(2) 物忘れの周囲の反応	50
(3) 電話の使用	50
(4) 日付の忘却	51
(5) 家族の認知症症状の有無	51
(6) 認知症になった場合の周囲の認知	51
(7) 認知症相談窓口の認知度	52
(8) 物忘れや認知症の相談先	52
5. 毎日の生活	53
(1) 1人での外出	53
(2) 食品・日用品の買物	53
(3) 食事の用意	54
(4) 請求書の支払い	54
(5) ごみ出し	54
(6) 預貯金の出し入れ	55
(7) スマートフォン等の使用状況	57
(8) 通話以外の使用用途	58
(9) パソコンの使用状況	59
(10) パソコンの使用目的	60
(11) 日常生活で困っていること	61
(12) 近所の人に手助けをしてほしいこと	62
(13) 成年後見制度の認知状況	63
(14) 成年後見制度の認知媒体	64
6. 社会参加	65
(1) 書類の記入	65
(2) 新聞閲読	65

(3) 本や雑誌の閲読	66
(4) 健康記事、番組への関心	66
(5) 友人宅の訪問	70
(6) 家族や友人からの相談	70
(7) 病人への見舞い	71
(8) 若い人への話しかけ	71
(9) 趣味の有無・内容	72
(10) 生きがいの有無・内容	73
(11) 地域活動への参加頻度	74
(12) 徒歩15分圏内の会・グループ	75
(13) 地域づくりの参加意向	76
(14) 地域活動への参加経験	77
7. 仕事	78
(1) 就労状況	78
(2) 今後の就労意向	78
(3) 就労希望理由	79
(4) 希望する月給額	79
8. たすけあい	80
(1) たすけあえる人	80
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	82
(3) -1 友人・知人と会う頻度	83
(3) -2 1か月間に会った友人・知人の数	84
(3) -3 よく会う友人・知人との関係	85
(3) -4 電話、メール、手紙の頻度	85
(4) 災害時・緊急時の手助け	86
(5) 近所との付き合いの程度	86
(6) 近所への信頼度	87
(7) 近所に対する期待度	89
(8) 近所からの信頼度	90
(9) 各年齢層との会話頻度	90
9. 健康	91
(1) 健康状態	91
(2) 幸福度	92
(3) この1か月のゆううつ感	94
(4) この1か月の無気力感	94
(5) 孤独感の把握	95
(6) 飲酒頻度	97
(7) 喫煙頻度	97
(8) かかりつけ医の有無	98

(9) かかりつけ歯科医の有無	98
(10) かかりつけ薬剤師・薬局の有無	99
(11) 治療中や後遺症のある病気	100
(12) 長生きのために取り組んでいる、取り組みたい健康法	102
10. 在宅療養	103
(1) 在宅療養に関する相談先	103
(2) 在宅療養の継続希望	104
(3) 在宅療養の実現可能性	104
(4) 在宅療養が難しいと思う理由	105
(5) 最期を迎えたい場所	105
11. 介護の状況など	106
(1) 「高齢者あんしんセンター」の認知度	106
(2) 家族・親族の介護経験	108
(3) 介護で困っていること	109
12. 介護保険サービス	110
(1) ケアプランの利用	110
(2) 介護保険サービスの満足度	111
(3) 介護保険サービスを利用していない理由	112
(4) この1年間での入院経験	112
(5) 退院時に困ったこと	113
(6) 今後増やしてほしい福祉サービス	114
■自由記述	115
(1) 一般高齢者調査	115
(2) 認定者調査	119

### 第3章 在宅介護実態調査の結果

1. 調査対象者について	125
(1) 調査票の記入者	125
(2) 世帯類型	125
(3) 性別	126
(4) 年齢	126
(5) 要介護度	126
(6) 施設等への入所・入居の検討状況	127
(7) 現在抱えている傷病	128
(8) 介護保険サービス利用の有無	128
(9) 介護保険サービスの利用状況	129
(10) 介護保険サービスを利用していない理由	131
(11) 介護保険サービス以外の利用状況	132
(12) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	133

(13) 訪問診療の利用状況	133
(14) 家族・親族からの介護の頻度	134
2. 主な介護者について	135
(1) 介護理由による離職者の有無	135
(2) 主な介護者	135
(3) 主な介護者の性別	136
(4) 主な介護者の年齢	136
(5) 介護の内容	137
(6) 不安に感じる介護等	138
(7) 主な介護者の勤務形態	139
(8) 働き方の調整等	139
(9) 仕事と介護の両立に効果的な勤務先の支援	140
(10) 両立の見通し	140
(11) 介護を始める前との体調比較	141
(12) 体調悪化の具体的内容	141
(13) 現在のケア人数	142
(14) ケアの内容	142
■自由記述	143

#### 第4章 55歳以上64歳以下調査の結果

1. 仕事に対する考え方	149
(1) 就労状況	149
(2) 就労形態	150
(3) 65歳以降の就労意欲	152
(4) 希望する就労年齢	153
(5) 希望する働き方	154
(6) 就労希望理由	155
(7) 希望する月給額	157
(8) 65歳以降も仕事を続けるうえでの不安	158
2. 地域とのつながり、社会参加	160
(1) 活動参加状況	160
(2) 参加頻度	161
(3) 活動場所	162
(4) 活動を始めたきっかけ	163
(5) 活動不参加の理由	164
(6) 近所との付き合いの程度	166
(7) 近所への信頼	167
(8) 近所に対する期待度	168
(9) 各年齢層との会話頻度	169

(10) 65歳以降の近所との関わり意向	172
(11) 65歳以降にやってみたい活動	174
(12) 地域活動への参加に必要なだと思うこと	176
(13) 将来への不安	178
(14) 高齢期に向けて今から取り組んでいること	180
3. 高齢者あんしんセンター	182
(1) 「高齢者あんしんセンター」の認知度	182
(2) 高齢者に関する相談先	183
4. 家族や生活状況	184
(1) 性別	184
(2) 年齢	184
(3) 居住地区	185
(4) 家族構成	186
(5) 収入源	186
(6) 世帯収入	187
■自由記述	188

## 資料編

1. 一般高齢者調査	193
2. 認定者調査	201
3. 在宅介護実態調査	209
4. 55歳以上64歳以下の方の調査	214



# 第1章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

本調査は、令和5年度に策定される「北区地域包括ケア推進計画」の資料とするために、高齢者の方や介護者の方、高齢になる前の方の実態と意向を把握することを目的として実施しました。

## 2. 調査対象

調査名	調査対象
①要介護認定を受けていない方の調査 【一般高齢者調査】	令和4年11月1日現在で、要介護認定を受けていない65歳以上の方の中から5,000人を無作為抽出しました（要支援認定を受けている方を含む）。
②要介護（要支援）認定を受けている方の調査 【認定者調査】	令和4年11月1日現在で、要介護（要支援）認定を受けている65歳以上の方の中から2,000人を無作為抽出しました。
③在宅介護実態調査	令和4年11月1日現在で、被保険者台帳のうち、在宅介護を受けている65歳以上の方の中から2,000人を無作為抽出しました。
④55歳以上64歳以下の方の調査	令和4年11月1日現在で、55歳以上64歳以下の方の中から2,500人を無作為抽出しました。

## 3. 調査方法

対象者に調査票を郵便で送付し、無記名郵送方式で回収する郵送アンケート方式によって実施しました。（はがきによるお礼を兼ねた督促状：1回送付）

## 4. 調査期間

令和4年12月7日（水）から27日（火）までの期間に実施しました。

## 5. 配付・回収状況

調査名	配付数 (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
①【一般高齢者調査】	5,000	3,460	69.2
②【認定者調査】	2,000	1,184	59.2
③在宅介護実態調査	2,000	1,354	67.7
④55歳以上64歳以下の方の調査	2,500	1,319	52.8

## 6. 注意事項

- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- 複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- 回答者数が30件未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- 選択肢「その他」については、本文中で触れていません。
- 第2章の設問で、調査票の場号の前に□と記載があるものは一般高齢者のみを対象とする調査、と記載があるものは認定者のみを対象とする調査です。
- 第2章の両方の調査に共通する設問で、調査票上の番号が調査ごとに異なる場合、一般高齢者調査の番号を先に、認定者調査の調査票の番号を後に掲載しています(例：Q3Q4)。

- 報告書内に居住地区別で分析している設問がありますが、居住地区の区域は地域振興室の管轄区域となっています。

地区名	該当区域
十条台	中十条1～4丁目、岸町1～2丁目、十条台1丁目、王子本町1～3丁目、上十条1丁目
王子	王子1～6丁目、豊島1丁目
豊島	豊島2～8丁目
十条	上十条2～5丁目、十条仲原1～4丁目、十条台2丁目
神谷	神谷1～3丁目
赤羽西	赤羽西1～6丁目（5丁目3～15を除く）、西が丘1～3丁目
志茂	志茂1～5丁目
赤羽	岩淵町、赤羽1～2丁目、赤羽3丁目1～4番、5番2～11号、6番1～9号・27～32号、赤羽南1～2丁目
赤羽北	赤羽北1～2丁目、3丁目（3～5、16、18、26及び27の一部を除く）、赤羽3丁目（赤羽の管轄区域を除く）、赤羽台4丁目2～15、17（9、25～65）、18、19、桐ヶ丘1丁目20、桐ヶ丘2丁目11
滝野川西	滝野川3～7丁目（一部管轄外の区域あり。また滝野川1丁目の一部を管轄区域に含む。）
滝野川東	滝野川1～2丁目、西ヶ原2～4丁目
西ヶ原東	上中里1丁目、中里1～3丁目、西ヶ原1丁目、西ヶ原3丁目（一部）
昭和町	上中里2～3丁目、昭和町1～3丁目、栄町
浮間	浮間1～5丁目
桐ヶ丘	桐ヶ丘1～2丁目（都営団地）、赤羽北3丁目（16、18、26）、赤羽台1～3丁目、4丁目1、16、17（1～8、10～24、66、68）、赤羽西5丁目（赤羽西の管轄区域を除く）
田端	田端1～6丁目
東十条	東十条1～6丁目
堀船	堀船1～4丁目
東田端	田端新町1～3丁目、東田端1～2丁目



## 第2章 要介護認定を受けていない方 及び要介護（要支援）認定を 受けている方の調査結果



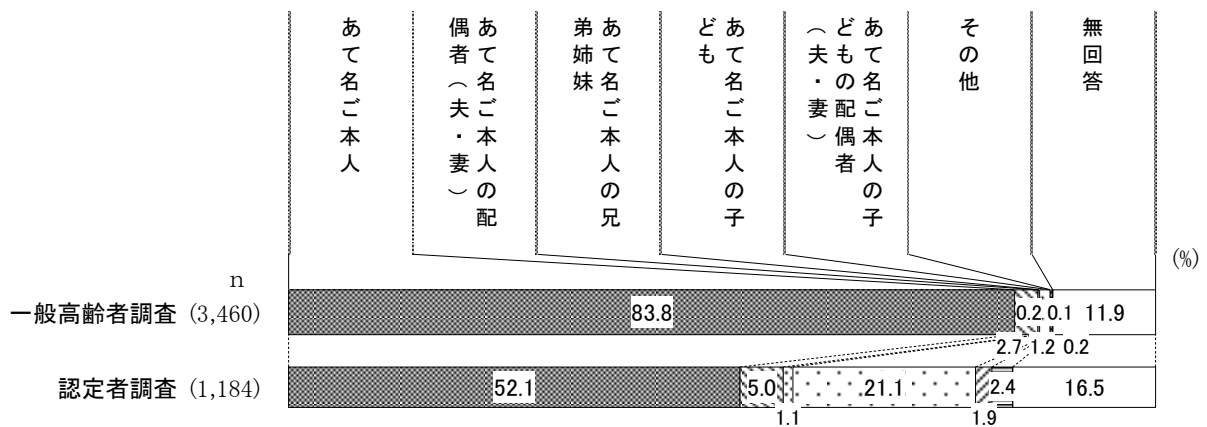


## 調査票の回答者

Q. この調査票にお答えいただく方はどなたですか。（〇は1つ）

一般高齢者調査では、「あて名ご本人（ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含まれます。）」が83.8%、次いで「あて名ご本人の配偶者（夫・妻）」が2.7%、「あて名ご本人の子供」が1.2%、「あて名ご本人の兄弟姉妹」と「あて名ご本人の子供の配偶者（夫・妻）」が0.2%となっています。

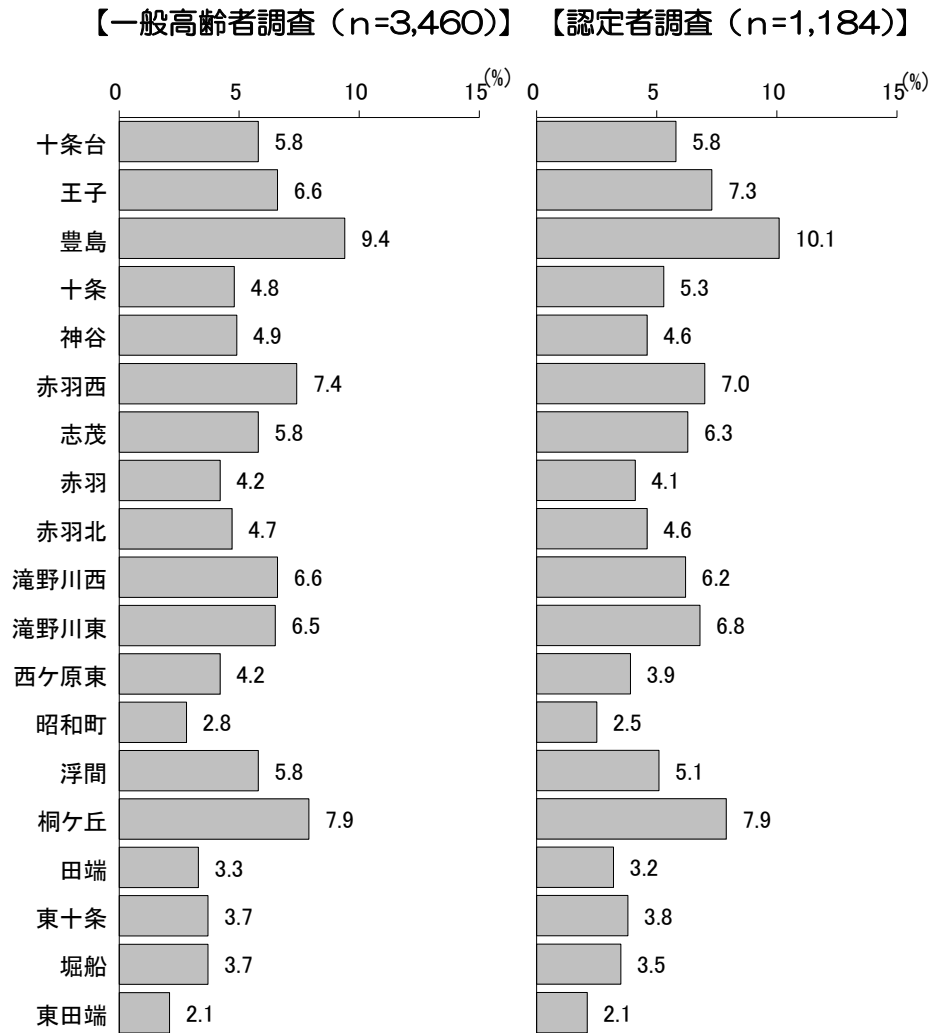
認定者調査では、「あて名ご本人（ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含まれます。）」が52.1%、次いで「あて名ご本人の子供」が21.1%、「あて名ご本人の配偶者（夫・妻）」が5.0%、「あて名ご本人の子供の配偶者（夫・妻）」が1.9%となっています。



## 第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

### 〈居住地区〉

回答者の居住地区は、一般高齢者調査では「豊島」「桐ヶ丘」「赤羽西」「王子」「滝野川西」の順で多く、認定者調査では「豊島」「桐ヶ丘」「王子」「赤羽西」「滝野川東」の順で多くなっています。

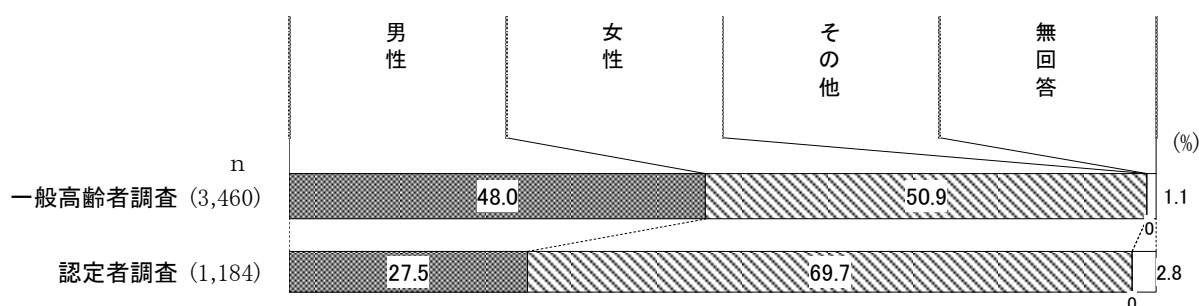


## 1. ご家族や生活状況

### (1) 性別

Q1. あなたの性別をお答えください。

一般高齢者調査では、「男性」が48.0%、「女性」が50.9%となっています。  
認定者調査では、「男性」が27.5%、「女性」が69.7%となっています。

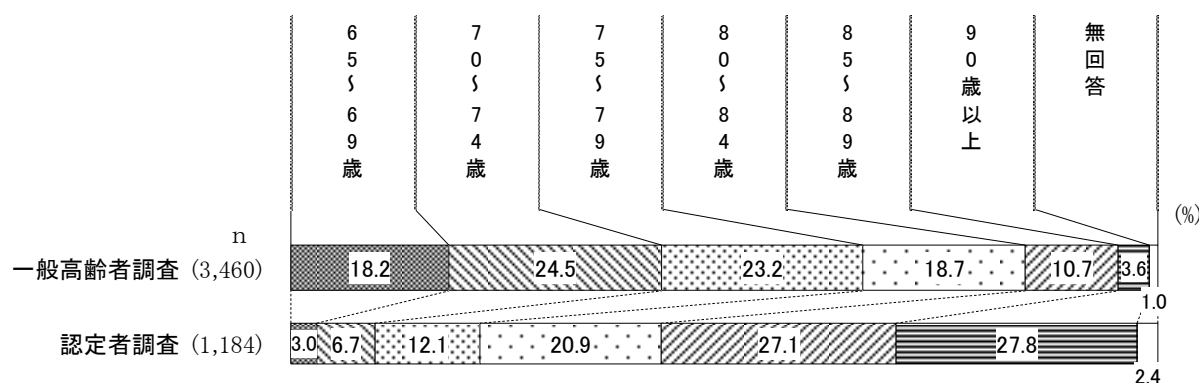


### (2) 年齢

Q2. あなたの年齢をお答えください。

一般高齢者調査では、「70～74歳」が24.5%と最も多く、次いで「75～79歳」が23.2%、「80～84歳」が18.7%、「65～69歳」が18.2%となっています。

認定者調査では、「90歳以上」が27.8%と最も多く、次いで「85～89歳」が27.1%、「80～84歳」が20.9%、「75～79歳」が12.1%となっています。

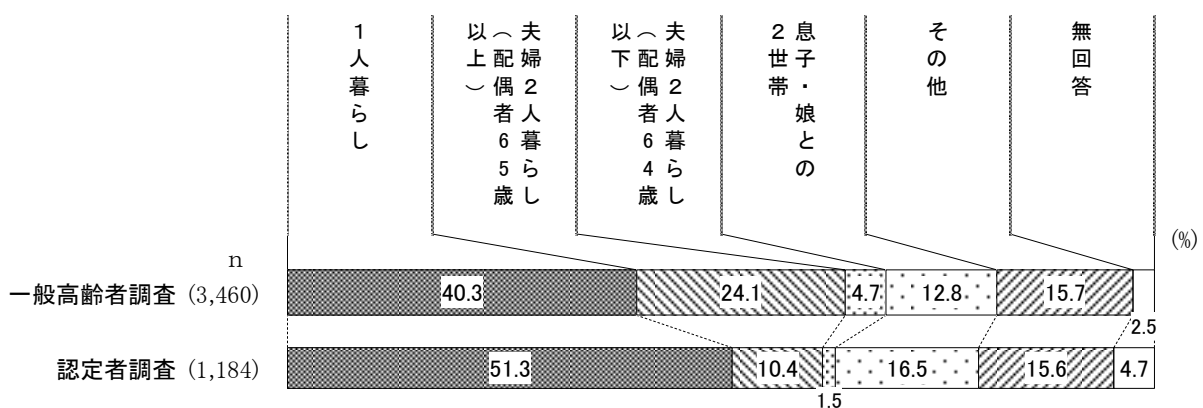


(3) 家族構成

□Q3 認Q4. 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

一般高齢者調査では、「1人暮らし」が40.3%と最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が24.1%、「息子・娘との2世帯」が12.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が4.7%となっています。

認定者調査でも、「1人暮らし」が51.3%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が16.5%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が10.5%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が1.5%となっています。

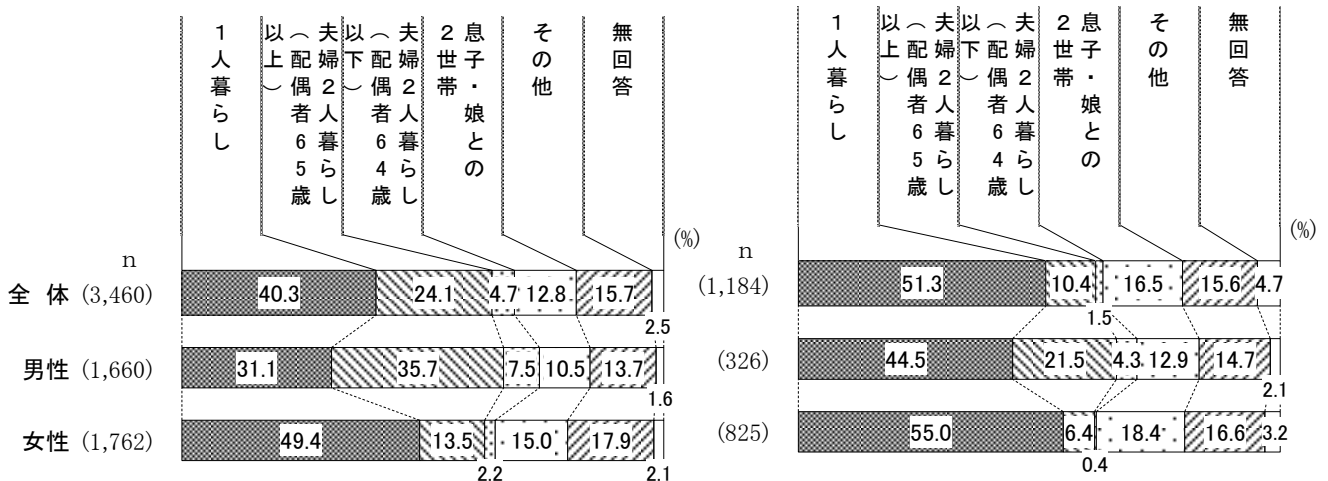


〈性別／家族構成〉

性別に見ると、一般高齢者調査の男性は、「1人暮らし」（31.1%）よりも「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（35.7%）の方が多く、女性はいずれの調査でも「1人暮らし」が最も多くなっています。

【一般高齢者調査】

【認定者調査】

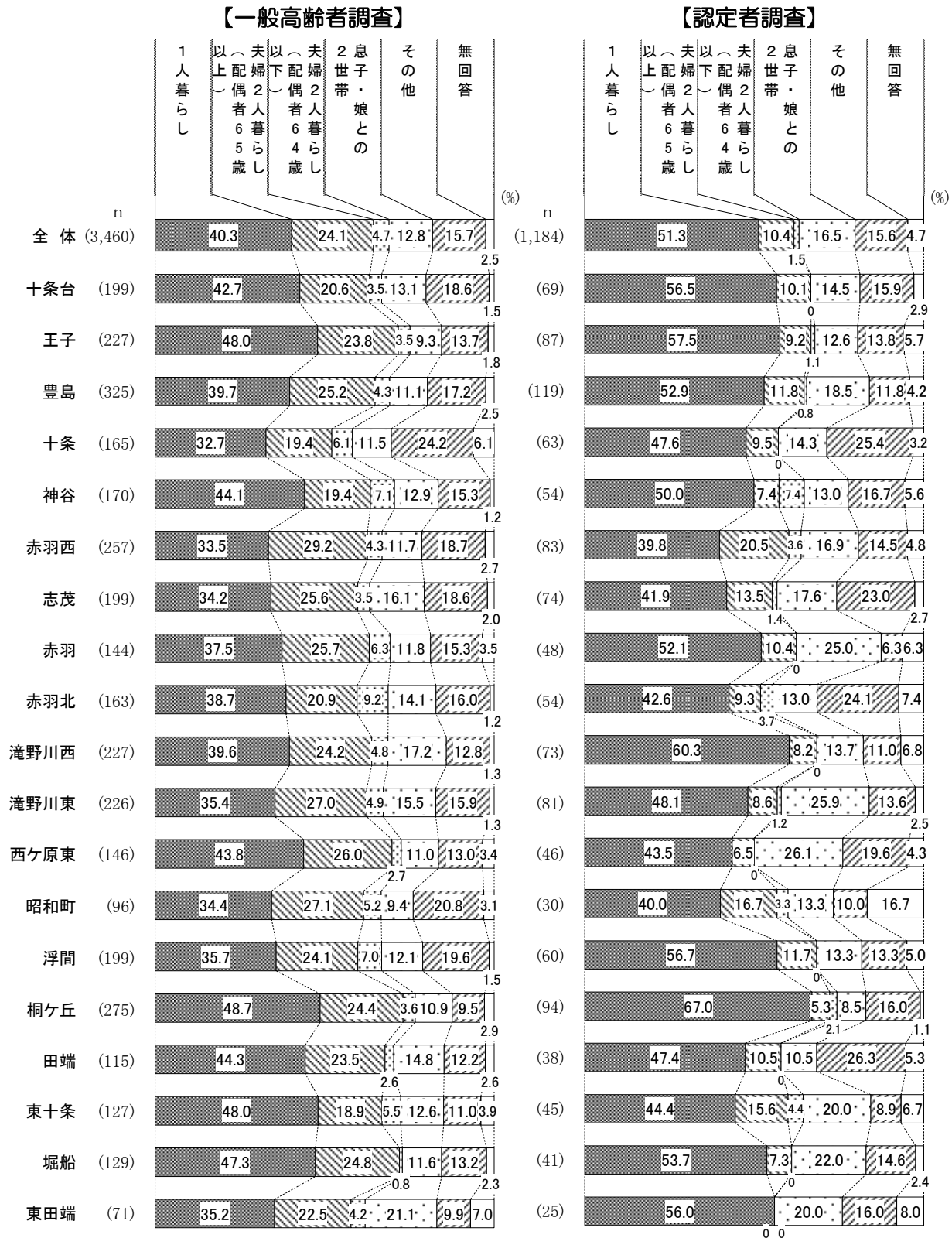


第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

〈居住地区別／家族構成〉

居住地区別に「1人暮らし」の割合を、一般高齢者調査・認定者調査で比較すると、ほとんどの地区で認定者調査の方が上回っていますが、西ヶ原東と東十条は一般高齢者調査の方で多くなっています。

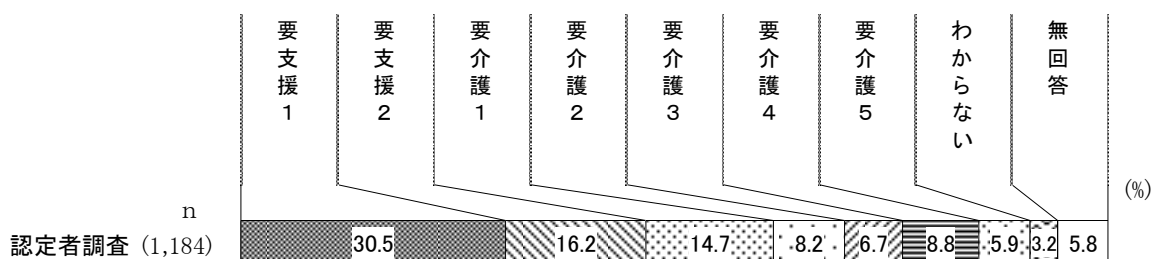
認定者調査の「1人暮らし」は、滝野川西（60.3%）と桐ヶ丘（67.0%）で6割以上と多い一方、赤羽西（39.8%）では唯一4割未満となっています。



(4) 要介護・要支援度及び介護・介助の必要性

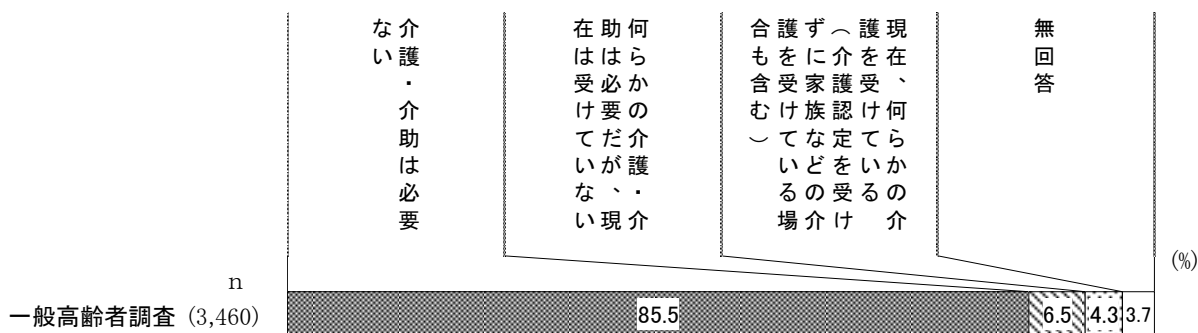
認Q3. あなたの要介護度（要支援度）をお答えください。（〇は1つ）

「要支援1」が30.5%と最も多く、次いで「要支援2」が16.2%、「要介護1」が14.7%、「要介護4」が8.8%となっています。



問Q4. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（〇は1つ）

「介護・介助は必要ない」が85.5%、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.5%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が4.3%となっています。

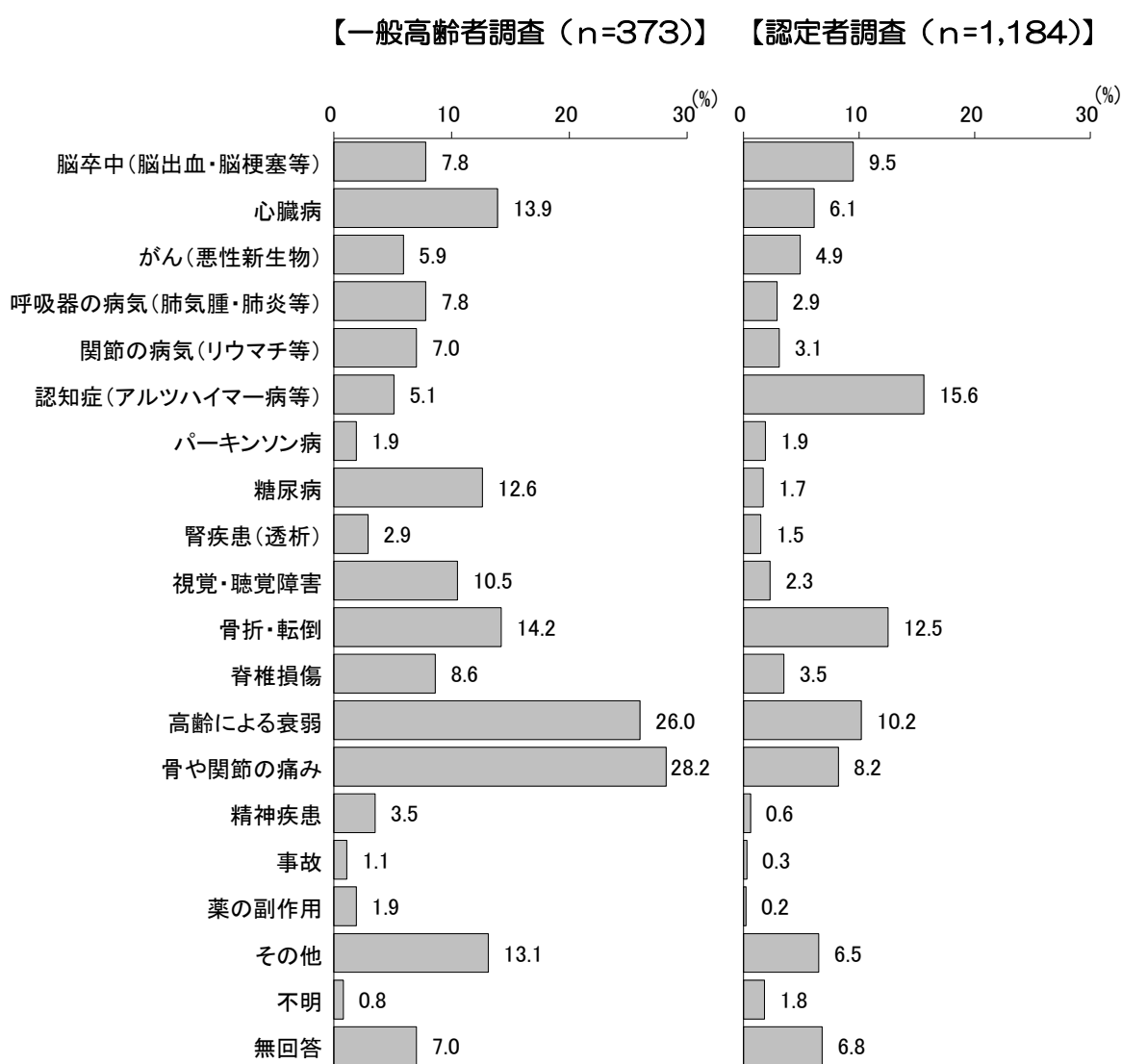


(5) 介護・介助が必要になった主な原因／認定を受けた主な原因

【Q4で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と答えた方にかかっています。】

Q5. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

一般高齢者調査では、「骨や関節の痛み」（28.2%）と「高齢による衰弱」（26.0%）が特に多く、認定者調査では、「認知症（アルツハイマー病等）」が15.6%、次いで「骨折・転倒」（12.5%）、「高齢による衰弱」（10.2%）となっています。



## 第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

### 〈認定者調査：性別／認定を受けた主な原因〉

性別に見ると、男性は女性に比べて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が高く、女性は「骨折・転倒」が高くなっています。

	回答者数	脳卒中 （脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん （悪性新生物）	呼吸器の病気 （肺気腫・肺炎等）	関節の病気 （リウマチ等）	認知症 （アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害
認定者／全体	1,184	9.5	6.1	4.9	2.9	3.1	15.6	1.9	1.7	1.5	2.3
男性	326	16.3	6.7	6.7	5.5	3.1	12.9	2.8	1.5	4.0	3.1
女性	825	7.2	5.9	4.2	1.9	3.2	17.2	1.6	1.7	0.6	2.1

(%)

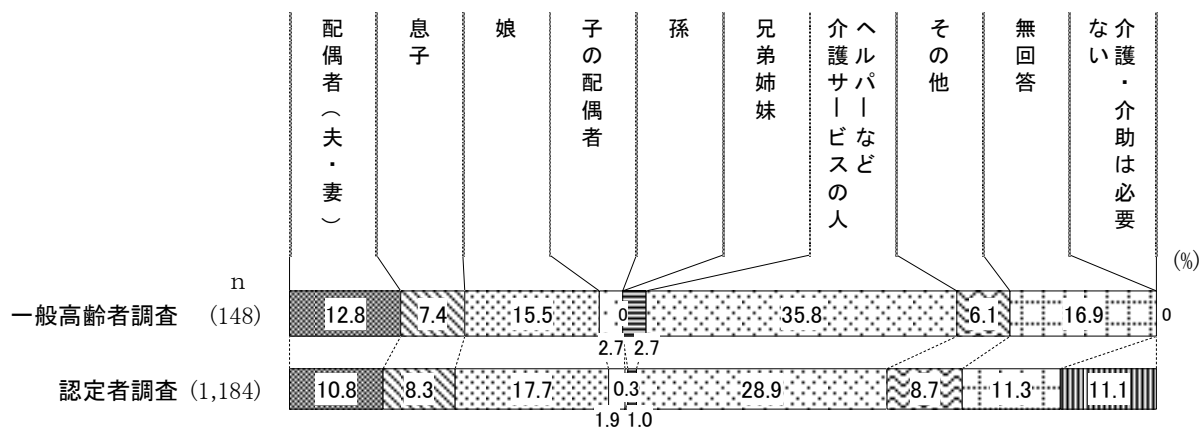
	回答者数	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	骨や関節の痛み	精神疾患	事故	薬の副作用	その他	不明	無回答
認定者／全体	1,184	12.5	3.5	10.2	8.2	0.6	0.3	0.2	6.5	1.8	6.8
男性	326	5.5	4.0	8.0	4.3	0.9	0.6	0.3	7.1	1.2	5.5
女性	825	15.5	3.5	11.4	9.9	0.5	0.2	0.1	6.5	2.1	4.6

### (6) 主な介護者・介助者

【Q4で「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と答えた方にうかがいます。】

Q6. 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（○は1つ）

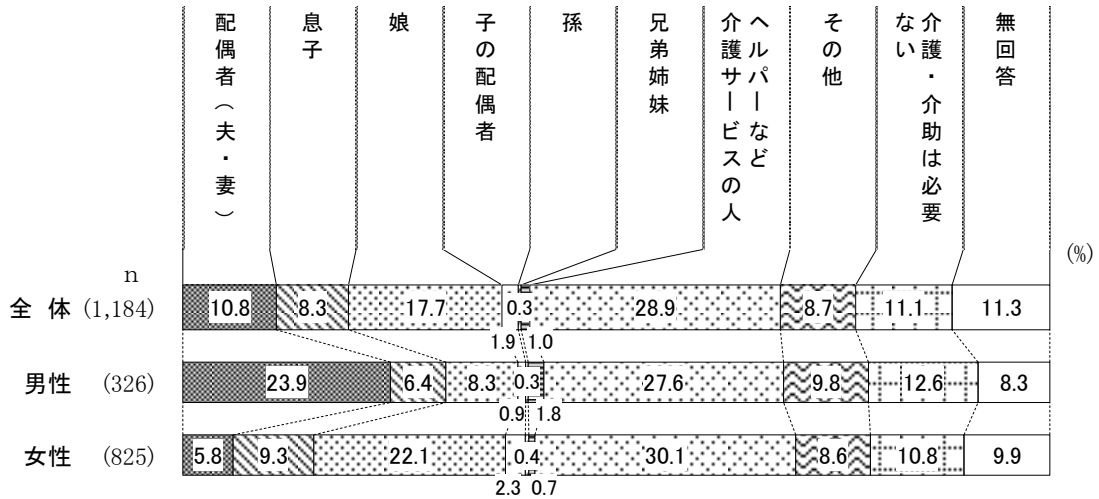
いずれの調査も「ヘルパーなど介護サービスの人」が最も多く、次いで「娘」、「配偶者（夫・妻）」となっています。





〈認定者調査：性別／主な介護者・介助者〉

認定者調査を性別に見ると、男女とも「ヘルパーなど介護サービスの人」が3割前後で最も多く、次いで、男性は「配偶者（夫・妻）」（23.9%）、女性は「娘」（22.1%）となっています。



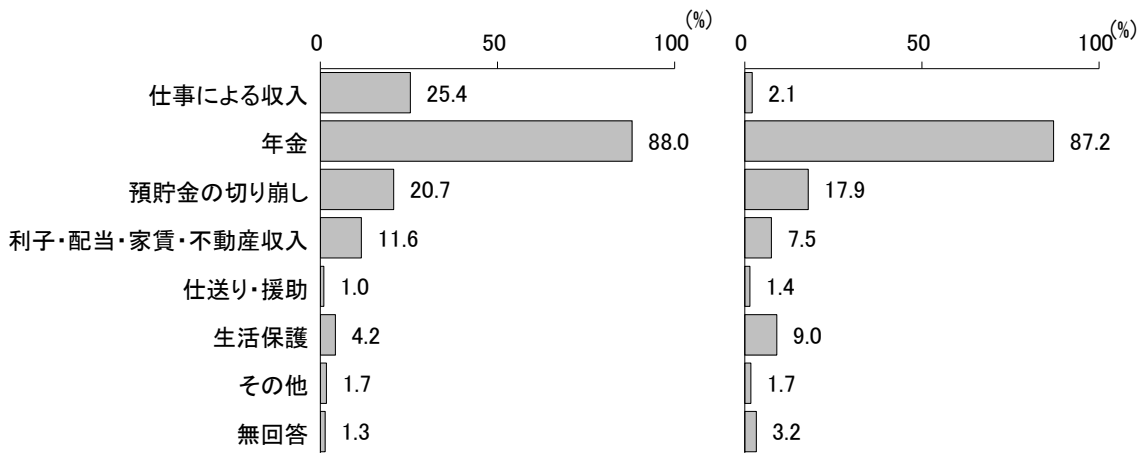
(7) 収入源

Q7. あなたの収入は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

いずれの調査も「年金」が9割近くと多く、一般高齢者調査では「仕事による収入」（25.4%）がこれに続いています。

認定者調査では、「生活保護」が9.0%と一般高齢者調査の4.2%に比べてやや多くなっています。

【一般高齢者調査 (n=3,460)】 【認定者調査 (n=1,184)】

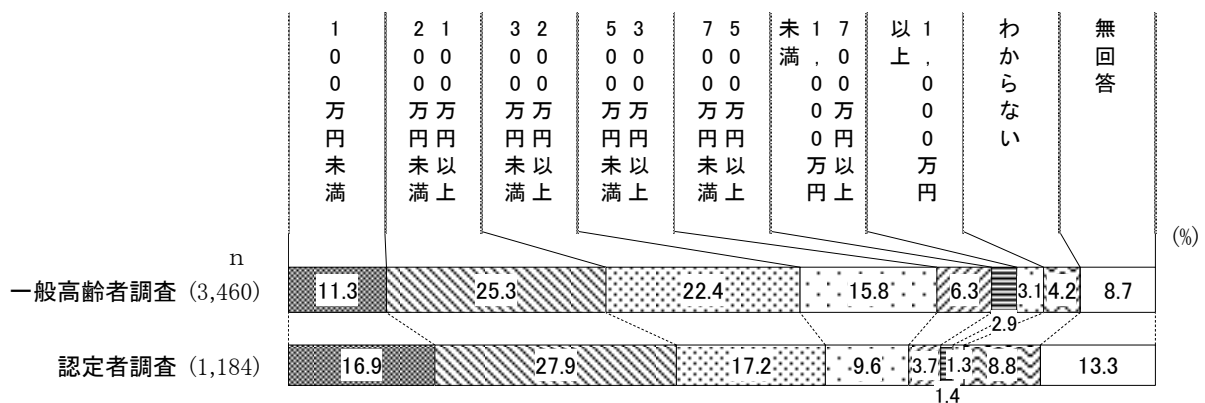


(8) 世帯年収

Q8. 昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入（税込）総額はどれくらいですか。  
 (〇は1つ)

一般高齢者調査では、「100万円以上200万円未満」が25.3%と最も多く、次いで「200万円以上300万円未満」が22.4%、「300万円以上500万円未満」が15.8%となっています。

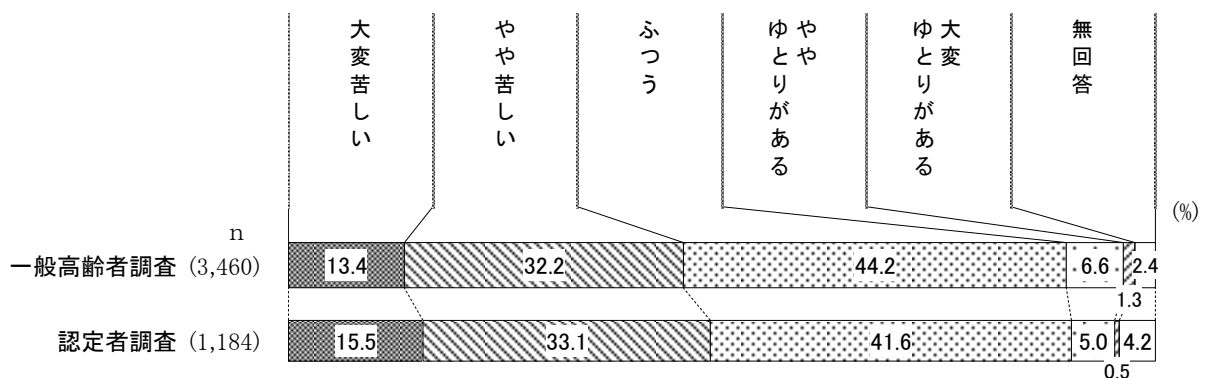
認定者調査では、「100万円以上200万円未満」が27.9%と最も多く、次いで「200万円以上300万円未満」が17.2%、「100万円未満」が16.9%となっています。



(9) 暮らし向き

Q9. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

いずれの調査も「ふつう」が4割を超えて最も多く、次いで「やや苦しい」が3割強、「大変苦しい」が1割台半ばとなっています。

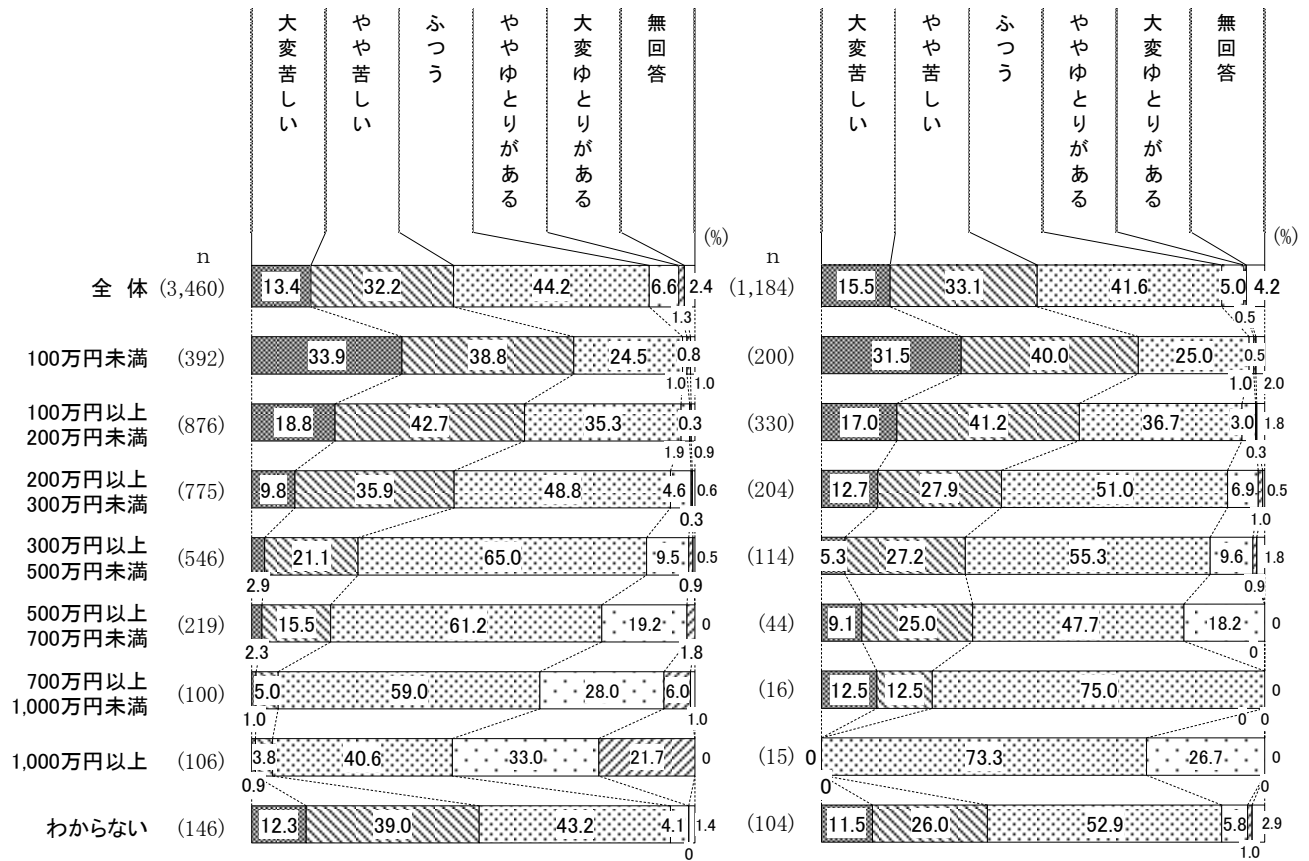


〈年間収入総額別／暮らし向き〉

年間収入総額別に見ると、いずれの調査でも年収が少ないほど『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）が多く、100万円未満では7割を超えています。

【一般高齢者調査】

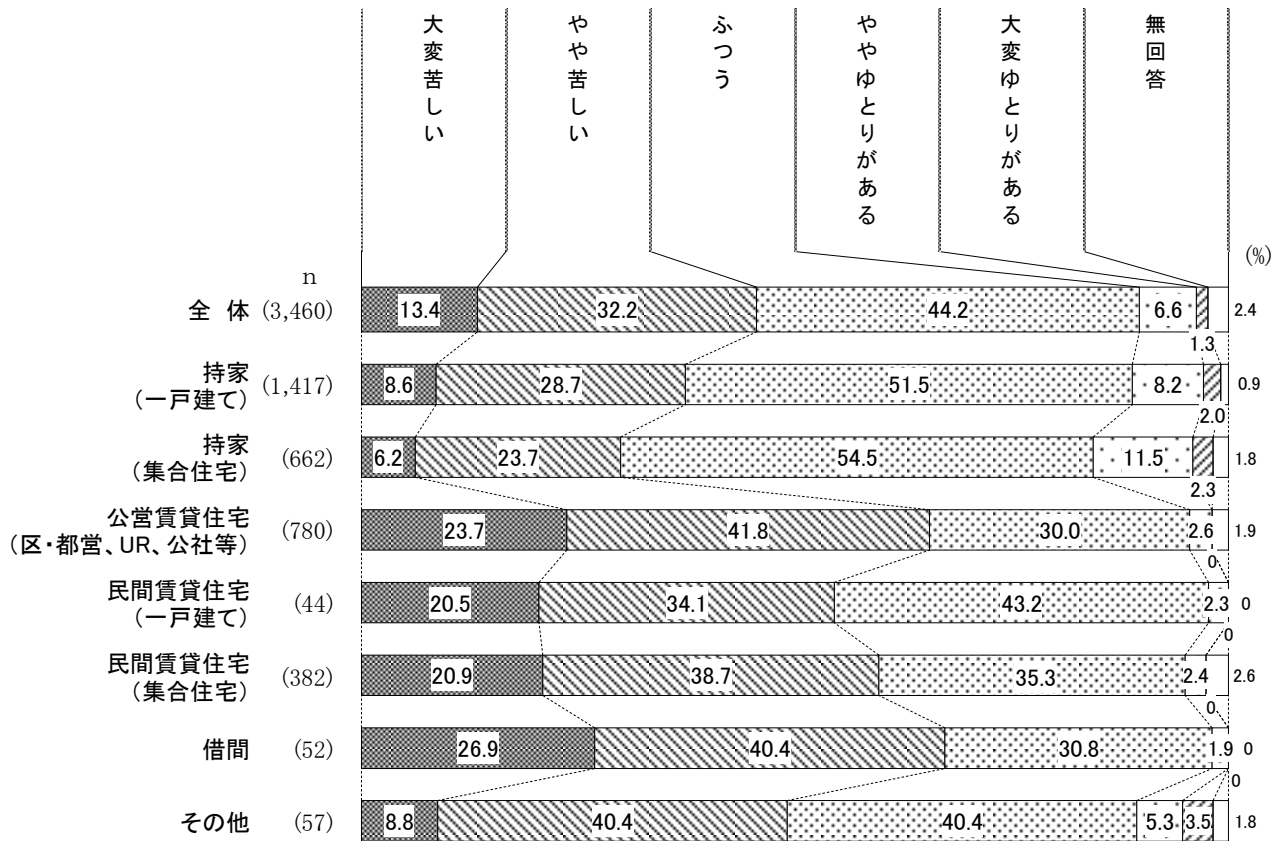
【認定者調査】



〈住居形態別／暮らし向き〉

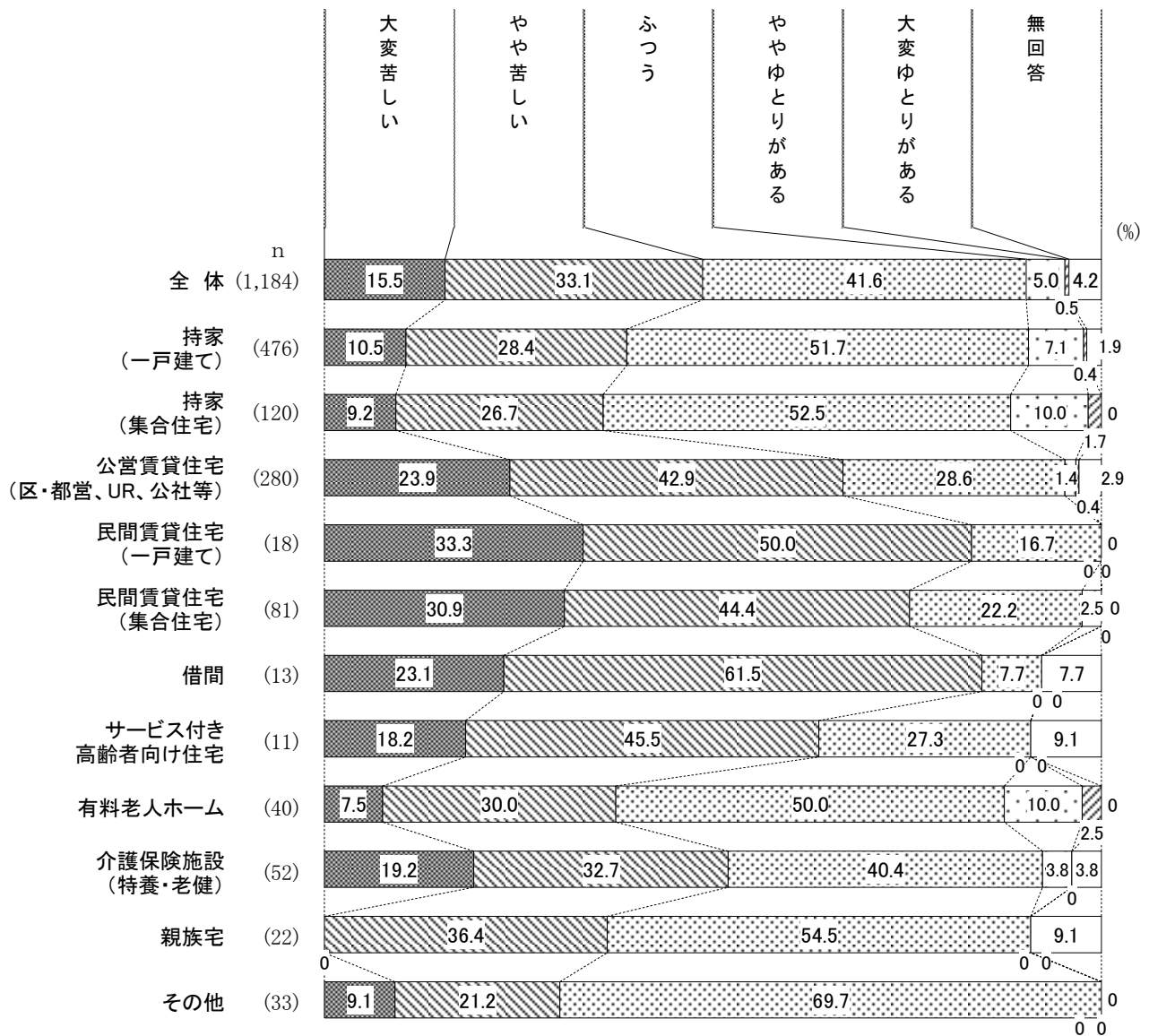
住居形態別に見ると、いずれの調査でも持家よりも賃貸住宅の方が『苦しい』が多く、持家の中でも“一戸建て”は“集合住宅”よりも『苦しい』がやや多くなっています。

【一般高齢者調査】



第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

【認定者調査】

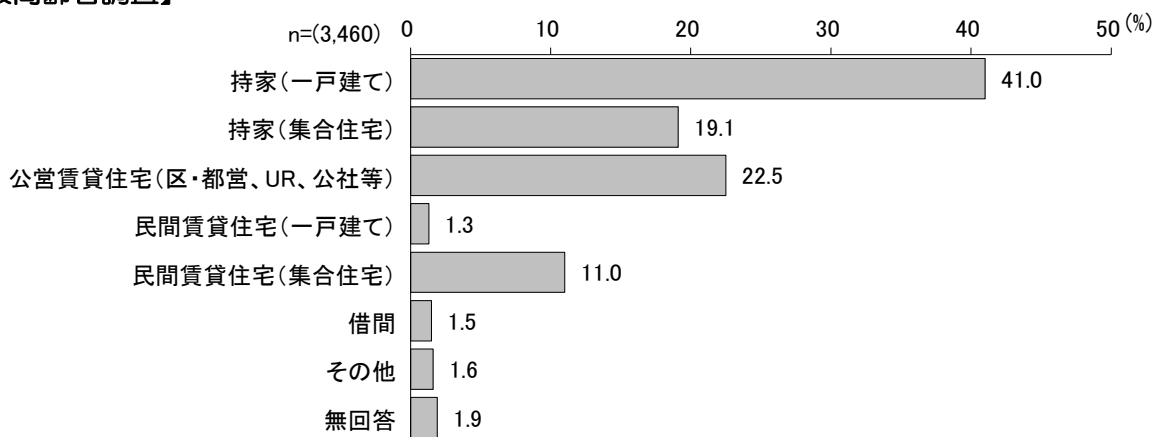


(10) 住居形態

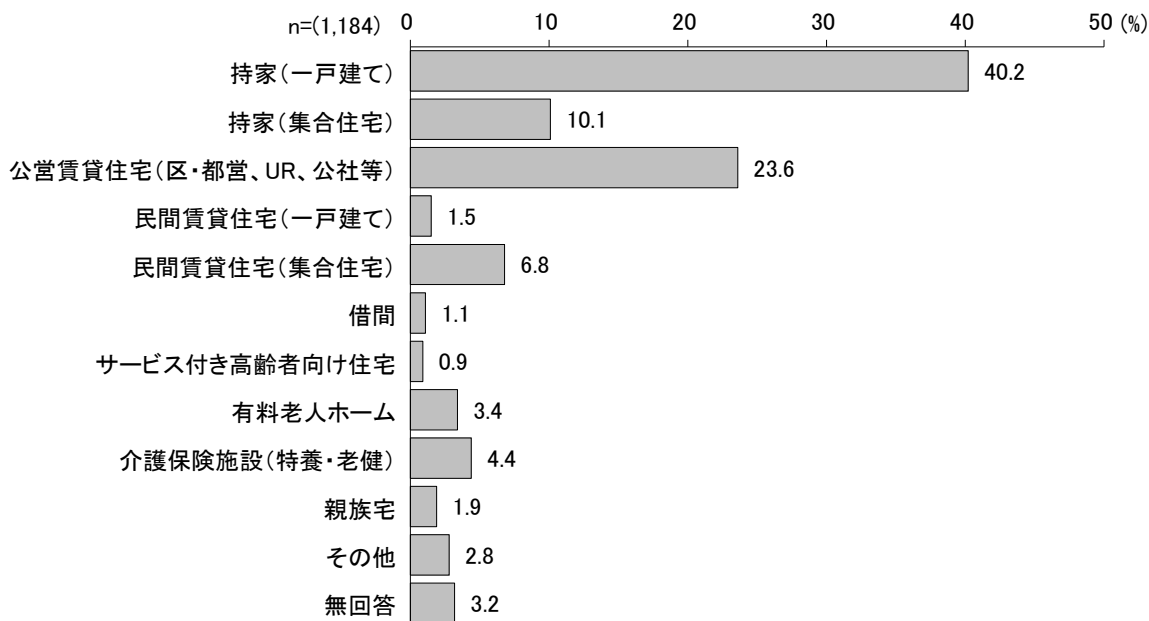
Q10. お住まいは、次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

いずれの調査も「持家（一戸建て）」、「公営賃貸住宅（区・都営、UR、公社等）」、「持家（集合住宅）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」の順に多く、一般高齢者調査の「持家（集合住宅）」は19.1%で、認定者調査の2倍近くとなっています。

【一般高齢者調査】



【認定者調査】



〈居住地区別／住居形態〉

居住地区別に見ると、「持家（一戸建て）」が6割以上の地区は、一般高齢者調査では志茂（67.3%）、十条（65.5%）、滝野川東（62.4%）、昭和町（61.5%）、認定者調査では十条（65.1%）、田端（63.2%）となっています。また、桐ヶ丘は両調査で「公営賃貸住宅（区・都営、UR、公社等）」が7割以上となっています。

【一般高齢者調査】

		(%)							
	回答者数	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	（公営賃貸住宅（区・都営、UR、公社等）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借間	その他	無回答
一般／全体	3,460	41.0	19.1	22.5	1.3	11.0	1.5	1.6	1.9
十条台	199	50.8	14.1	13.1	1.5	15.6	1.5	1.0	2.5
王子	227	24.2	24.7	34.8	0.9	10.1	2.2	1.8	1.3
豊島	325	29.8	14.5	45.2	0.6	6.5	0.9	1.2	1.2
十条	165	65.5	10.3	-	2.4	18.2	-	1.2	2.4
神谷	170	30.0	11.8	35.9	1.2	17.1	0.6	2.4	1.2
赤羽西	257	57.6	17.1	13.2	0.8	8.2	0.8	0.8	1.6
志茂	199	67.3	11.6	1.5	1.0	11.1	3.0	3.0	1.5
赤羽	144	36.8	28.5	9.0	2.1	11.8	3.5	4.2	4.2
赤羽北	163	25.8	34.4	26.4	0.6	9.8	1.2	0.6	1.2
滝野川西	227	41.9	24.2	16.7	3.5	7.9	2.6	1.3	1.8
滝野川東	226	62.4	15.5	3.1	1.3	9.7	2.2	4.0	1.8
西ヶ原東	146	50.0	21.2	1.4	2.7	18.5	2.1	1.4	2.7
昭和町	96	61.5	15.6	4.2	-	14.6	-	2.1	2.1
浮間	199	30.7	23.1	36.2	-	6.5	0.5	0.5	2.5
桐ヶ丘	275	10.2	13.8	70.2	0.4	2.9	0.4	0.4	1.8
田端	115	48.7	21.7	-	4.3	18.3	2.6	1.7	2.6
東十条	127	37.0	29.1	2.4	1.6	22.0	3.1	1.6	3.1
堀船	129	27.1	20.2	40.3	-	7.8	0.8	2.3	1.6
東田端	71	46.5	31.0	4.2	-	15.5	1.4	1.4	-

第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

【認定者調査】

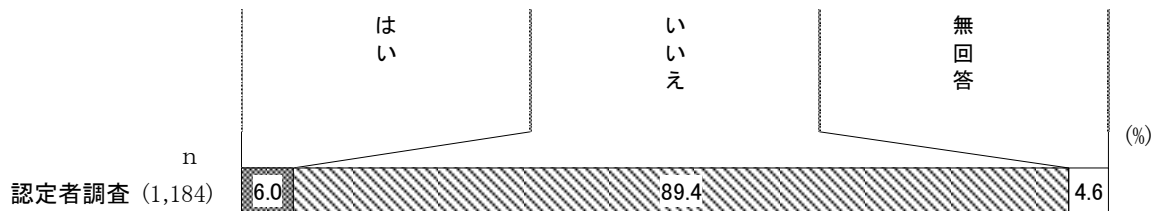
		(%)											
	回答者数	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅 （区・都営、UR、公社等）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借間	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム	介護保険施設（特養・老健）	親族宅	その他	無回答
認定者／全体	1,184	40.2	10.1	23.6	1.5	6.8	1.1	0.9	3.4	4.4	1.9	2.8	3.2
十条台	69	39.1	5.8	24.6	-	13.0	-	-	8.7	5.8	1.4	1.4	-
王子	87	19.5	17.2	35.6	-	3.4	1.1	2.3	2.3	9.2	1.1	5.7	2.3
豊島	119	38.7	2.5	40.3	1.7	3.4	-	-	3.4	3.4	2.5	1.7	2.5
十条	63	65.1	3.2	-	1.6	7.9	1.6	1.6	6.3	-	3.2	6.3	3.2
神谷	54	38.9	1.9	33.3	1.9	13.0	-	-	-	1.9	-	3.7	5.6
赤羽西	83	53.0	8.4	12.0	-	7.2	2.4	1.2	2.4	9.6	-	2.4	1.2
志茂	74	55.4	4.1	4.1	1.4	8.1	2.7	1.4	4.1	6.8	5.4	4.1	2.7
赤羽	48	41.7	29.2	2.1	-	6.3	8.3	-	4.2	2.1	2.1	2.1	2.1
赤羽北	54	29.6	14.8	20.4	-	9.3	-	1.9	1.9	5.6	3.7	7.4	5.6
滝野川西	73	45.2	8.2	19.2	1.4	9.6	-	-	2.7	1.4	1.4	-	11.0
滝野川東	81	58.0	11.1	2.5	3.7	8.6	1.2	-	6.2	6.2	-	1.2	1.2
西ヶ原東	46	54.3	15.2	-	-	8.7	2.2	4.3	2.2	6.5	2.2	4.3	-
昭和町	30	43.3	6.7	-	10.0	16.7	3.3	-	3.3	3.3	3.3	3.3	6.7
浮間	60	16.7	11.7	51.7	-	3.3	-	5.0	1.7	5.0	1.7	3.3	-
桐ヶ丘	94	9.6	4.3	76.6	1.1	2.1	-	-	1.1	1.1	-	-	4.3
田端	38	63.2	13.2	-	2.6	-	-	-	-	5.3	7.9	2.6	5.3
東十条	45	48.9	26.7	-	6.7	6.7	-	-	4.4	-	-	2.2	4.4
堀船	41	26.8	9.8	46.3	2.4	4.9	-	-	2.4	2.4	-	2.4	2.4
東田端	25	36.0	28.0	12.0	-	4.0	-	-	8.0	4.0	4.0	-	4.0



(11) 住み替え

認Q11. この1年間に住み替えをしましたか。(〇は1つ)

「はい」(住み替えをした)の割合は6.0%となっています。

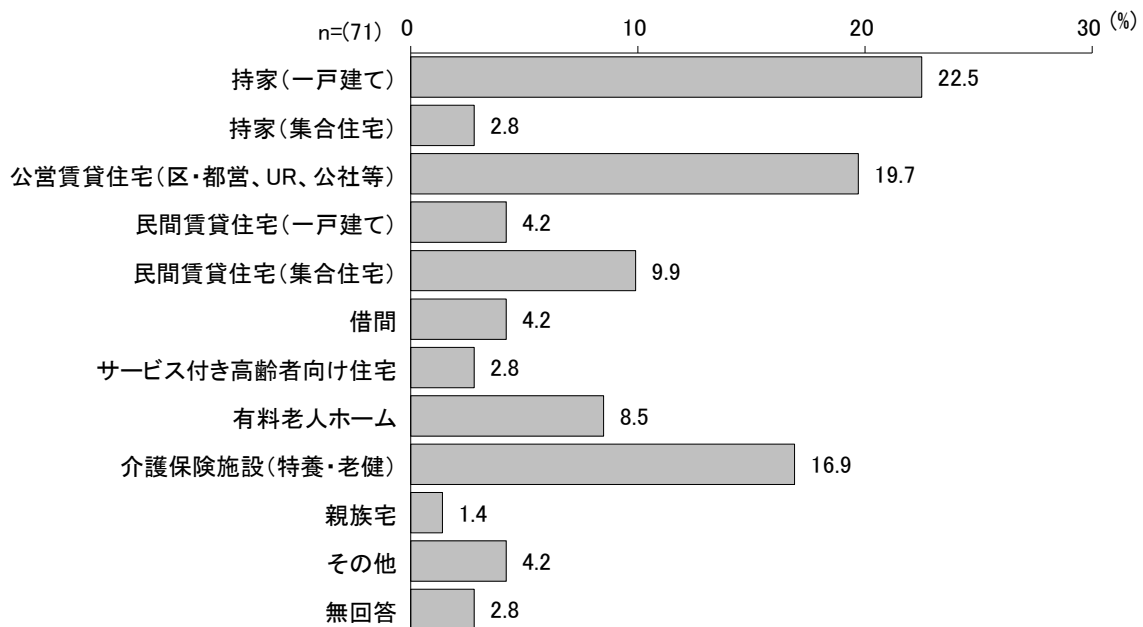


(12) 住み替え前の住居形態

【認Q11で「1. はい」と答えた方にかがいます。】

認Q12. どこから住み替えましたか。(〇は1つ)

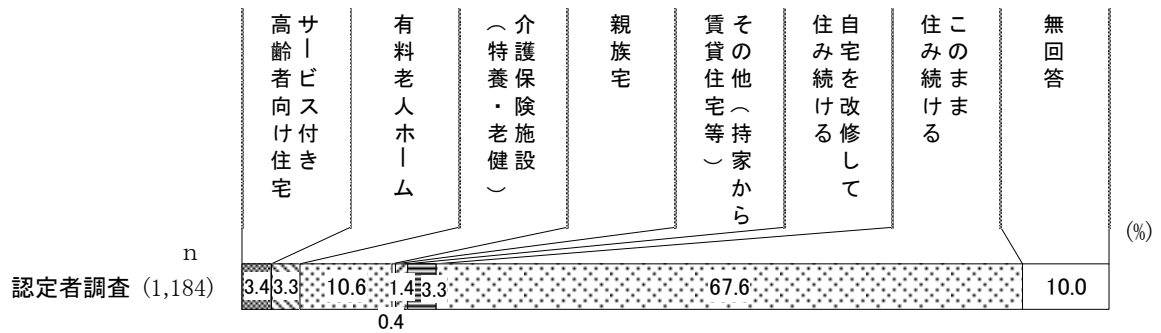
「持家(一戸建て)」が22.5%と最も多く、次いで、「公営賃貸住宅(区・都営、UR、公社等)」が19.7%、「介護保険施設(特養・老健)」が16.9%となっています。



(13) 住み替え希望

Q13. 今後、住み替えを希望しますか。(〇は1つ)

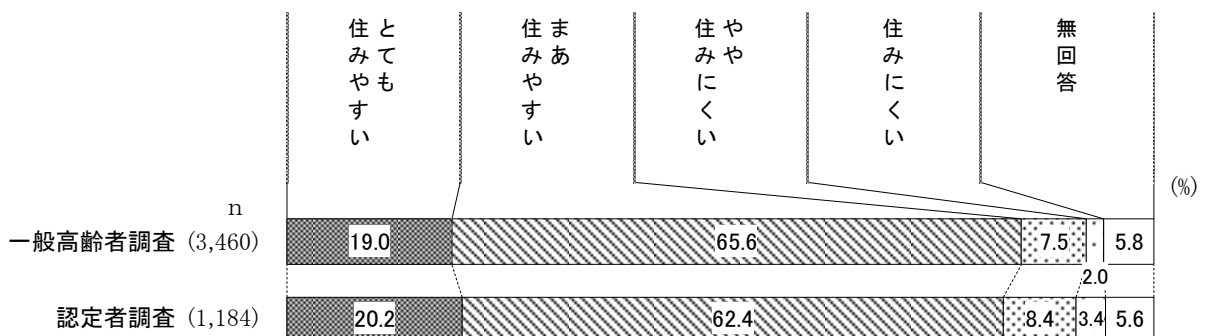
「このまま住み続ける」が67.6%と最も多く、次いで、「介護保険施設（特養・老健）」が10.6%、「サービス付き高齢者向け住宅」が3.4%、「有料老人ホーム」、「自宅を改修して住み続ける」が3.3%となっています。



(14) 住みやすさ

Q11  Q14. ご自身の住んでいる地域を「住みやすい地域」だと感じますか。(〇は1つ)

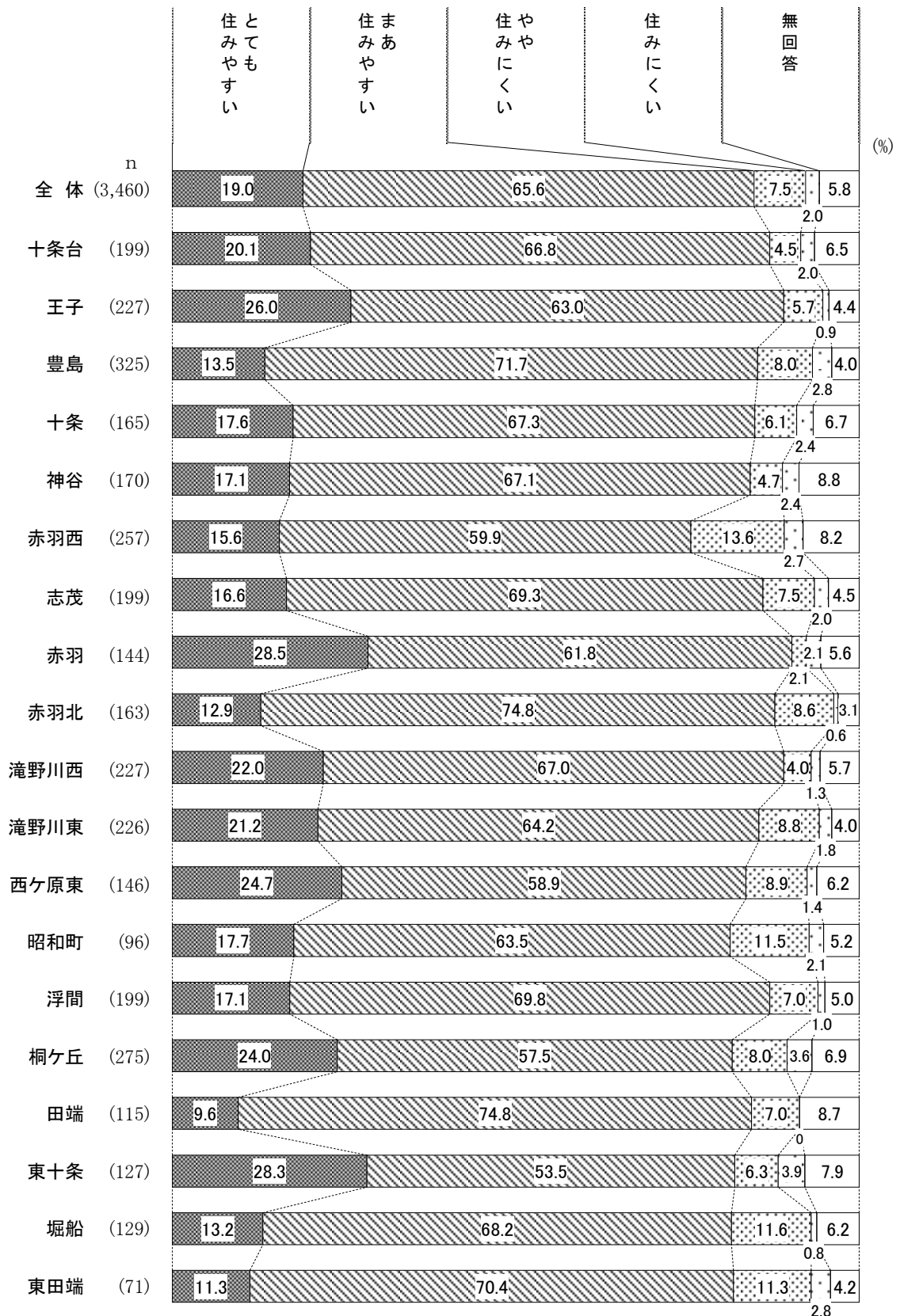
いずれの調査も「まあ住みやすい」が6割を超え、「とても住みやすい」が2割前後となっています。



第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

〈一般高齢者調査：居住地区別／住みやすさ〉

居住地区別に見ると、「とても住みやすい」が多い地区は、赤羽（28.5%）、東十条（28.3%）、王子（26.0%）、西ヶ原東（24.7%）と続いています。一方、「やや住みにくい」は、赤羽西（13.6%）、堀船（11.6%）、昭和町（11.5%）、東田端（11.3%）の順になっています。



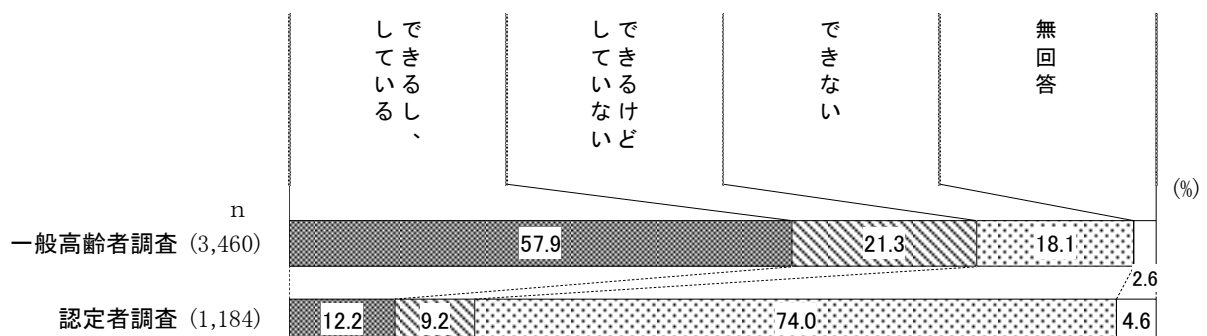
## 2. からだを動かすこと

### (1) 階段の昇降

Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇は1つ)

一般高齢者調査では、「できるし、している」が57.9%で、「できるけどしていない」が21.3%、「できない」が18.1%となっています。

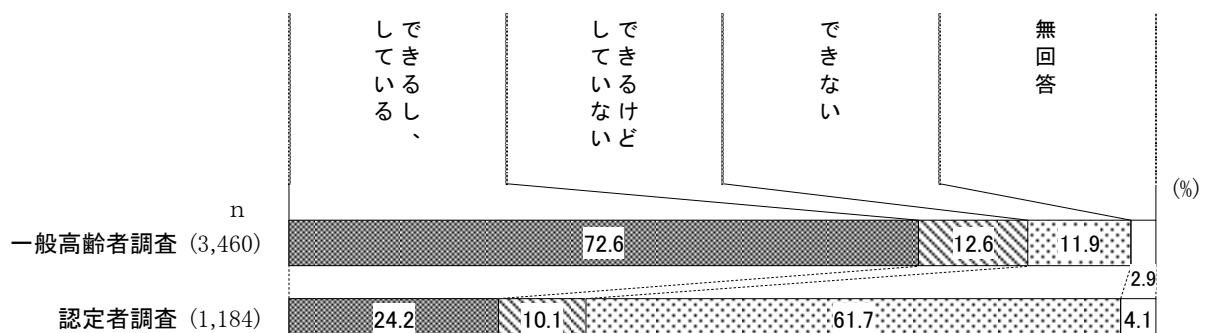
認定者調査では、「できない」が74.0%を占めています。



### (2) 椅子からの立ち上がり

Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇は1つ)

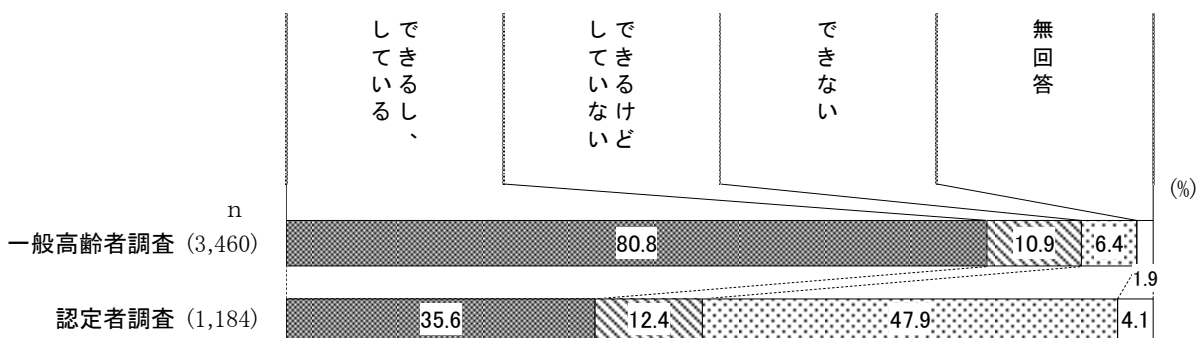
一般高齢者調査では、「できるし、している」が72.6%なのに対して、認定者調査では、「できない」が61.7%となっています。



(3) 15分間の歩行

Q3. 15分位続けて歩いていますか。(〇は1つ)

一般高齢者調査では、「できるし、している」が80.8%を占める一方、認定者調査では35.6%で、「できない」の47.9%よりも少なくなっています。

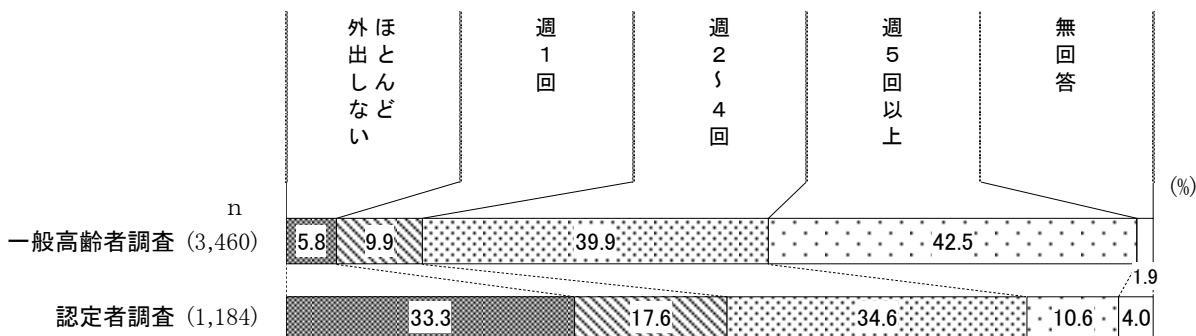


(4) 外出頻度

Q4. 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

一般高齢者調査では、「週5回以上」が42.5%、「週2~4回」が39.9%の順で高くなっています。

認定者調査では、「週2~4回」が34.6%、「ほとんど外出しない」が33.3%、「週1回」が17.6%となっています。



第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

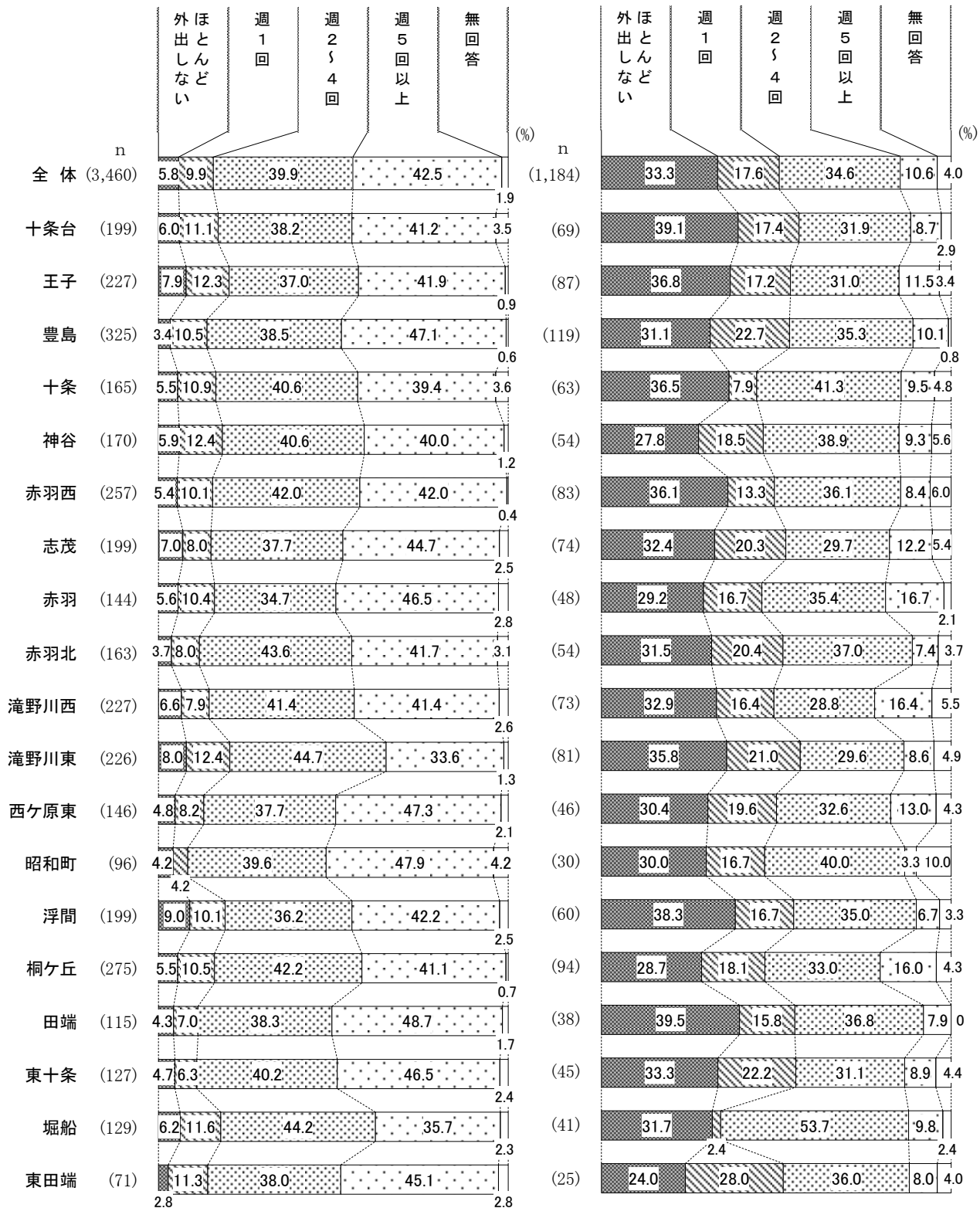
〈居住地区別／外出頻度〉

居住地区別に見ると、一般高齢者調査で「週5回以上」が多い地区は、田端（48.7%）、昭和町（47.9%）、西ヶ原東（47.3%）、豊島（47.1%）の順となっています。

認定者調査で「ほとんど外出しない」が多い地区は、田端（39.5%）、十条台（39.1%）、浮間（38.3%）王子（36.8%）の順となっています。

【一般高齢者調査】

【認定者調査】

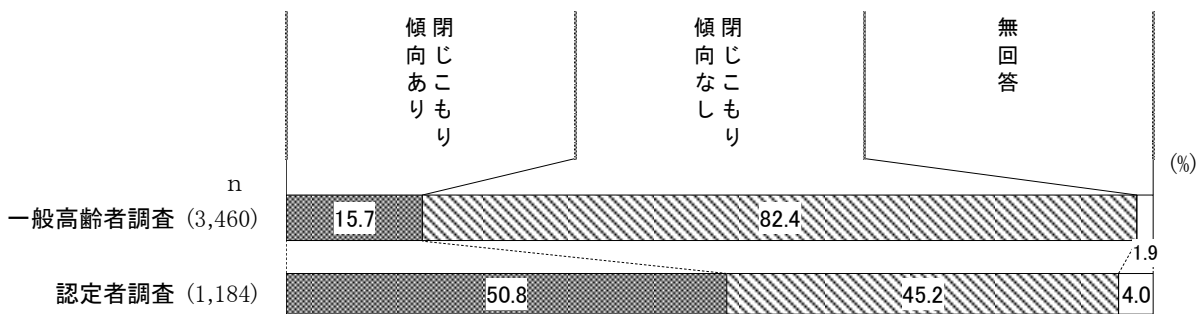


〈閉じこもり傾向〉

Q4（外出頻度）で、「ほとんど外出しない」「週1回」と回答した人を、『閉じこもり傾向がある高齢者』としています。

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和4年8月）

「閉じこもり傾向あり」は、一般高齢者調査で15.7%である一方、認定者調査では50.8%と半数を超えています。

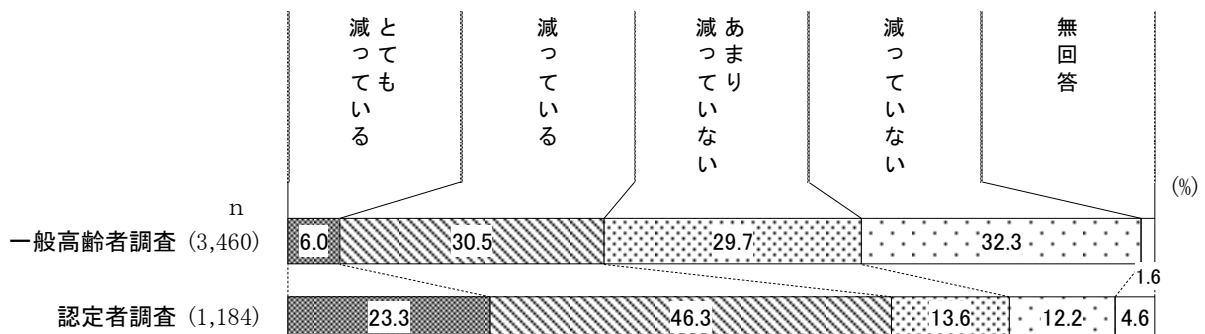


(5) 外出回数の減少

Q5. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

一般高齢者調査では、「減っていない」が32.3%と最も多く、「あまり減っていない」(29.7%)と合わせると62.0%となります。

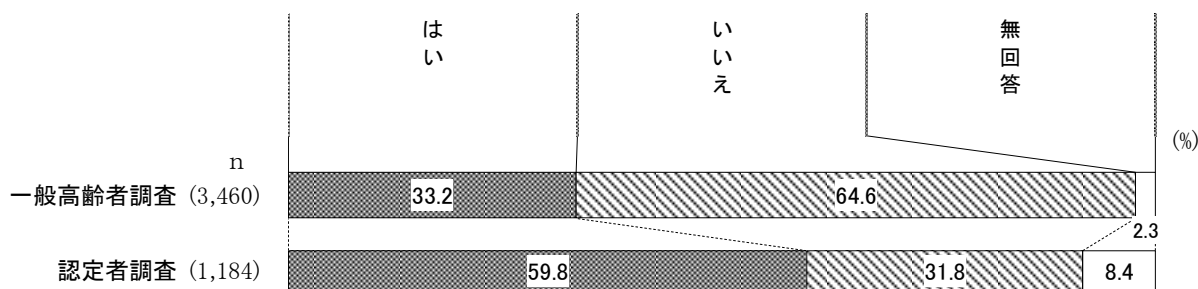
認定者調査では、「減っている」が46.3%と最も多く、「とても減っている」(23.3%)と合わせると69.6%で、ほぼ7割となっています。



(6) 外出控え

Q6. 外出を控えていますか。

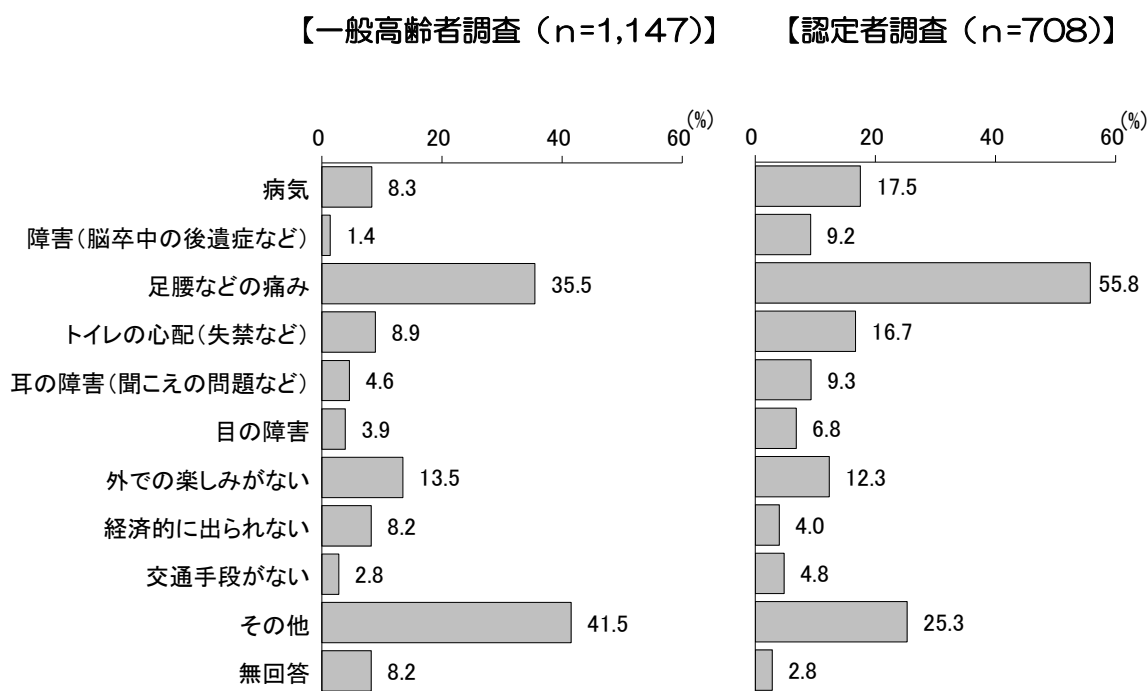
一般高齢者調査では、「はい」が33.2%、認定者調査では59.8%となっています。



(7) 外出を控えている理由

【Q6で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】  
 Q7. 外出を控えている理由は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

いずれの調査も「足腰などの痛み」が最も多く、以下、一般高齢者調査では「外での楽しみがない」(13.5%)、「トイレの心配(失禁など)」(8.9%)、「病気」(8.3%)と続き、認定者調査では、「病気」(17.5%)、「トイレの心配(失禁など)」(16.7%)、「外での楽しみがない」(12.3%)と続いています。





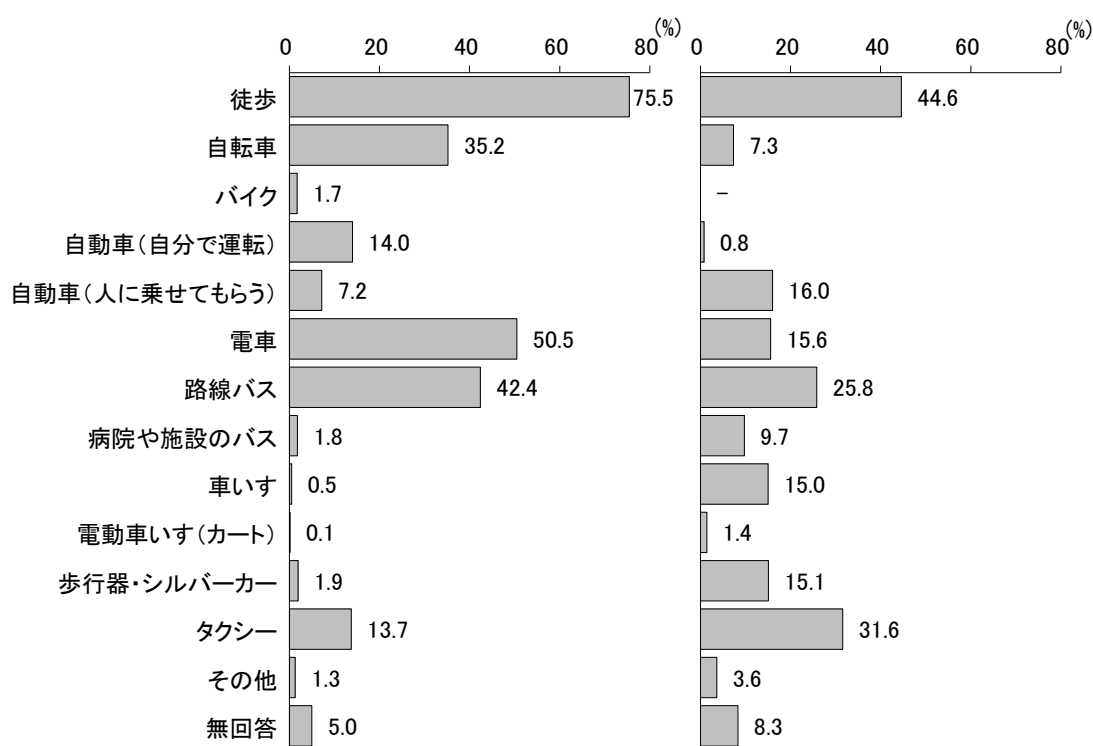
(8) 外出する際の移動手段

Q8. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

一般高齢者調査では、「徒歩」が75.5%と特に多く、次いで「電車」(50.5%)、「路線バス」(42.4%)、「自転車」(35.2%)となっています。

認定者調査では、「徒歩」(44.6%)に次いで「タクシー」(31.6%)、「路線バス」(25.8%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(16.0%)となっています。

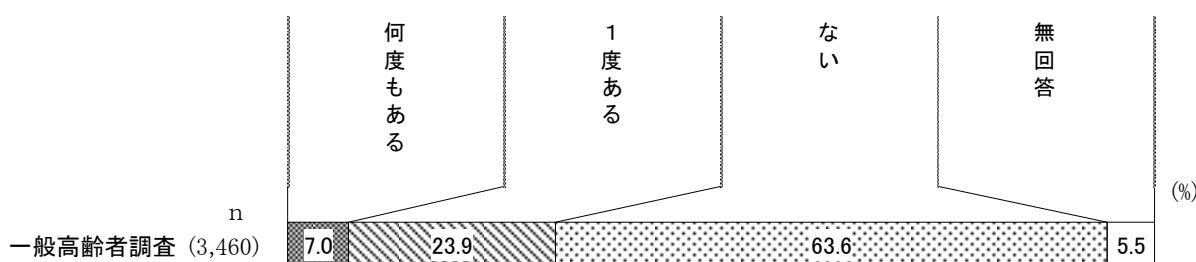
【一般高齢者調査 (n=3,460)】 【認定者調査 (n=1,184)】



(9) 転倒の有無

Q9. 過去1年間に転んだことがありますか。(○は1つ)

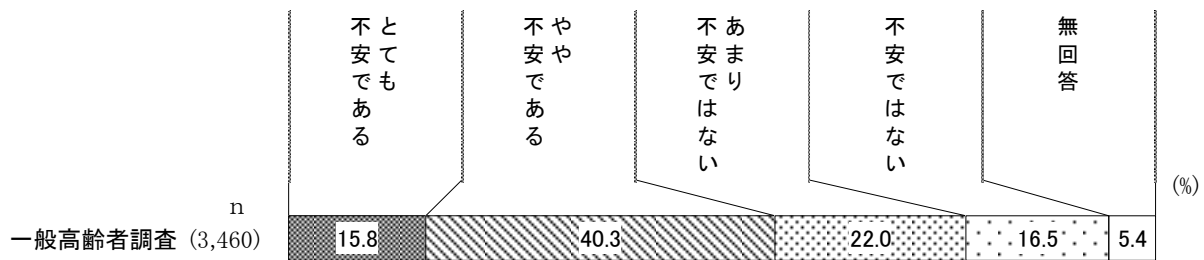
「ない」が63.6%で、「1度ある」が23.9%、「何度もある」が7.0%となっています。



(10) 転倒に対する不安

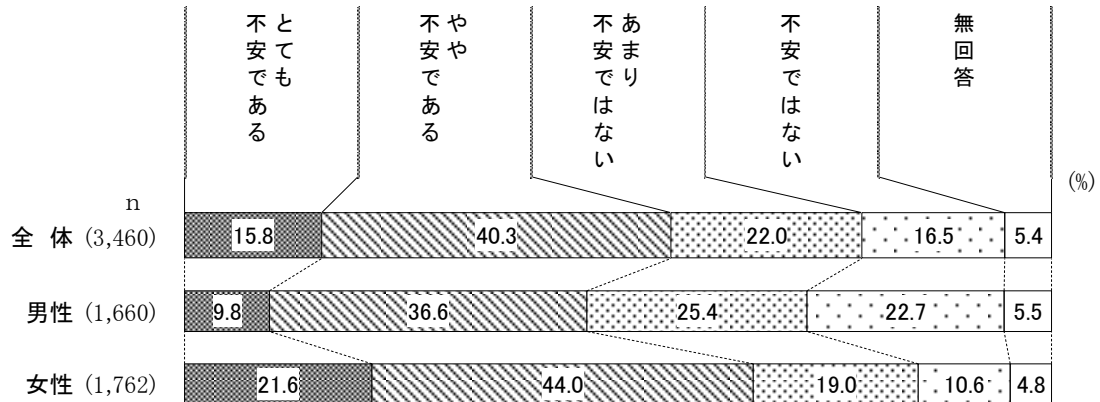
□ Q10. 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

「やや不安である」が40.3%と最も多く、「とても不安である」(15.8%) と合わせると56.1% と過半数になっています。



〈性別／転倒に対する不安〉

性別に見ると、『不安』(「とても不安である」+「やや不安である」)は、男性では46.4%であるのに対して、女性では65.6%となっています。



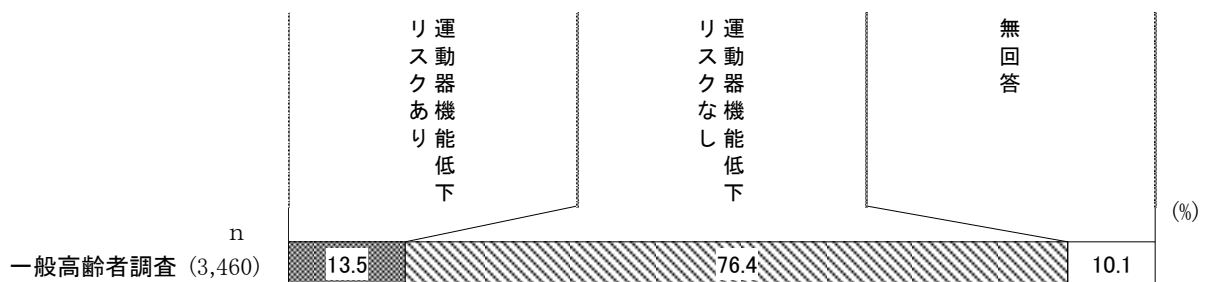
〈運動器機能低下リスク〉

下記の5項目中、3項目以上に該当する場合、『運動器機能が低下している高齢者』（運動器機能低下リスクあり）としています。

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない（Q1）
- 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない（Q2）
- 15分続けて歩くことができない（Q3）
- 過去1年間に転倒した経験が、何度もある、あるいは、1度ある（Q9）
- 転倒に対して、とても不安である、あるいは、やや不安である（Q10）

※参考：介護予防・日常生活圏域二一ズ調査実施の手引き（令和4年8月）

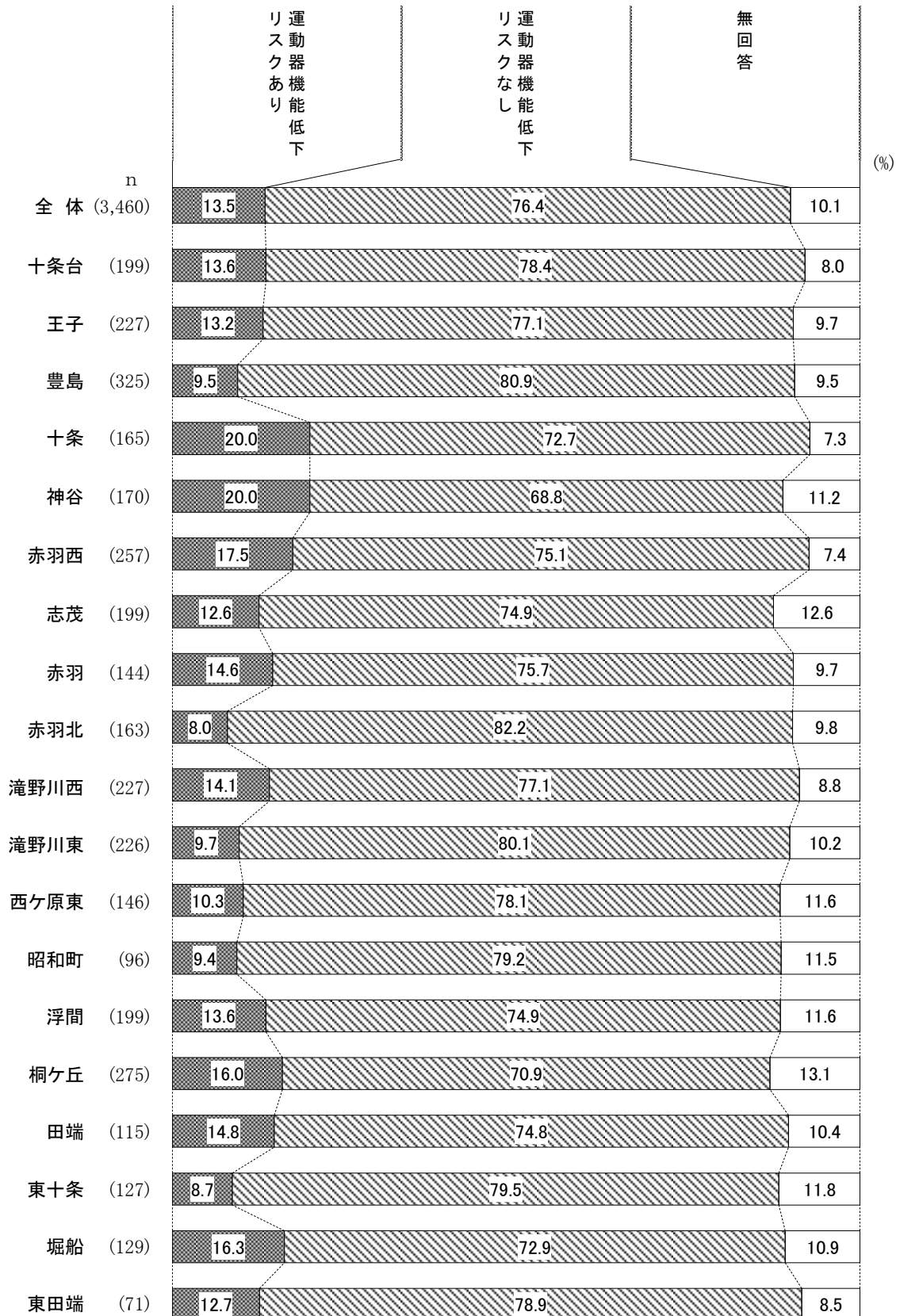
一般高齢者調査で「運動器機能低下リスクあり」は13.5%、「運動器機能低下リスクなし」は76.4%となっています。



第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

〈一般高齢者調査：居住地区別／運動器機能低下リスク〉

居住地区別に見ると、「運動器機能低下リスクあり」は、十条と神谷で20.0%とやや高い一方、豊島（9.5%）、赤羽北（8.0%）、滝野川東（9.7%）、昭和町（9.4%）、東十条（8.7%）では1割未満となっています。

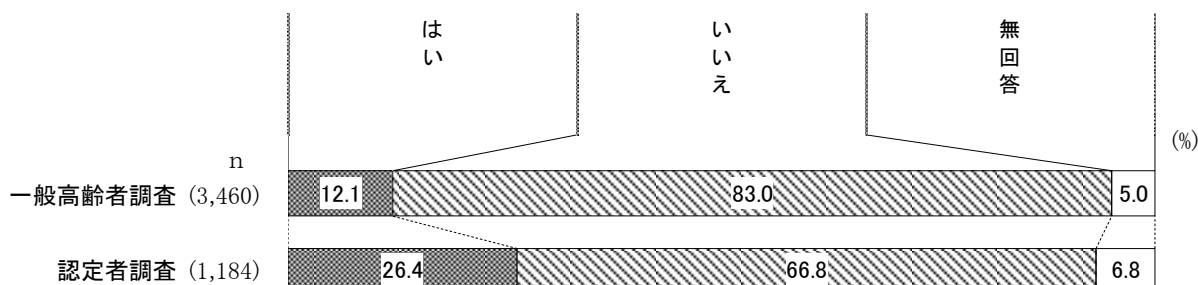


### 3. 食べること

#### (1) 体重減少の有無

Q1. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

一般高齢者調査では「はい」が12.1%に対して、認定者調査では26.4%と2倍以上になっています。

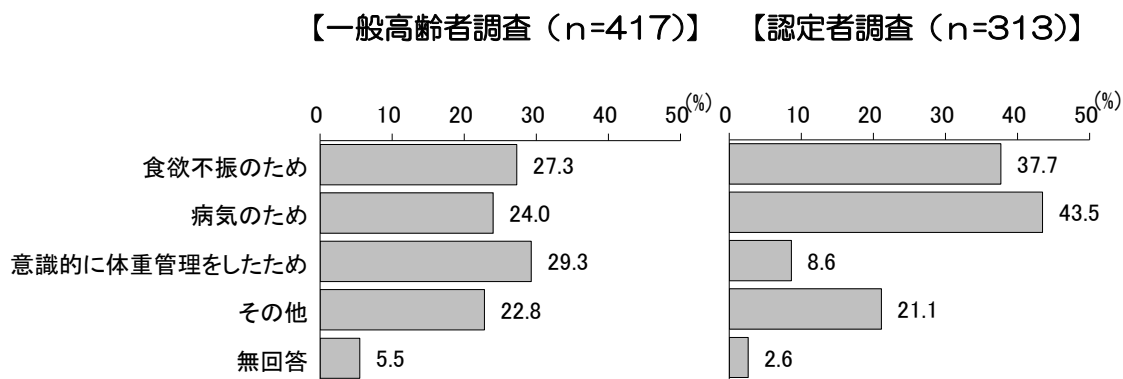


#### (2) 体重減少の理由

【Q1で「1. はい」と答えた方にかがいます。】

Q2. 減少の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

一般高齢者調査では、「意識的に体重管理をしたため」が29.3%であるのに対して、認定者調査では8.6%にとどまり、「病気のため」(43.5%)や「食欲不振のため」(37.7%)が多くなっています。



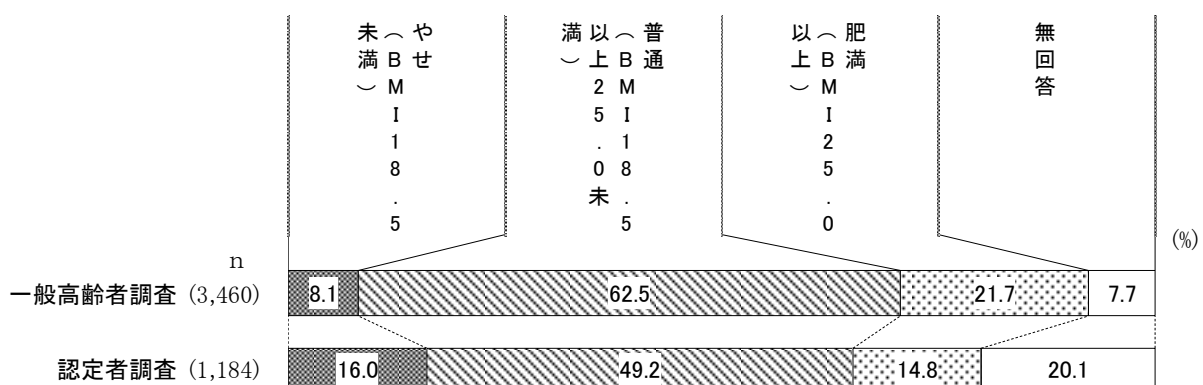
(3) BMI（身長・体重）

Q3. 身長と体重を記入してください。

※BMI（Body Mass Index の略）：体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））で算出される肥満指数とされています。18.5未満が「やせ」、18.5～25.0未満が「普通」、25.0以上が「肥満」の目安になります。

一般高齢者調査では、「普通（18.5以上25未満）」が62.5%、次いで「肥満（25以上）」が21.7%、「やせ（18.5未満）」が8.1%となっています。

認定者調査では、「普通（18.5以上25未満）」の49.2%に次いで、「やせ（18.5未満）」（16.0%）、「肥満（25以上）」（14.8%）の順になっています。



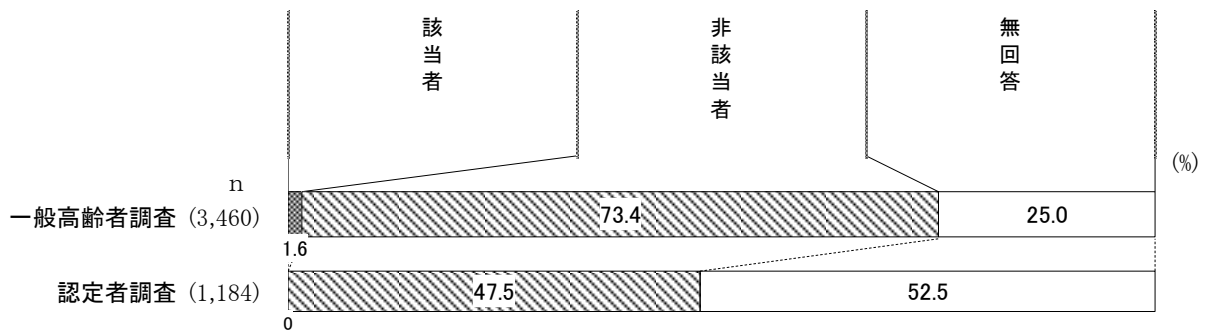
〈低栄養リスク〉

下記の2項目に該当する場合、『低栄養状態に該当する高齢者』（低栄養リスクあり）としています。

- 6か月間で2～3kg以上の体重減少（Q1）
- 身長・体重から算出されるBMIが18.5以下（Q3）

※参考：介護予防・日常生活圏域二一ズ調査実施の手引き（令和4年8月）

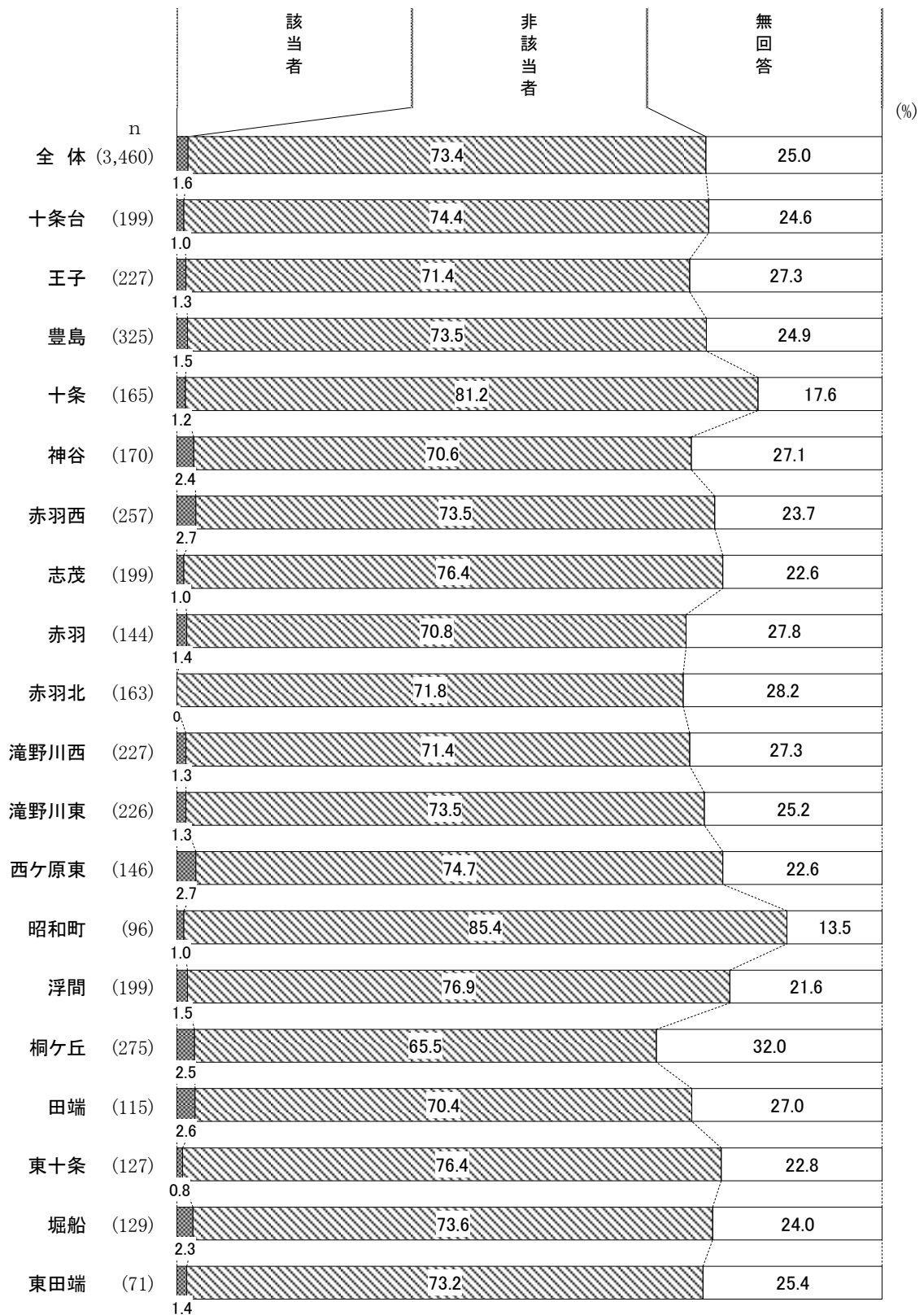
「低栄養リスク該当者」は、一般高齢者調査で1.6%、認定者調査では該当者なしとなっています。



第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

〈一般高齢者調査：居住地区別／低栄養リスク該当者〉

居住地区別に分析したところ、いずれの地区でも3%未満となっています。

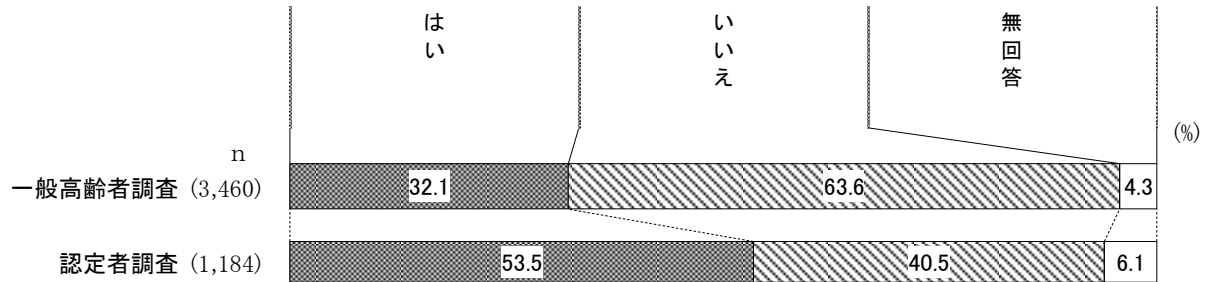




(4) 固いものの食べにくさ

Q4. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

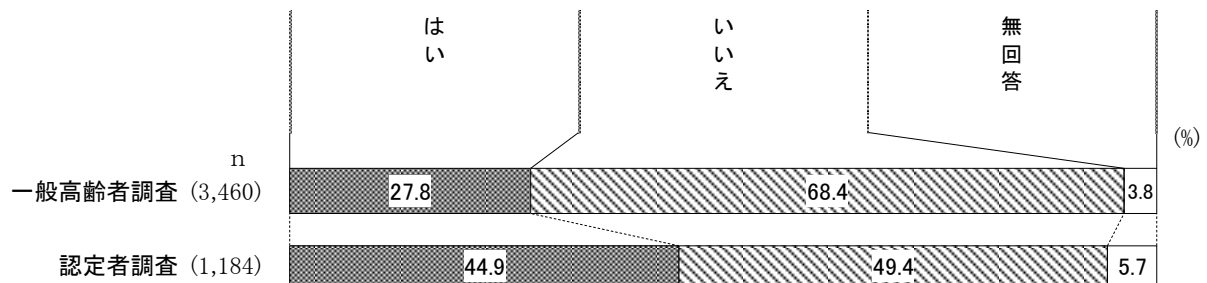
一般高齢者調査では、「はい」が32.1%、「いいえ」が63.6%となっています。  
 認定者調査では、「はい」が53.5%、「いいえ」が40.5%となっています。



(5) むせる経験

Q5. お茶や汁物等でむせることがありますか。

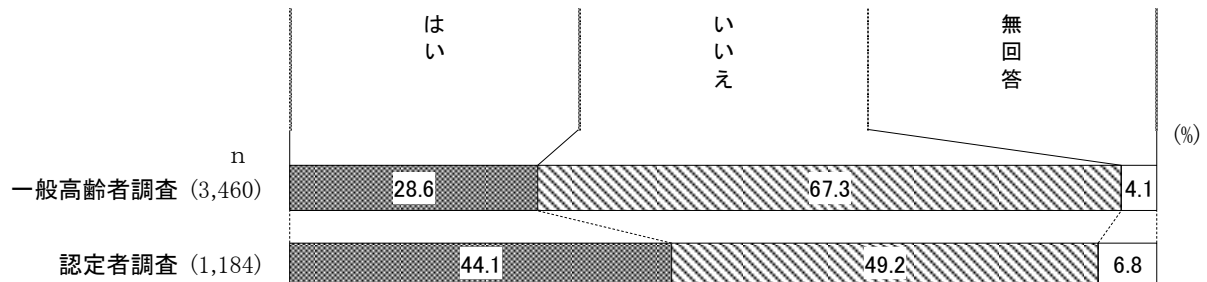
一般高齢者調査では、「はい」が27.8%、「いいえ」が68.4%となっています。  
 認定者調査では、「はい」が44.9%、「いいえ」が49.4%となっています。



(6) 口の渇き

Q6. 口の渇きが気になりますか。

一般高齢者調査では、「はい」が28.6%、「いいえ」が67.3%となっています。  
 認定者調査では、「はい」が44.1%、「いいえ」が49.2%となっています。



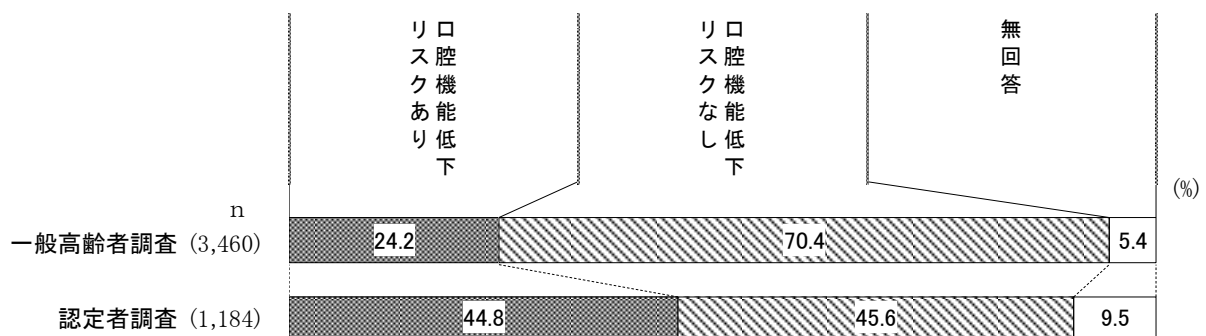
〈口腔機能低下リスク〉

下記の3項目中、2項目以上で「はい」に該当する場合、『口腔機能の低下に該当する高齢者』（口腔機能低下リスクあり）としています。

- 半年前に比べて固いものが食べにくくなった（Q4）
- お茶や汁物等でむせることがある（Q5）
- 口の渇きが気になる（Q6）

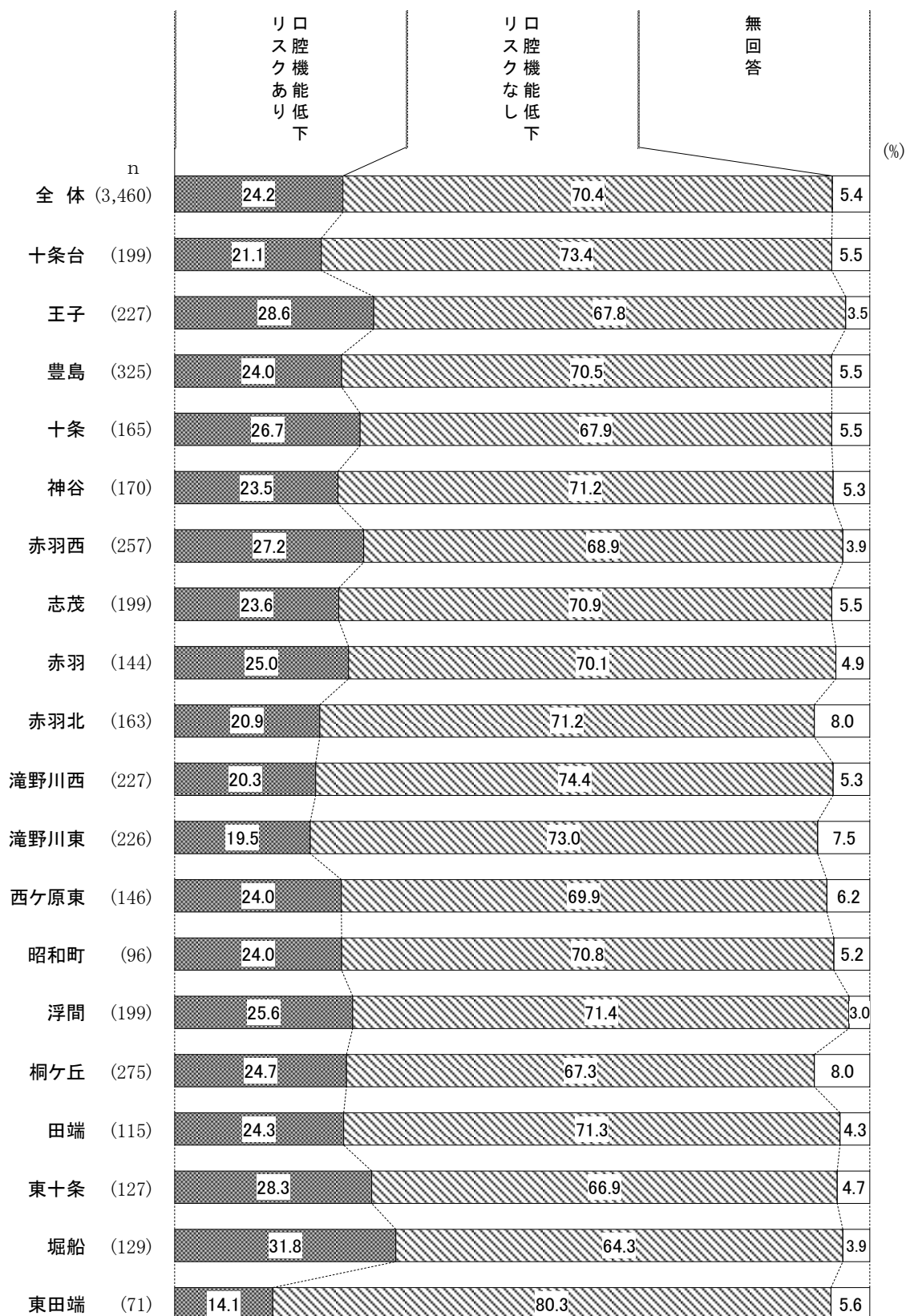
※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和4年8月）

「口腔機能低下リスクあり」は、一般高齢者調査で24.2%、認定者調査では44.8%となっています。



〈一般高齢者調査：居住地区別／口腔機能低下リスク〉

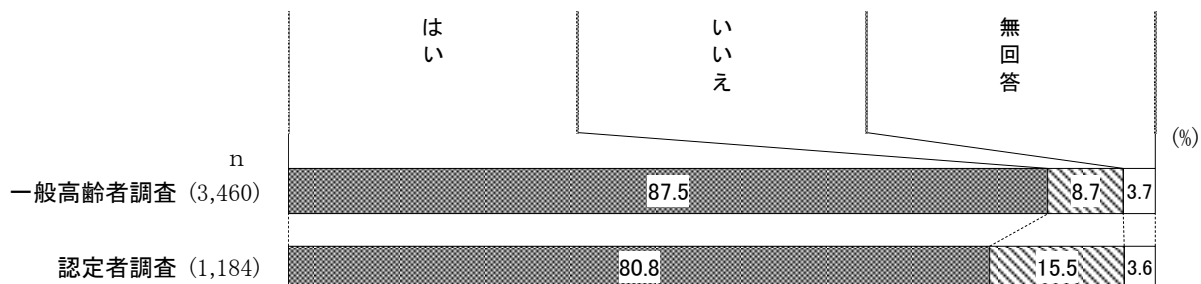
一般高齢者調査結果を居住地区別に見ると、「口腔機能低下リスクあり」は、堀船で31.8%と唯一3割を超えています。一方、滝野川東（19.5%）と東田端（14.1%）では2割未満となっています。



(7) 毎日の歯磨き

Q7. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

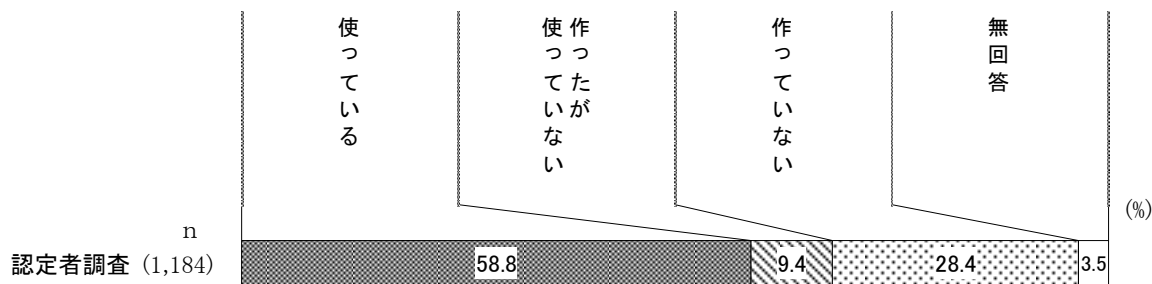
一般高齢者調査では、「はい」が87.5%、「いいえ」が8.7%となっています。  
 認定者調査では、「はい」が80.8%、「いいえ」が15.5%となっています。



(8) 入れ歯の使用状況

認Q8. 入れ歯は使っていますか。（〇は1つ）

認定者のうち、「使っている」は58.8%で、「作っていない」が28.4%、「作ったが使っていない」が9.4%となっています。

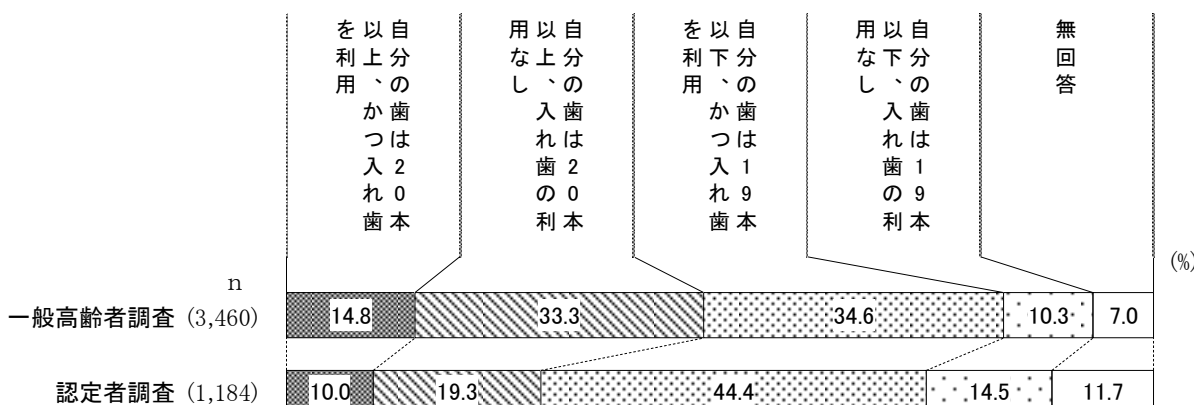


(9) 歯の本数と入れ歯の使用状況

☐Q8☑Q9. 現在のご自分の歯の本数と入れ歯の使用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は親知らずを含めて32本です）。（○は1つ）

一般高齢者調査では、「19本以下、かつ入れ歯を利用」（34.6%）と「20本以上、入れ歯の利用なし」（33.3%）が同率に近く、「20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.8%となっています。

認定者調査では、「19本以下、かつ入れ歯を利用」が44.4%と最も多く、次いで「20本以上、入れ歯の利用なし」（19.3%）、「20本以上、かつ入れ歯を利用」（10.0%）となっています。

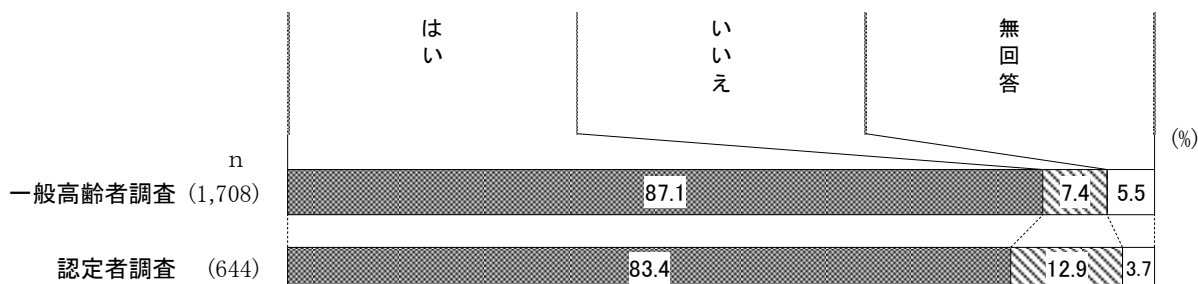


(10) 入れ歯の手入れ

【☐Q8☑Q9で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と答えられた方（入れ歯を使っている方）にうかがいます。】

☐Q9☑Q10. 毎日入れ歯の手入れをしていますか。

一般高齢者調査では87.1%、認定者調査では83.4%が「はい」（毎日手入れをしている）と回答しています。



(11) 歯科の受診状況

認 Q11. 現在、歯科診療を受けていますか。(〇は1つ)

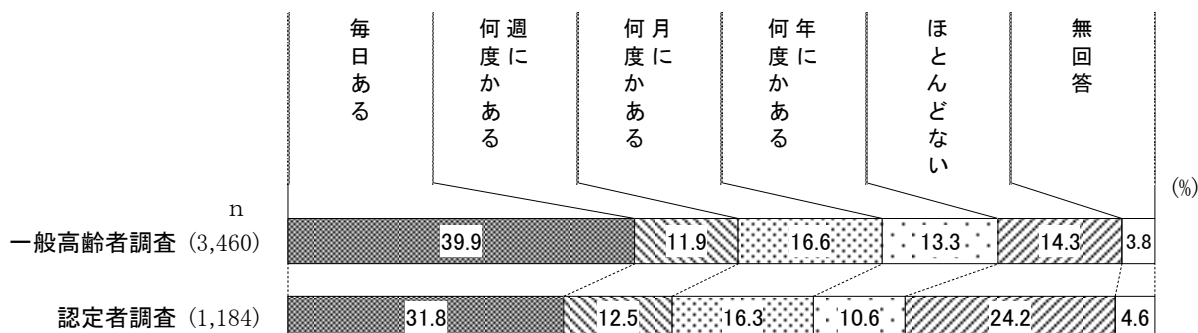
認定者調査では、「受けていない」が51.3%と半数以上で、「通院」が28.5%、「往診・訪問歯科診療」が14.1%となっています。



(12) 共食の頻度

認 Q10 認 Q12. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(〇は1つ)

「週に何度かある」、「月に何度かある」、「年に何度かある」は一般高齢者調査と認定者調査の間に大きな差はありませんが、「毎日ある」は前者が約8ポイント、「ほとんどない」は後者が約10ポイント高くなっています。

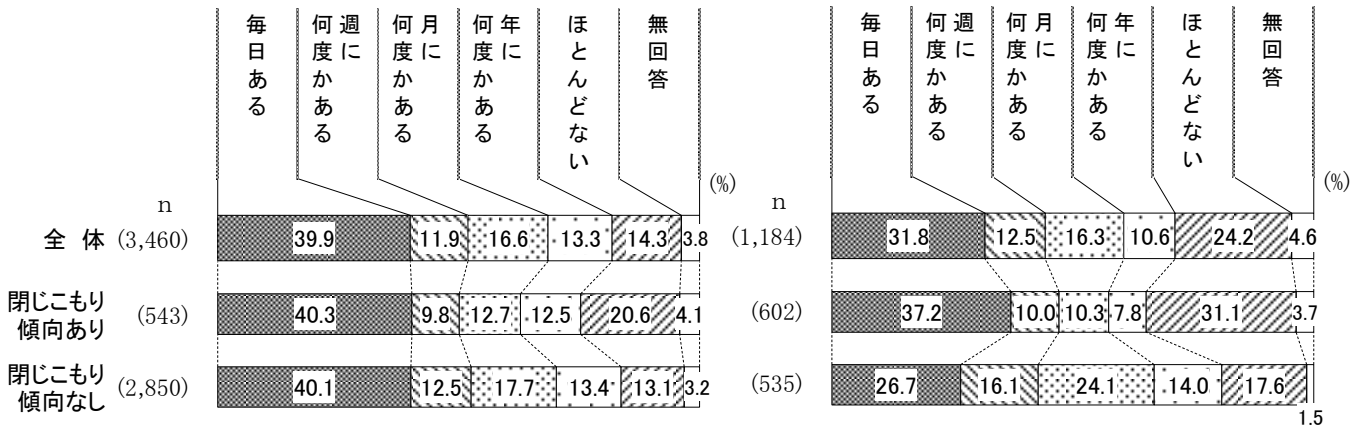


〈閉じこもり傾向別／共食の頻度〉

閉じこもり傾向別の「どなたかと食事をともしる機会」を見ると、一般高齢者調査では、“閉じこもり傾向あり”で「ほとんどない」が比較的高く、認定者調査では、“閉じこもり傾向あり”が「毎日ある」(37.2%)と「ほとんどない」(31.1%)と、回答が二極化しています。

【一般高齢者調査】

【認定者調査】

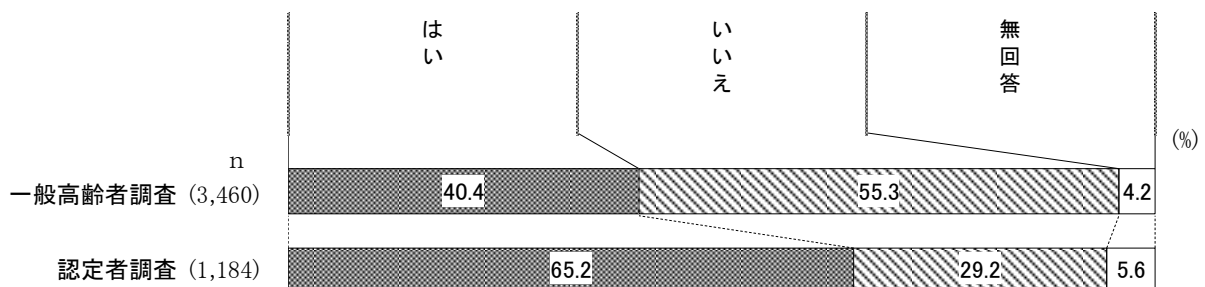


## 4. 物忘れ・認知症

### (1) 物忘れの状況

Q1. 物忘れが多いと感じますか。

一般高齢者調査では40.4%、認定者調査では65.2%が「はい」（物忘れが多いと感じる）と回答しています。



物忘れが多いと感じる（「はい」）と回答した場合、『認知機能の低下がみられる高齢者』（認知機能低下リスクあり）としています。

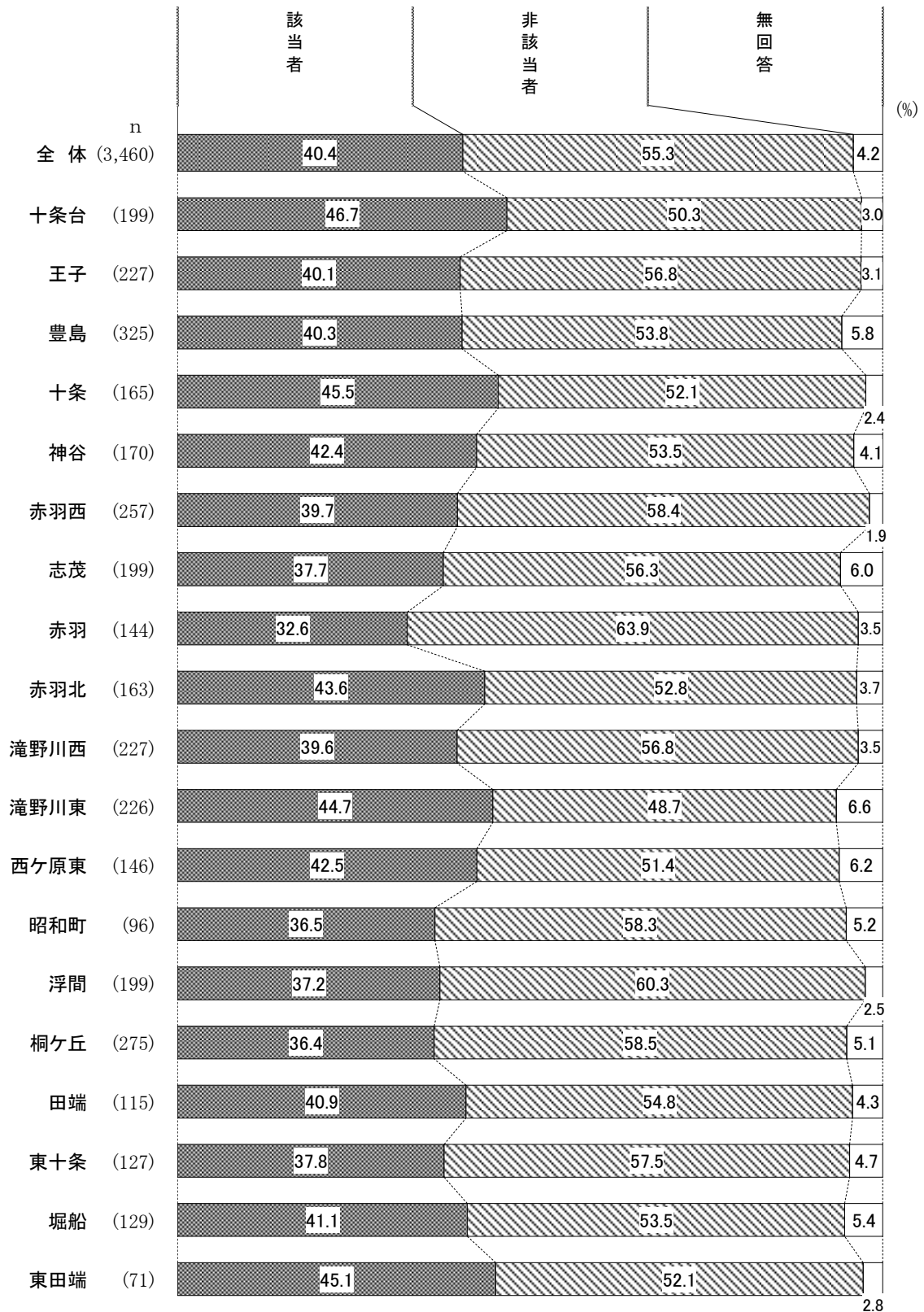
※参考：介護予防・日常生活圏域二エズ調査実施の手引き（令和4年8月）



## 第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

### 〈一般高齢者調査：居住地区別／認知機能低下リスク〉

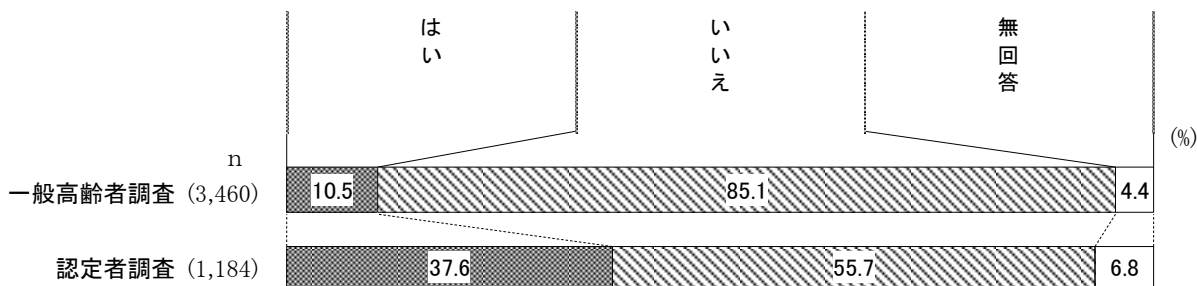
物忘れが多いと感じる割合を居住地区別に見ると、該当者は、十条台（46.7%）、十条（45.5%）、東田端（45.1%）、滝野川東（44.7%）の順で多く、最も少ないのは赤羽の32.6%となっています。



(2) 物忘れの周囲の反応

Q2. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか。

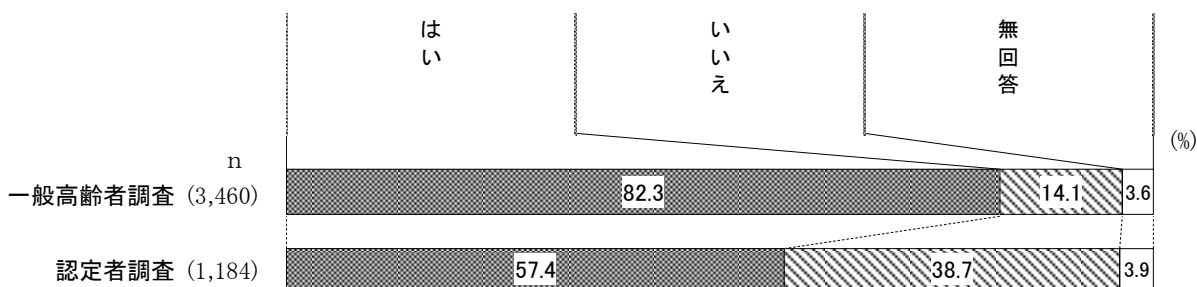
一般高齢者調査では10.5%、認定者調査では37.6%が「はい」（物忘れがあるとされる）と回答しています。



(3) 電話の使用

Q3. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

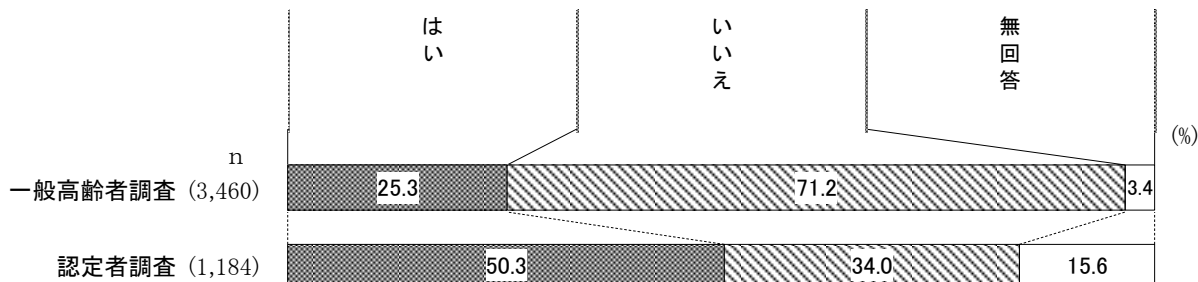
一般高齢者調査では82.3%、認定者調査では57.4%が「はい」（自分で調べて電話をかける）と回答しています。



(4) 日付の忘却

Q4. 今日が何月何日かわからない時がありますか。

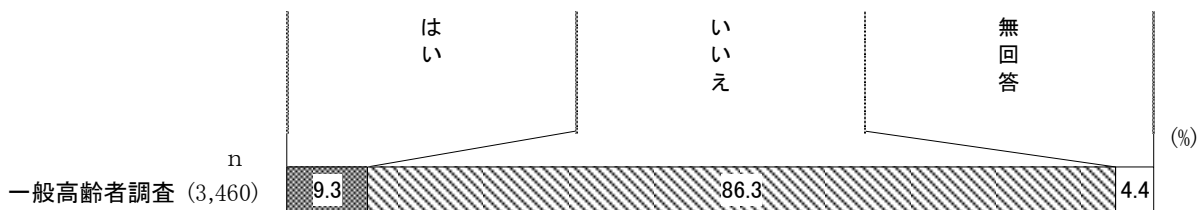
一般高齢者調査では25.3%、認定者調査では50.3%が「はい」（今日が何月何日かわからない時がある）と回答しています。



(5) 家族の認知症症状の有無

Q5. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。

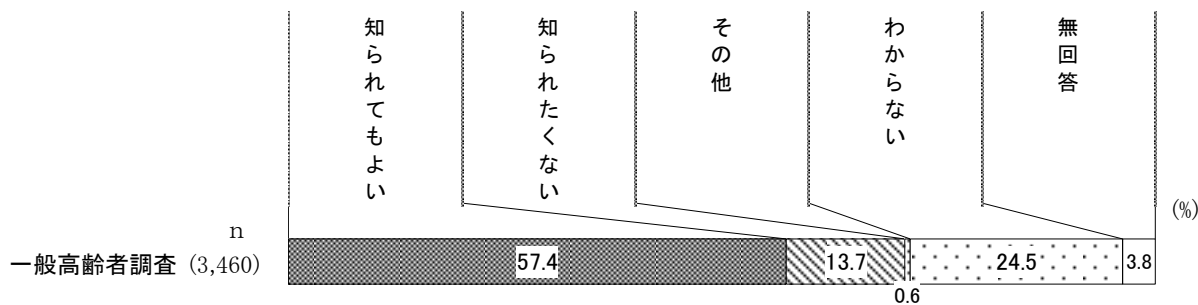
9.3%が「はい」（自分または家族に認知症の症状がある）と回答しています。



(6) 認知症になった場合の周囲の認知

Q6. あなた自身が認知症になったら、周囲に知られてもよいと思いますか。（○は1つ）

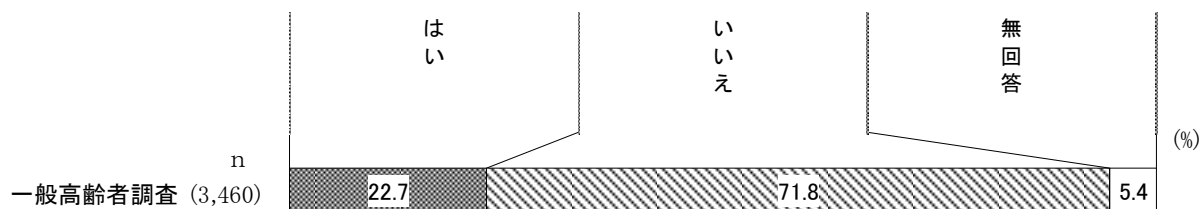
「知られてもよい」が57.4%と、「知られたくない」の13.7%を大きく上回っています。



(7) 認知症相談窓口の認知度

Q7. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

22.7%が「はい」（知っている）と回答しています。



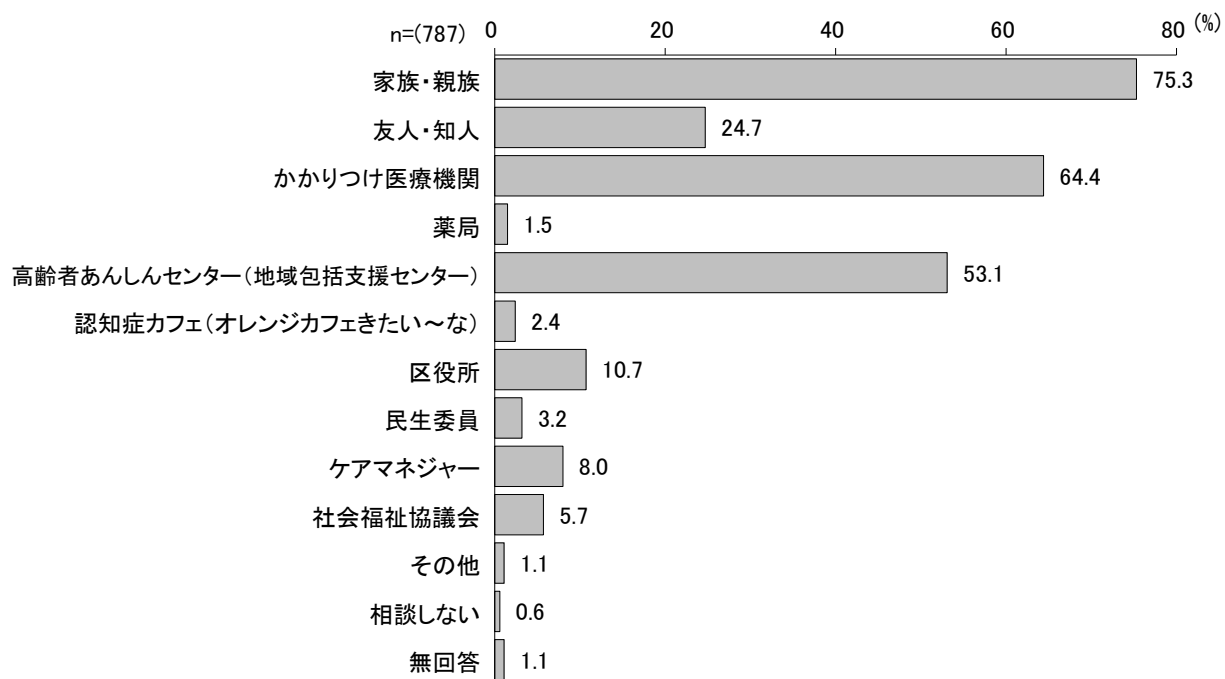
(8) 物忘れや認知症の相談先

Q7で「1. はい」と答えた方におうかがいします。

Q8. 物忘れや認知症の不安がある時、どこに（誰に）相談をしますか。

（あてはまるものすべてに○）

認知症相談窓口を知っている人の相談相手は、「家族・親族」が75.3%と最も多く、次いで「かかりつけ医療機関」（64.4%）、「高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）」（53.1%）、「友人・知人」（24.7%）となっています。

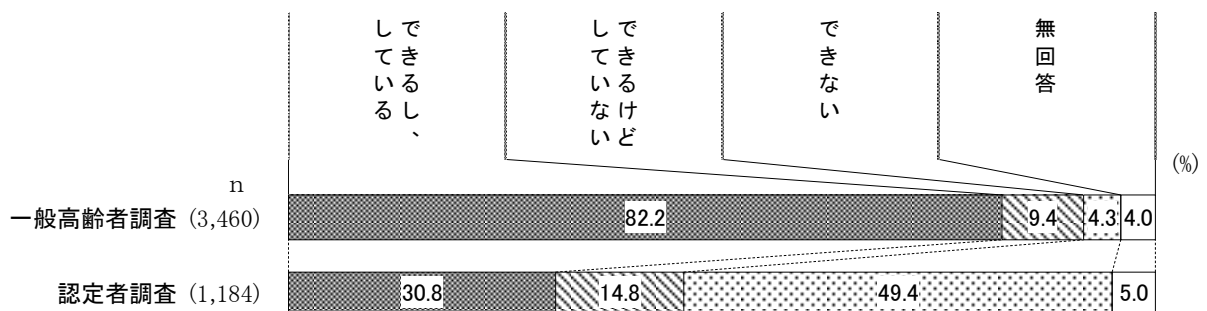


## 5. 毎日の生活

### (1) 1人での外出

Q1. バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）

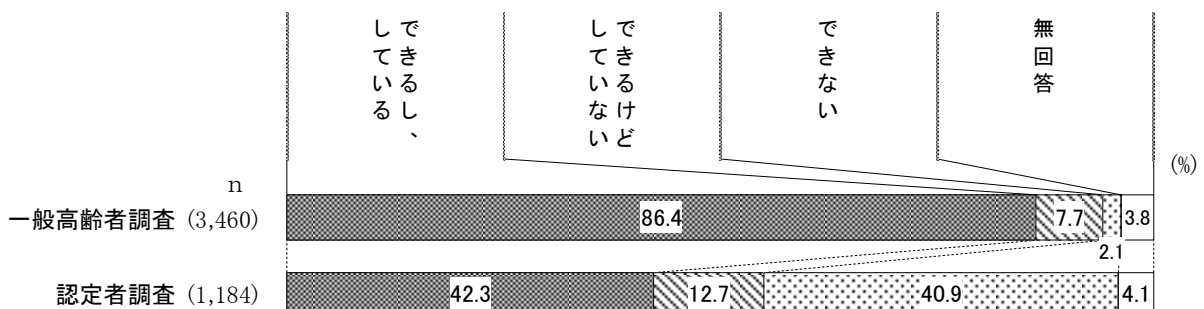
一般高齢者調査では、「できるし、している」が82.2%を占めますが、認定者調査では30.8%にとどまり、「できない」の49.4%よりも少なくなっています。



### (2) 食品・日用品の買物

Q2. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ）

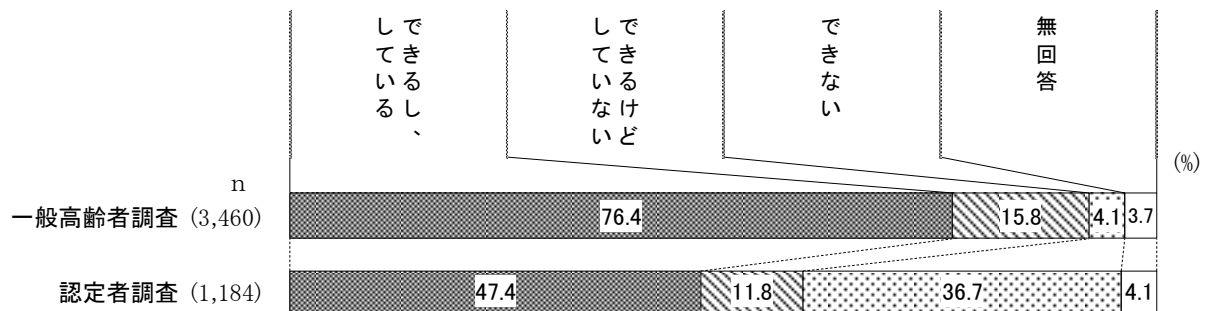
一般高齢者調査では、「できるし、している」が86.4%を占めますが、認定者調査では42.3%で、「できない」の40.9%に近い数字となっています。



(3) 食事の用意

Q3. 自分で食事の用意をしていますか。(〇は1つ)

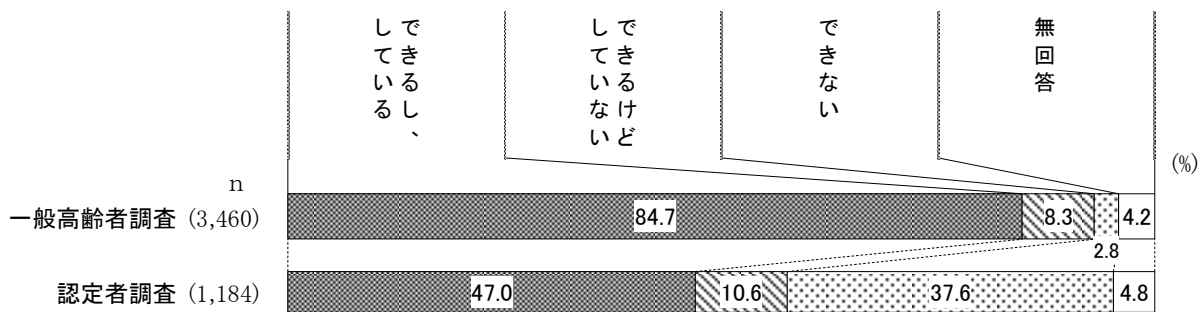
一般高齢者調査では、「できるし、している」が76.4%ですが、認定者調査では47.4%で、「できない」が36.7%となっています。



(4) 請求書の支払い

Q4. 自分で請求書の支払いをしていますか。(〇は1つ)

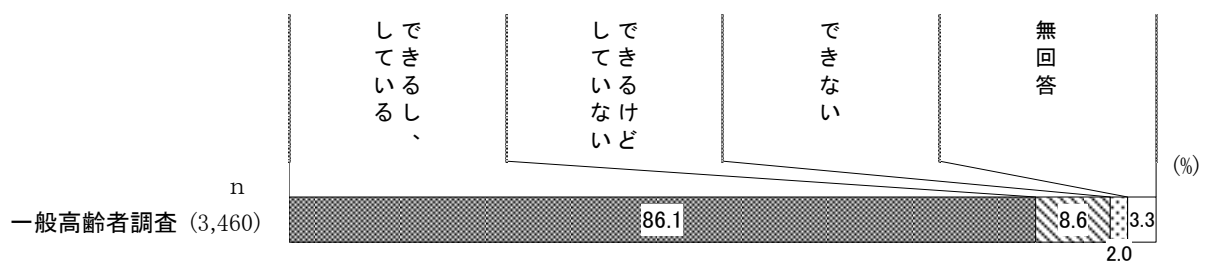
一般高齢者調査では、「できるし、している」が84.7%を占めますが、認定者調査では47.0%で、「できない」が37.6%となっています。



(5) ごみ出し

Q5. 自分でごみ出しをしていますか。(〇は1つ)

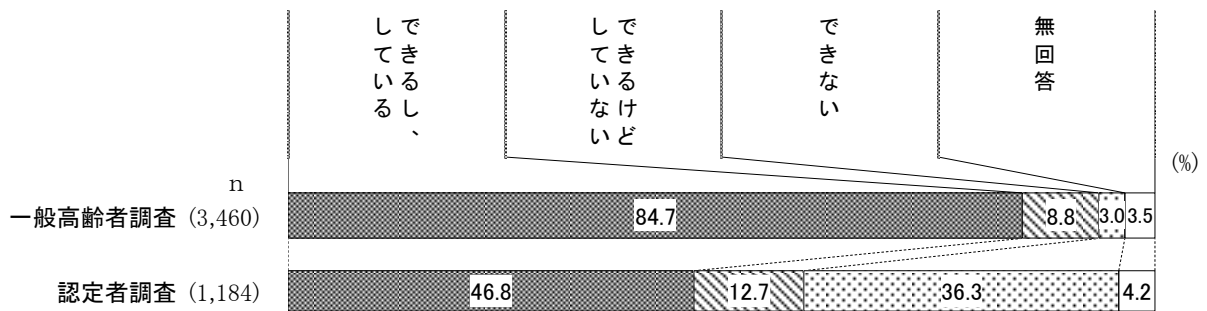
「できるし、している」が86.1%を占めています。



(6) 預貯金の出し入れ

Q6 Q5. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(〇は1つ)

一般高齢者調査では、「できるし、している」が84.7%を占めますが、認定者調査では46.8%で、「できない」が36.3%となっています。



〈IADL※ リスク〉

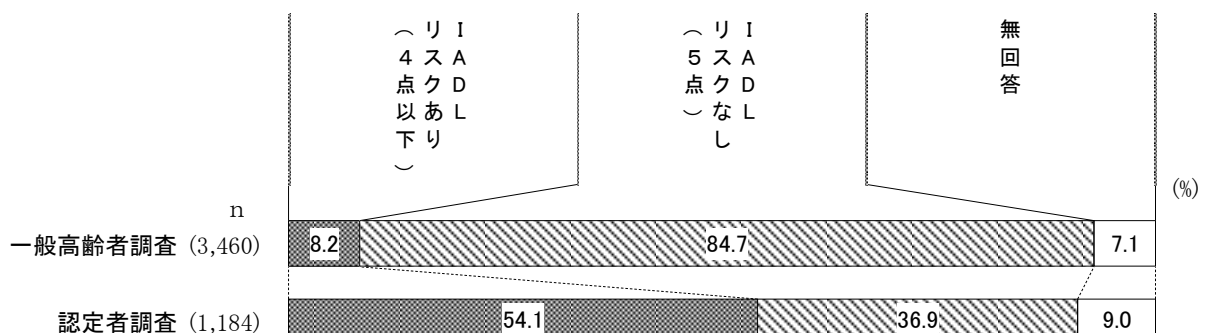
※「IADL」とは、手段的日常生活動作のことで、「掃除・料理・洗濯・買い物などの家事や交通機関の利用、電話対応などのコミュニケーション、スケジュール調整、服薬管理、金銭管理、趣味」などの複雑な動作を指します。

下記の5項目中、1つでもできない場合は、本調査において『IADL機能低下リスクがある高齢者』としました。

- バスや電車を使って1人で外出 (Q1)
- 自分で食品・日用品の買い物 (Q2)
- 自分で食事の用意 (Q3)
- 自分で請求書の支払い (Q4)
- 自分で預貯金の出し入れ (Q6 Q5)

※参考：介護予防・日常生活圏域二一ズ調査実施の手引き（令和4年8月）

一般高齢者調査では、「IADLリスクなし」が84.7%を占めますが、認定者調査では36.9%で、「IADLリスクあり」(54.1%)の方が多くなっています。

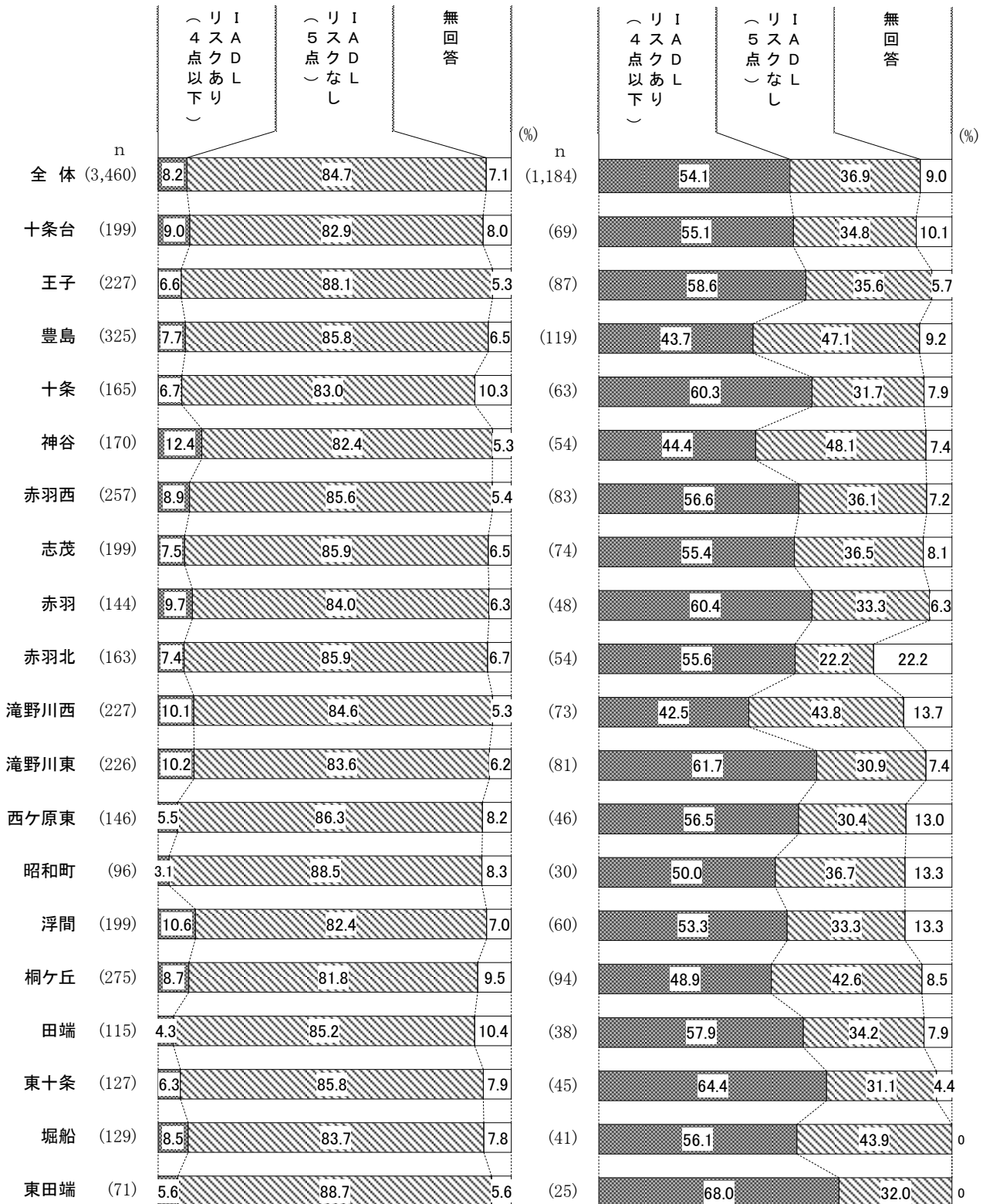


〈居住地区別/IADLリスク〉

居住地区別で見ると、「IADLリスクなし」は一般高齢者調査では、東田端（88.7%）、昭和町（88.5%）、王子（88.1%）の順で多く、認定者調査では、神谷（48.1%）、豊島（47.1%）、滝野川西（43.8%）の3地区で「IADLリスクなし」が「IADLリスクあり」を上回っています。

【一般高齢者調査】

【認定者調査】



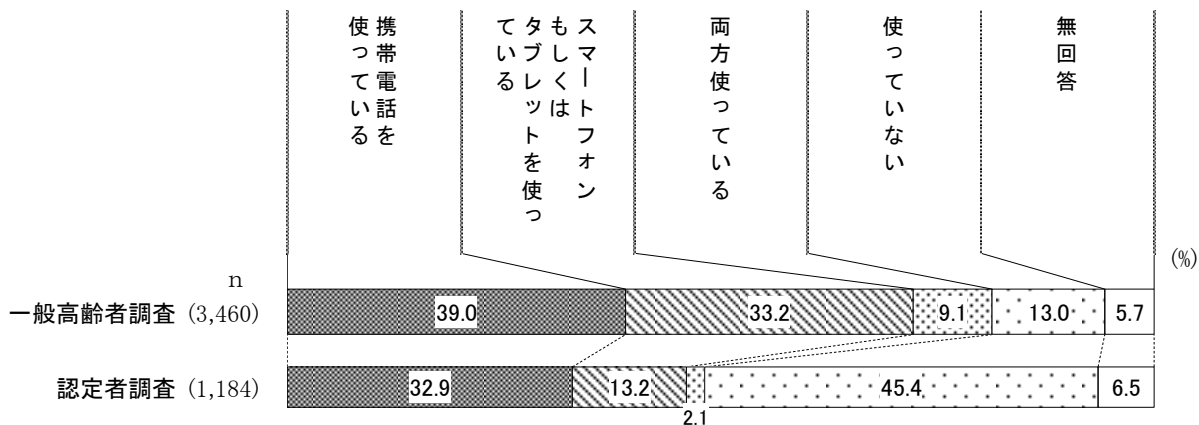


(7) スマートフォン等の使用状況

☐Q7認Q6. 携帯電話またはスマートフォン・タブレットを使っていますか。(○は1つ)

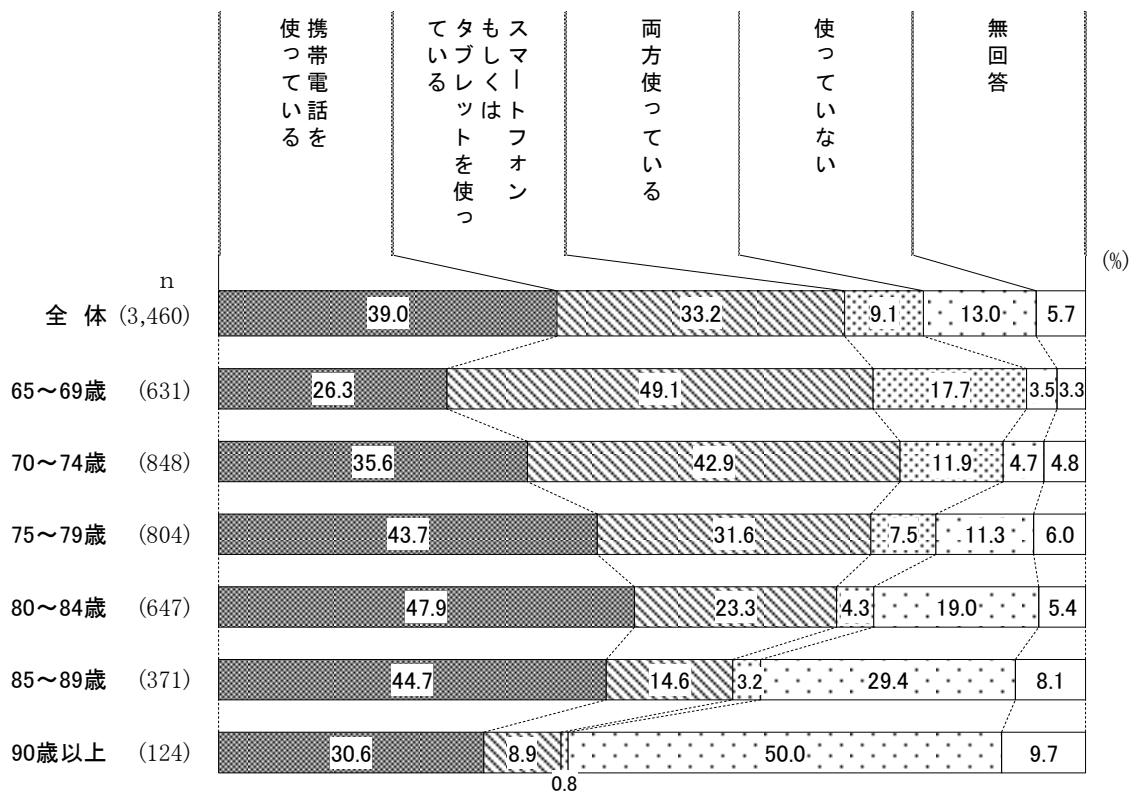
一般高齢者調査では、「携帯電話を使っている」が39.0%と最も多く、次いで「スマートフォンもしくはタブレットを使っている」が33.2%となっています。

認定者調査では、「使っていない」が45.4%と半数近くで、「携帯電話を使っている」が32.9%、「スマートフォンもしくはタブレットを使っている」が13.2%となっています。



〈一般高齢者調査：年齢別／スマートフォン等の使用状況〉

一般高齢者調査を年齢別に見ると、「スマートフォンもしくはタブレットを使っている」と「両方使っている」は低年齢層ほど高く、「使っていない」は高年齢層ほど高くなっています。また、「携帯電話を使っている」は80～84歳（47.9%）で半数近くとなっています。



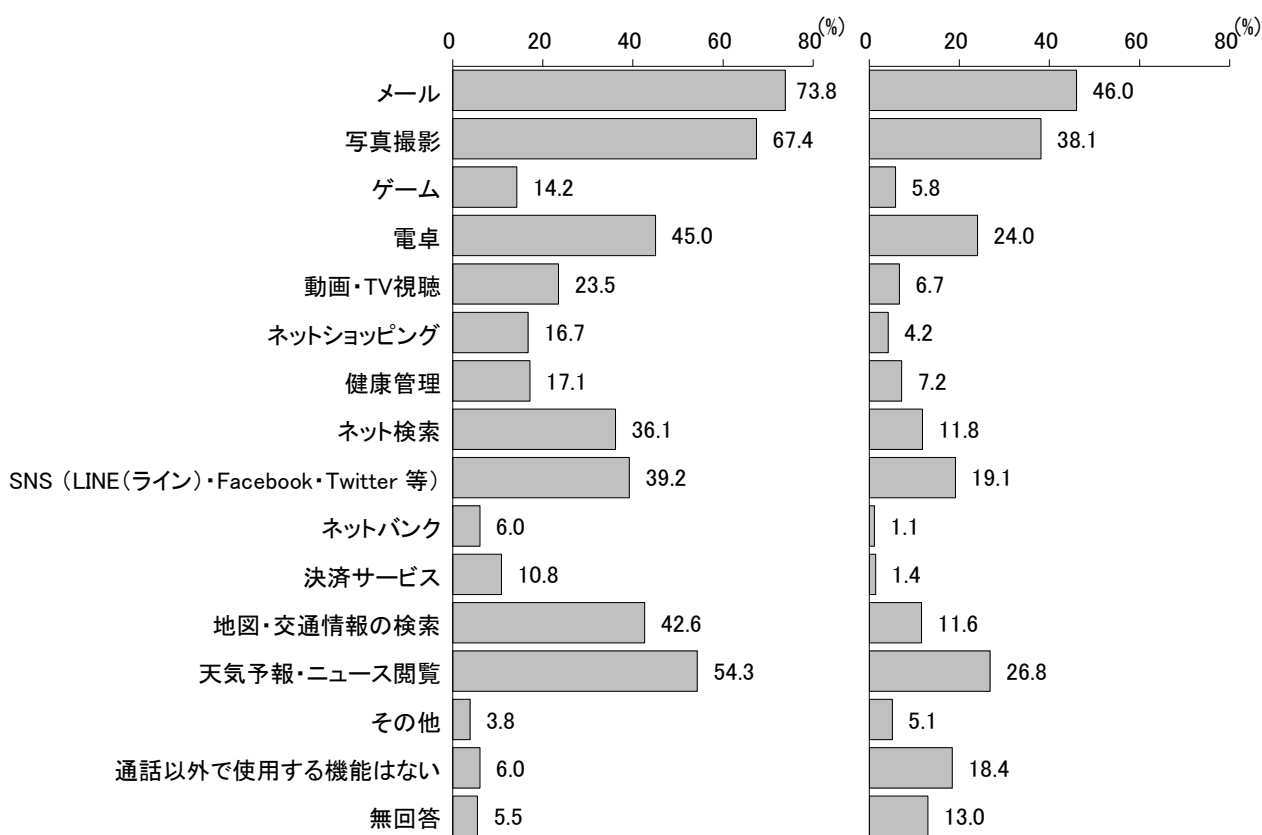
(8) 通話以外の使用用途

【☐Q7☑Q6で「1. 携帯電話を使っている」「2. スマートフォンもしくはタブレットを使っている」「3. 両方使っている」と答えた方にうかがいます。】

☐Q8☑Q7. 通話以外でどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)

いずれの調査も「メール」、「写真撮影」、「天気予報・ニュース閲覧」、「電卓」の順で高く、一般高齢者調査では、「地図・交通情報の検索」(42.6%)、「SNS」(39.2%)、「ネット検索」(36.1%)が3割以上でこれらに続いています。

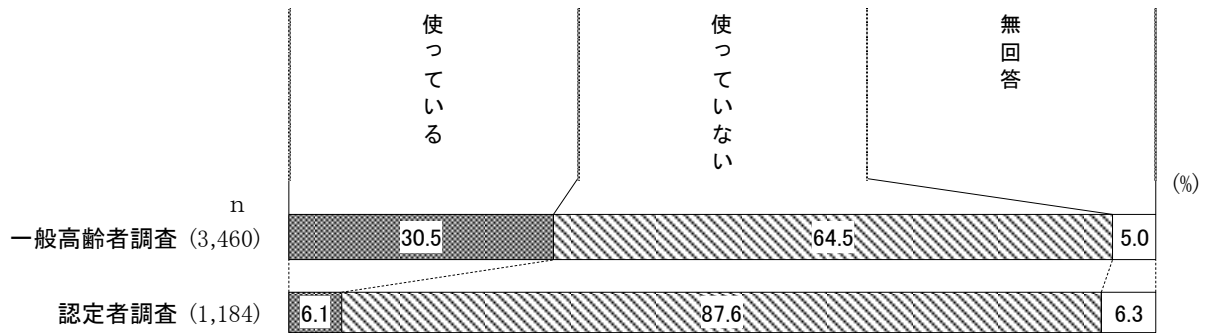
【一般高齢者調査 (n=2,812)】 【認定者調査 (n=570)】



(9) パソコンの使用状況

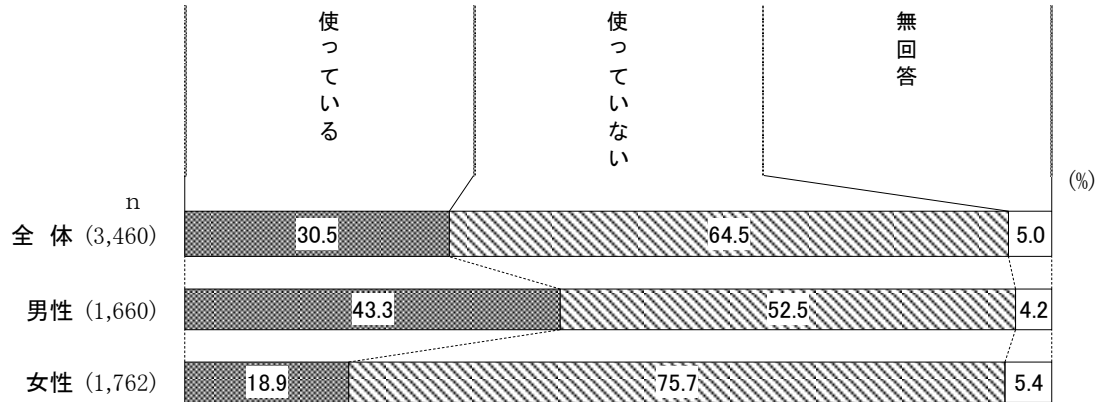
☐Q9認Q8. パソコンを使っていますか。

「使っている」は、一般高齢者調査で30.5%、認定者調査で6.1%となっています。



〈一般高齢者調査：性別／パソコンの使用状況〉

一般高齢者調査を性別に見ると、「使っている」は男性の43.3%に対して、女性は18.9%と半数未満となっています。

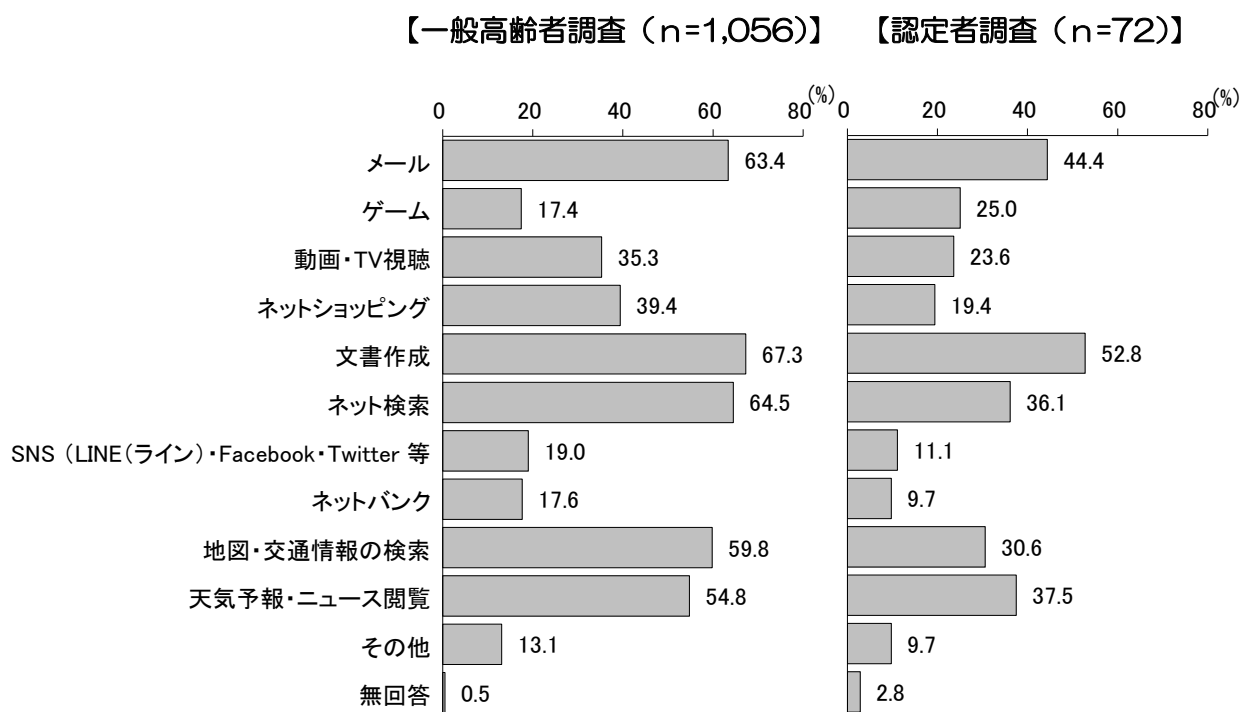


(10) パソコンの使用目的

【Q9 Q8で「1. 使っている」と答えた方に伺います】  
Q10 Q9. どのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてに○)

一般高齢者調査では、「文書作成」(67.3%)、「ネット検索」(64.5%)、「メール」(63.4%)、「地図・交通情報の検索」(59.8%)、「天気予報・ニュース閲覧」(54.8%)の順で多く、いずれも5割以上となっています。

認定者調査では、「文書作成」(52.8%)が5割以上で、以下、「メール」(44.4%)、「天気予報・ニュース閲覧」(37.5%)、「ネット検索」(36.1%)、「地図・交通情報の検索」(30.6%)と続いています。

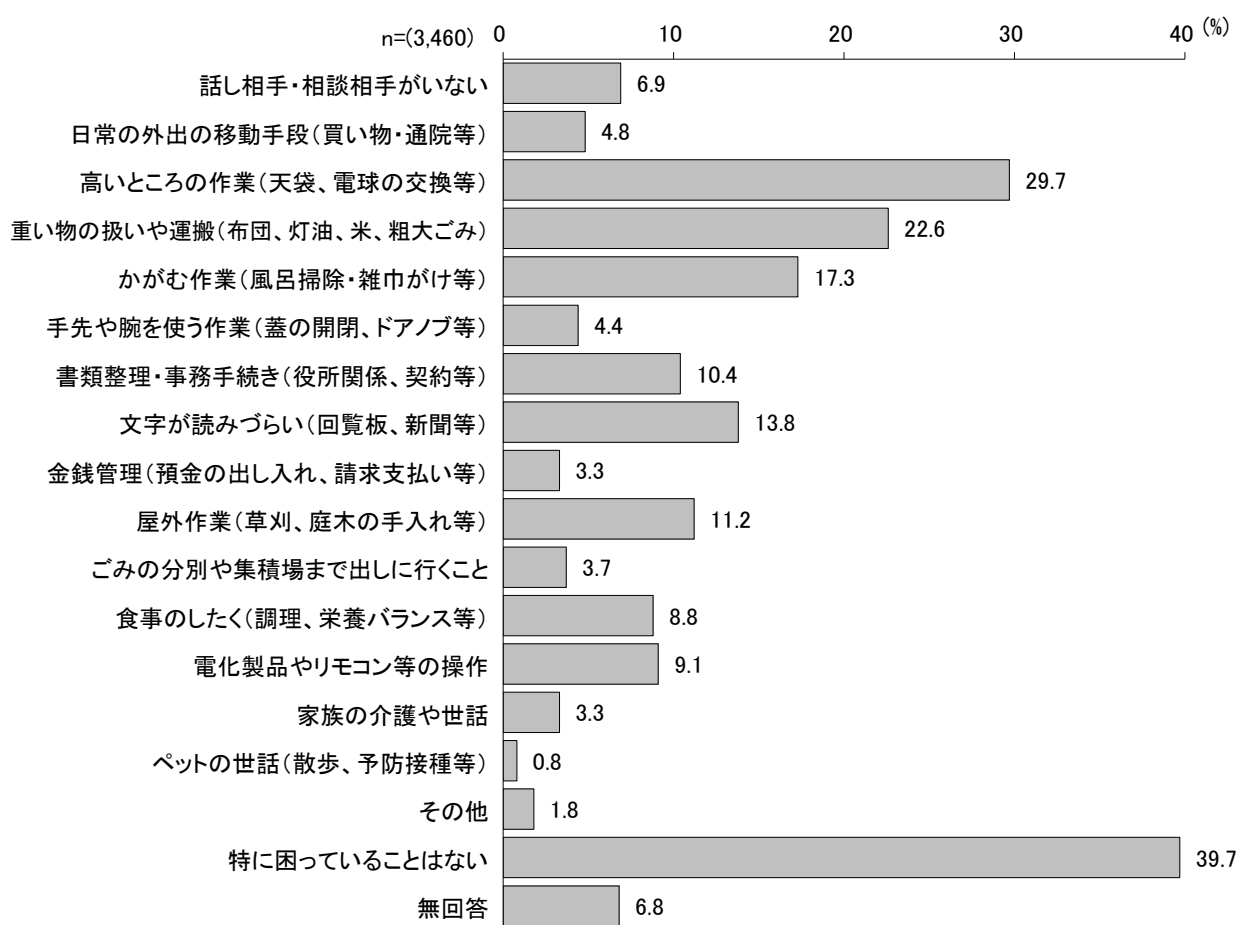


(11) 日常生活で困っていること

Q11. あなたが現在日常生活の中で困っていることは何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

全体から「特に困っていることはない」と無回答を除いた53.5%が何らかの困りごとを挙げています。

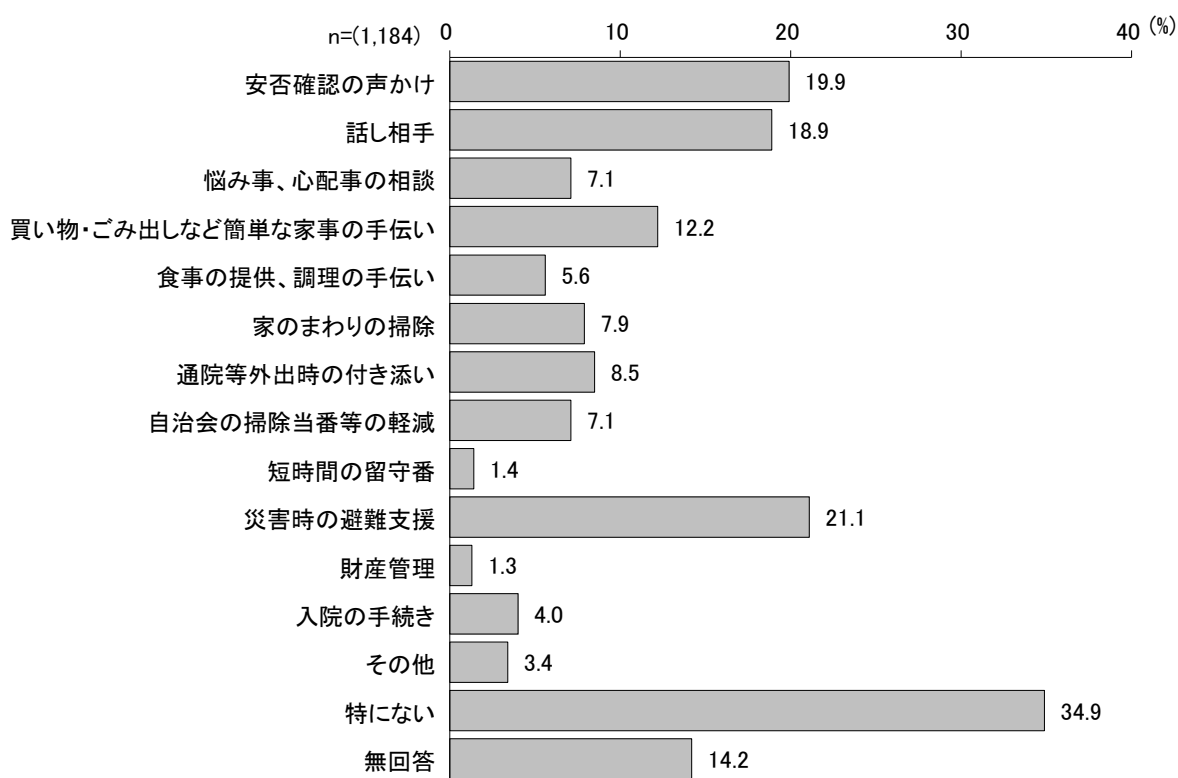
「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」が29.7%で最も多く、以下、「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ごみ）」（22.6%）、「かがむ作業（風呂掃除・雑巾がけ等）」（17.3%）、「文字が読みづらい（回覧板、新聞等）」（13.8%）と続いています。



(12) 近所の人に手助けをしてほしいこと

認Q10. あなたが日常生活で、近所の人に手助けをしてほしいことがあれば、それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

全体から「特にない」と無回答を除いた50.9%が、手助けしてほしいことを挙げています。「災害時の避難支援」(21.1%)、「安否確認の声かけ」(19.9%)、「話し相手」(18.9%)が2割前後で多くなっています。



〈家族構成別／近所の人に手助けをしてほしいこと〉

家族構成別に見ると、「災害時の避難支援」や「話し相手」は“1人暮らし”と“息子・娘との2世帯”で多く、「安否確認の声かけ」や「買い物・ごみ出しなど簡単な家事手伝い」は“1人暮らし”で多くなっています。

(%)

	回答者数	安否確認の声かけ	話し相手	悩み事、心配事の相談	買い物・ごみ出しなど簡単な家事の手伝い	食事の提供、調理の手伝い	家のまわりの掃除	通院等外出時の付き添い	自治会の掃除当番等の軽減
認定者／全体	1,184	19.9	18.9	7.1	12.2	5.6	7.9	8.5	7.1
1人暮らし	607	25.7	18.9	8.1	16.1	5.6	10.7	9.2	9.1
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	123	12.2	9.8	2.4	9.8	4.9	4.1	6.5	5.7
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	18	11.1	16.7	5.6	11.1	-	-	5.6	5.6
息子・娘との2世帯	195	15.4	21.5	7.2	9.2	6.2	5.1	9.2	5.6
その他	185	14.6	23.2	7.6	5.9	5.9	7.0	8.6	4.9

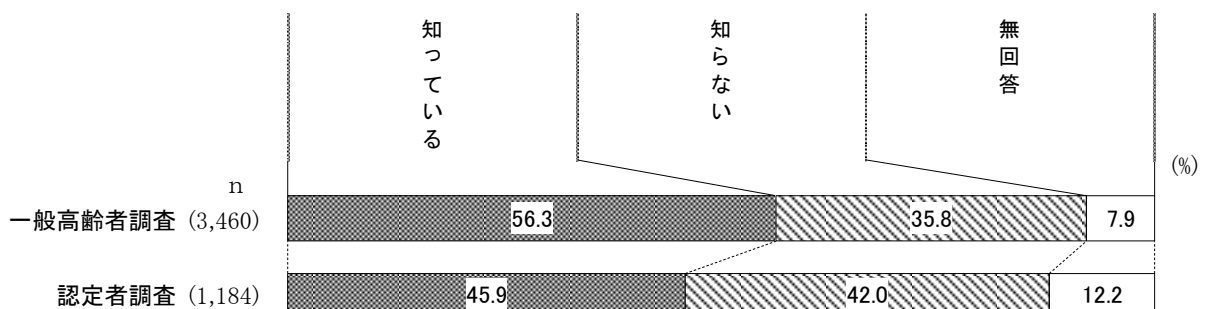
	回答者数	短時間の留守番	災害時の避難支援	財産管理	入院の手続き	その他	特にない	無回答
認定者／全体	1,184	1.4	21.1	1.3	4.0	3.4	34.9	14.2
1人暮らし	607	0.8	24.4	1.2	4.8	3.6	27.7	12.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	123	2.4	18.7	0.8	4.1	1.6	48.8	15.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	18	-	16.7	-	-	-	44.4	11.1
息子・娘との2世帯	195	3.6	24.1	1.5	3.6	1.5	44.1	10.8
その他	185	0.5	14.6	2.2	2.7	5.4	40.0	14.6

(13) 成年後見制度の認知状況

Q12  Q11. 成年後見制度※をご存じですか。(○は1つ)

※成年後見制度：認知症などで物事の判断が困難になった場合、本人に代わって財産管理や契約行為等を行う後見人を選定し、法的に保護・支援する制度です。後見人には、家族や親族の他に弁護士・司法書士・社会福祉士などが選任されます。

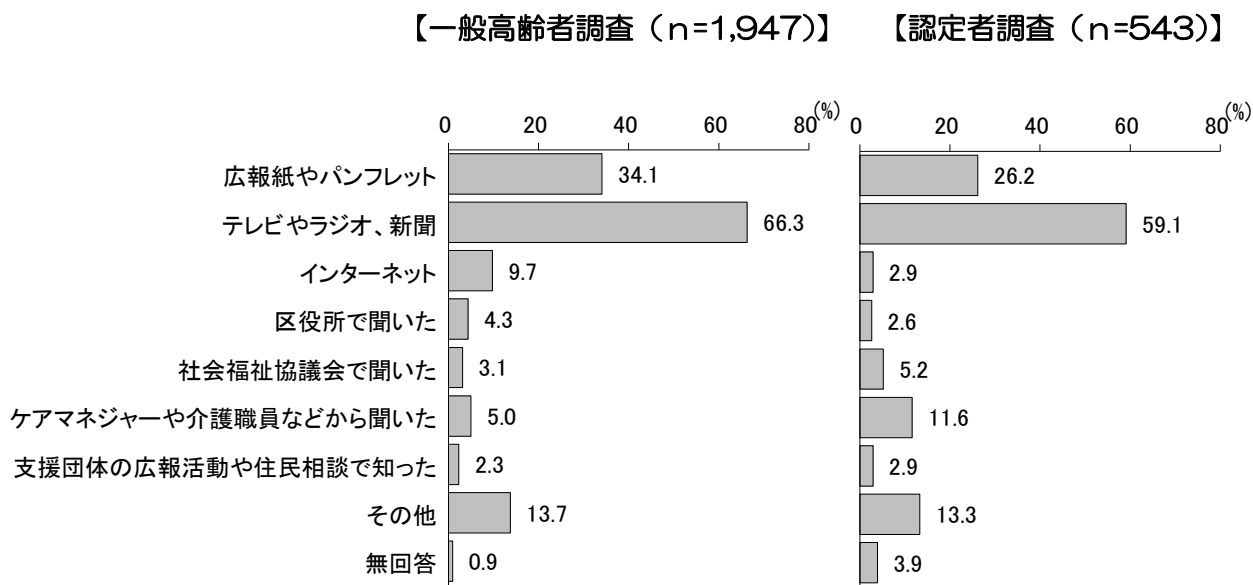
「知っている」は、一般高齢者調査で56.3%、認定者調査で45.9%となっています。



(14) 成年後見制度の認知媒体

【Q12 Q11で「1. 知っている」と答えた方に伺います】  
Q13 Q12. どのようにして知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

いずれの調査も「テレビやラジオ、新聞」「広報紙やパンフレット」の順で多く、一般高齢者調査では「インターネット」、認定者調査では「ケアマネジャーや介護職員などから聞いた」がこれらに続いています。



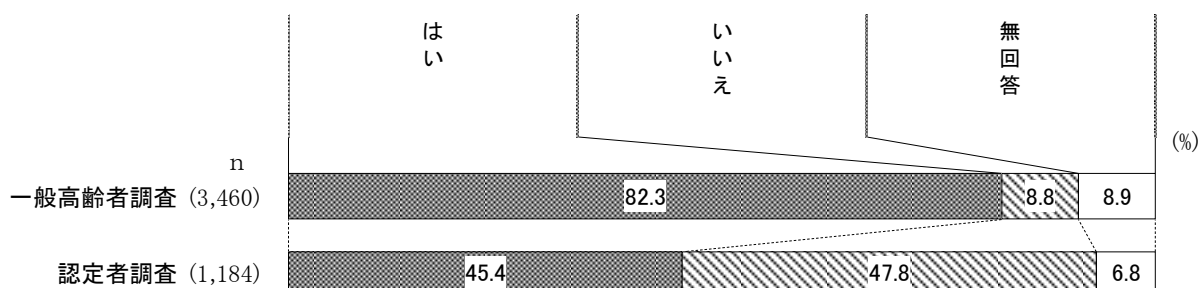


## 6. 社会参加

### (1) 書類の記入

Q1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

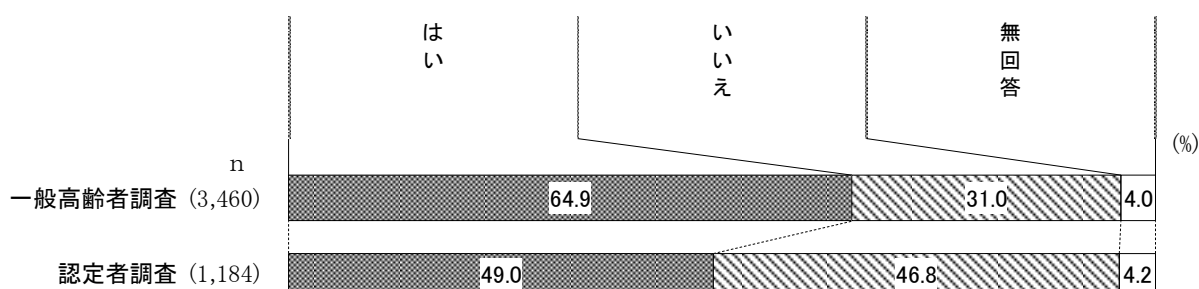
「はい」（書ける）は、一般高齢者調査で82.3%ですが、認定者調査では45.4%で、「いいえ」（書けない）よりも少なくなっています。



### (2) 新聞閲読

Q2. 新聞を読んでいますか。

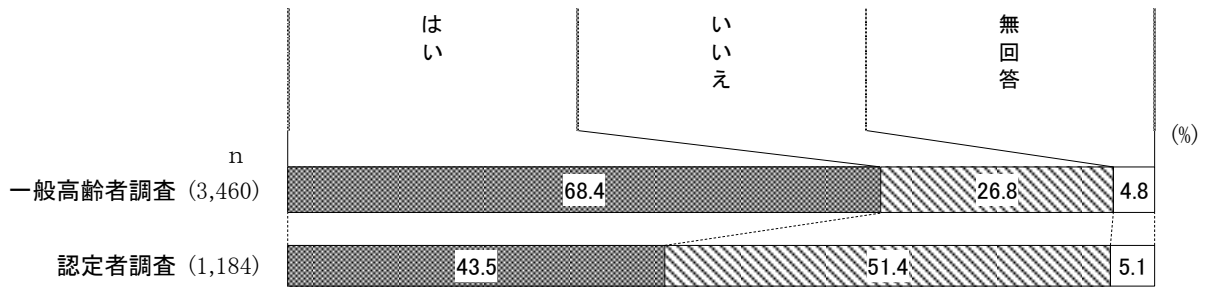
「はい」（読んでいる）は、一般高齢者調査で64.9%、認定者調査で49.0%となっています。



(3) 本や雑誌の閲読

Q3. 本や雑誌を読んでいますか。

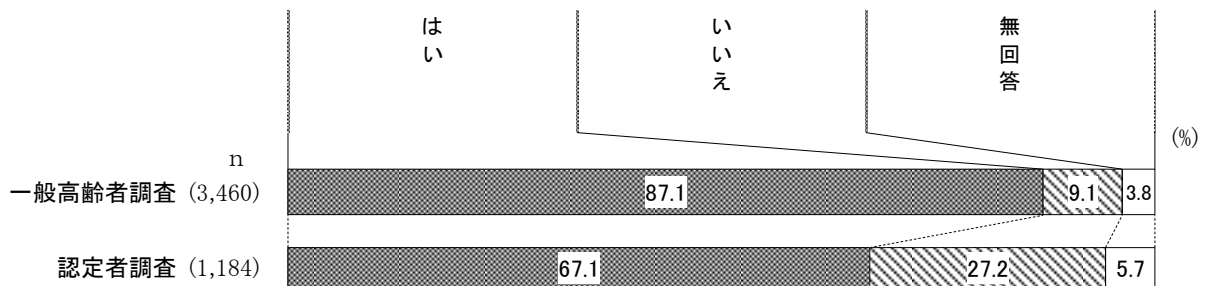
「はい」（読んでいる）は、一般高齢者調査で68.4%、認定者調査で43.5%となっています。



(4) 健康記事、番組への関心

Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか。

「はい」（関心がある）は、一般高齢者調査で87.1%、認定者調査で67.1%となっています。



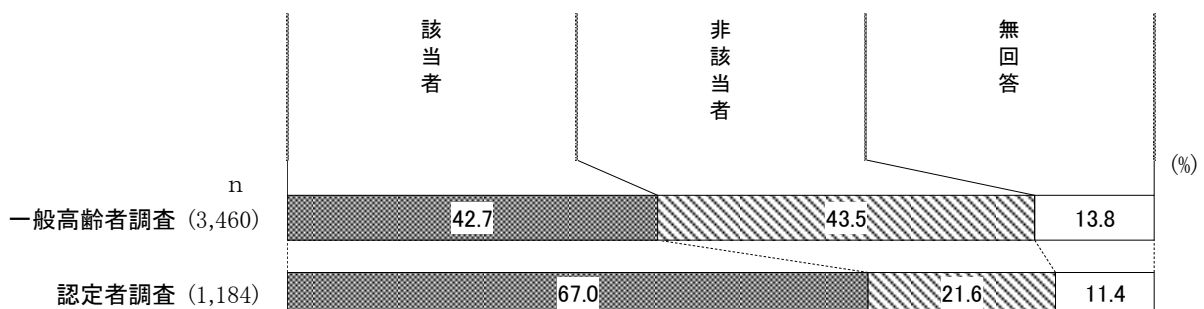
〈知的能動性の低下〉

下記の4項目中、1つでも「いいえ」（書けない、読んでいない、関心がない）に該当する場合は、本調査において『知的能動性の低下リスクがある高齢者』としました。

- 書類の記入（Q1）
- 新聞閲読（Q2）
- 本や雑誌の閲読（Q3）
- 健康記事、番組への関心（Q4）

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和4年8月）

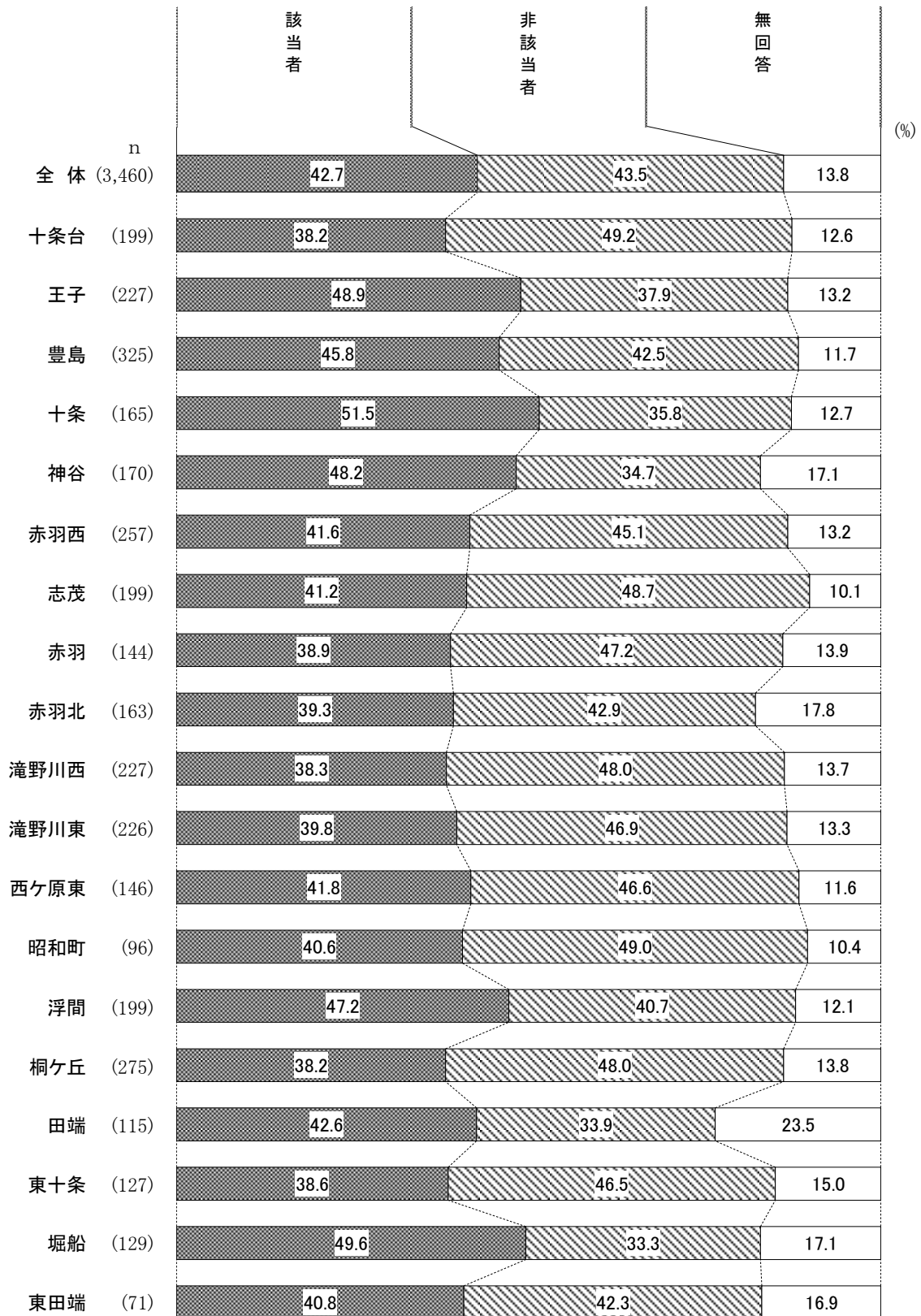
知的能動性の低下への「該当者」は、一般高齢者調査で42.7%、認定者調査で67.0%となっています。



## 第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

### 〈一般高齢者調査：居住地区別／知的能動性の低下〉

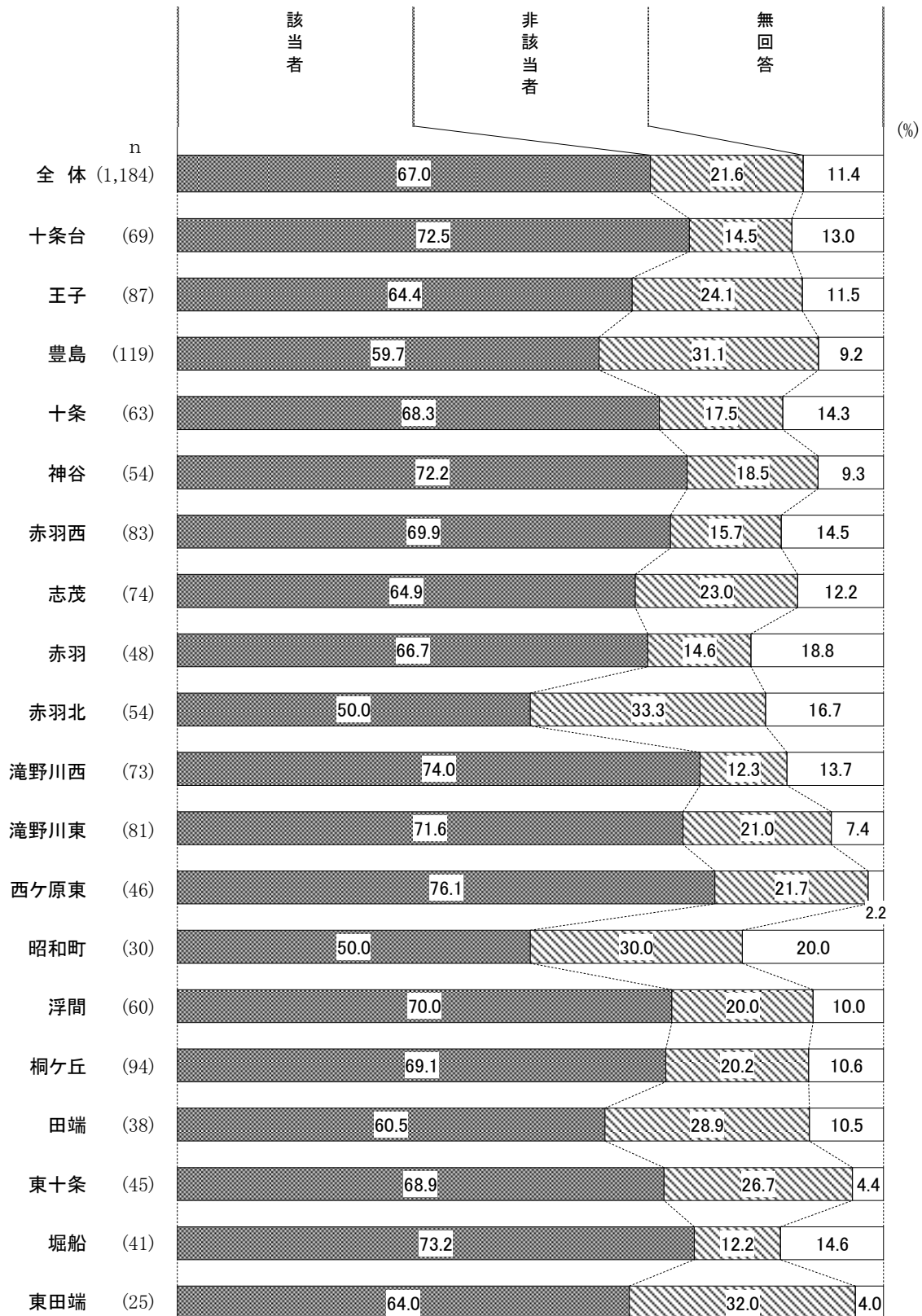
居住地区別に見ると、「該当者」は、十条で51.5%、堀船で49.6%と多くなっています。



## 第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

### 〈認定者調査：居住地区別／知的能動性の低下〉

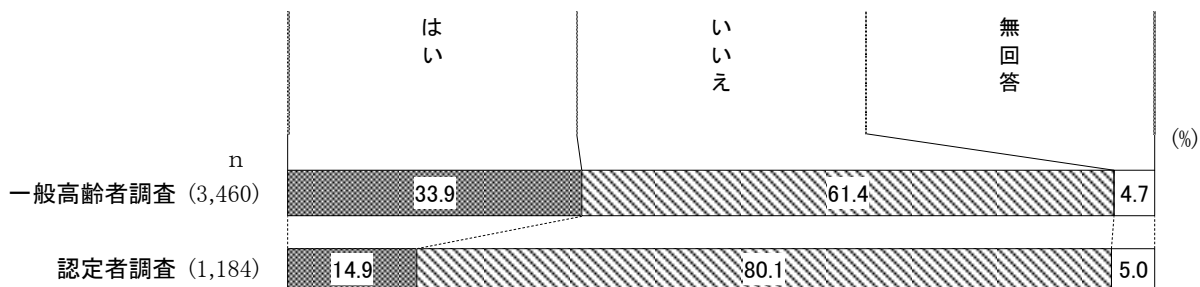
居住地区別に見ると、「該当者」は、西ヶ原東で76.1%と最も多くなっています。一方、赤羽北と昭和町は50.0%となっています。



(5) 友人宅の訪問

Q5. 友人の家を訪ねていますか。

「はい」（訪ねている）は、一般高齢者調査で33.9%、認定者調査で14.9%となっています。

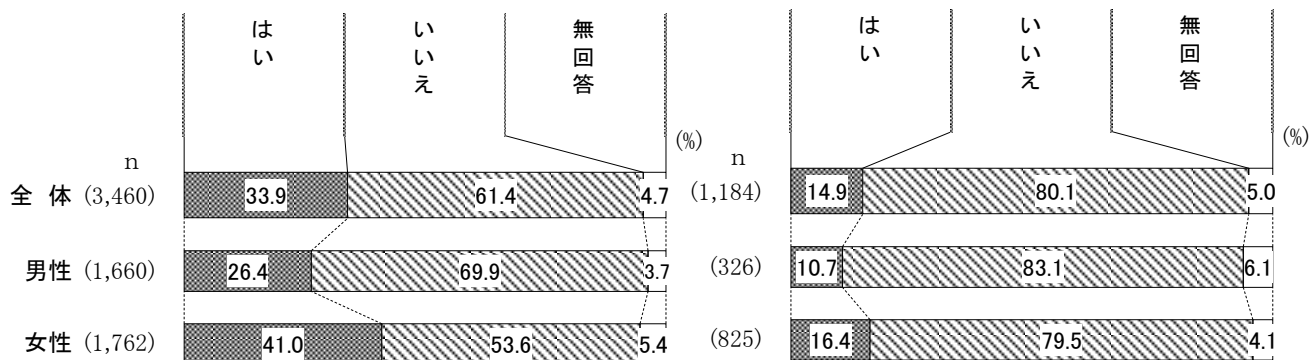


〈性別／友人宅の訪問〉

性別に見ると、いずれの調査も「はい」の割合は、女性が男性の約1.5倍となっています。

【一般高齢者調査】

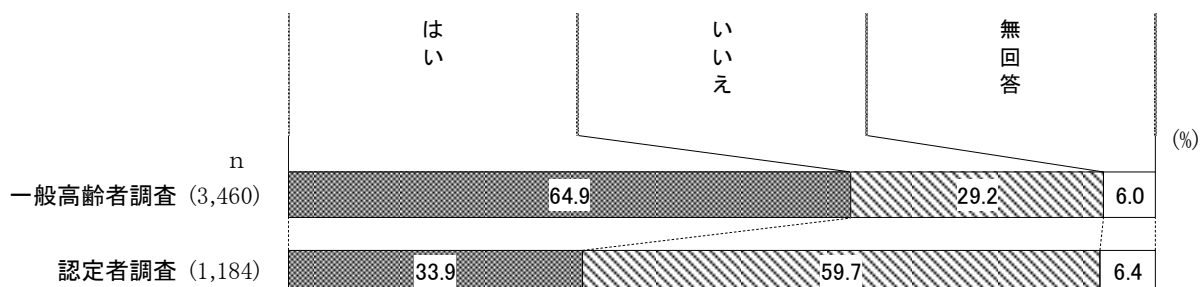
【認定者調査】



(6) 家族や友人からの相談

Q6. 家族や友人の相談にのっていますか。

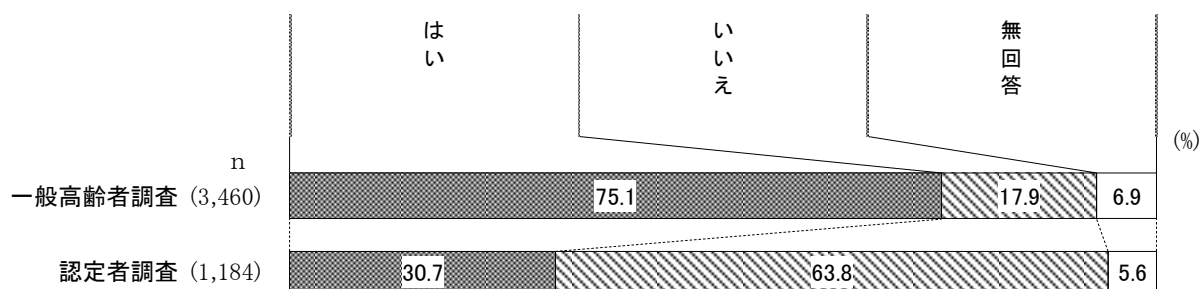
「はい」（相談にのっている）は、一般高齢者調査で64.9%、認定者調査で33.9%となっています。



(7) 病人への見舞い

Q7. 病人を見舞うことができますか。

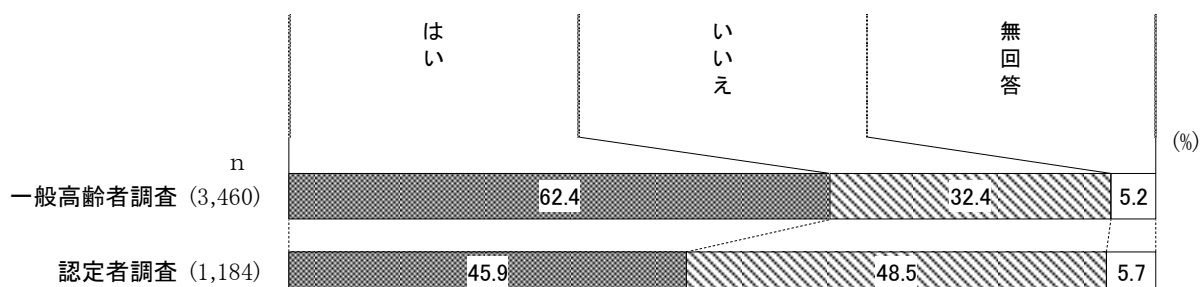
「はい」（見舞うことができる）は、一般高齢者調査で75.1%ですが、認定者調査では30.7%で「いいえ」（63.8%）を大きく下回っています。



(8) 若い人への話しかけ

Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか。

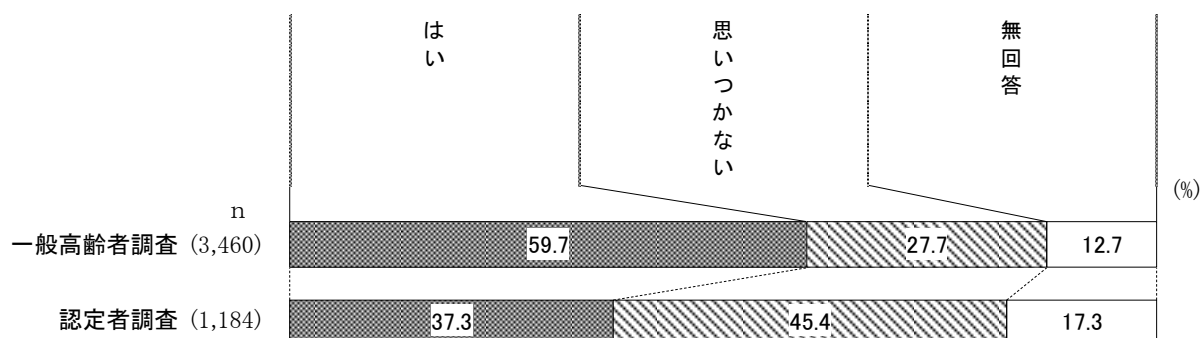
「はい」（話しかける）は、一般高齢者調査で62.4%ですが、認定者調査では45.9%で「いいえ」（48.5%）をわずかに下回っています。



(9) 趣味の有無・内容

Q9. 趣味はありますか。ある方はカッコ内に具体的な内容をお書きください。

「はい」（趣味がある）は、一般高齢者調査で59.7%ですが、認定者調査では37.3%で「思いつかない」（45.4%）を下回っています。



〈趣味の内容／上位10項目〉

趣味の内容について見ると、一般高齢者調査では、「スポーツ（スポーツ鑑賞含む）」が306件と最も多く、次いで「読書」が251件、「手芸・編み物」が203件、「園芸、ガーデニング」が170件となっています。

認定者調査では、「手芸・編み物」が67件と最も多く、次いで「読書」が60件、「カラオケ、コーラス」が56件、「スポーツ（鑑賞含む）」が35件となっています。

一般高齢者		
項目	件数	
1	スポーツ（鑑賞含む）	306
2	読書	251
3	手芸・編み物	203
4	園芸、ガーデニング	170
5	旅行	157
6	ゴルフ	148
7	カラオケ、コーラス	138
8	音楽鑑賞	132
9	散歩（ウォーキング含む）	125
10	美術（鑑賞、絵手紙等含む）	99

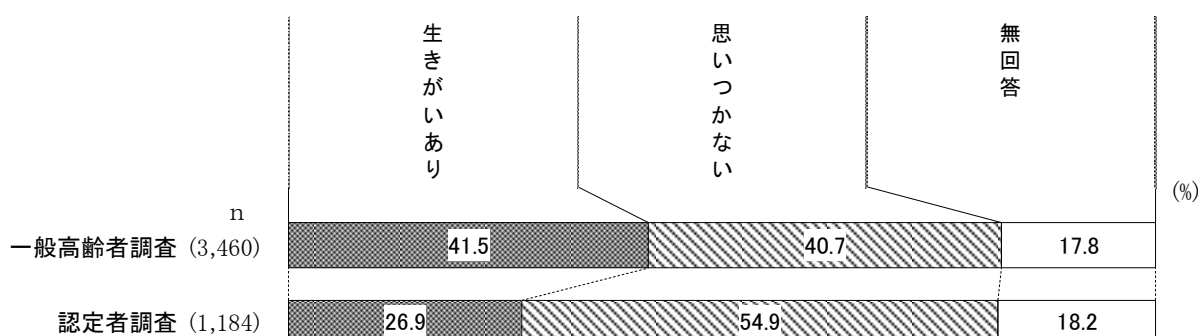
認定者調査		
項目	件数	
1	手芸・編み物	67
2	読書	60
3	カラオケ、コーラス	56
4	スポーツ（鑑賞含む）	35
5	美術（鑑賞、絵手紙等含む）	30
6	園芸、ガーデニング	27
7	音楽鑑賞	24
8	工作	22
9	TV、ラジオ	21
10	ゲーム、パズル、脳トレ	19



(10) 生きがいの有無・内容

Q10. 生きがいはありますか。(〇は1つ)

一般高齢者調査では、「生きがいあり」(41.5%)と「思いつかない」(40.7%)がほぼ同率で、認定者調査では、「生きがいあり」が26.9%と「思いつかない」(54.9%)の約半数となっています。



〈生きがいの内容／上位10項目〉

生きがいの内容について見ると、一般高齢者調査では、「趣味・レジャー」が474件と最も多く、次いで「孫との交流」が255件、「家族との交流」が202件、「仕事」が146件となっています。

認定者調査では、「趣味・レジャー」が71件と最も多く、次いで「孫との交流」が61件、「家族との交流」が40件、「友人との交流」が30件となっています。

一般高齢者			認定者調査		
項目	件数		項目	件数	
1	趣味・レジャー	474	1	趣味・レジャー	71
2	孫との交流	255	2	孫との交流	61
3	家族との交流	202	3	家族との交流	40
4	仕事	146	4	友人との交流	30
5	友人との交流	115	5	健康・元気であること	27
6	健康・元気であること	97	6	食事	15
7	社会活動	62	7	楽しく穏やかな毎日	15
8	楽しく穏やかな毎日	55	8	自立した行動	10
9	ペット・動物との交流	20	9	知識習得	8
10	夢・目標にむかっての行動	18	10	社会活動	7

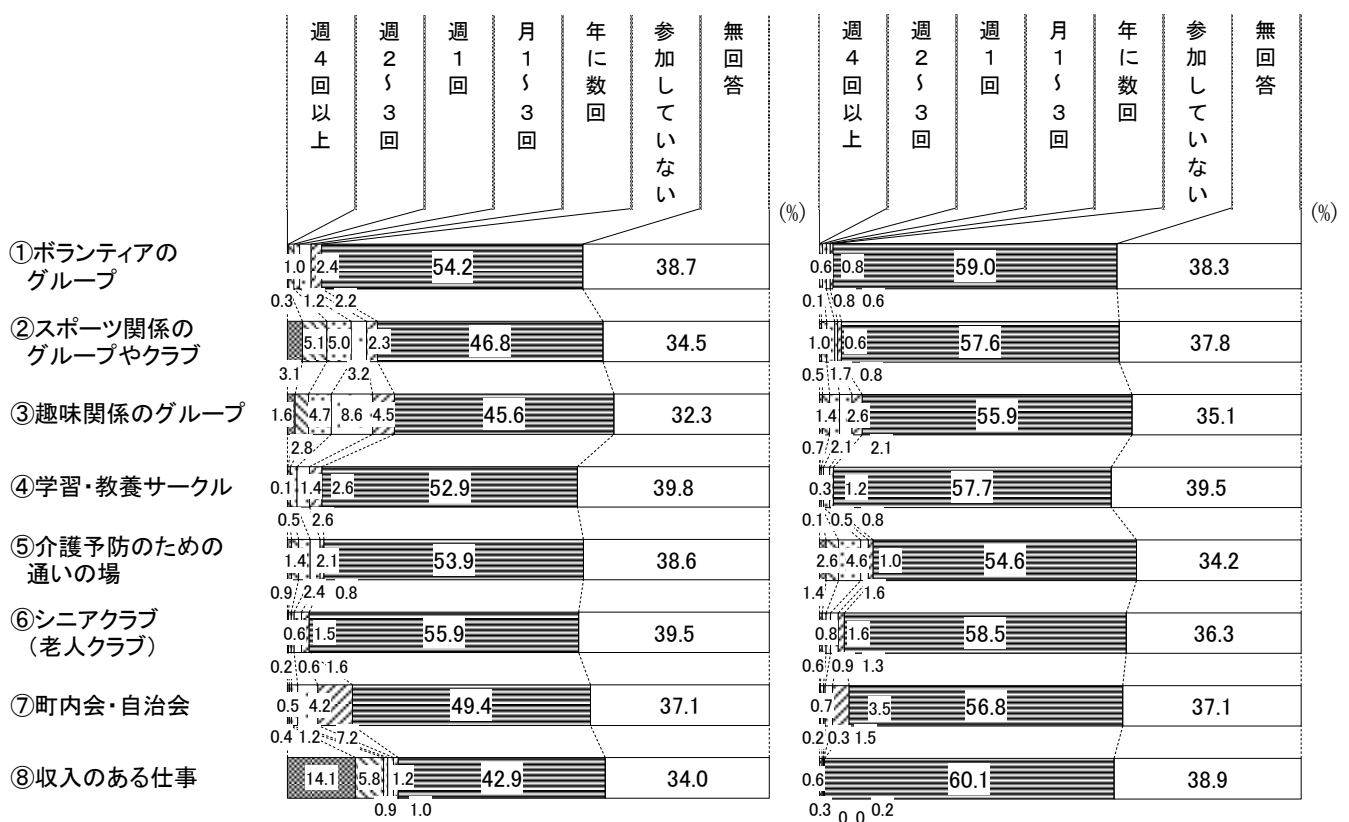
(11) 地域活動への参加頻度

Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

一般高齢者調査では、“収入のある仕事”と“趣味関係のグループ”への参加は2割を超え、“スポーツ関係のグループやクラブ”で2割弱となっています。  
 認定者調査では、“介護予防のための通いの場”への参加が1割を超えています。

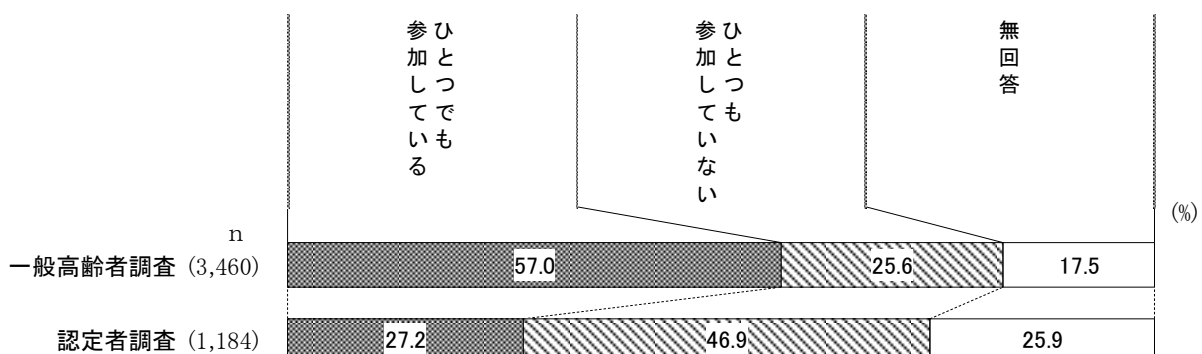
【一般高齢者調査 (n=3,460)】

【認定者調査 (n=1,184)】



〈地域活動にひとつでも参加している方〉

「ひとつでも参加している」は、一般高齢者調査で57.0%ですが、認定者調査では27.2%で「ひとつも参加していない」(46.9%)を大きく下回っています。



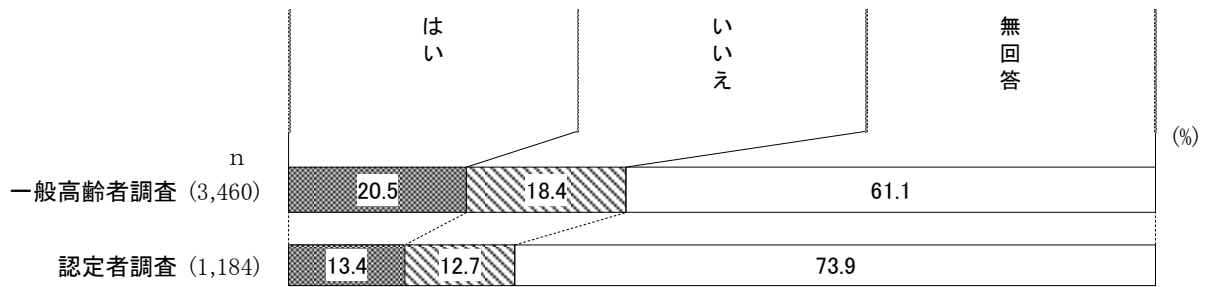
(12) 徒歩15分圏内の会・グループ

【会・グループに参加している人にかがいます】

Q12. 参加活動の場所には、ご自宅から徒歩15分以内のものがありますか。

いずれの調査も無回答が大半を占めています。

「はい」（ある）は、一般高齢者調査で20.5%、認定者調査で13.4%となっています。



(13) 地域づくりの参加意向

Q13. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者や企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

〈①参加者として〉

一般高齢者調査では、「参加しても良い」が35.6%と「参加したくない」が34.4%で拮抗していて、「是非参加したい」は4.6%、「既に参加している」が4.2%となっています。

認定者調査では、「参加したくない」が45.9%と最も多く、「参加しても良い」が21.5%、「是非参加したい」が3.9%、「既に参加している」が2.6%となっています。

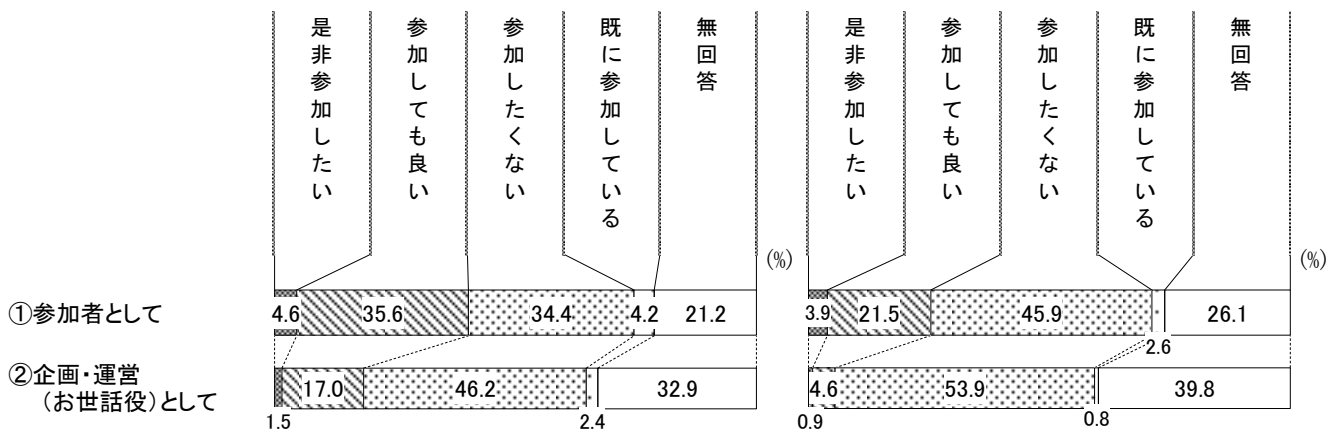
〈②企画・運営（お世話役）として〉

一般高齢者調査では、「参加したくない」が46.2%と最も多く、「参加しても良い」が17.0%、「既に参加している」が2.4%、「是非参加したい」が1.5%となっています。

認定者調査では、「参加したくない」が53.9%と半数を超えて最も多く、「参加しても良い」が4.6%、「是非参加したい」が0.9%、「既に参加している」が0.8%となっています。

【一般高齢者調査 (n=3,460)】

【認定者調査 (n=1,184)】



(14) 地域活動への参加経験

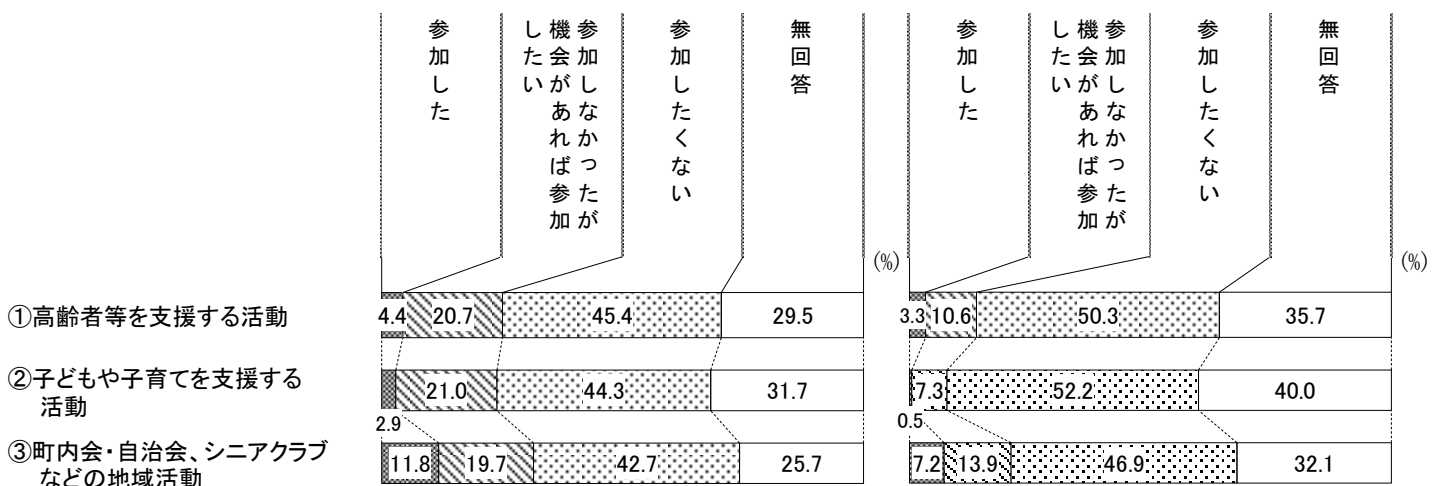
Q14. あなたはこの1年間に、以下のような活動にどのくらい参加しましたか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

一般高齢者調査では、「参加した」という回答は、“町会・自治会、シニアクラブなどの地域活動”が11.8%と最も多く、“高齢者を支援する活動（見守りなどを含む）”が4.4%、“子どもや子育てを支援する活動”が2.9%となっています。「参加しなかったが機会があれば参加したい」という回答は、どの活動も2割前後になっています。

認定者調査では、「参加した」という回答は、“町会・自治会、シニアクラブなどの地域活動”が7.2%、“高齢者を支援する活動（見守りなどを含む）”が3.3%、“子どもや子育てを支援する活動”が0.5%となっています。「参加しなかったが機会があれば参加したい」という回答は、“町会・自治会、シニアクラブなどの地域活動”が13.9%と最も多く、“高齢者を支援する活動（見守りなどを含む）”が10.6%、“子どもや子育てを支援する活動”が7.3%となっています。

【一般高齢者調査 (n=3,460)】

【認定者調査 (n=1,184)】



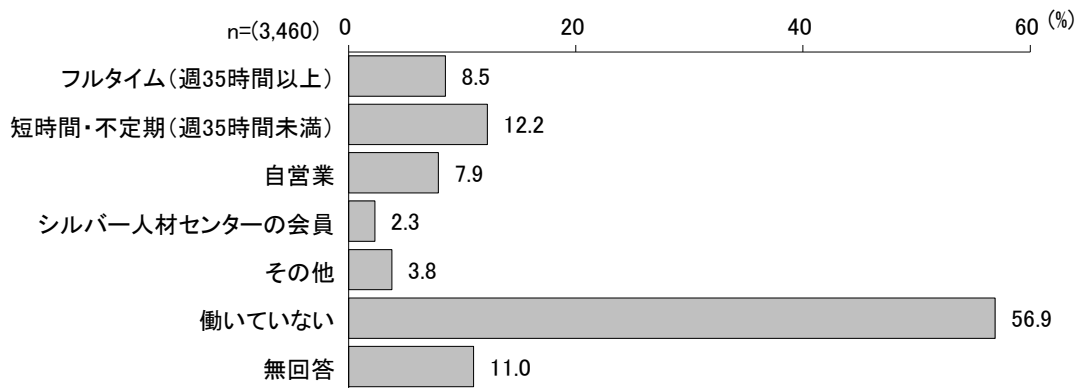
## 7. 仕事

### (1) 就労状況

Q1. あなたは現在働いていますか。働いている方は勤務形態についてもお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

全体から「働いていない」(56.9%)と無回答(11.0%)を除いた32.1%が何らかの仕事をしていると回答しています。

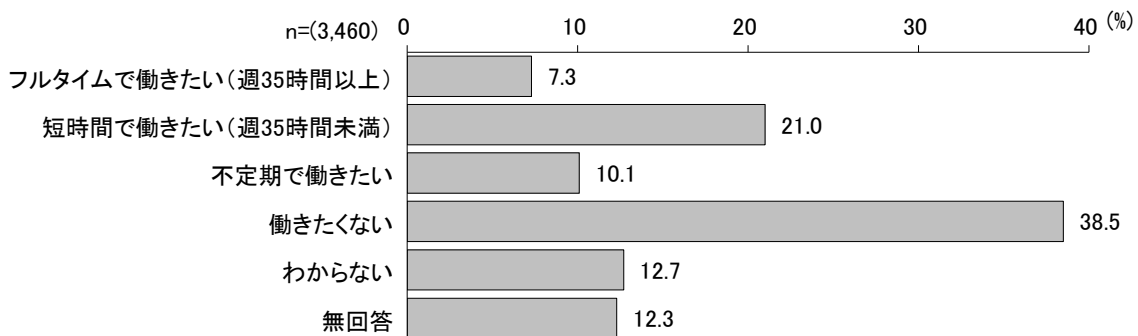
「短時間・不定期(週35時間未満)」が12.2%で最も多く、以下、「フルタイム(週35時間以上)」(8.5%)、「自営業」(7.9%)と続いています。



### (2) 今後の就労意向

Q2. あなたは今後、働きたいと思いますか。現在働いている方も、今後どのように働きたいかをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「働きたくない」が38.5%と最も多く、「短時間で働きたい(週35時間未満)」(21.0%)、「不定期で働きたい」(10.1%)と続き、「フルタイムで働きたい(週35時間以上)」は7.3%となっています。

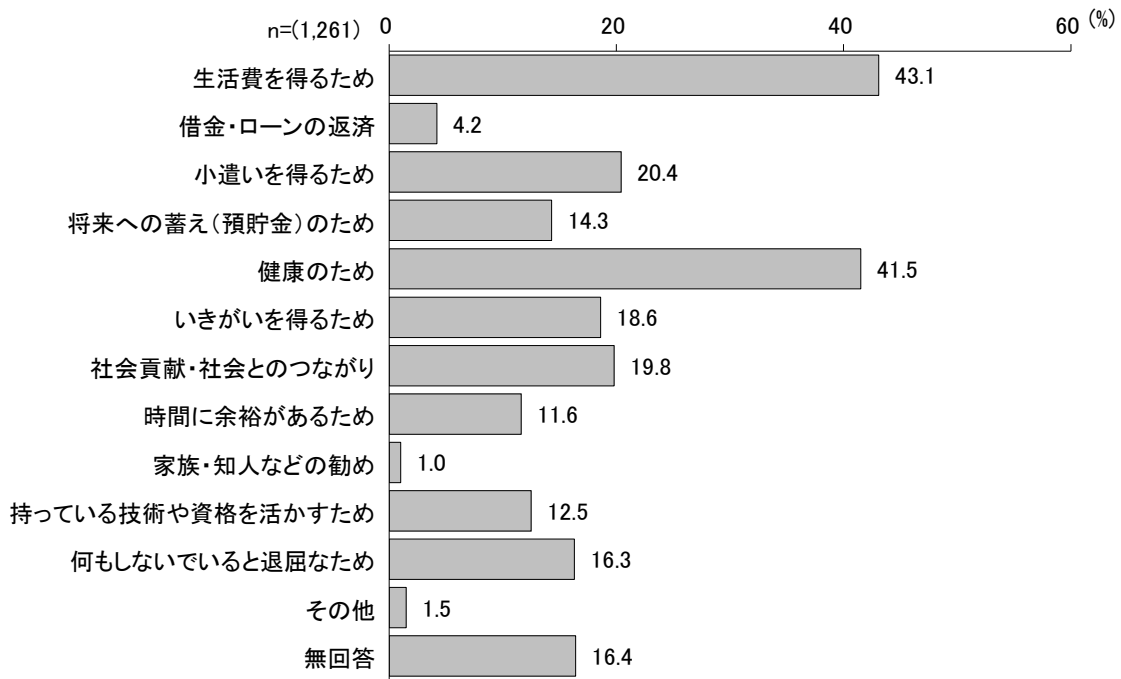


(3) 就労希望理由

【☐Q2で「1. フルタイムで働きたい（週35時間以上）」「2. 短時間で働きたい」「3. 不定期で働きたい」と答えた方に伺います】

☐Q3. 働きたいのは、どのような理由からですか。（〇は3つまで）

「生活費を得るため」（43.1%）と「健康のため」（41.5%）が4割を超えて特に多く、「小遣いを得るため」（20.4%）、「社会貢献・社会とのつながり」（19.8%）、「いきがいを得るため」（18.6%）が2割前後となっています。

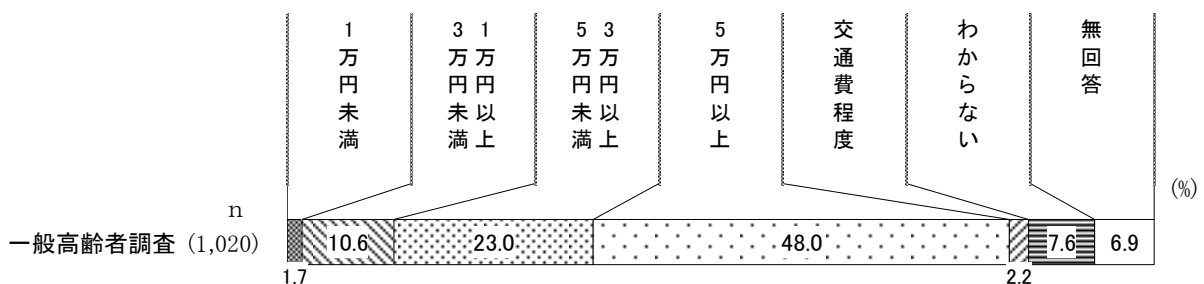


(4) 希望する月給額

【☐Q2で「2. 短時間で働きたい」「3. 不定期で働きたい」と答えた方に伺います】

☐Q4. 月にどのくらいの報酬がほしいですか。（〇は1つ）

「5万円以上」が48.0%と半数近くで、以下、「3万円以上5万円未満」（23.0%）、「1万円以上3万円未満」（10.6%）と続いています。



## 8. たすけあい

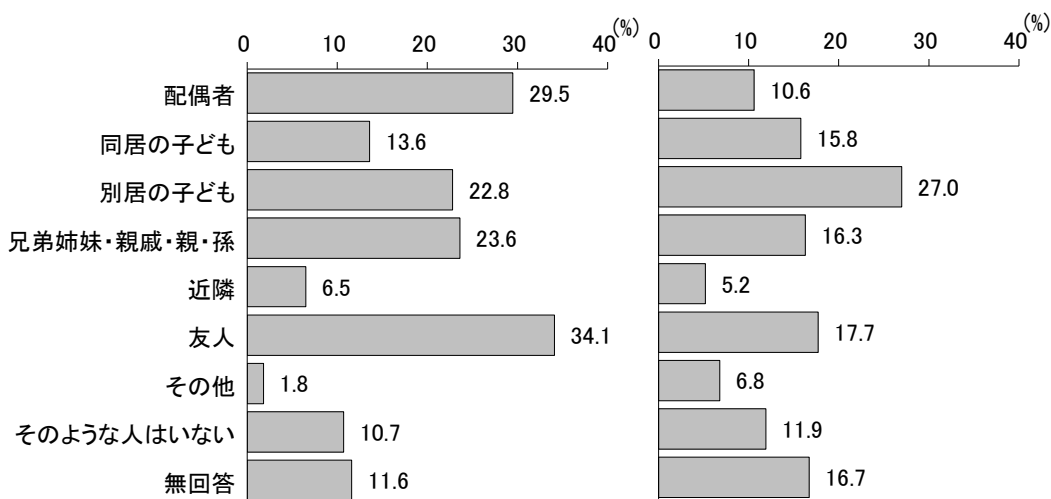
### (1) たすけあえる人

Q1. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。それぞれあてはまるものに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

#### ①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

一般高齢者調査では、「友人」（34.1%）、「配偶者」（29.5%）の順で多く、認定者調査では、「別居の子ども」が27.0%で最も多くなっています。また、「そのような人はいない」はいずれの調査でも1割ほどとなっています。

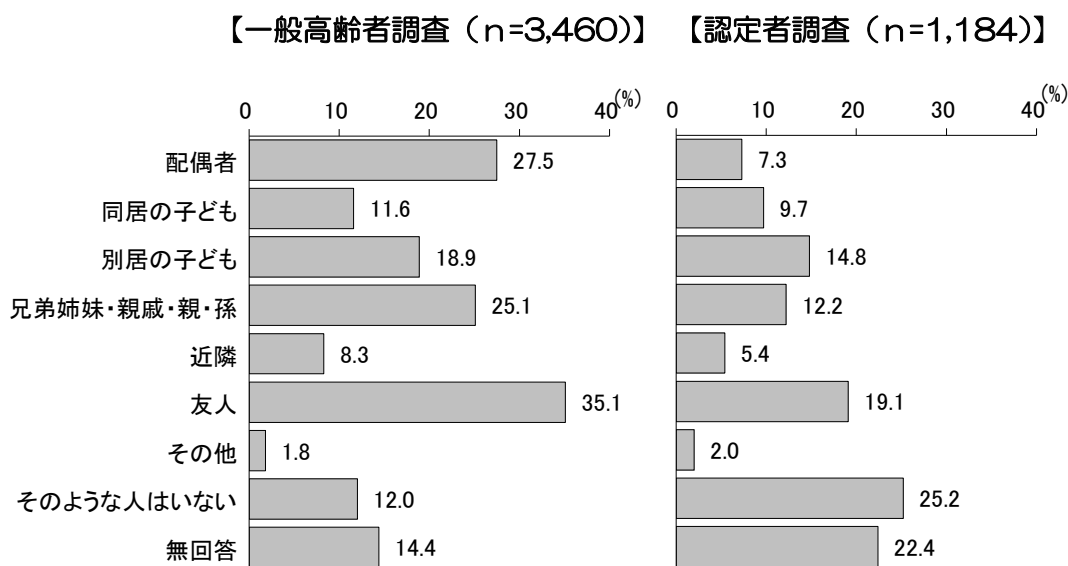
【一般高齢者調査（n=3,460）】 【認定者調査（n=1,184）】





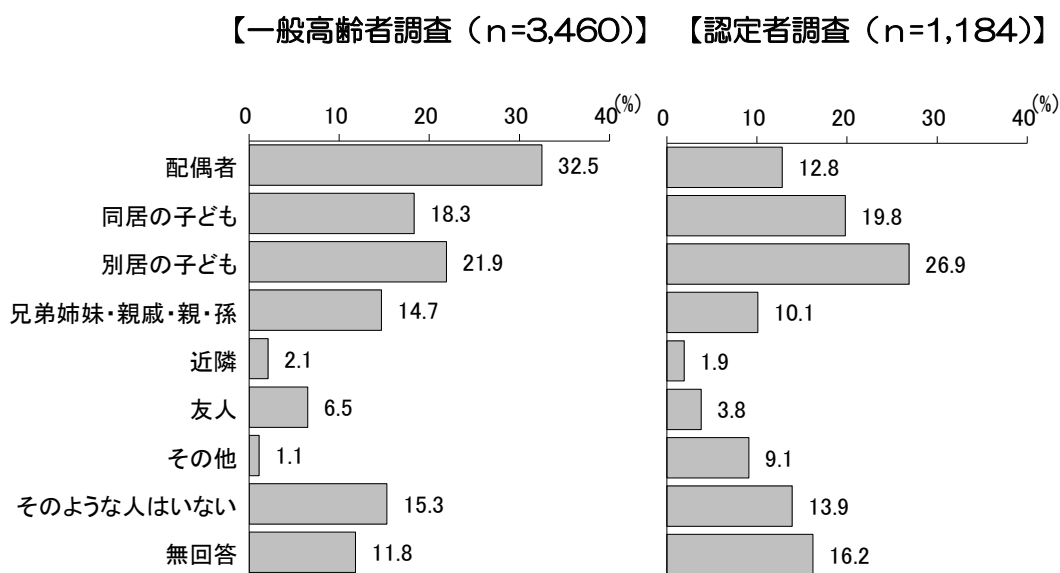
②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

一般高齢者調査では、「友人」（35.1%）、「配偶者」（27.5%）の順で多く、認定者調査では、「友人」が19.1%で最も多くなっています。また、「そのような人はいない」は一般高齢者調査で12.0%ですが、認定者調査では25.2%と多くなっています。



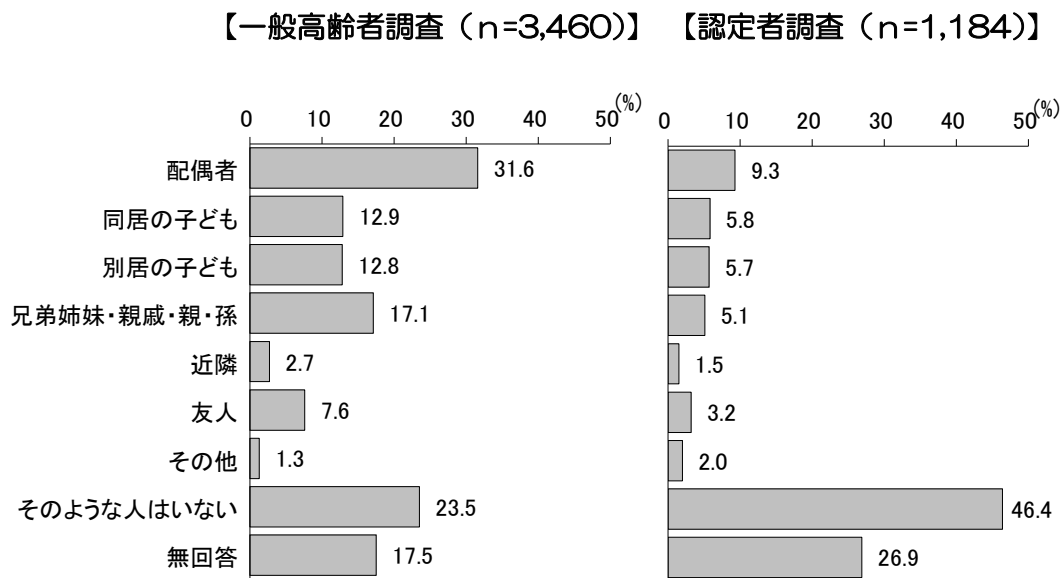
③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

一般高齢者調査では、「配偶者」（32.5%）、「別居の子ども」（21.9%）、「同居の子ども」（18.3%）の順で多く、認定者調査では、「別居の子ども」（26.9%）、「同居の子ども」（19.8%）、「配偶者」（12.8%）の順になっています。



④反対に、看病や世話をしあげる人

一般高齢者調査では、「配偶者」（31.6%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（17.1%）の順で多く、認定者調査では、いずれも1割未満で「そのような人はいない」が46.4%と多くなっています。

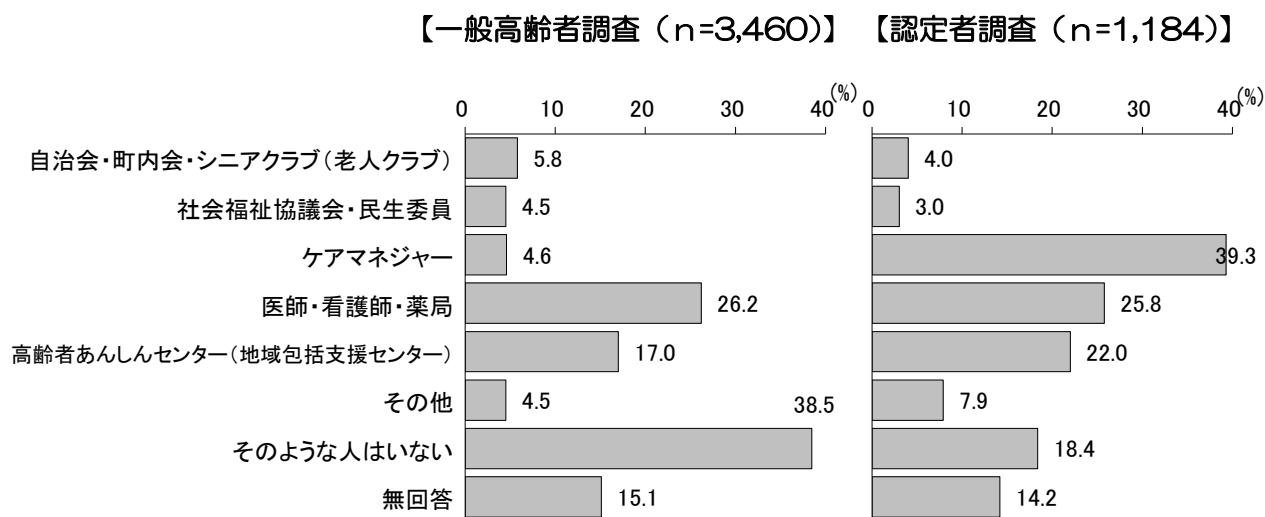


(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

Q2. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

一般高齢者調査では、「そのような人はいない」が38.5%で、「医師・看護師・薬局」（26.2%）、「高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）」（17.0%）の順になっています。

認定者調査では、「ケアマネジャー」が39.3%と最も多く、次いで「医師・看護師・薬局」（25.8%）、「高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）」（22.0%）となっています。

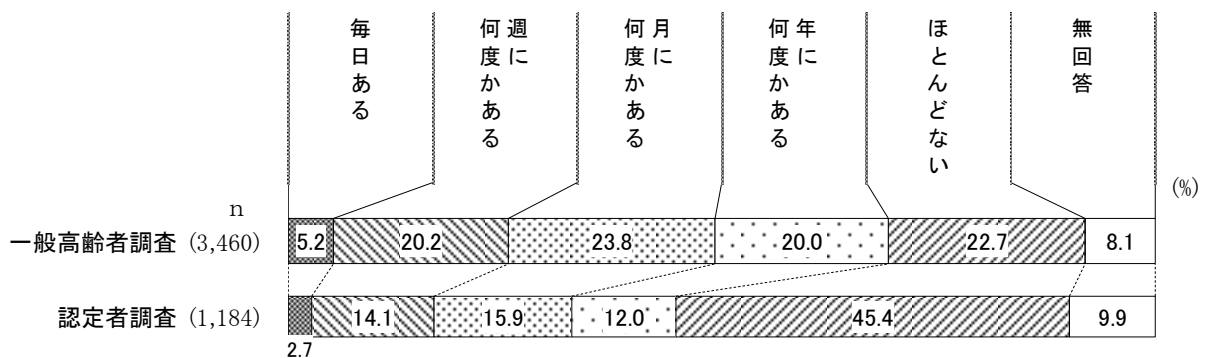


(3) - 1 友人・知人と会う頻度

Q3. 友人関係についておうかがいします。

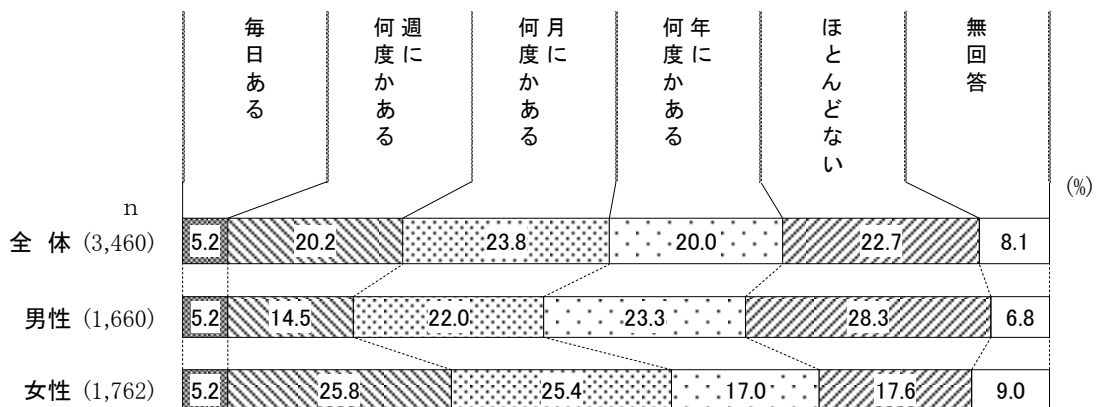
(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

一般高齢者調査では、「週に何度かある」(20.2%)、「月に何度かある」(23.8%)、「年に何度かある」(20.0%)、「ほとんどない」(22.7%) がいずれも2割台となっています。  
認定者調査では、「ほとんどない」が45.4%と半数近くになっています。



〈一般高齢者調査：性別／友人・知人と会う頻度〉

性別に見ると、「週に何度かある」は女性が男性よりも約10ポイント、逆に、「ほとんどない」は男性が女性よりも約10ポイント多くなっています。



(3) - 2 1か月に会った友人・知人の数

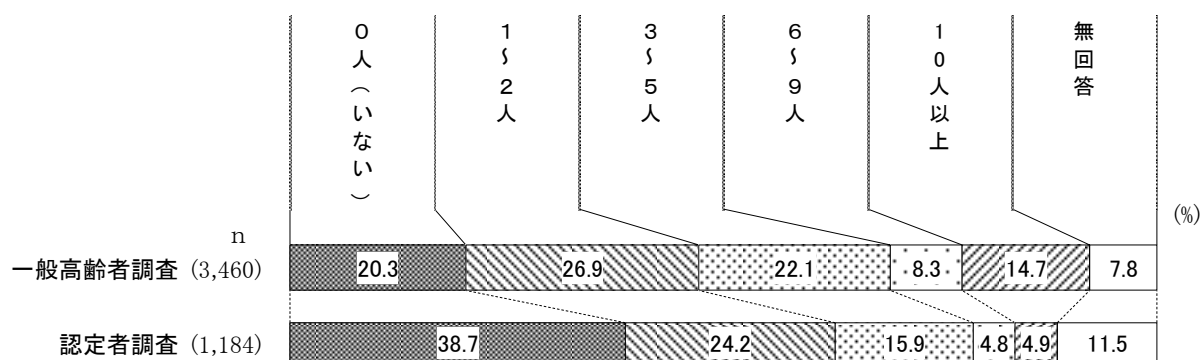
Q3. 友人関係についておうかがいします。

(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇は1つ)

※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

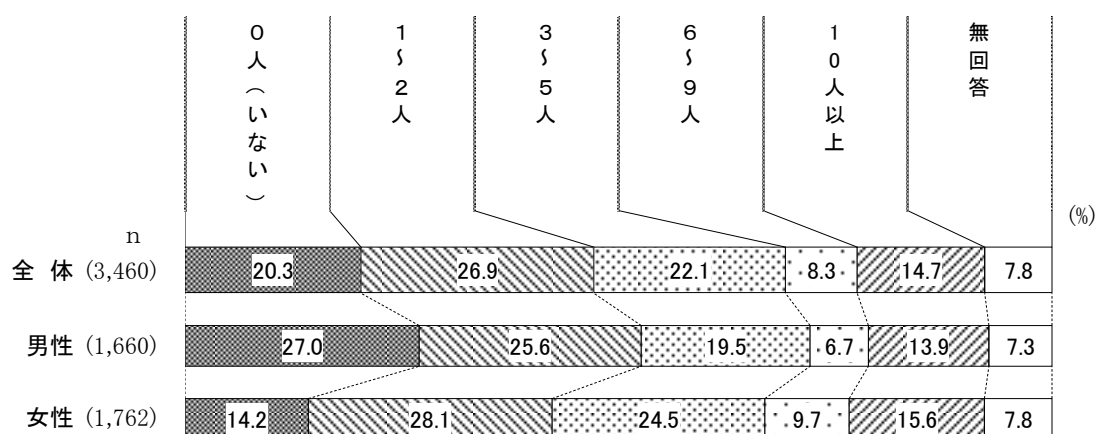
「0人（いない）」は、認定者調査で38.7%と一般高齢者調査の2倍近くとなっています。

「1～2人」はいずれの調査でも2割台半ばとなっています。



〈一般高齢者調査：性別／1か月に会った友人・知人の数〉

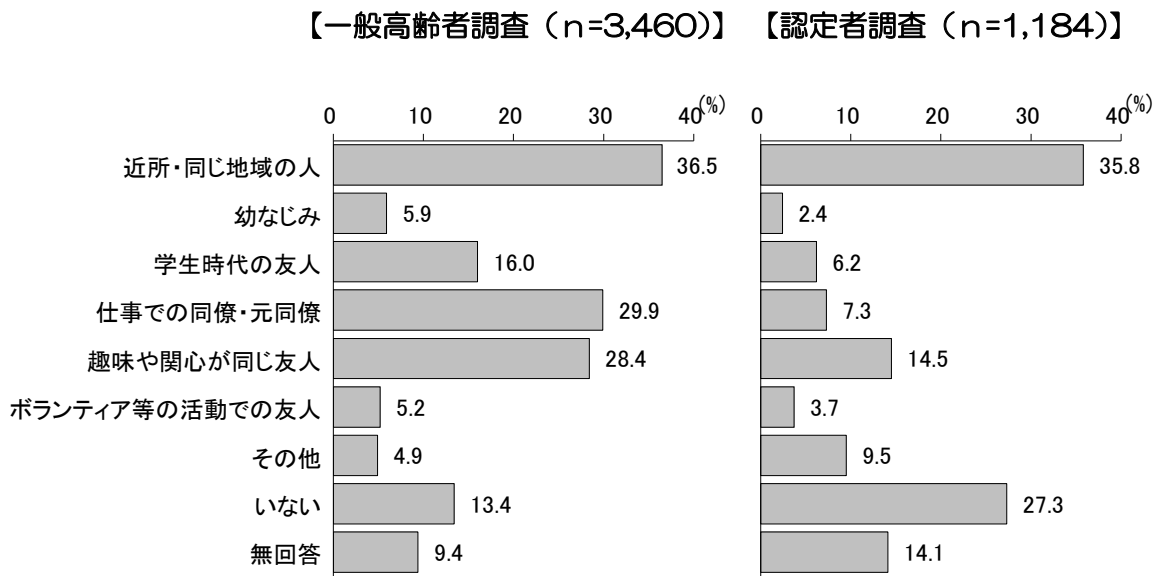
性別に見ると、「0人（いない）」は男性が27.0%で女性の2倍近くとなっています。



(3) - 3 よく会う友人・知人との関係

Q3. 友人関係についておうかがいします。  
 (3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)

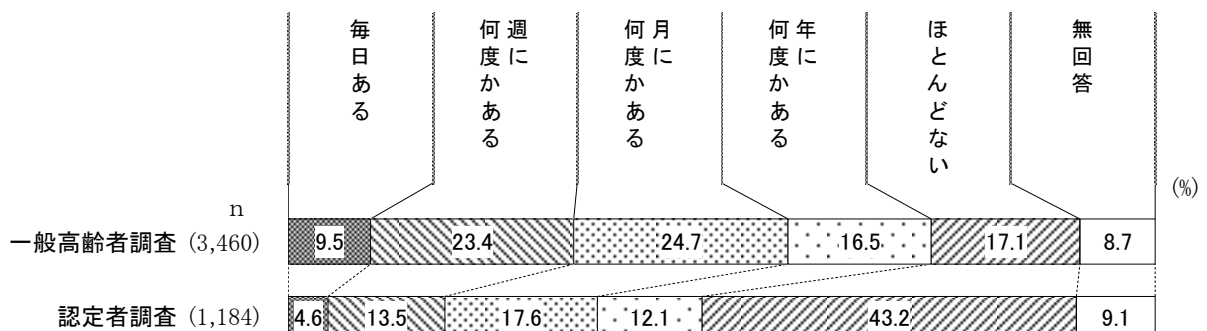
いずれの調査も、「近所・同じ地域の人」が3割台半ばで最も多くなっています。一般高齢者調査では、次いで「仕事での同僚・元同僚」(29.9%)と「趣味や関心が同じ友人」(28.4%)が3割近くで続き、認定者調査では、「いない」が27.3%と多くなっています。



(3) - 4 電話、メール、手紙の頻度

Q3. 友人関係についておうかがいします。  
 (4) 友人・知人と電話やメール、手紙をやり取りする頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

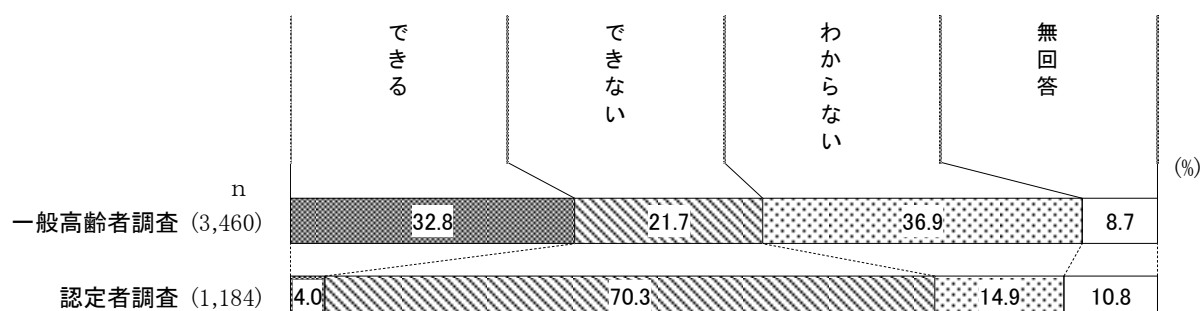
「毎日ある」と「週に何度かある」を合わせた『週1回以上』は一般高齢者調査で32.9%、認定者調査で18.1%となっています。認定者調査では「ほとんどない」が43.2%と多くなっています。



(4) 災害時・緊急時の手助け

Q4. あなたは災害時・緊急時に人の手助けができますか。(〇は1つ)

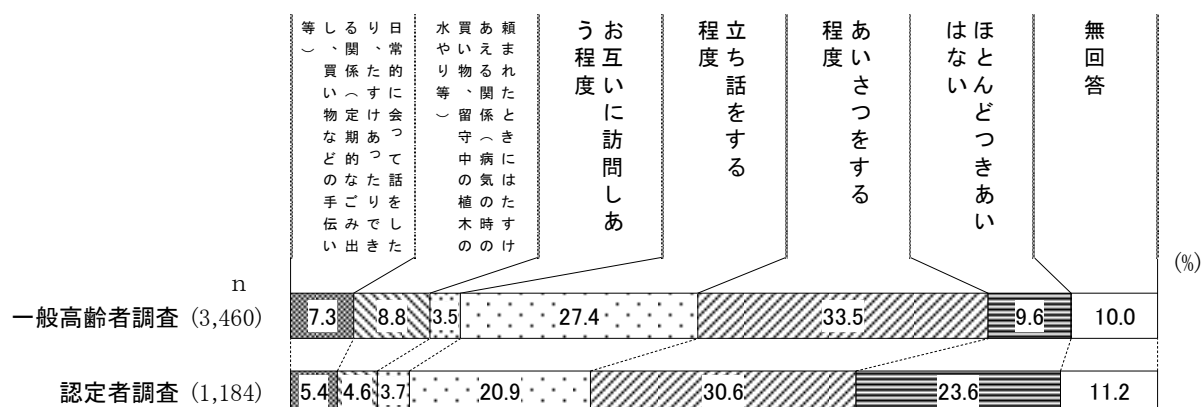
一般高齢者調査では、「できる」が32.8%、「できない」が21.7%となっています。  
 認定者調査では、「できる」が4.0%、「できない」が70.3%となっています。



(5) 近所との付き合いの程度

Q5. ご近所の方とはどの程度付き合いをしていますか (〇は1つ)

いずれの調査も「あいさつをする程度」が3割を超えて最も多く、一般高齢者調査では「立ち話をする程度」(27.4%)が続きますが、認定者調査では、「ほとんどつきあいはない」が23.6%で続いています。

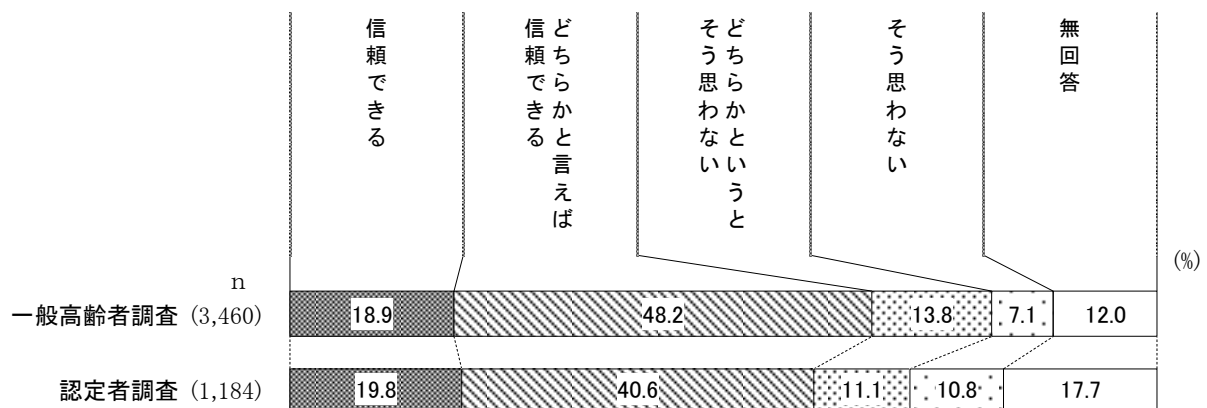


(6) 近所への信頼度

Q6. あなたはご近所の方を信頼できますか。(○は1つ)

いずれの調査も「どちらかと言えば信頼できる」、「信頼できる」、「どちらかと言えば信頼できない」、「信頼できない」の順で多くなっています。

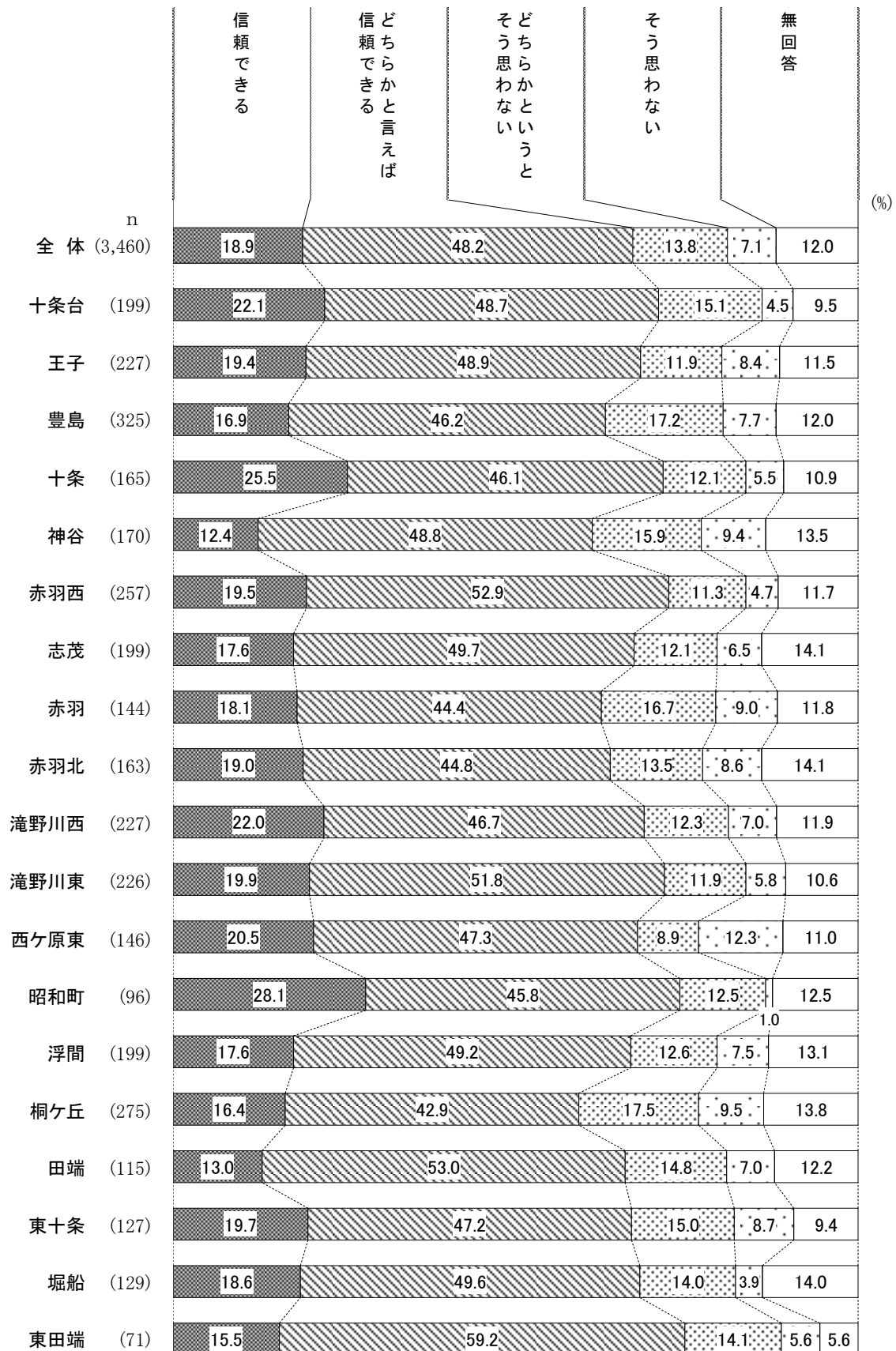
「信頼できる」と「どちらかと言えば信頼できる」を合わせた『信頼』は一般高齢者調査で67.1%と認定者調査の60.4%を上回っています。



第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

〈一般高齢者調査：居住地区別／近所への信頼度〉

一般高齢者調査を居住地区別に見ると、『信頼』の割合は、東田端（74.7%）、昭和町（73.9%）、赤羽西（72.4%）の順で多く、最も少ないのは桐ヶ丘の59.3%となっています。

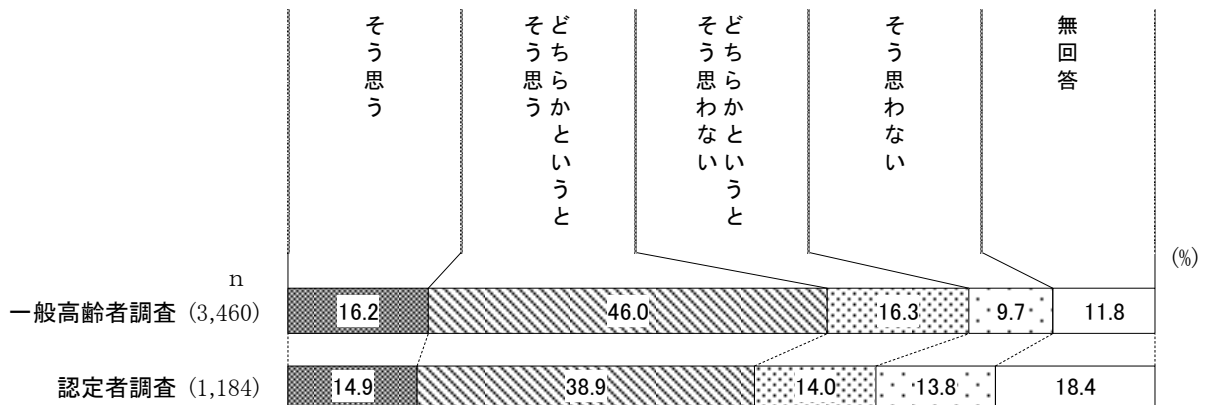




(7) 近所に対する期待度

Q7. ご近所の方々は、多くの場合、他の人の役に立とうとしますか。(○は1つ)

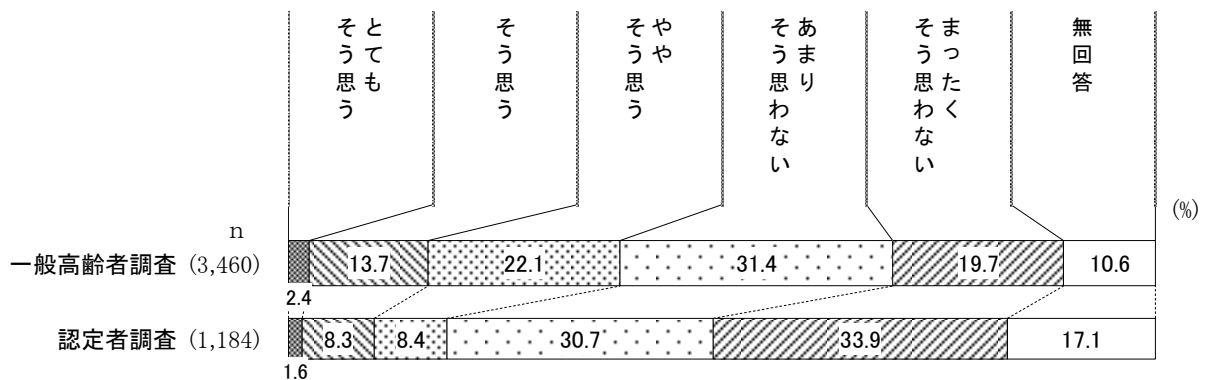
「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』は、一般高齢者調査で62.2%、認定者調査で53.8%となっています。



(8) 近所からの信頼度

Q8. あなたは、ご近所の方から何らかの役割を期待されたり、頼りにされていると思いますか。（自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願い事など）（〇は1つ）

いずれの調査も「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『そう思わない』が半数以上となっています。特に認定者調査では、この割合が64.6%と多くなっています。



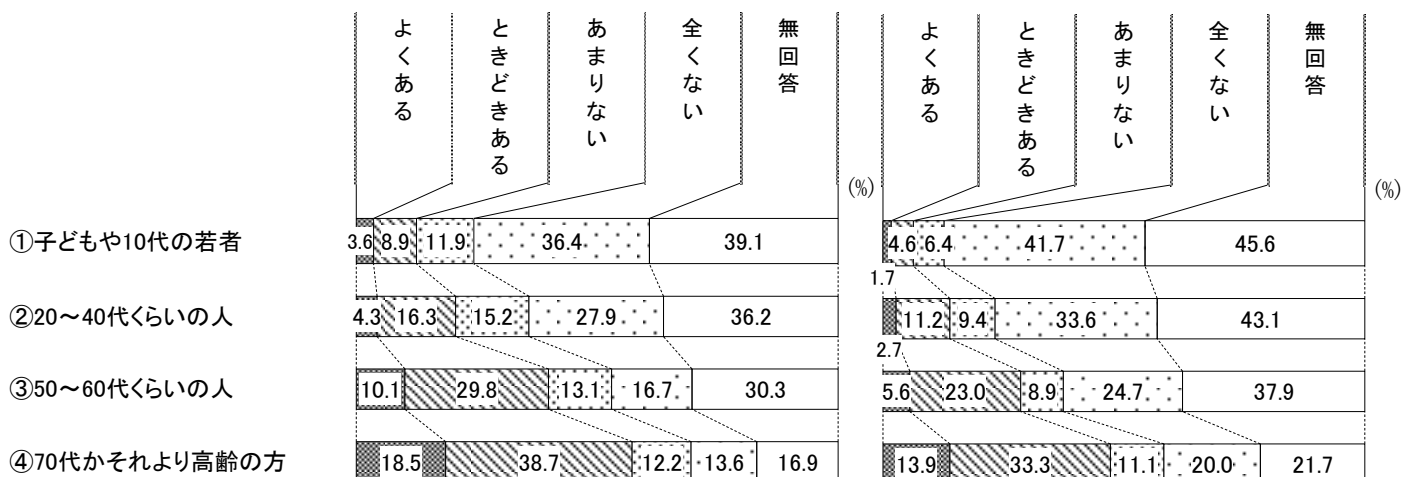
(9) 各年齢層との会話頻度

Q9. 近所づきあいや、地域活動・余暇活動の中で、あなたは、次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。（ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。）それぞれあてはまるものに〇をつけてください。（それぞれ〇は1つ）

「よくある」、「ときどきある」でみたときに、一般高齢者調査では“70代かそれより高齢の方”が合計で半数を超え、最も多くなっています。認定者調査でも47.2%で最も多くなっています。

【一般高齢者調査 (n=3,460)】

【認定者調査 (n=1,184)】

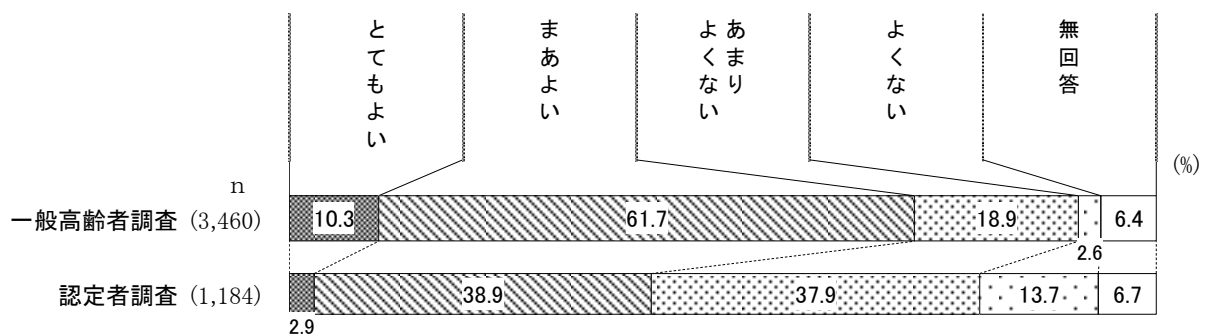


## 9. 健康

### (1) 健康状態

Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

いずれの調査も、「まあよい」が最も多くなっていますが、一般高齢者調査の61.7%に対して認定者調査では38.9%で、「あまりよくない（37.9%）」とほぼ同率になっています。

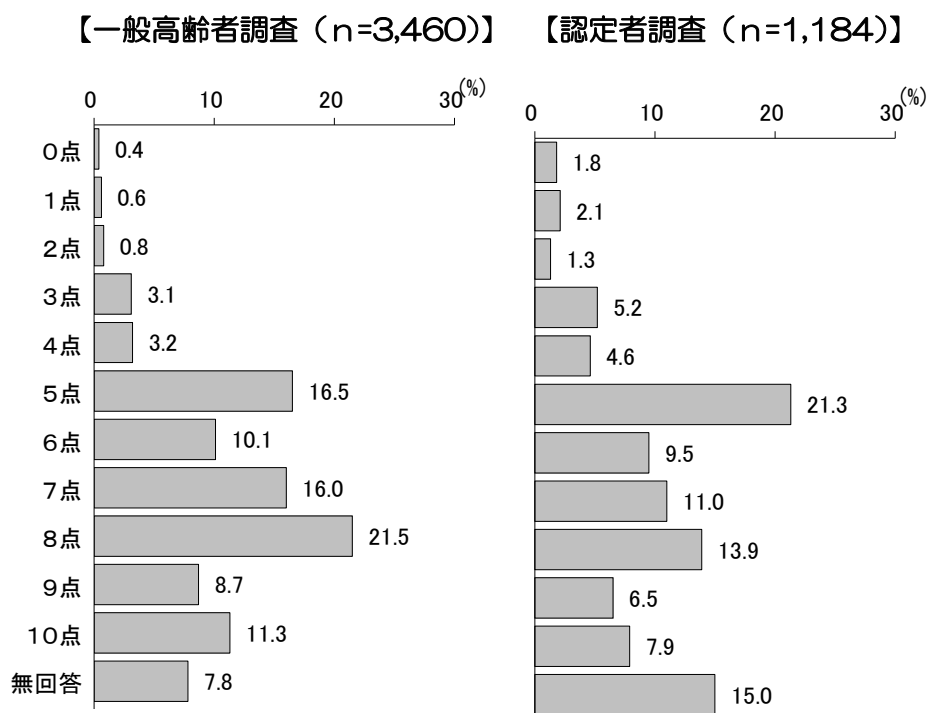


(2) 幸福度

Q2. あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、あてはまる点数1つに○をつけてください）。

一般高齢者調査では、「8点」が21.5%と最も多く、次いで「5点」（16.5%）、「7点」（16.0%）となっています。

認定者調査では、「5点」が21.3%と最も多く、次いで「8点」（13.9%）、「7点」（11.0%）となっています。



〈1か月間で会った友人・知人の数別／幸福度〉

1か月間で会った友人・知人の数別に見ると、いずれの調査も“10人以上”“6～9人”“3～5人”では「8点」が最も多く、“1～2人”と“0人”では「5点」が最も多くなっています。

【一般高齢者調査】

(%)

	回答者数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
一般／全体	3,460	0.4	0.6	0.8	3.1	3.2	16.5	10.1	16.0	21.5	8.7	11.3	7.8
0人(いない)	703	1.1	2.1	1.6	5.1	4.1	23.3	11.5	14.9	15.2	6.8	7.8	6.3
1～2人	930	0.2	0.5	1.1	4.4	4.0	20.5	11.9	14.2	20.3	7.5	8.0	7.3
3～5人	763	0.3	0.1	0.3	2.0	2.8	14.8	9.3	20.3	25.0	9.4	9.7	6.0
6～9人	286	-	0.3	0.3	1.0	3.8	10.8	7.3	15.7	25.2	11.2	17.5	6.6
10人以上	509	-	-	0.2	1.0	1.2	6.9	9.4	15.5	26.5	12.6	21.8	4.9

【認定者調査】

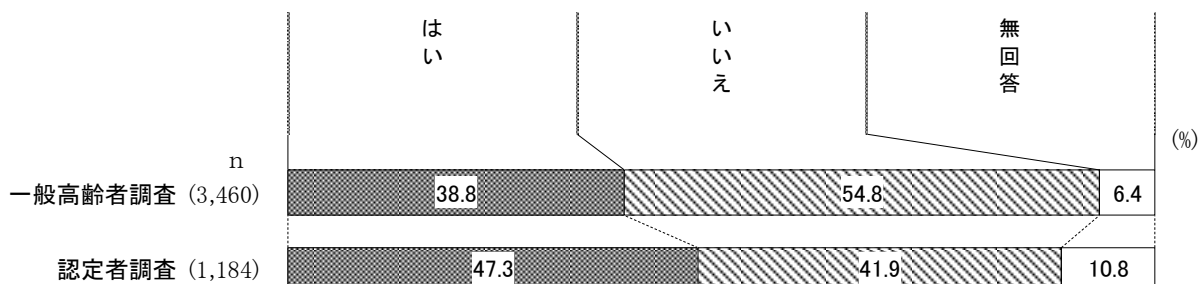
(%)

	回答者数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
認定者／全体	1,184	1.8	2.1	1.3	5.2	4.6	21.3	9.5	11.0	13.9	6.5	7.9	15.0
0人(いない)	458	3.7	4.6	2.0	7.6	3.5	26.0	8.1	9.8	9.8	4.4	5.9	14.6
1～2人	287	0.7	0.7	0.3	4.5	7.7	22.6	12.9	12.9	12.9	8.4	8.7	7.7
3～5人	188	-	-	0.5	4.3	5.9	22.3	10.1	11.2	23.9	6.4	7.4	8.0
6～9人	57	1.8	-	1.8	1.8	-	12.3	15.8	17.5	19.3	7.0	14.0	8.8
10人以上	58	1.7	-	-	1.7	1.7	6.9	6.9	13.8	20.7	17.2	20.7	8.6

(3) この1か月のゆううつ感

Q3 Q6. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

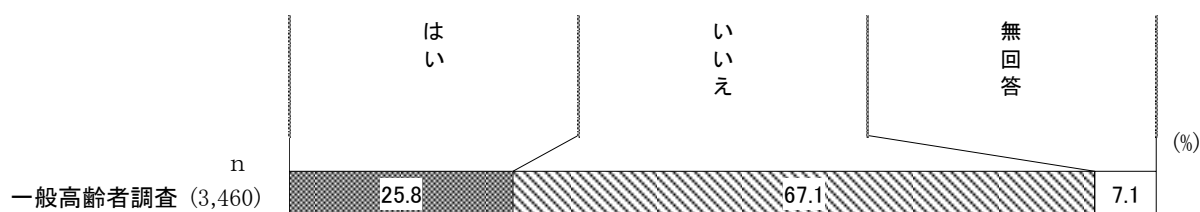
「はい」（あった）は一般高齢者調査では38.8%である一方、認定者調査では47.3%と半数近くで、「いいえ」を上回っています。



(4) この1か月の無気力感

Q4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

「はい」（あった）は25.8%となっています。



〈うつ傾向リスク〉

下記の2項目中、どちらかにでも該当する場合、『うつ傾向のリスクがある高齢者』としています。

- この1か月に、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたことがある（Q3）
- この1か月に、どうしても物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあった（Q4）

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和4年8月）

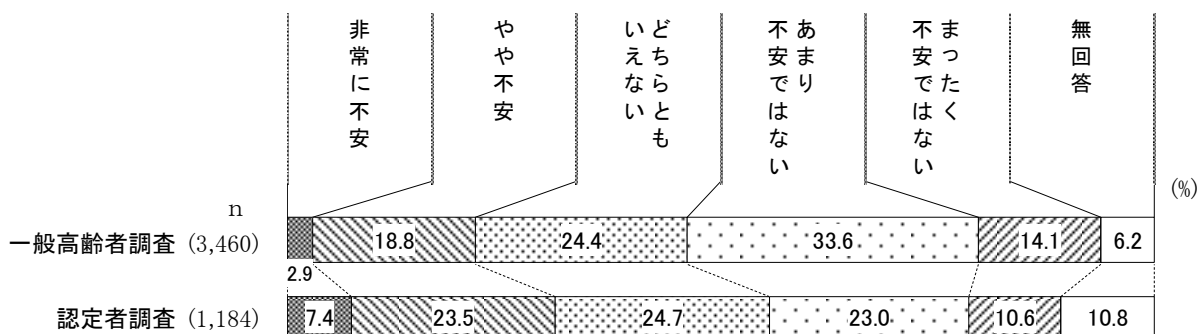
「うつ傾向リスクあり」は43.3%となっています。



(5) 孤独感の把握

Q5 Q7. 生活様式や人付き合いの変化から、孤独や孤立への不安を感じていますか。  
(○は1つ)

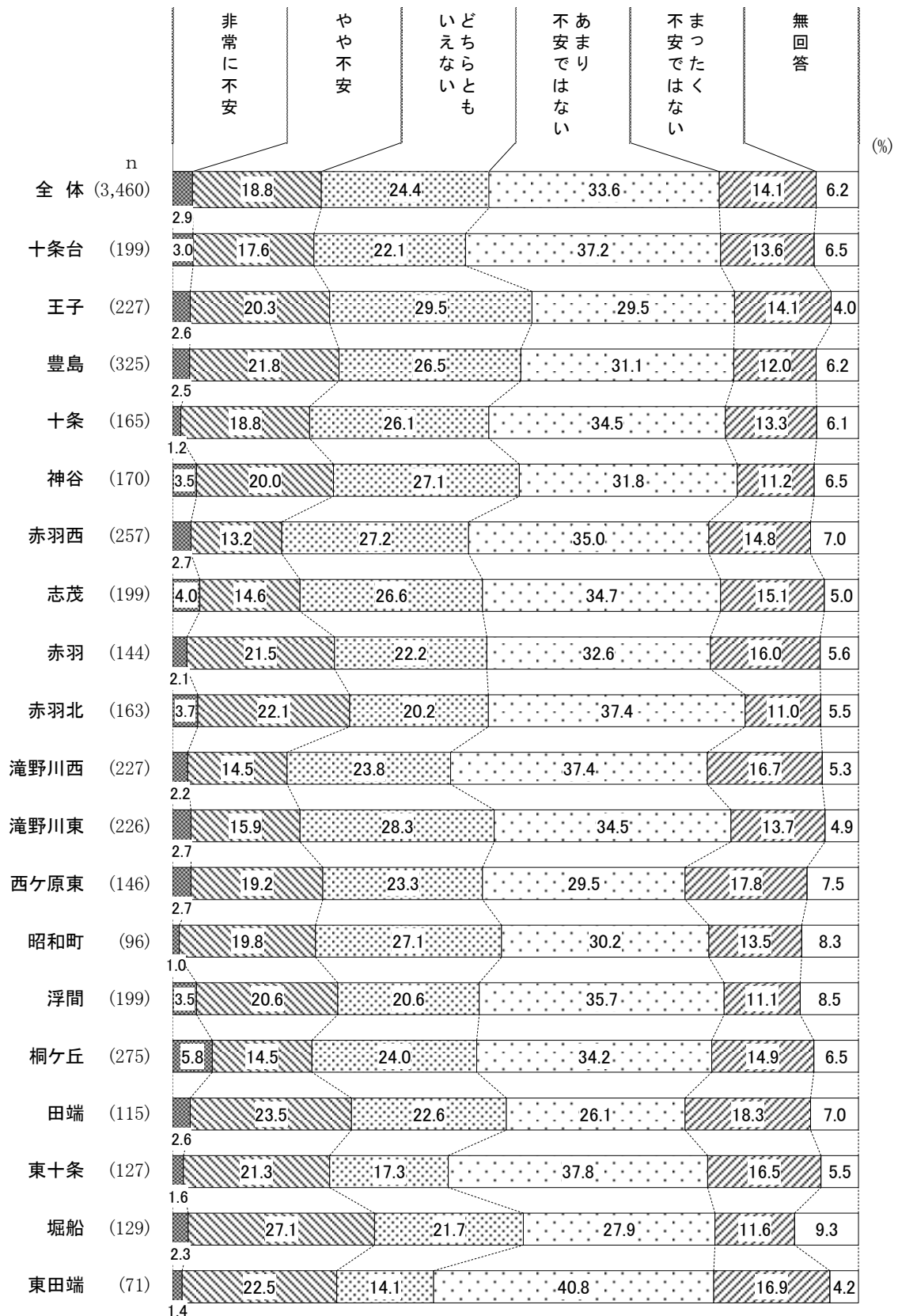
「非常に不安」と「やや不安」を合わせた『不安』は、一般高齢者調査で21.7%、認定者調査では30.9%となっています。



第2章 要介護認定を受けていない方及び要介護（要支援）認定を受けている方の調査結果

〈一般高齢者調査：居住地区別／孤独感の把握〉

一般高齢者調査を居住地区別に見ると、『不安』の割合は、堀船（29.4%）、田端（26.1%）、赤羽北（25.8%）の順で多く、最も少ないのは赤羽西の15.9%となっています。

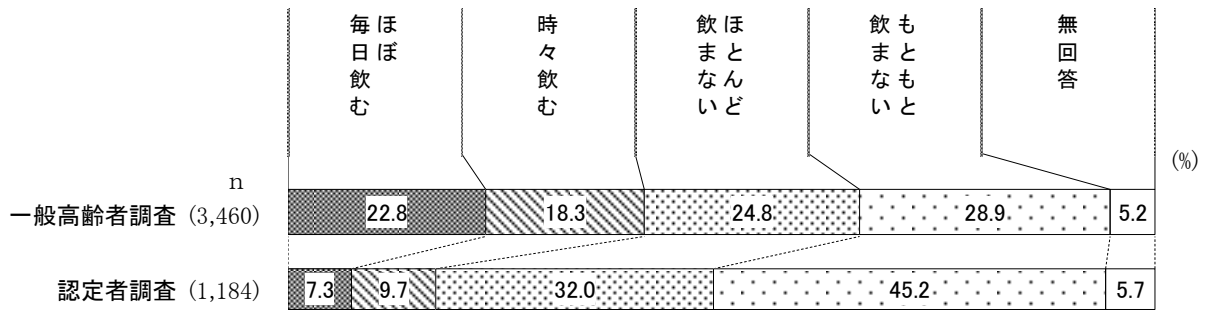




(6) 飲酒頻度

☐Q6 ☑Q8. お酒は飲みますか。(○は1つ)

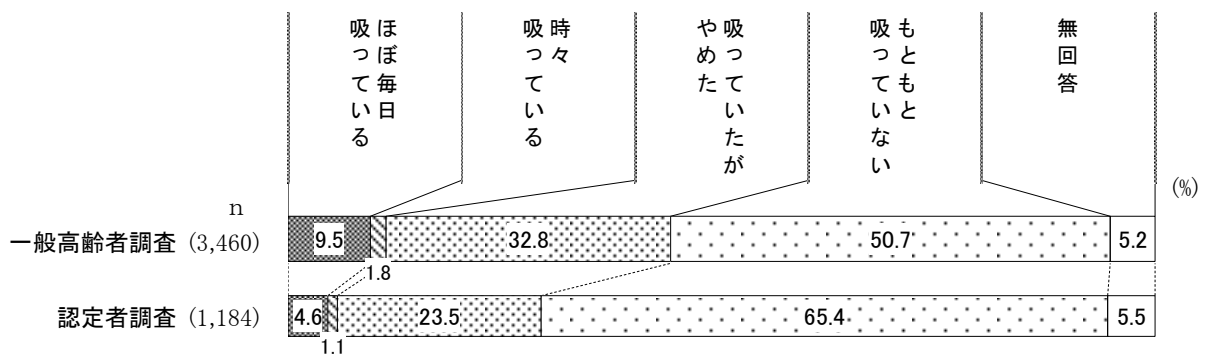
「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』は、一般高齢者調査で41.1%、認定者調査では17.0%となっています。



(7) 喫煙頻度

☐Q7 ☑Q9. タバコは吸っていますか。(○は1つ)

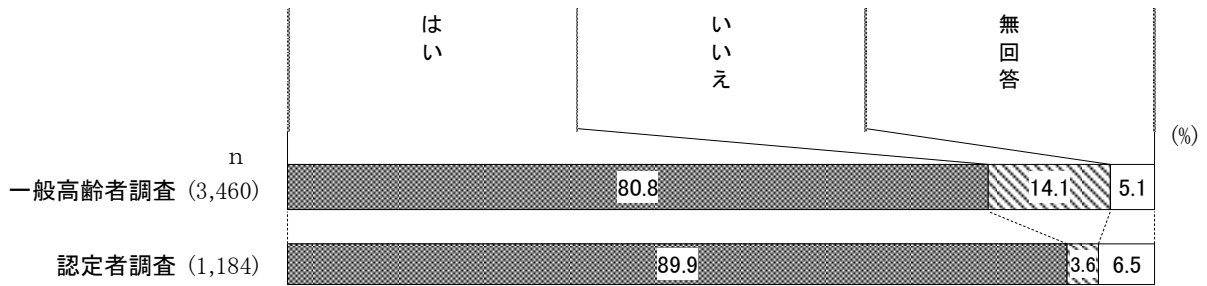
「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』は、一般高齢者調査で11.3%、認定者調査で5.7%となっています。認定者調査では、「もともと吸っていない」が65.4%と最も多くなっています。



(8) かかりつけ医の有無

Q8 Q3. あなたは、かかりつけ医がいますか。

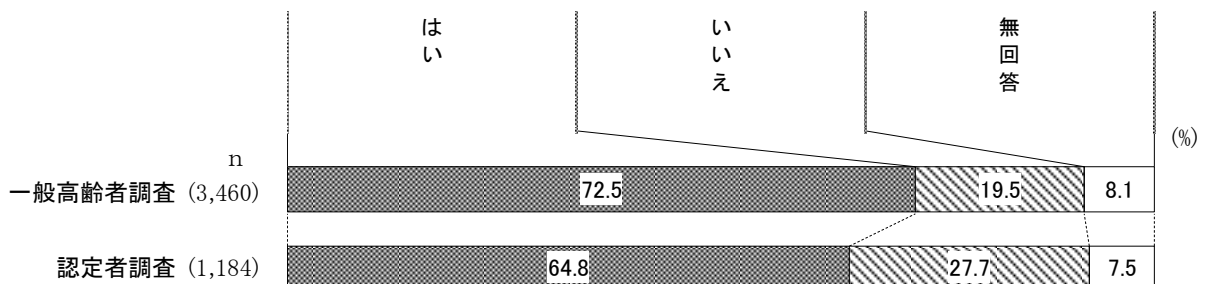
「はい」(いる)は、一般高齢者調査で80.8%、認定者調査で89.9%となっています。



(9) かかりつけ歯科医の有無

Q9 Q4. あなたは、かかりつけ歯科医がいますか。

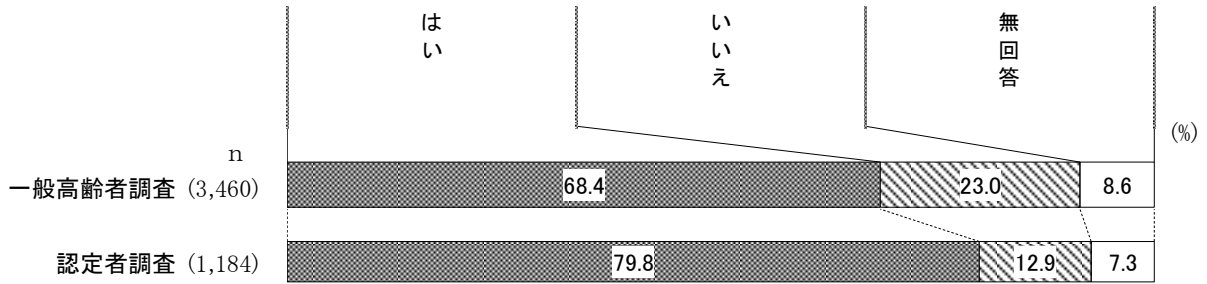
「はい」(いる)は、一般高齢者調査で72.5%、認定者調査で64.8%となっています。



(10) かかりつけ薬剤師・薬局の有無

☐Q10 認Q5. あなたは、かかりつけ薬剤師・薬局がありますか。

「はい」（ある）は、一般高齢者調査で68.4%、認定者調査で79.8%となっています。

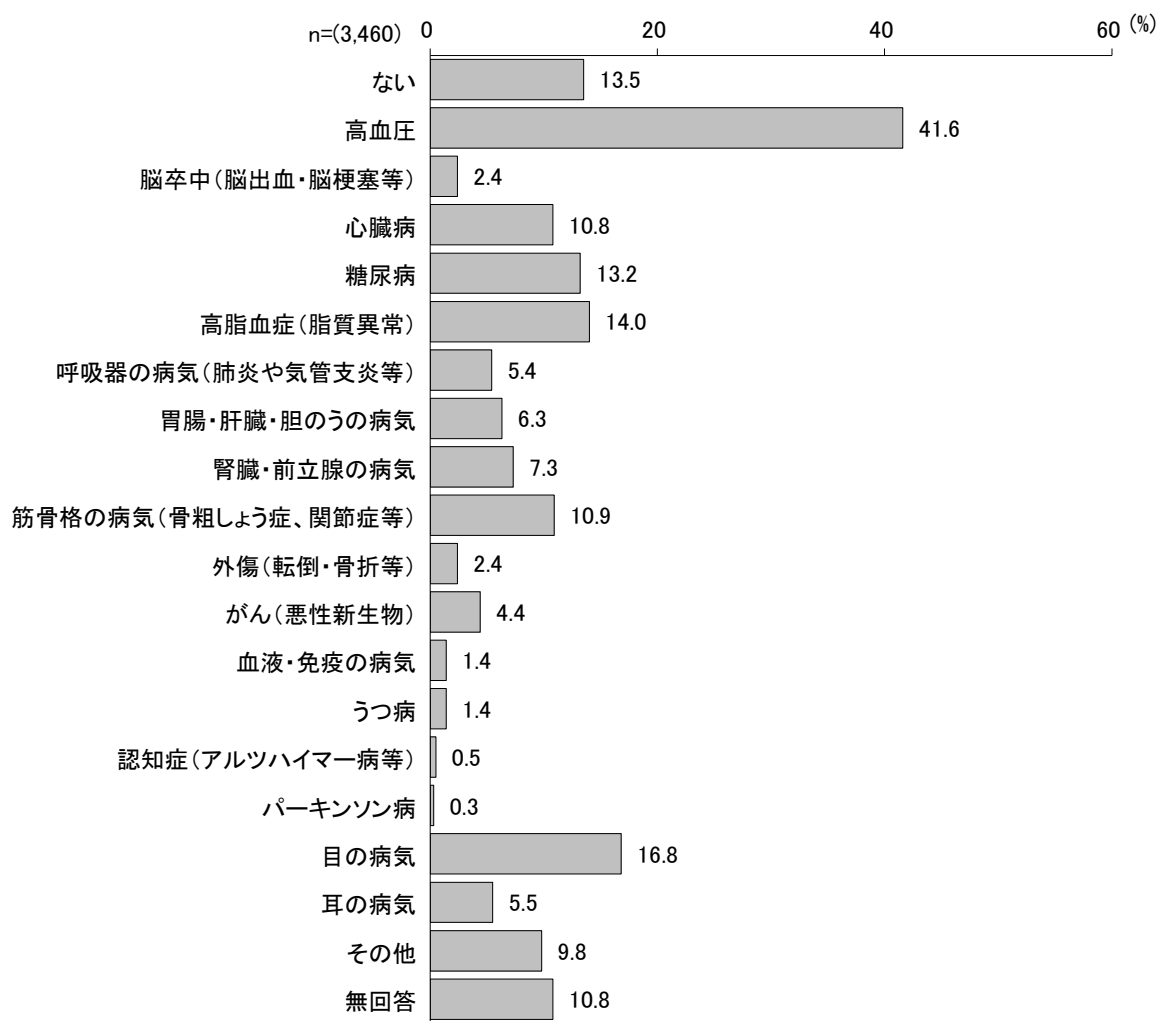


(11) 治療中や後遺症のある病気

□ Q11. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

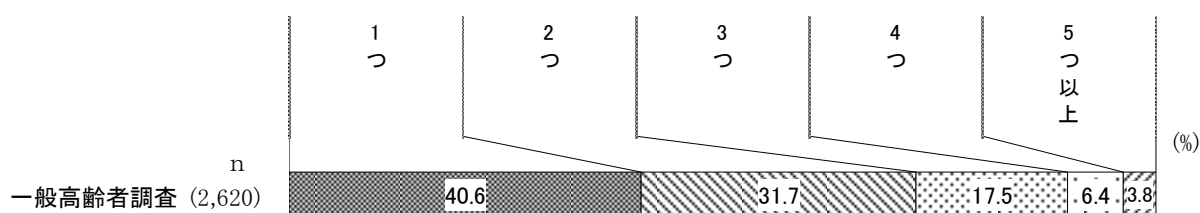
全体から「ない」(13.5%)と無回答(10.8%)を除いた75.7%に何らかの病気があると回答しています。

「高血圧」が41.6%と最も多く、次いで「目の病気」(16.8%)、「高脂血症(脂質異常)」(14.0%)、「糖尿病」(13.2%)となっています。



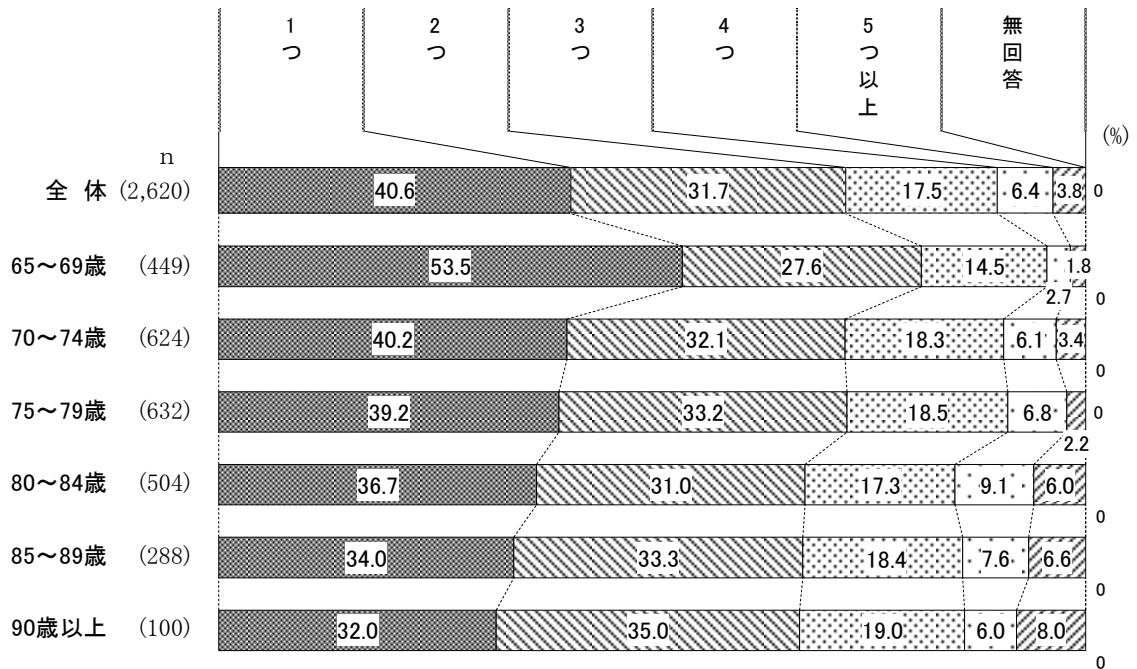
〈治療中や後遺症のある病気の数〉

病気がある人のうち、複数の病気があるのは、合わせて59.4%となっています。



〈年齢別／治療中や後遺症のある病気〉

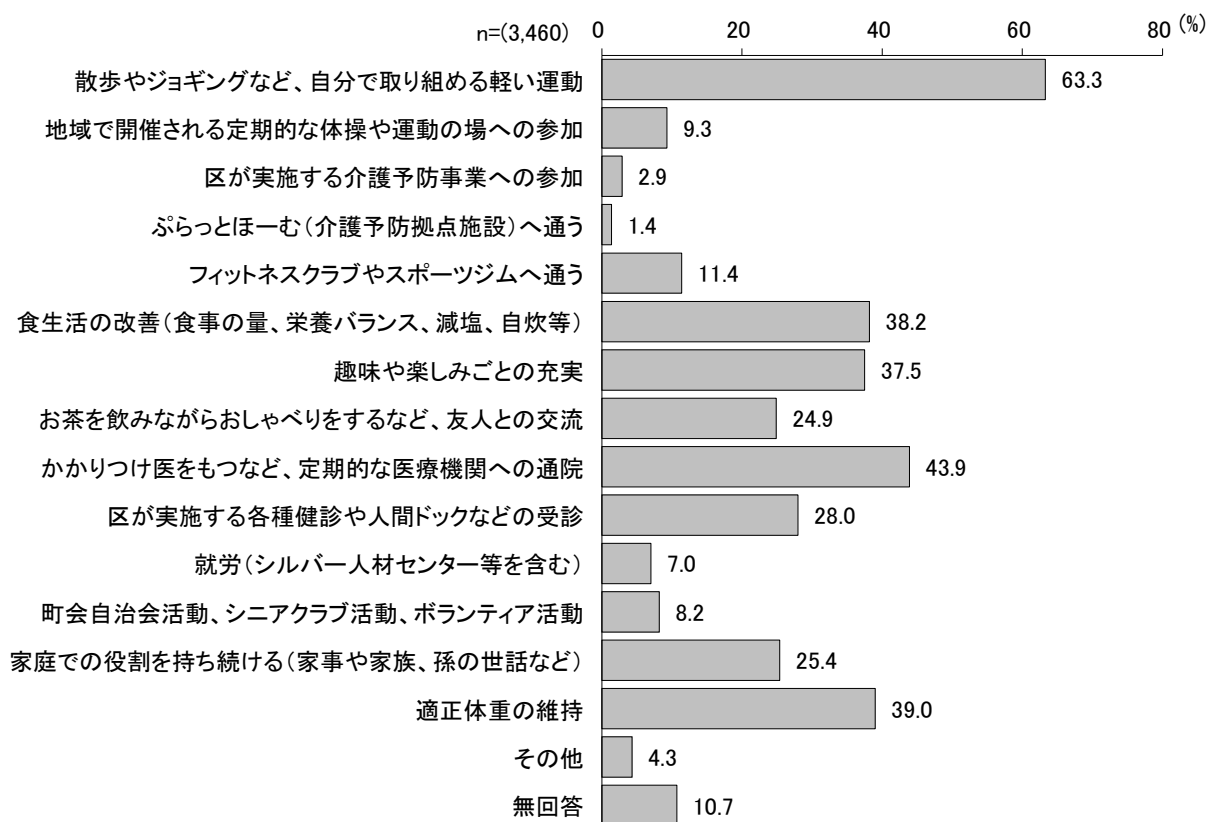
年齢別に見ると、複数の病気があるのは、高齢になるほど多くなっています。70歳以上になると半数以上で複数の病気が見られます。



(12) 長生きのために取り組んでいる、取り組みたい健康法

Q12. あなたがいつまでも健康に長生きできるよう、取り組んでいることはありますか。また、取り組んでみたいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「散歩やジョギングなど、自分で取り組める軽い運動」が63.3%と特に多く、以下、「かかりつけ医をもつなど、定期的な医療機関への通院」(43.9%)、「適正体重の維持」(39.0%)、「食生活の改善(食事の量、栄養バランス、減塩、自炊等)」(38.2%)、「趣味や楽しみごとの充実」(37.5%)となっています。



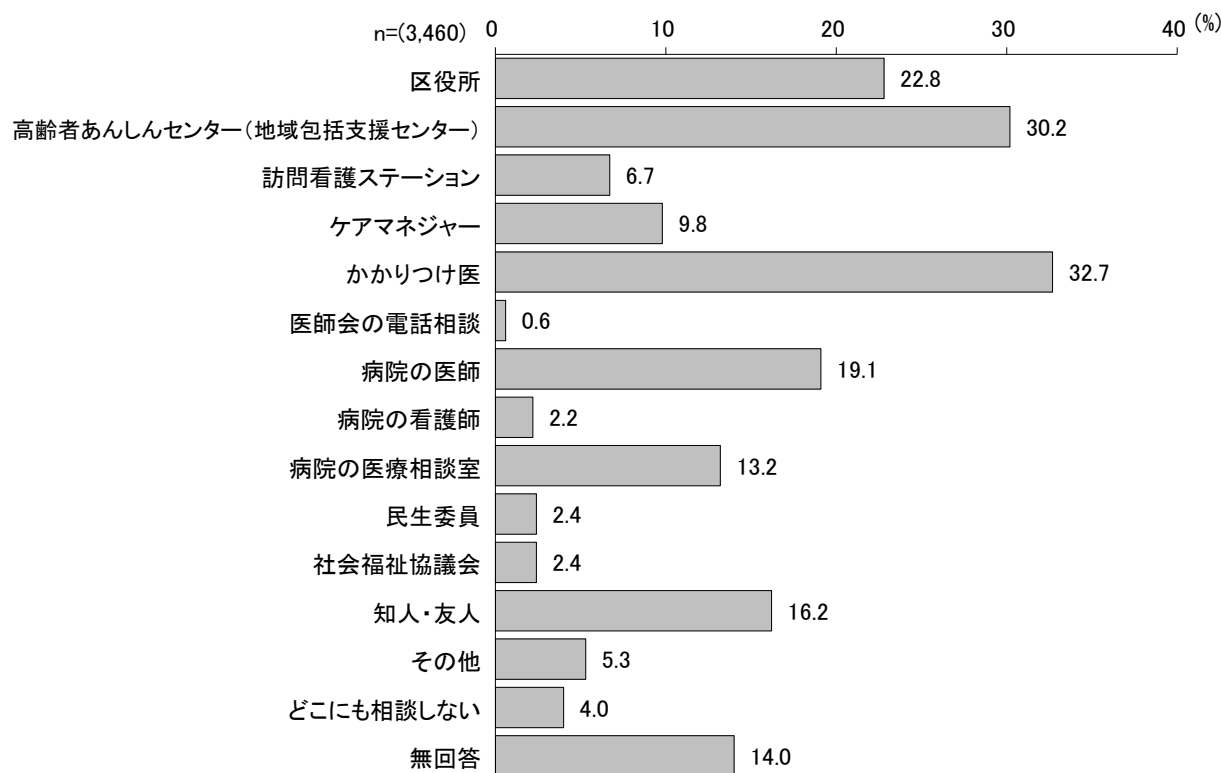
## 10. 在宅療養

### (1) 在宅療養に関する相談先

☐ Q1. あなたが、もし入院生活から退院し、在宅で医療を受けながら生活する場合、どこに相談しますか。(〇は3つまで)

全体から「どこにも相談しない」(4.0%)と無回答(14.0%)を除いた82.0%が何らかの相談先を挙げています。

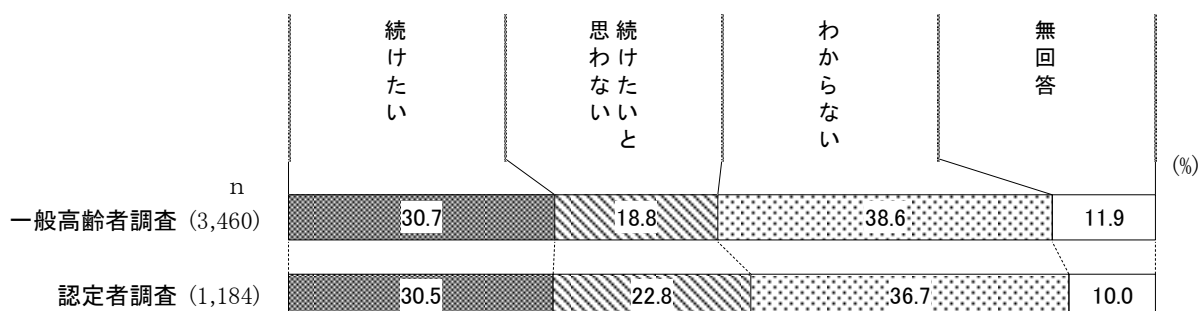
「かかりつけ医」が32.7%と最も多く、次いで「高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)」(30.2%)、「区役所」(22.8%)、「病院の医師」(19.1%)となっています。



(2) 在宅療養の継続希望

□Q2 問5Q13. あなたが、もしがんや脳梗塞などにより長期の療養が必要となった場合、理想として自宅での療養を続けたいと考えていますか。(〇は1つ)

いずれの調査も「続けたい」が約3割で、「続けたいとは思わない」を上回っています。



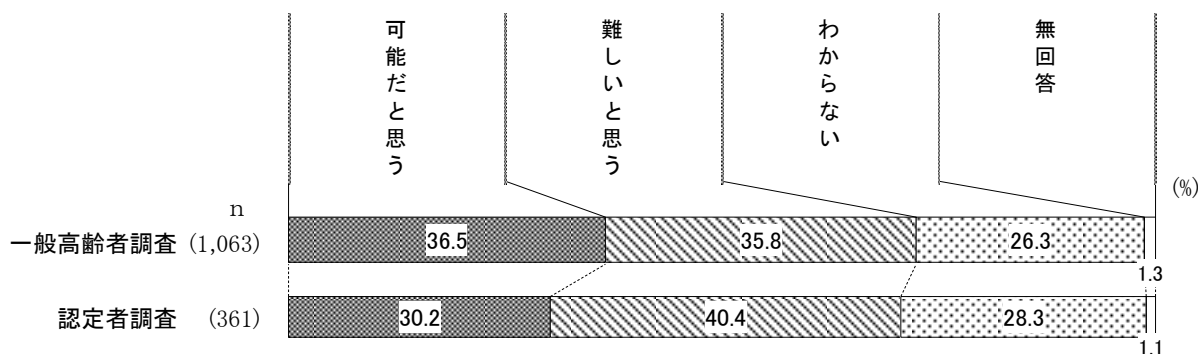
(3) 在宅療養の実現可能性

【□Q2 問5Q13で「1. 続けたい」と答えた方におうかがいします】

□Q3 問5Q14. 実際に自宅での療養は実現可能だと思いますか。(〇は1つ)

「可能だと思う」は一般高齢者調査で36.5%と、認定者調査の30.2%を上回っています。

「難しいと思う」は逆に、認定者調査の40.4%が一般高齢者調査の35.8%を上回っています。



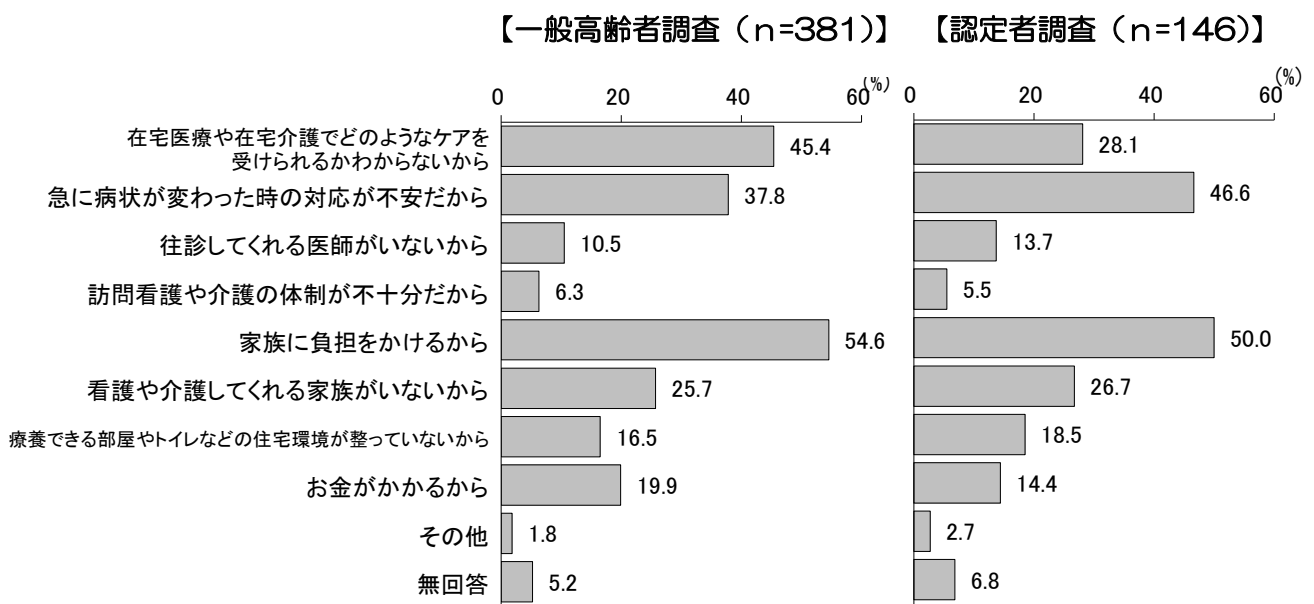


(4) 在宅療養が難しいと思う理由

【Q3 Q14で「2. 難しいと思う」と答えた方におうかがいします】  
Q4 問5 Q15. 自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

いずれの調査も「家族に負担をかけるから」が半数以上で最も多くなっています。

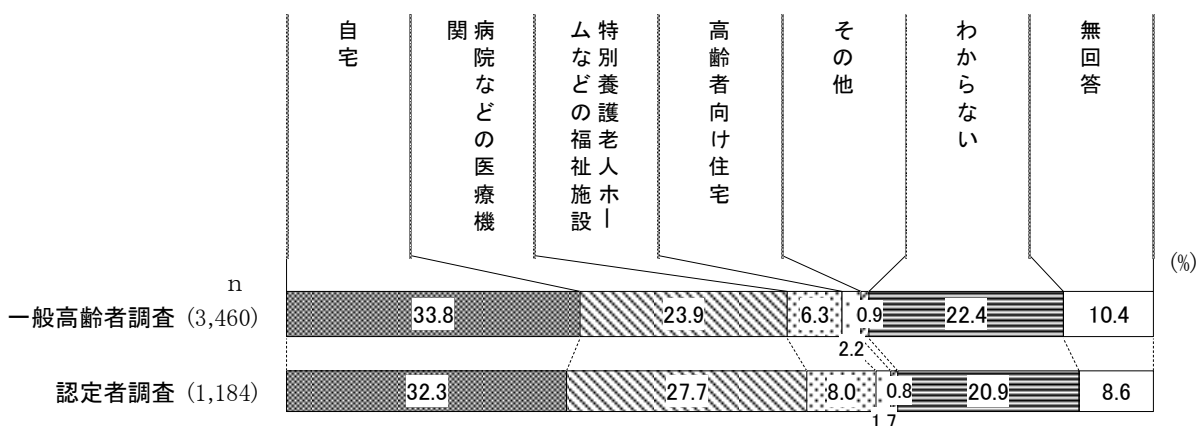
以下、一般高齢者調査では、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」(45.4%)、「急に病状が変わった時の対応が不安だから」(37.8%)、「看護や介護してくれる家族がないから」(25.7%)と続き、認定者調査では、「急に病状が変わった時の対応が不安だから」(46.6%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」(28.1%)、「看護や介護してくれる家族がないから」(26.7%)の順になっています。



(5) 最期を迎えたい場所

Q5 問5 Q16. あなたが病気などで人生の最期を迎える時が来た場合、どこで過ごしたいと思いますか。(〇は1つ)

いずれの調査も「自宅」が3割を超えて最も多く、「病院などの医療機関」がこれに次いでいます。

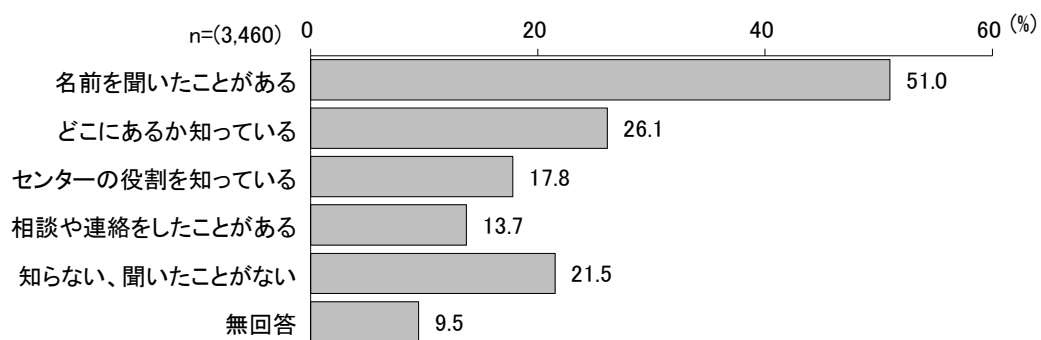


## 1.1. 介護の状況など

### (1) 「高齢者あんしんセンター」の認知度

□ Q1. あなたは、高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）について、どの程度ご存知ですか。（あてはまるものすべてに○）

「名前を聞いたことがある」が51.0%と最も多く、次いで「どこにあるか知っている」（26.1%）、「知らない、聞いたことがない」（21.5%）となっています。



〈居住地区別／「高齢者あんしんセンター」の認知度〉

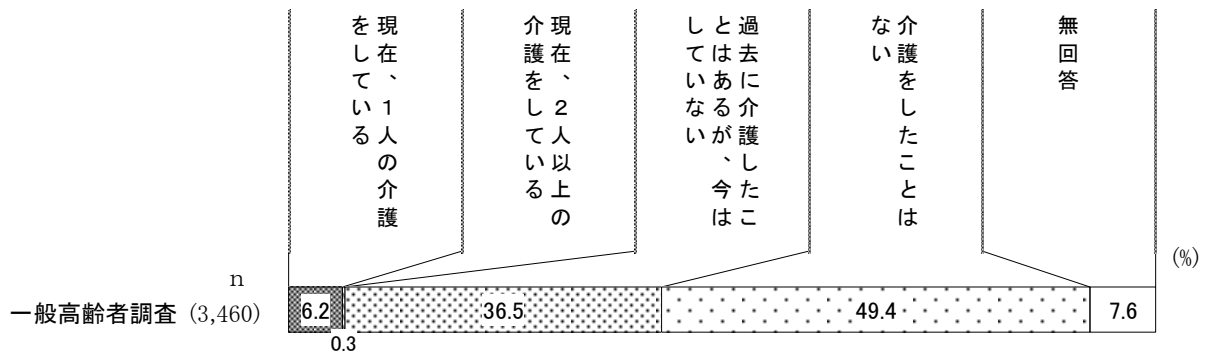
居住地区別に見ると、『知っている』（「知らない、聞いたことがない」と無回答を除く）の割合は、十条台（75.4%）が最も多く、東田端（73.2%）、十条（72.7%）と続きます。一方、「知らない、聞いたことがない」の割合は、西ヶ原東（29.5%）が最も多く、赤羽北（26.4%）、王子（25.6%）と続きます。

		(%)					
	回答者数	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答
一般／全体	1,184	51.0	26.1	17.8	13.7	21.5	9.5
十条台	69	56.8	23.1	13.1	10.6	16.1	8.5
王子	87	54.6	24.7	18.1	12.3	25.6	5.3
豊島	119	53.2	24.3	15.1	10.8	24.3	3.4
十条	63	48.5	28.5	20.6	18.8	20.6	6.7
神谷	54	52.4	22.4	18.2	15.9	22.9	8.2
赤羽西	83	54.1	29.2	18.7	17.5	20.2	8.6
志茂	74	46.2	28.1	18.6	16.6	24.1	10.1
赤羽	48	50.7	27.1	18.8	18.1	16.7	13.2
赤羽北	54	48.5	25.2	16.0	13.5	26.4	10.4
滝野川西	73	47.6	25.6	20.3	13.2	21.6	11.5
滝野川東	81	45.1	29.6	22.1	18.1	24.3	11.5
西ヶ原東	46	43.8	21.9	15.8	8.2	29.5	12.3
昭和町	30	58.3	21.9	14.6	10.4	21.9	9.4
浮間	60	52.3	33.2	17.6	12.6	15.6	12.1
桐ヶ丘	94	50.5	26.2	18.5	12.0	16.4	13.5
田端	38	47.8	25.2	18.3	13.9	21.7	13.9
東十条	45	55.9	22.8	13.4	9.4	22.0	7.9
堀船	41	53.5	21.7	17.1	11.6	20.2	10.1
東田端	25	47.9	35.2	23.9	18.3	15.5	11.3

(2) 家族・親族の介護経験

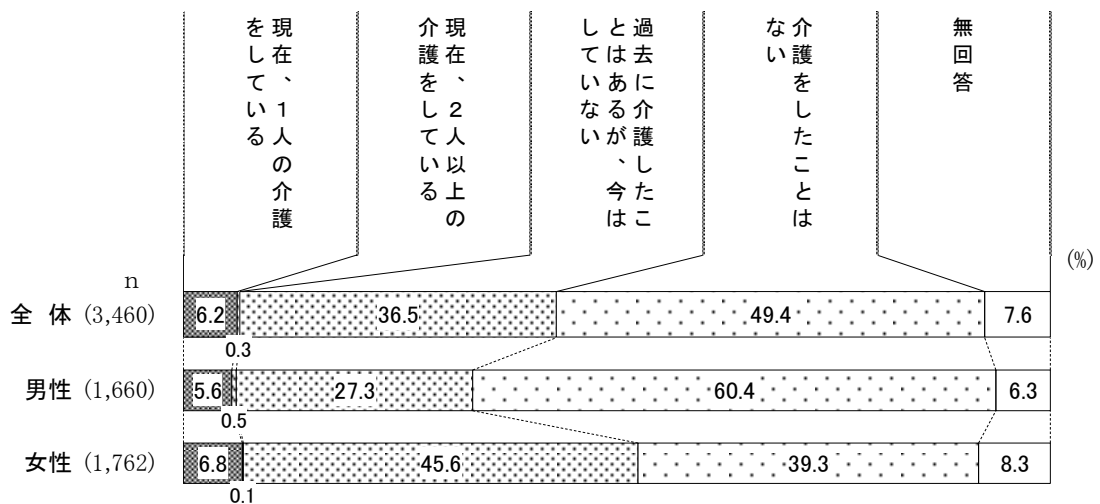
☐Q2. あなたは、ご家族または親族の介護をしていますか。(○は1つ)

「介護をしたことはない」が49.4%と半数近く、「現在、一人の介護をしている」、「現在、二人以上の介護をしている」、「過去に介護したことはあるが、今はしていない」を合わせた『介護経験あり』は43.0%となっています。



〈性別／家族・親族の介護経験〉

性別に見ると、『介護経験あり』は、男性で33.4%、女性で52.5%となっています。

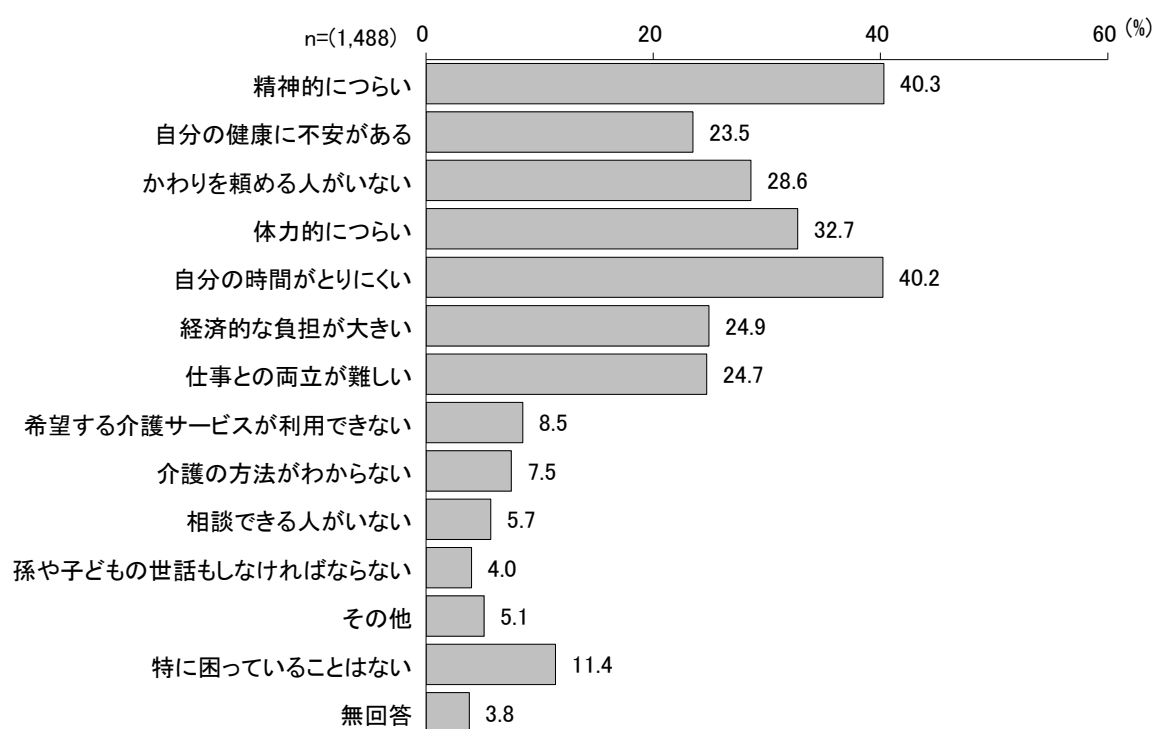


(3) 介護で困っていること

【☐Q2で「1. 現在、1人の介護をしている」「2. 現在、2人以上の介護をしている」「3. 過去に介護したことはあるが、今はしていない」と答えた方にうかがいます。】

☐Q3. 介護をするうえで困っていること（困っていたこと）は何ですか。

「精神的につらい」（40.3%）と「自分の時間がとりにくい」（40.2%）が約4割で、以下、「体力的につらい」（32.7%）、「かわりを頼める人がいない」（28.6%）、「経済的な負担が大きい」（24.9%）、「仕事との両立が難しい」（24.7%）と続いています。

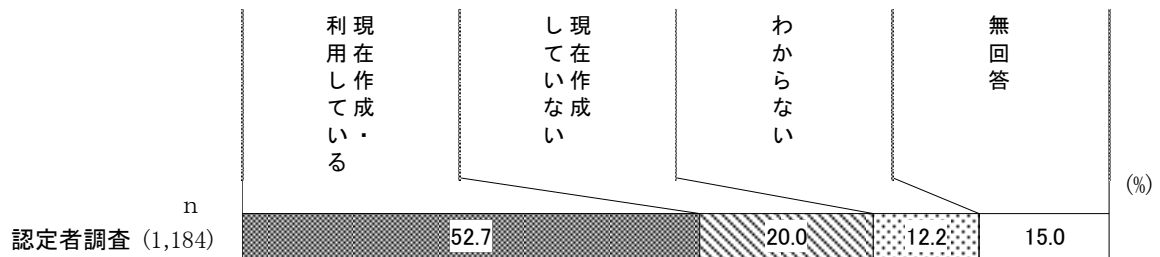


## 1.2. 介護保険サービス

### (1) ケアプランの利用

認Q1. あなたは現在、ケアプランを作成・利用していますか。(〇は1つ)

「現在作成・利用している」が52.7%と半数を超えています。

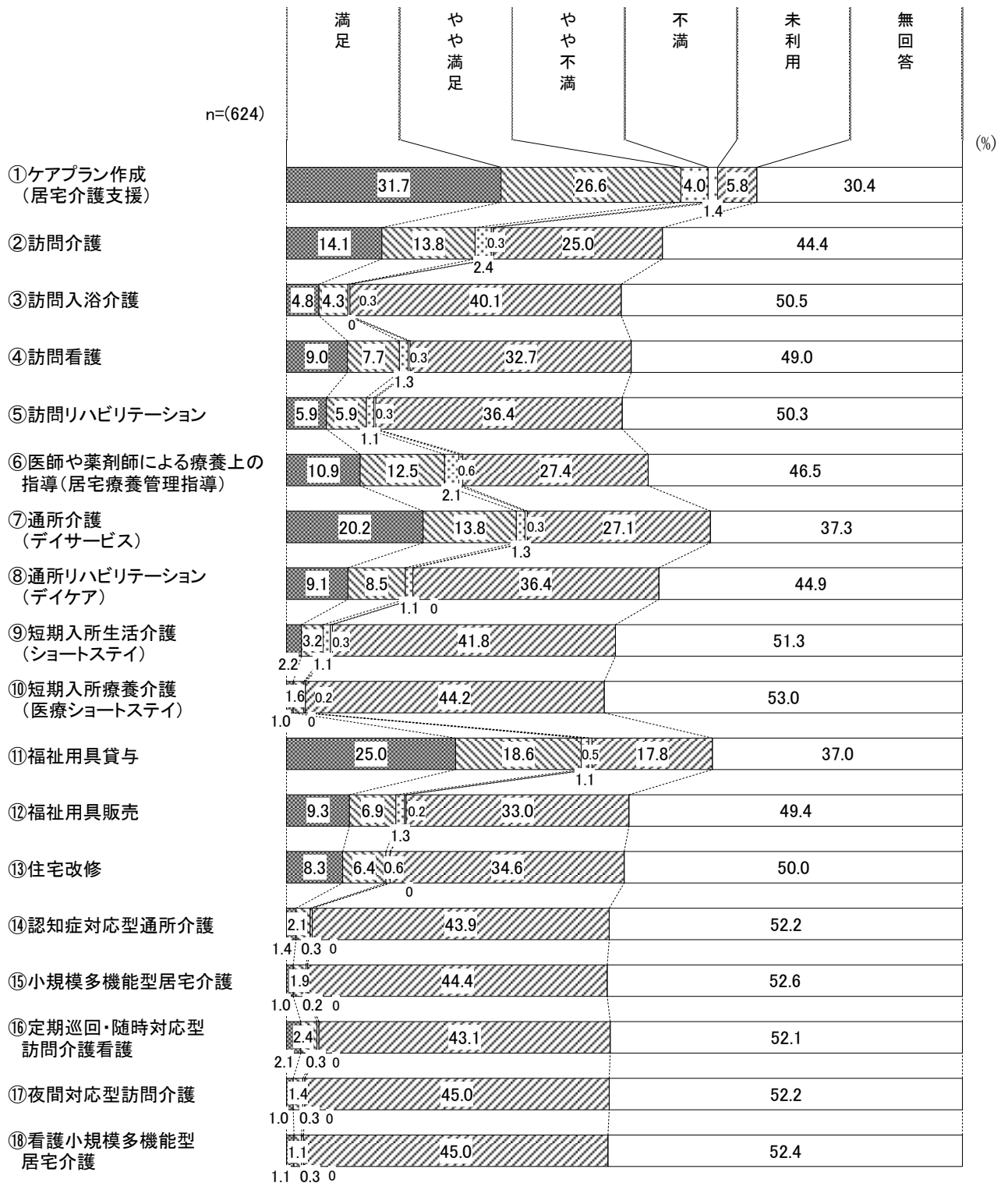


(2) 介護保険サービスの満足度

【認Q1で「1. 現在作成・利用している」と答えた方にうかがいます。】

【認Q2. あなたは利用している介護保険サービスについて、どの程度満足していますか。】

介護保険サービスの利用満足度で、「満足」と「やや満足」の合計をみると、“ケアプランの作成（居宅介護支援）”が58.3%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が43.6%となっています。

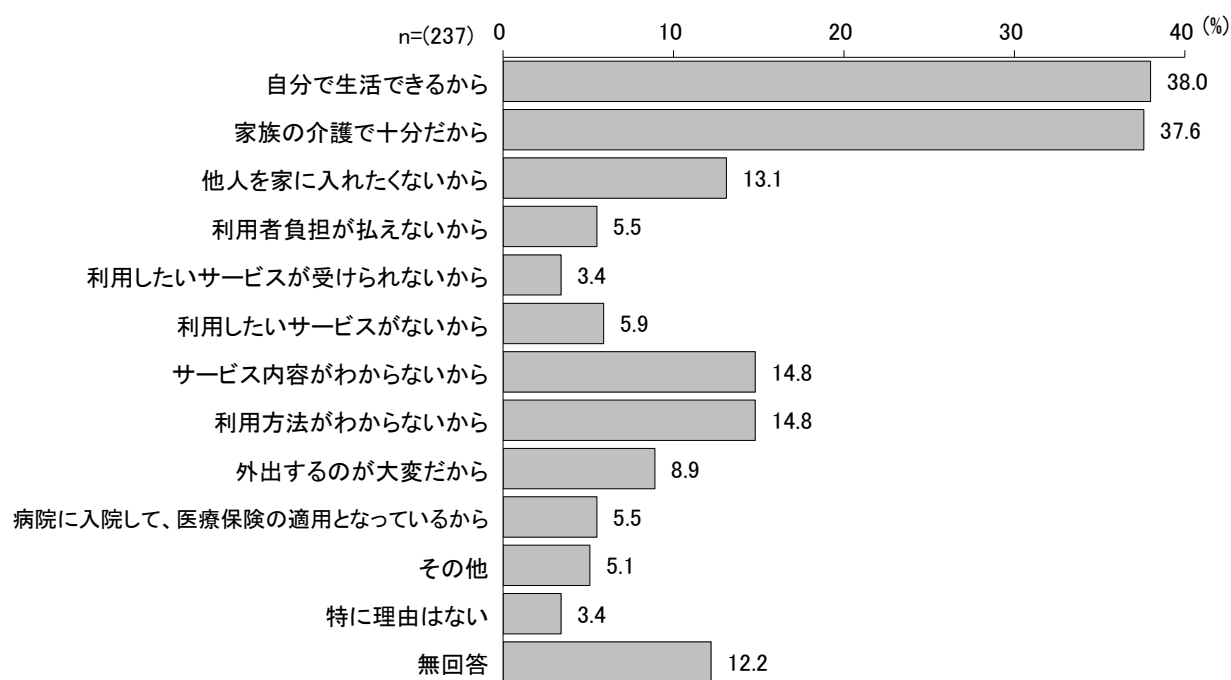


(3) 介護保険サービスを利用していない理由

【認】Q1で「2. 現在作成していない」と答えた方にうかがいます。】

【認】Q3. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

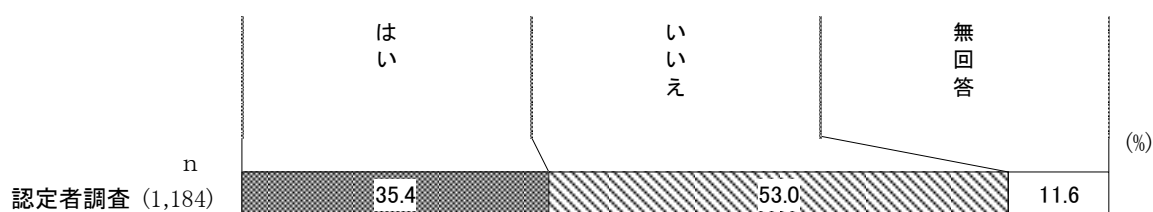
「自分で生活できるから」（38.0%）と「家族の介護で十分だから」（37.6%）が4割近くと特に多く、以下、「サービス内容がわからないから」（14.8%）、「利用方法がわからないから」（14.8%）、「他人を家に入れたくないから」（13.1%）と続いています。



(4) この1年間での入院経験

【認】Q4. 過去1年間に、病院に入院されたことはありますか。

「はい」（入院経験あり）が35.4%となっています。





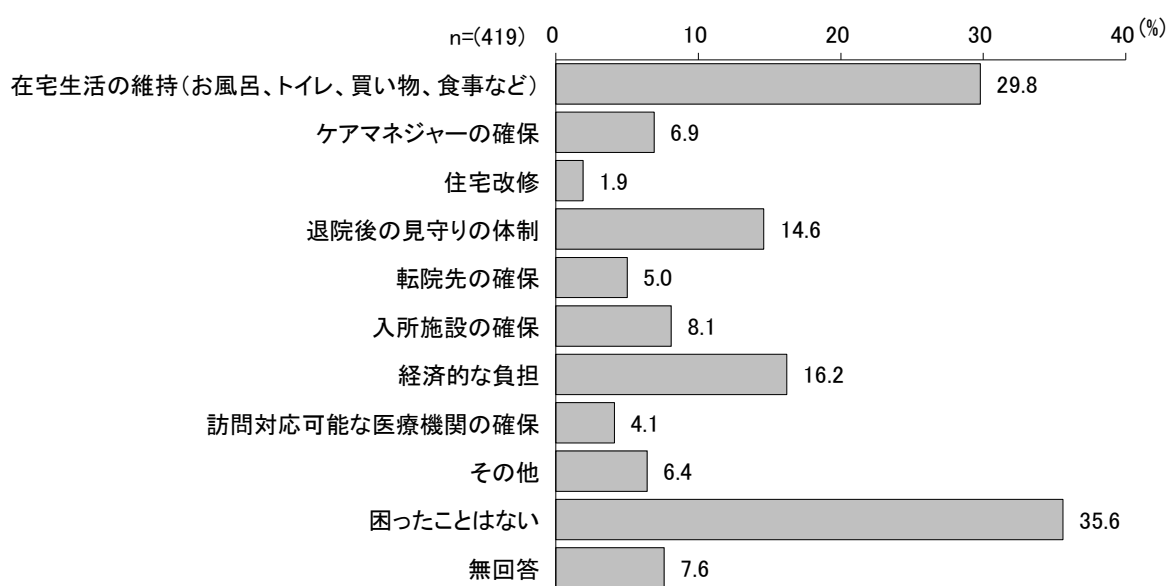
(5) 退院時に困ったこと

【認Q5で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】

認Q5. 退院時に困ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体から「困ったことはない」(35.6%)と無回答(7.6%)を除いた56.8%が、困った点を挙げています。

「在宅生活の維持(お風呂、トイレ、買い物、食事など)」が29.8%と最も多く、次いで「経済的な負担」(16.2%)、「退院後の見守りの体制」(14.6%)、「入所施設の確保」(8.1%)と続いています。

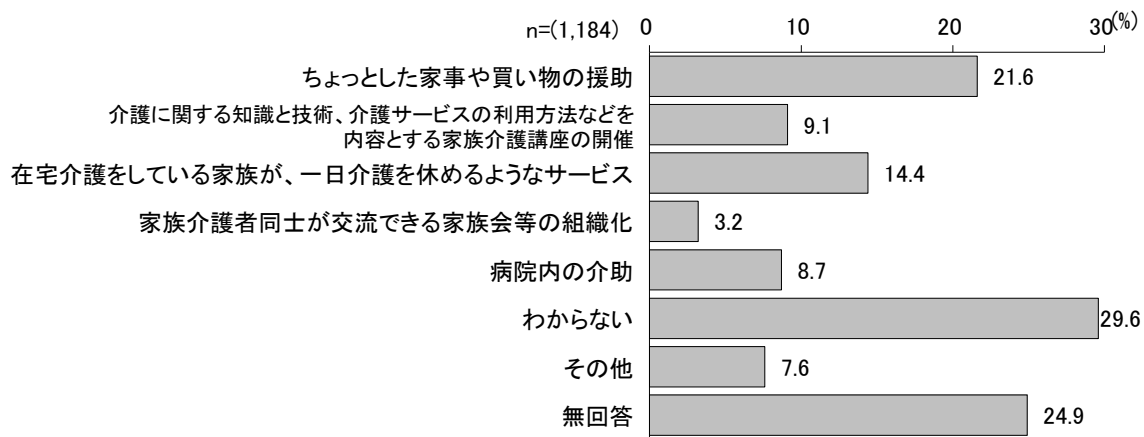


(6) 今後増やしてほしい福祉サービス

認Q6. 今後増やしてもらいたいと思う福祉サービス（介護保険サービス以外）はどれですか。下の中からお選びください。（あてはまるものすべてに○）

全体から「わからない」（29.6%）と無回答（24.9%）を除いた45.5%が、具体的なサービスを挙げています。

「ちょっとした家事や買い物の援助」が21.6%と最も多く、次いで「在宅介護をしている家族が、一日介護を休めるようなサービス」（14.4%）、「介護に関する知識と技術、介護サービスの利用方法などを内容とする家族介護講座の開催」（9.1%）、「病院内の介助」（8.7%）となっています。



## ■自由記述

これからの高齢者施策や地域づくりのあり方等についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。

### （1）一般高齢者調査

641件の回答があり、内容別では「区や国への意見・要望」についての意見が183件と最も多く、次いで「高齢福祉・地域福祉」が61件、「医療・健康」が56件、「入所施設」が55件となっています。

項目		件数
1	区や国への意見・要望	183
2	高齢福祉・地域福祉	61
3	医療・健康	56
4	入所施設	55
5	経済事情・経済的負担	44
6	在宅介護・介護者	39
7	介護保険制度・介護サービス	31
8	アンケートについて	31
9	仕事	14
10	その他	127
回答総数		641

※複数の項目にまたがる意見もあるため、各項目の件数の合計は回答総数を上回ります。

### ■主な意見の概要（抜粋、要約の場合あり）

#### ①区や国への意見・要望

介護関係で働く人の賃金を含めた待遇の改善をし、優秀な人材を集めることを第一に、慢性的な人手不足をなくす。

公共交通（循環バスなど）の充実を望む。高齢化に伴い免許返納したいが、車がないと、日々の買物、通院、体力づくり全てが不能となる。

現在は介護が必要ない生活をしていても、知識として、高齢者に対する、ケアをていねいに説明してもらって、理解を深めたいので、書面だけでなく、有効な方法を考えてもらいたい。

### ②高齢福祉・地域福祉

施設、地域づくりの情報を分かりやすく紹介してほしい。紹介、説明なども単発で終わらせるのではなく、定期的に発刊して手に取れるよう工夫してください。高齢者が過ごしやすい社会をつくりあげましょう。

自分は今一人暮らしをしていて、まだ健康な状態なので大丈夫だが、急に倒れたりした場合どうなるのか心配な部分がある。なので、一人暮らしをしている高齢者をどう見守りフォローしていくかの地域活動に今後興味はある。

高齢者は部屋に閉じこもりがちで、一人生活者への見守りを強化する。近所の人が声をかけ、連帯感を持つようにする。

### ③医療・健康

かかりつけ医があっても夜間・休日はやってないので、体調を崩したときに、いつでも診てもらえる医療を希望できれば、1人暮らしの不安は少しでもなくなるのでは。例えば、コールドクターの救急出張で、ぜひ北区にもと願っています。

公園に、もう少しトレーニングができる器具を置いて欲しい。ジムへ行かずに自分でやりたい。置いてある所もあるが少ない。新しい器具（種類）にもチャレンジしたい。

入院した場合、3ヶ月毎に病院を変わらなければならないのは、とても不安で、負担だった。

### ④入所施設

自分が介護が必要になったときに、どこへ相談したらよいのかわからない。また、認知症になったとき、特別養護老人ホーム・福祉施設などもどこにあるのかわからない。最初はかかりつけ医に相談しますが、その後はとても不安です。

特養入所の平均的待機月数、老健入所の留意点、デメリットなどを、もう少し具体的・実用的な情報提供を望んでいます。

病院から退院した後の、療養施設・相談窓口・その後のフォローを一貫して受けただけの高齢者施設が欲しい。

### ⑤経済事情・経済的負担

今はURに住んでいるが、家賃が高い。都営住宅を申込んでいるが、なかなか当選しない。この先収入が減っていくことを思うと、経済的にやっていけるか心配である。家賃の安い（年金で生活できる）公的な住宅が増えて欲しい。

高齢者となると病気も多く、夫婦共に医療費が生活の重圧になってきているところに、10月より医療保険の負担の割合が2割となり困っています。

74歳までパートで働き、年金給与収入を得て生活してきましたが仕事をやめた途端に、年金のみでは生活がしていけないと実感しましたし余裕が無くなりました。後期高齢者医療保険料、介護保険が年金から引かれ、物価高もあり、今後の生活が不安です。

### ⑥在宅介護・介護者

老老介護は無理。子どもが親の介護をするのは当たり前ですが、仕事をやめてまでするのは、いかななものでしょうか。子ども側の生活もありますし、仕事をやめることにより負の連鎖が始まると思う。

介護者として外出の際、トイレが少なく（健常者の使用が多く長い）、段差もあるして、困ることがある。また、医療関係も待ち時間が長く、車いすでの移動者にとって負担が大きい。

自分が長く介護をした経験から、一人ですべてを抱え込むことは、介護をする側、される側、両方に良いことではない。利用出来る制度を良く知り、サービスを利用して、関係者と協力しながら、明るく楽しい老後が送れると良いと思います。その為にも地域包括支援センターは、重要な場所だと思います。

### ⑦介護保険制度・介護サービス

家族がいても負担をかけないような、また、家族へのフォローがあるような介護サービスがあればと思います。経験者、有識者などの方方で議論し、北欧各国を参考に、望ましい状況になればと思います。

介護保険料の支払いに見合った介護度を出してほしい。だんだん厳しくなるようで将来に不安を感じます。

圧迫骨折した際、親切で素早い対応に今でも感謝しています。介護保険料や利用料の値上げが問題になっていますが、それらを含めて、利用者に寄り沿ったセンターであって欲しいです。人それぞれ、考え方も健康状態も違いますが、基本は健康で安心できる、自立した生活で、そこに向けた保障が大事なのではないでしょうか。

### ⑧アンケートについて

75歳の今は元気ですが、この先はわからずアンケート内容について自覚しなければならぬとつくづく思われました、ありがたいアンケートでした。今日は元気で色々できても明日はわかりません、考えなければならぬものとき！です。今は人の為にできても、近い将来にはお世話になることが多くなると思うと、しっかり考えて行動しなければならないと感じました。

アンケート結果は倉庫にしまっておくだけでなく、実際に役立ててください。

アンケートの調査結果をHP等で見える化してほしい。また、アンケート結果をどう施策に結び付けているかを見える化してほしい。

⑨仕事

地域包括支援センターから登録者に定期的にメールマガジンなど配信してもらおうと、つながりが持ちやすいと思います。教員（大学）を退職していますが、中学や高校の課外活動、あるいは補習などのサポートを多少の報酬をいただいて参加出来るような機会があれば、中学・高校の現役の先生の負担軽減と、退職後もまだ元気な世代にとっての少しの収入と生きがいの発掘につながると思います。

高齢になっても収入が得られる仕事がほしい。若い人たちの役に立ちたい、立てるような仕事が欲しい。

現在一人暮らしですが、気楽な面もありますが、時々孤立感もあります。私の希望としては、短時間で働きたい、趣味の活動もして、人とかかわりたいと思っています。

⑩その他

コロナ禍ということもあり、ご近所でも様子がわからなくなっている。災害などが起きたときも、何をどうできるのかわからない。

今まで考えたことがなかったが、必要だと思いました。70歳以上になり、健康に気をつけているが、病気は突然やってくるものと思いました。

今現在、地域の人に世話になっており、感謝しています。

(2) 認定者調査

298件の回答があり、内容別では「介護保険制度・介護サービス」についての意見が80件と最も多く、次いで「区や国への意見・要望」が49件、「将来への不安」が31件となっています。

項目		件数
1	介護保険制度・介護サービス	80
2	区や国への意見・要望	49
3	将来の不安	31
4	入所施設	27
5	アンケートについて	23
6	在宅介護・介護者	19
7	経済事情・経済的負担	19
8	医療・健康	6
9	高齢福祉・地域福祉	5
10	その他	39
回答総数		298

※複数の項目にまたがる意見もあるため、各項目の件数の合計は回答総数を上回ります。

■主な意見の概要（抜粋、要約の場合あり）

①介護保険制度・介護サービス

介護をされる方は日々大変だとは思いますが、介護を受ける方も症状はそれぞれ違うため、一辺倒な介護サービスではなく的確な対応が欲しいと思います。

すべてを介護士で賄うのは限界。ボランティアを増やし、維持することはできないか。

外出が困難な高齢者も多くいますが、デイサービスへ行くと認知症等の老人と一緒に過ごすため、認知症ではない高齢者は、ただ座っているか認知症の方のお世話をすることも多いようです。もっと有益な1日を過ごしてほしいと願います。動けない高齢者の方への支援サービスがあれば、とても元気に過ごせる時間が増えるのではないかと思いますし、その家族も大変助かります。

### ②区や国への意見・要望

一人暮らしですが、施設でなく自宅で人生を全うしたいと考えています。しかし、高齢者の急増や人手不足のなか、地域での在宅介護、医療の情報が全く無い。現状の交流会や、どのような施設があるのか、具体的な状況を共有できるように、情報を見える化してほしい。他人事としてではなく自己の課題としてどう行動出来るのか、課題を解決する方向性を持ちたい。

車いす使用时歩道の強い傾斜や段差で、スムーズに移動できない。田端駅でエレベーターがないなど、施設でも不都合なことが多い。

マイナンバーカード作成のため、保険証が使いえなくなると言われ大変でした。高齢者に色々手続をしろと言われても四苦八苦しみます。簡単をお願いします。

### ③将来の不安

1人暮らしの場合、事故などで人に知らせることができるか不安です。外に出ていたときの方が安心となるかも。

今は息子が手伝ってくれているので困ってはいませんが、寝込むようになった時のことを考えると不安です。

現在は健康で元気ですが、これから先、経済的なことも含め、とても不安を感じます。

### ④入所施設

102歳になり他県のグループホームに入居して9年目を迎えます。車椅子ですが元気に穏やかな毎日を過ごす姿は、都内の施設にこだわらず、本人の希望に沿っていただいた行政に感謝しております。

今は1人で生活できていますが、できなくなった時に、すぐに入れる施設があると良いと思います。

### ⑤アンケートについて

高齢になるとアンケートも字数が多いと大変です。

高齢者の「老いることに関する考え方」や「若い人との接し方」を少し考え直したり、改めたりしなければいけないと感じるきっかけとなったアンケート調査でした。集計結果を知りたいです。

### ⑥在宅介護・介護者

自宅で介護する場合、介護者の負担の軽減ができるシステム作りなどが必要だと思う。

一人暮らしの母を介護している娘です。近くに住んでいるので、毎日朝・夕必ず、介護が必要です。デイサービスにショートステイを利用していますが、急用で、私に来られない時、誰にも頼りません。急に、お願いできるサービスがあると、本当に助かります。介護者としての意見ですが切実な悩みです。



### ⑦経済事情・経済的負担

年金生活者にとって収入はこれだけ。お金に困らないことが一番大事。介護保険料、後期高齢者医療保険料、また、今後の保険料の値上げの話もあり、なぜかと思う。高齢者はなるべく迷惑をかけないように努力して生活している。すべてが値上げされ生活は厳しくなるばかりで、“長生きするなら北区が一番”の実感がない。ぜひ、負担軽減策を考えてください。

看護や介護の費用が年金支給額を上回り、先行き不安で回数を減らしました。

### ⑧医療・健康

アルツハイマーの病院が少なく、費用も高い。2ヶ月で病院を出されるので、次の病院をさがすのが大変です。

介護予防のため、体操教室に週1回行っています。初めてなので心配していましたが、とても皆明るく楽しいです。この様な教室があることは良いと思います。

### ⑨高齢福祉・地域福祉

高齢者あんしんセンターの対応が通り一遍で、親身さが全く感じられなかった。多忙なのは分かるが当事者の緊急性に対応できる人員配置と教育をしてほしい。

高齢者が気楽に交流し話し合える場がもっと欲しい。コロナがおさまれば、そういう機会が増えることを願います。

### ⑩その他

時々ドアの外からでも、返事期待せずに「御元気ですか？」と声をかけてくれる人には感謝している。

今の高齢者はとても幸せだと思います。よくお世話してもらっていると思います。それを若者を助ける方に、もう少し向けてあげないといけないのでは、とも思います。これからの将来を担う若い世代を大事にしてほしいです。収入は増えず、まじめに働いていても結婚して家族を持つ、という考えをもてない程の貧困だとか。どの世代に生まれても良いこと悪いことがあります。



## 第3章 在宅介護実態調査の結果

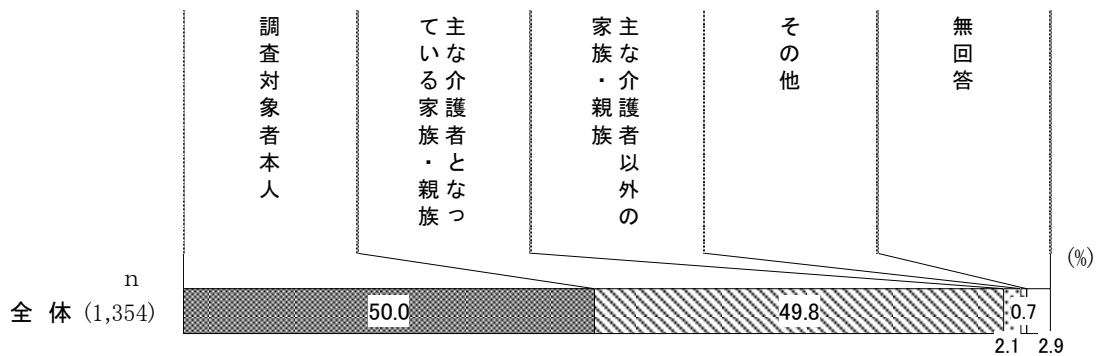


## 1. 調査対象者について

### (1) 調査票の記入者

Q1. 現在、この調査票に回答される方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「調査対象者本人」が50.0%、「主な介護者となっている家族・親族」が49.8%となっています。



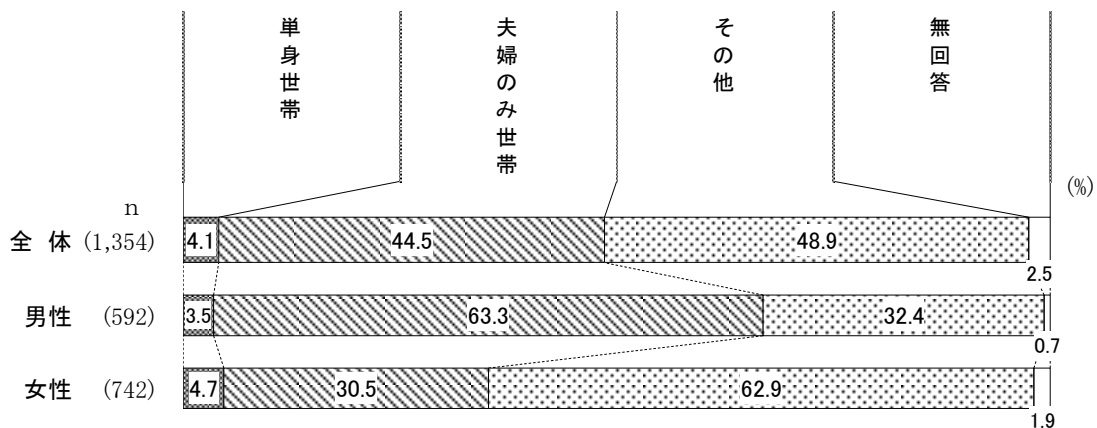
### (2) 世帯類型

Q2. 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

「その他」が48.9%、「夫婦のみ世帯」が44.5%、「単身世帯」が4.1%となっています。

#### 〈性別／世帯類型〉

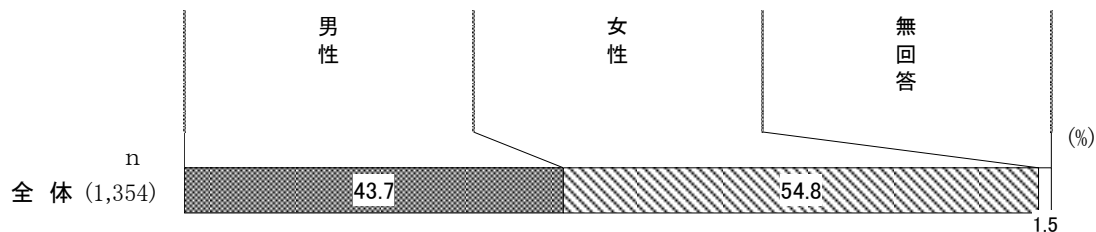
性別に見ると、男性は「夫婦のみ世帯」が63.3%と多く、女性の2倍以上となっています。



(3) 性別

Q3. ご本人の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)

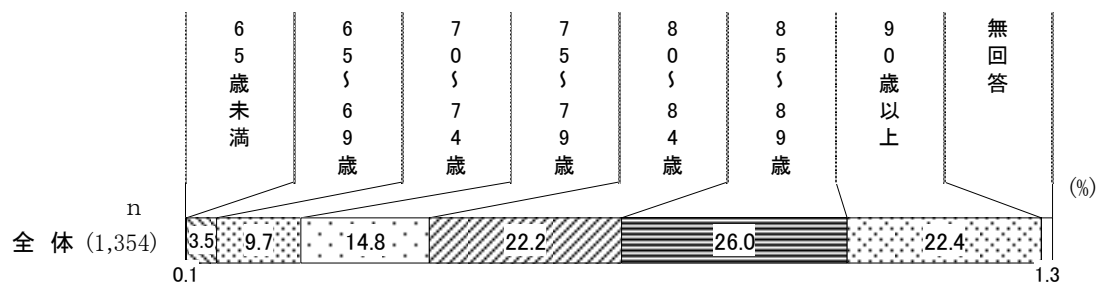
「女性」が54.8%、「男性」が43.7%となっています。



(4) 年齢

Q4. ご本人の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

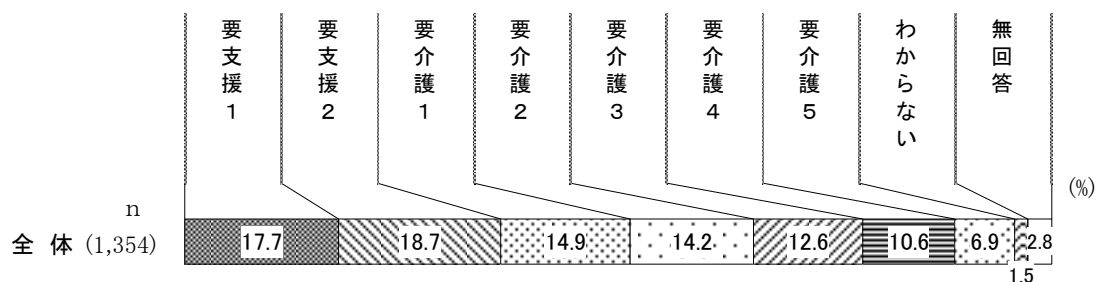
「85～89歳」が26.0%と最も多く、低年齢になるほど少なくなっています。



(5) 要介護度

Q5. ご本人の要介護度について、ご回答ください。(〇は1つ)

「要支援1」から「要介護5」までいずれも1割台となっています。「要支援2」が18.7%で最も多く、「要支援1」と合わせた『要支援』は、36.4%となっています。



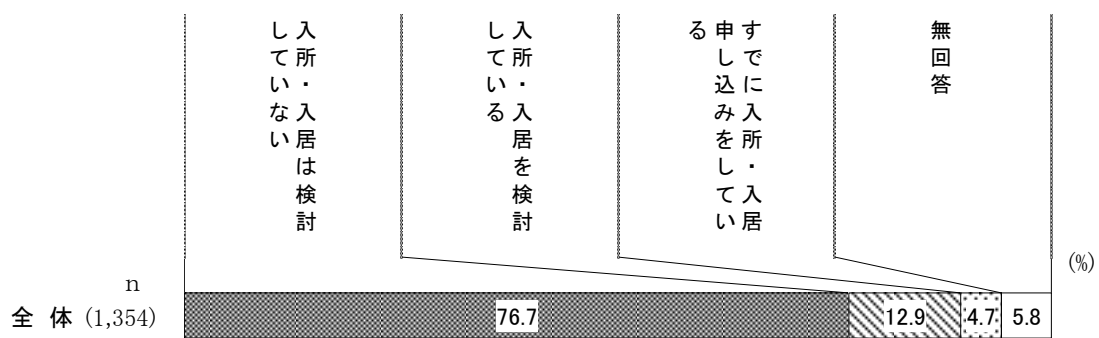
(6) 施設等への入所・入居の検討状況

Q6. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

(○は1つ)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

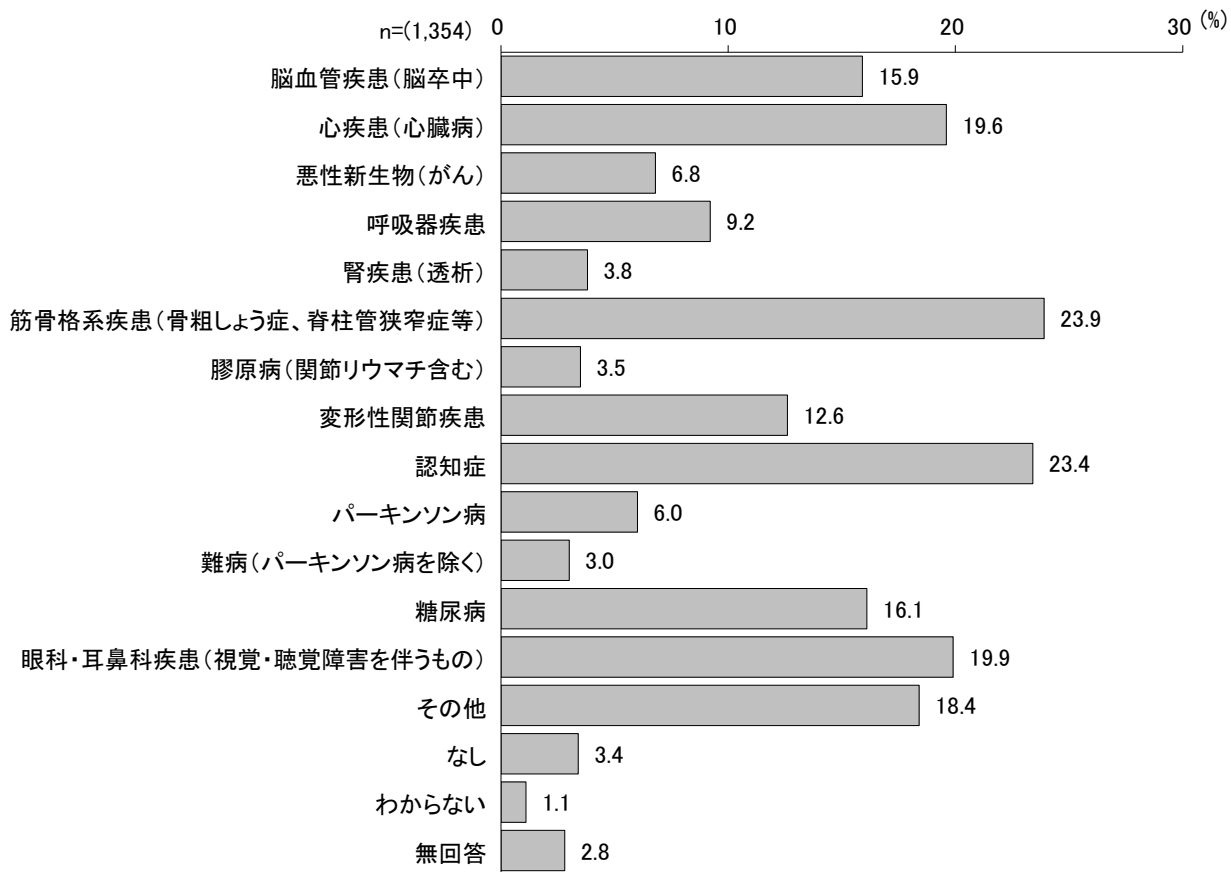
「入所・入居は検討していない」が76.7%を占め、と最も多く、「入所・入居を検討している」が12.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が4.7%となっています。



(7) 現在抱えている傷病

Q7. ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
 （あてはまるものすべてに○）

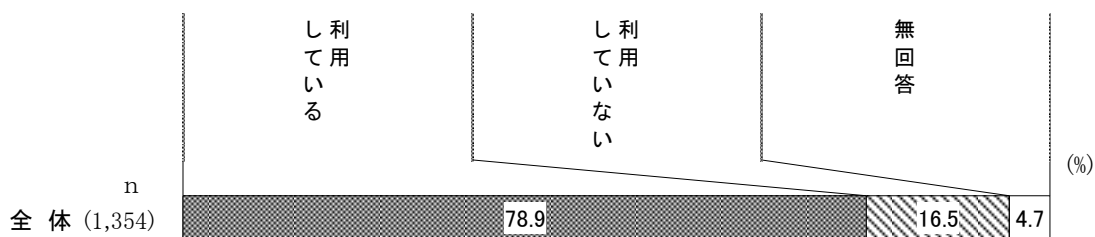
「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（23.9%）と「認知症」（23.4%）が2割を超え、以下、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（19.9%）、「心疾患（心臓病）」（19.6%）と続いています。



(8) 介護保険サービス利用の有無

Q8. 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（○は1つ）

「利用している」が78.9%、「利用していない」が16.5%となっています。



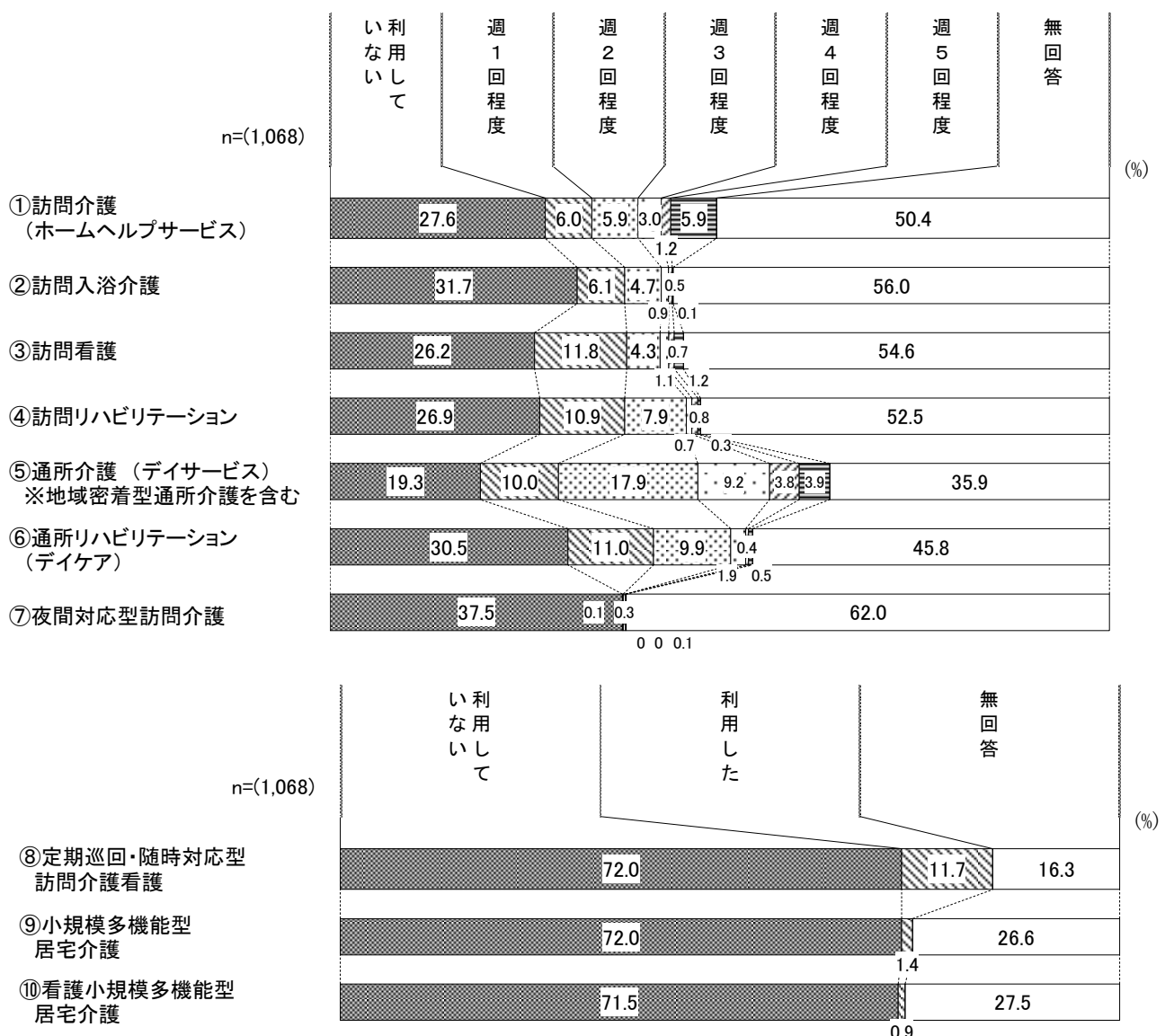


(9) 介護保険サービスの利用状況

【Q8で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。】  
 Q9. 以下の介護保険サービスについて、利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「0回」または「1. 利用していない」を選択してください。(それぞれ1つに〇)

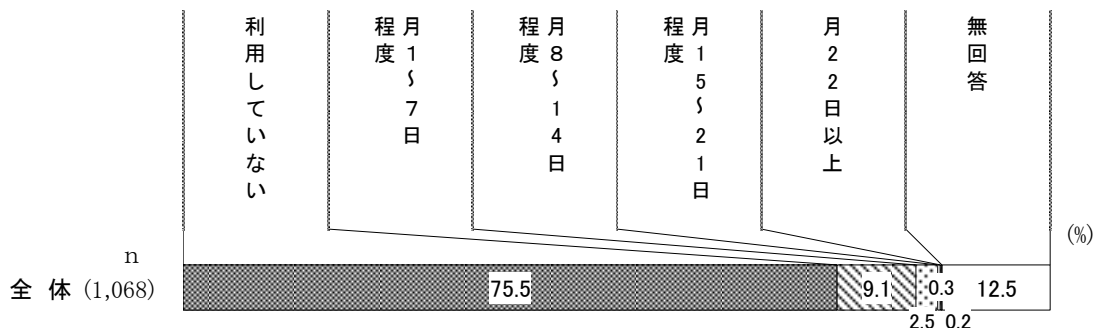
〈①～⑩介護保険サービスの利用状況〉

①から⑦は全体から「利用していない」と無回答を除いた『利用した』割合、⑧から⑩は「利用した」割合を見ると、「通所介護（デイサービス）」が44.8%で最も多く、以下、「通所リハビリテーション（デイケア）」(23.7%)、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(22.0%)、「訪問リハビリテーション」(20.6%)、「訪問看護」(19.1%)、「訪問入浴介護」(12.3%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(11.7%)、「小規模多機能型居宅介護」(1.4%)、「看護小規模多機能型居宅介護」(0.9%)、「夜間対応型訪問介護」(0.5%)となっています。



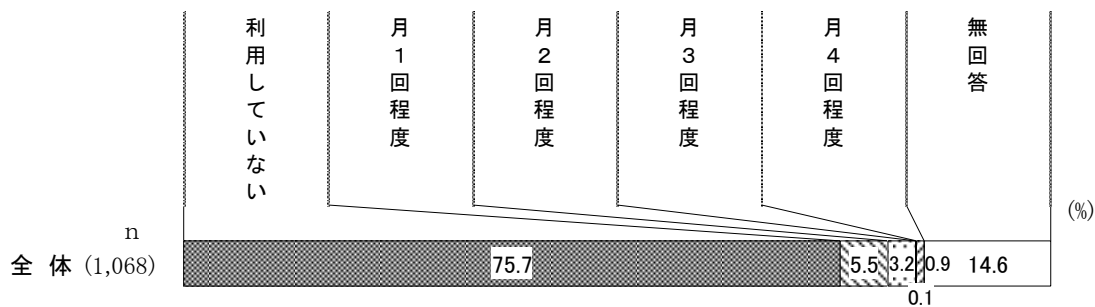
〈⑪「ショートステイ」の利用状況〉

全体から「利用していない」と無回答を除いた『利用した』は12.0%で、そのうちの9.1%が「月1～7日程度」となっています。



〈⑫「居宅療養管理指導」の利用状況〉

全体から「利用していない」と無回答を除いた『利用した』は9.7%で、そのうちの5.5%が「月1回程度」となっています。

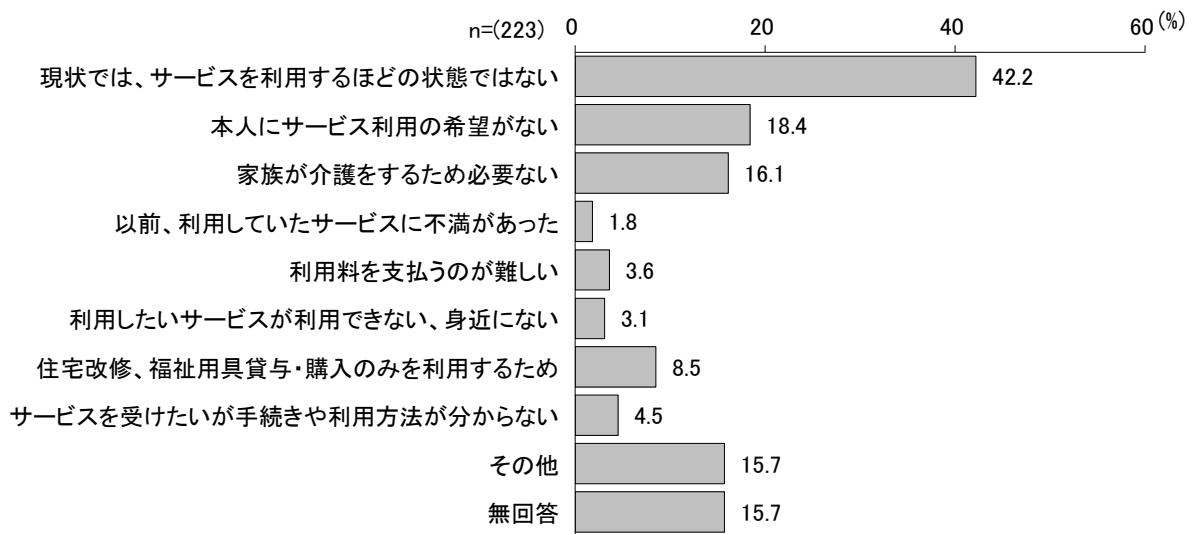


(10) 介護保険サービスを利用していない理由

【Q8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。】

Q10. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が42.2%と特に多く、以下、「本人にサービス利用の希望がない」(18.4%)、「家族が介護をするため必要ない」(16.1%)、「その他」(15.7%)となっています。

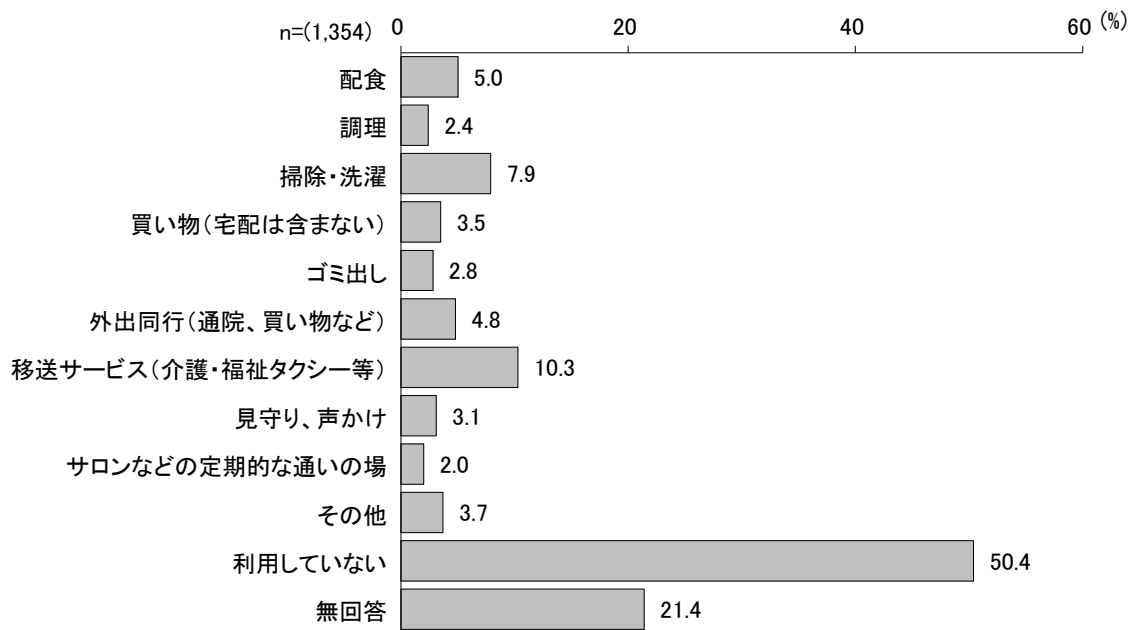


(11) 介護保険サービス以外の利用状況

Q11. 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

全体から「利用していない」(50.4%)と無回答(21.4%)を除いた28.2%が、介護保険以外の支援・サービスを利用しています。

「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が10.3%と唯一1割を超え、以下、「掃除・洗濯」(7.9%)、「配食」(5.0%)、「外出同行(通院、買い物など)」(4.8%)と続いています。

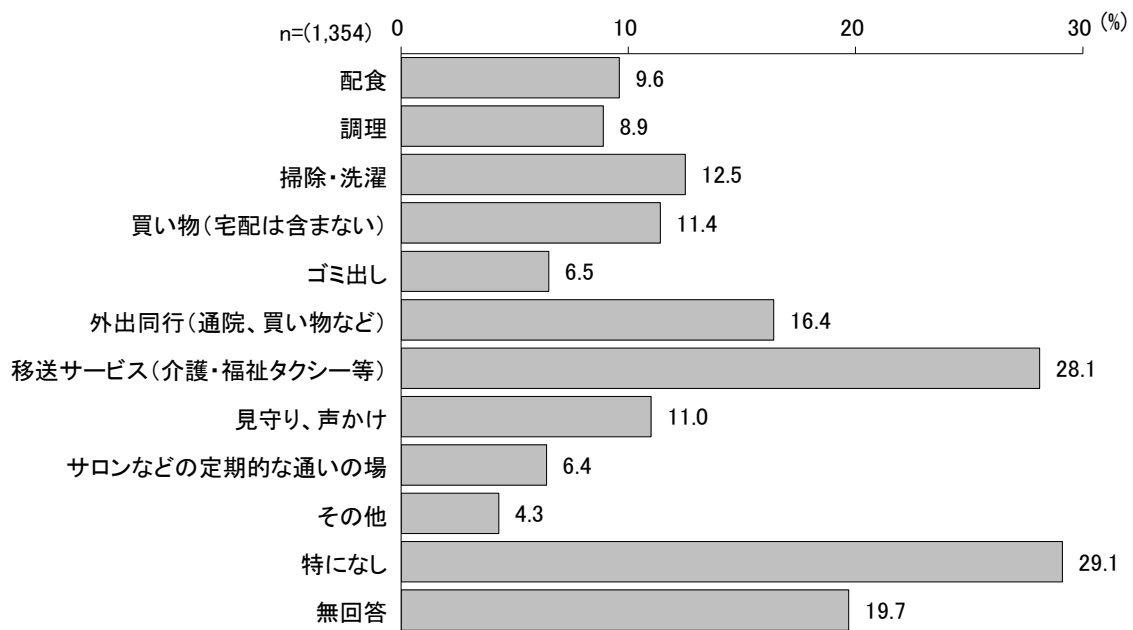


(12) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

Q12. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。  
 （あてはまるものすべてに○）

全体から「特になし」（29.1%）と無回答（19.7%）を除いた51.2%が、具体的な支援・サービスを挙げています。

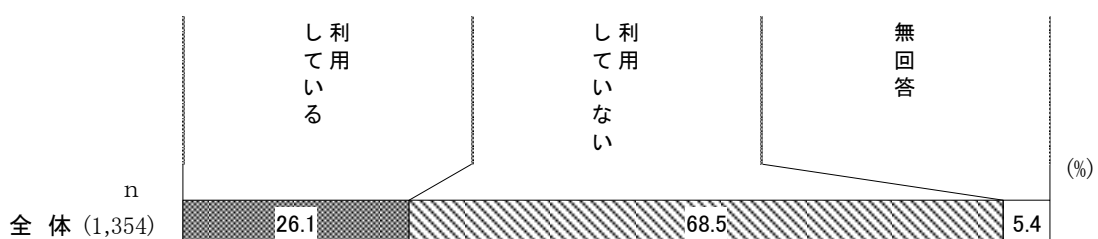
「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.1%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（16.4%）、「掃除・洗濯」（12.5%）、「買い物（宅配は含まない）」（11.4%）、「見守り、声かけ」（11.0%）と続いています。



(13) 訪問診療の利用状況

Q13. ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）  
 ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

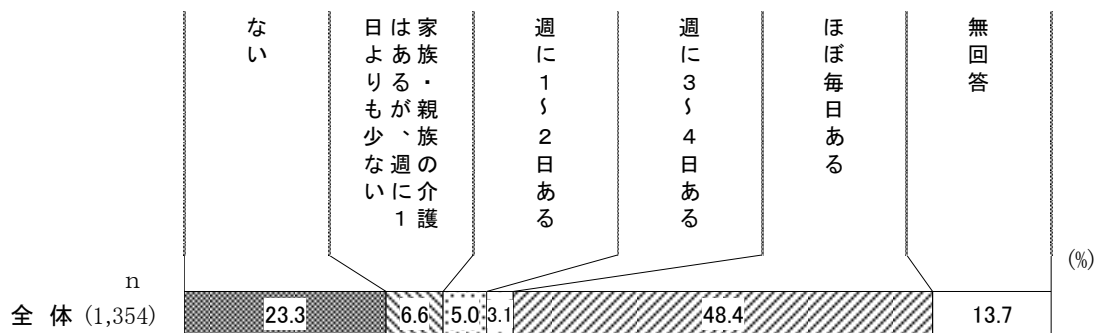
「利用している」が26.1%、「利用していない」が68.5%となっています。



(14) 家族・親族からの介護の頻度

Q14. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（〇は1つ）

「ほぼ毎日ある」が48.4%と半数近く、次いで「ない」（23.3%）、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」（6.6%）、「週に1～2日ある」（5.0%）となっています。

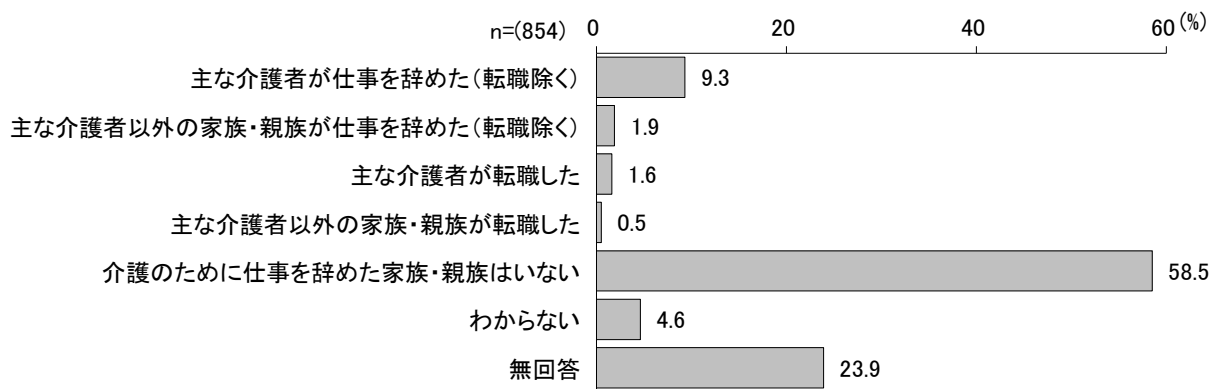


## 2. 主な介護者について

### (1) 介護理由による離職者の有無

Q1. ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（あてはまるものすべてに○）

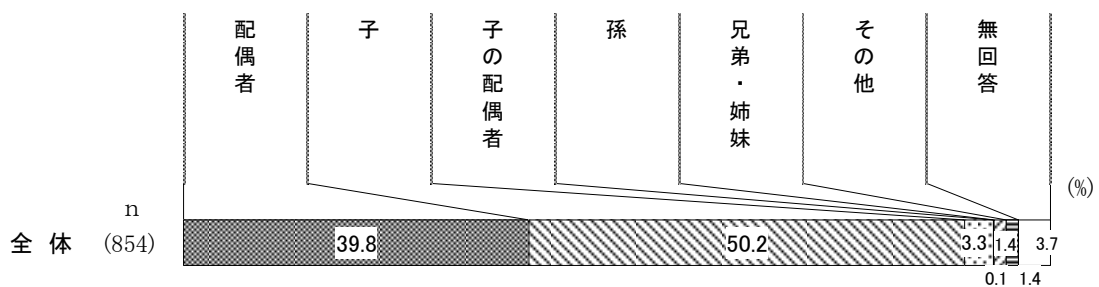
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が58.5%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（9.3%）となっています。



### (2) 主な介護者

Q2. 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）

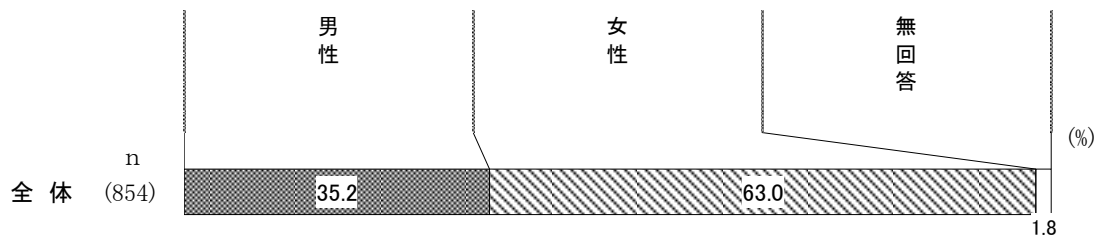
「子」が50.2%と半数で、「配偶者」が39.8%となっています。



(3) 主な介護者の性別

Q3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)

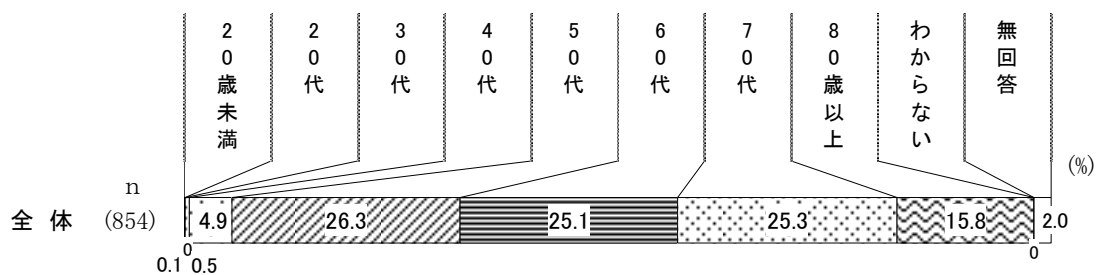
「女性」が63.0%、「男性」が35.2%となっています。



(4) 主な介護者の年齢

Q4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

「50代」(26.3%)、「60代」(25.1%)、「70代」(25.3%) が同率に近く、50歳以上が全体の92.5%を占めています。



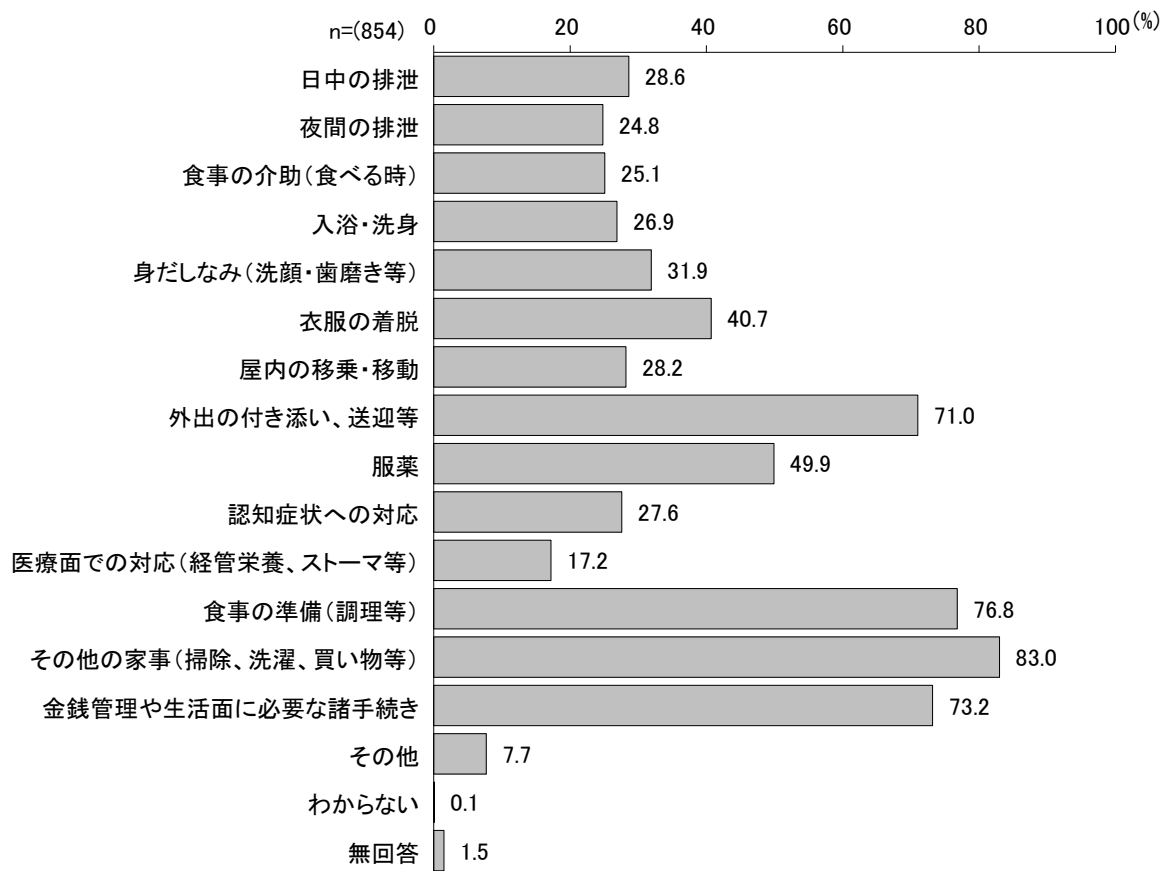


(5) 介護の内容

Q5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

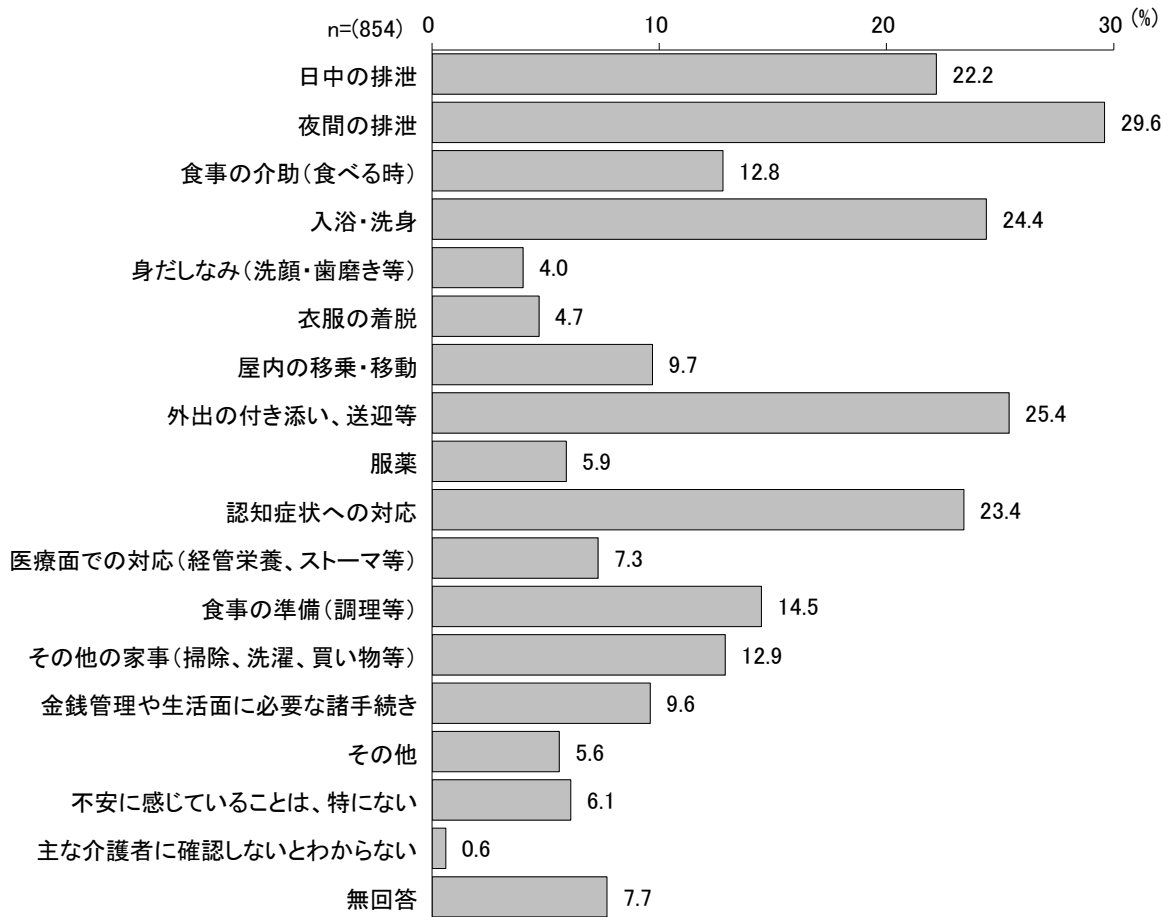
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（83.0%）が8割台、「食事の準備（調理等）」（76.8%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（73.2%）、「外出の付き添い、送迎等」（71.0%）が7割台で続き、以下、「服薬」（49.9%）、「衣服の着脱」（40.7%）となっています。



(6) 不安に感じる介護等

Q6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（〇は3つまで）

「夜間の排泄」が29.6%と最も多く、以下、「外出の付き添い、送迎等」（25.4%）、「入浴・洗身」（24.4%）、「認知症状への対応」（23.4%）、「日中の排泄」（22.2%）と続いています。

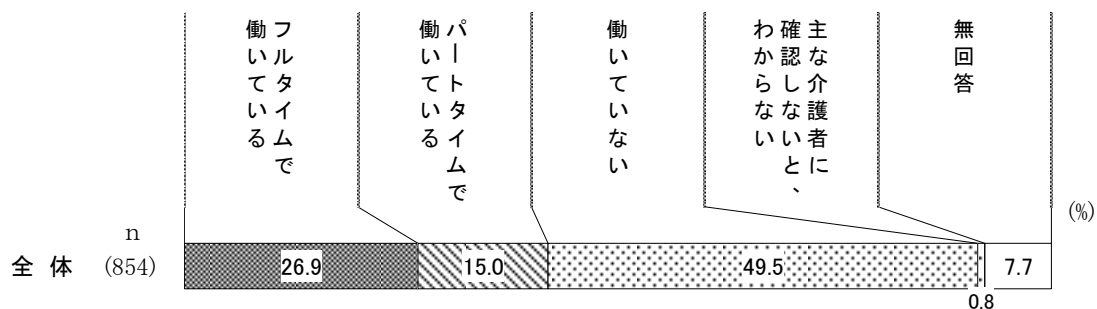


(7) 主な介護者の勤務形態

Q7. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(〇は1つ)

※パートタイム：1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方

「働いていない」が49.5%と半数近くで、「フルタイムで働いている」が26.9%、「パートタイムで働いている」が15.0%となっています。

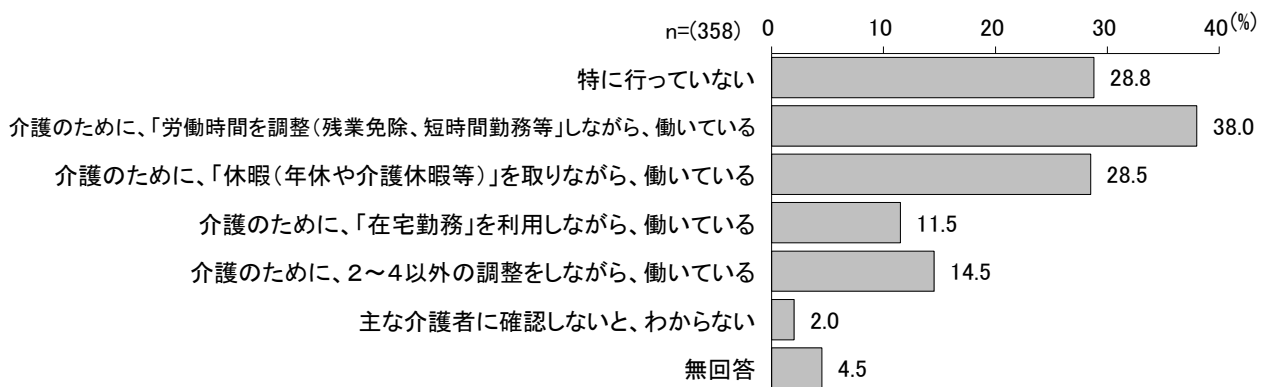


(8) 働き方の調整等

【Q7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方（働いている方）にお伺いします。】

Q8. 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

具体的な調整としては、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が38.0%と最も多く、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が28.5%、「介護のために、2～4※以外の調整をしながら、働いている」が14.5%となっています。



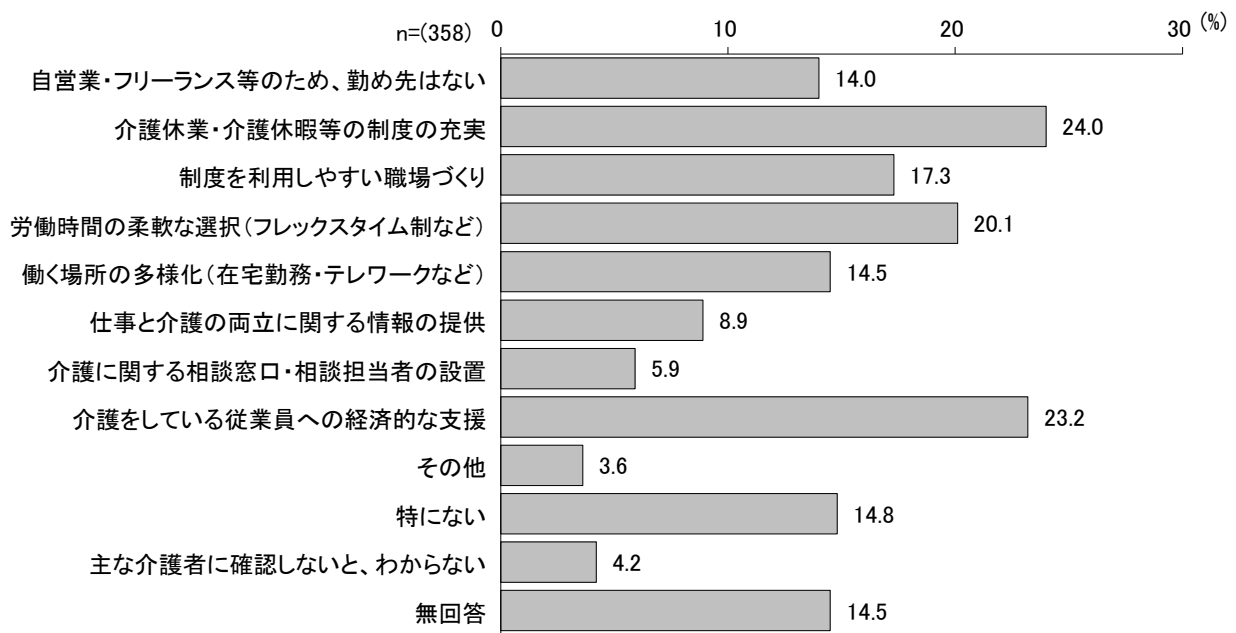
※2～4以外：選択肢2「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）」しながら、働いている」  
 選択肢3「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」  
 選択肢4「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」

(9) 仕事と介護の両立に効果的な勤務先の支援

【Q7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方（働いている方）にお伺いします。】

Q9. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が24.0%と最も多く、以下、「介護をしている従業員への経済的な支援」（23.2%）、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（20.1%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（17.3%）と続いています。

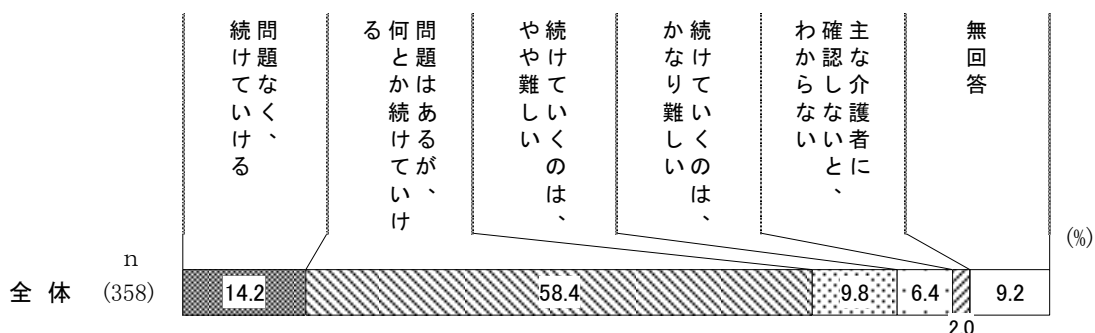


(10) 両立の見通し

【Q7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方（働いている方）にお伺いします。】

Q10. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（〇は1つ）

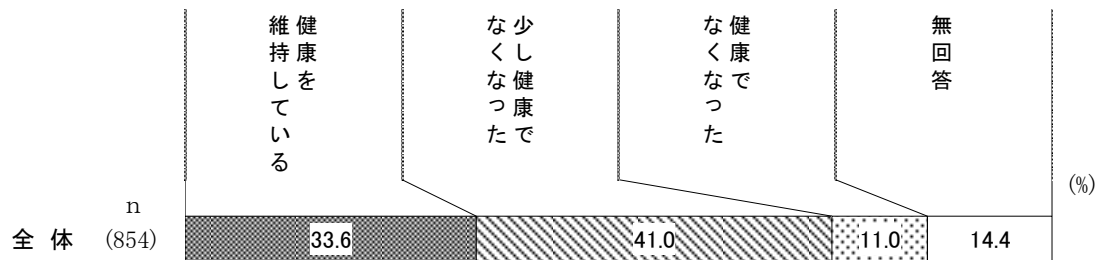
「問題はあるが、何とか続けていける」が58.4%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が14.2%で、両者を合わせた72.6%が『続けていける』と回答しています。



(11) 介護を始める前との体調比較

Q11. 主な介護者の方の体調は、介護を始める前と比べて変わりましたか。(〇は1つ)

「少し健康でなくなった」が41.0%で「健康を維持している」(33.6%)を上回っています。



(12) 体調悪化の具体的内容

【Q11で「2. 少し健康でなくなった」「3. 健康でなくなった」と回答した方にお伺いします。】  
 Q12. 具体的にどのような症状がありますか。(自由記述)

体調悪化の具体的内容について見ると、「腰痛」が222件と最も多く、次いで「睡眠不足」が177件、「ストレス」が152件、「肩こり」が86件となっています。

〈体調悪化の具体的内容／上位10項目〉

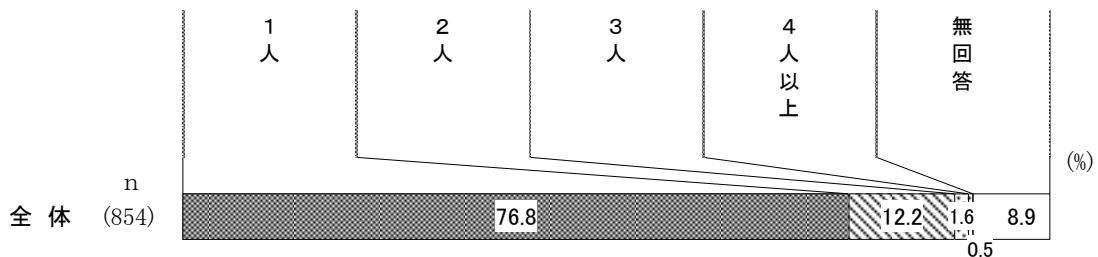
項目	件数
1 腰痛	222
2 睡眠不足	177
3 ストレス	152
4 肩こり	86
5 疲労	80
6 脚、膝	54
7 持病	44
8 体力低下	25
9 内臓疾患	16
10 頭痛	11

(13) 現在のケア人数

Q13. 主な介護者の方は、現在何人のケア（介護・育児等）を行っていますか。

(○は1つ)

「1人」が76.8%を占め、「2人」が12.2%となっています。

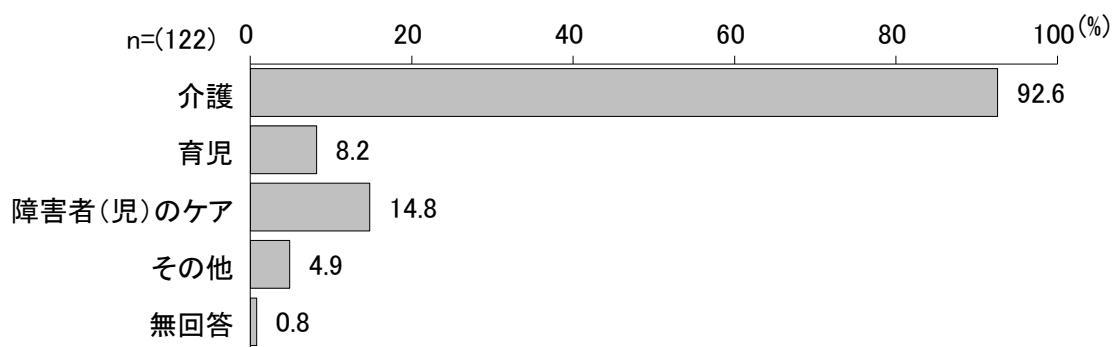


(14) ケアの内容

【Q13で「2. 2人」「3. 3人」「4. 4人以上」と回答した方にお伺いします。】

Q14. 主な介護者の方はどのケアを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護」が92.6%で、「障害者（児）のケア」が14.8%、「育児」が8.2%となっています。



## ■自由記述

これからの高齢者施策や介護のあり方についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。

467件の回答があり、内容別では「介護保険制度・介護サービス」についての意見が121件と最も多く、次いで「区や国への意見・要望」が79件、「将来の不安」が62件、「在宅介護・介護者」が61件となっています。

項目		件数
1	介護保険制度・介護サービス	121
2	区や国への意見・要望	79
3	将来の不安	62
4	在宅介護・介護者	61
5	経済事情・経済的負担	47
6	医療・健康	29
7	高齢者福祉・地域福祉	20
8	仕事と介護の両立	17
9	アンケートについて	5
10	その他	26
回答総数		467

※複数の項目にまたがる意見もあるため、各項目の件数の合計は回答総数を上回ります。

### ■主な意見の概要（抜粋、要約の場合あり）

#### ①介護保険制度・介護サービス

私は家族がいるお陰でこのような介護があることを知り、色々手続きやらがあることを知りました。全くの一人住まいの方は要介護のシステムを知ってもらい、そしてお手伝いをしてくれる踏み込んだサービスを望みます。

休養のためにショートステイを申し込みましたが満員とのことでした。計画を立てても結局はショートステイの空き次第。なかなか難しいと痛感しました。

子の配偶者がフルタイムで働きながらデイサービス以外の介護を全て行っていたが、体調不良となり仕事も辞めることとなった。そういった場合に休業保障などの経済的な保障が一時的にでもあるととても助かった。介護サービスの利用料の増加で困っている。

## ②区や国への意見・要望

区役所で行っている福祉の内容がよくわからない。電話で問い合わせてもマニュアル通りの答えて、その人それぞれ事情が違うので、もう少し仕事の内容を検討してほしい。

これから高齢者が今まで以上のペースで増加するに伴い、認知症や要介護を受け入れる施設が全く足りていない。特別養護老人ホーム等をもっと増やすべき。何年待ちなどあり得ない。

働いていると相談する際に日程や時間に限りがあるけど、対応する施設は平日9～17時など、仕事を休まないと相談することもできない。手続きが多過ぎる。制度があっても利用体制に問題が。各官民サービスとの連携をもっと密にしてほしい。

## ③将来の不安

今、父のことを母が見ていますが、母も認知症を患っています。今後どうなるのか不安ですし、自分でできることが少なくなっていくこともまた不安です。負担を社会で支えていけるサービスが増えて欲しい。

特養のような料金で入所できる場所をもっと増やしてほしい。一般の施設は高額で入所できる人は限られます。いずれは施設の入所も考えますが、特養は入所まで何年も待つと聞いています。それでは介護者にも限界があり、不安な日々を過ごしています。ぜひ国民年金でも入所できる施設を増やしてほしいです。

## ④在宅介護・介護者

本人の意思・意見をもとに介護をしていきたい。家で過ごしたいと希望する以上はそのようにしてあげたい。本人が家族のこともわからなくなれば、その時に考えを変えるかも知れないが、本人と通ずる間は希望を聞いてあげるよう接していきたい。

私は娘ですが、同居ではないので父は色々なサービスを受けられていますが、親戚は同居しているため、父親の介護を全て一人で背負っています。とても大変そうです。しかも、その親戚は働いていますし、同居ということで介護度が低くなるのは不公平ではないでしょうか。

介護をする者にとって、身体的、精神的、経済的な不安や負担を軽減する施策や制度の充実と普及を期待する。育児と異なり、先が見えない不安や心配事が多く、常に乗り越えていかねばならない覚悟が要る。

## ⑤経済事情・経済的負担

現在週3回透析に通っていますが、昇降リフトをリースで使用しており、月3.5万円かかりますの。こういったケースでの補助があれば有難いです。

介護タクシーは高いのでなかなか利用できません。



## ⑥医療・健康

健康な方や筋力が落ちてきている方のために、トレーニング、コミュニケーションが取れる様な場所を充実させて欲しい（送迎も必要な人の対応があると良い）。寝たきりの人を作らない工夫が欲しい。

急な身体の不調を訴えられた時に緊急に相談できる窓口が欲しいです。老老介護の一番辛いところでは。

## ⑦高齢者福祉・地域福祉

区役所、ケアマネ、あんしんセンター等に相談しても解決しない問題が多々ある。相談しに行くのも大変だし、時間も無い。土日祝日も相談できる体制（医者も含む）が必要です。シングル介護の大変さをもっともっと理解と支援をしてほしい。

一度福祉係に話を聞きに行きましたが、高齢のため言っていることがよくわからなかった。噛み砕いて話をしてほしい。また、費用のことも大きな心配事の一つです。

## ⑧仕事と介護の両立

仕事をしながら介護をしているので、日中の時間に定期的に声掛け等をしてもらえるサービスを北区、または紹介していただいたケアマネジャーさんで行っていただくと安心して仕事を行えるので、新しいサービスとして考えて欲しいです。

仕事に介護にとかなり忙しく、子どもが体調を崩さないかとても心配しています。子どもが体調を崩すと自身の生活も成り立たなくなるため。

子ども（介護者）が同居の場合、ヘルパー支援に制限があると利用しづらい。働いている介護者のためにも支援の範囲を拡大してほしい。

## ⑨アンケートについて

この実態調査の結果を公表してください。私はこれからが重大と考えます。

年寄りが読むのに文章が込み入っている。文章をたどるのが面倒で読むのが辛い。

## ⑩その他

身近に相談できる方がいらっしゃる方は良いのですが、一人で悩んでいる人も多く見えます。

同居している娘家族がいますが、仕事や学校で忙しくしているので、体調が悪くても無理してしまいます。家族以外に話を聞いてくださる方が欲しいです。私は持病のため自由に外出できません。電話でもいいのです。



## 第4章 55歳以上64歳以下調査の結果



## 1. 仕事に対する考え方

### (1) 就労状況

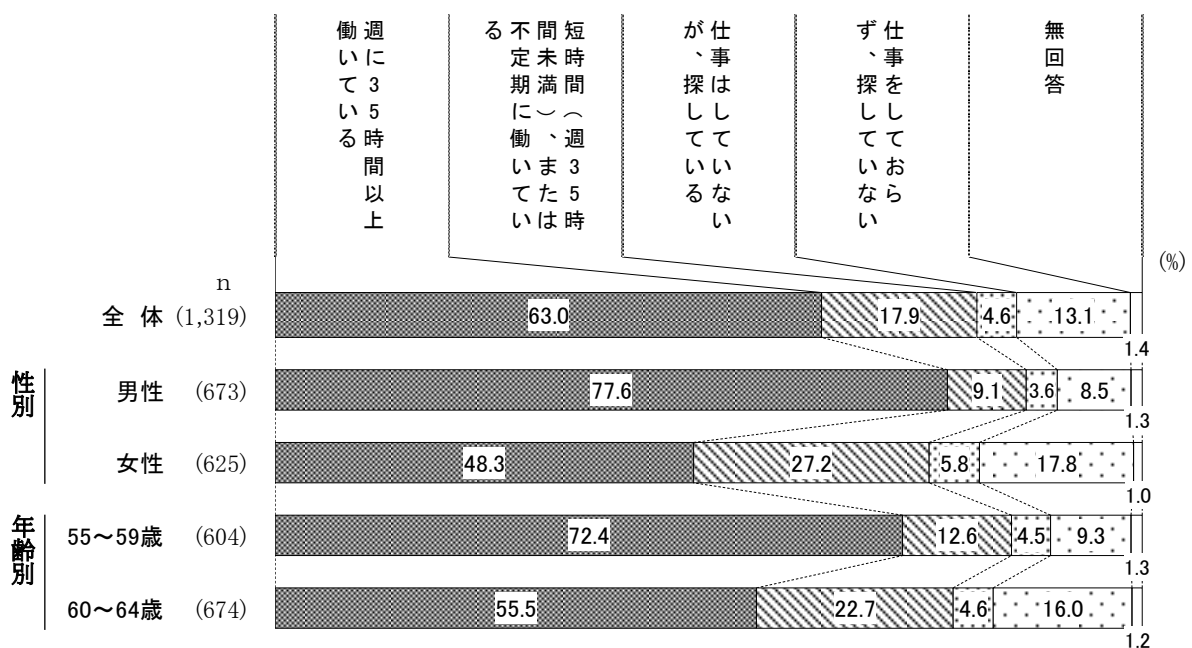
Q1. あなたは現在、収入を伴う仕事（パート・アルバイト、家業の手伝い等を含む）をしていますか。（〇は1つ）

「週に35時間以上働いている」が63.0%、次いで「短時間（週35時間未満）、または不規則に働いている」（17.9%）、「仕事をしておらず、探していない」（13.1%）、「仕事はしていないが探している」（4.6%）となっています。

#### 〈性別、年齢別／就労状況〉

性別に見ると、男性は「週に35時間以上働いている」が77.6%を占めますが、女性は「短時間（週35時間未満）、または不規則に働いている」（27.2%）や、「仕事をしておらず、探していない」（17.8%）が多くなっています。

年齢別に見ると、55～59歳は男性、60～64歳は女性に近い分布となっています。

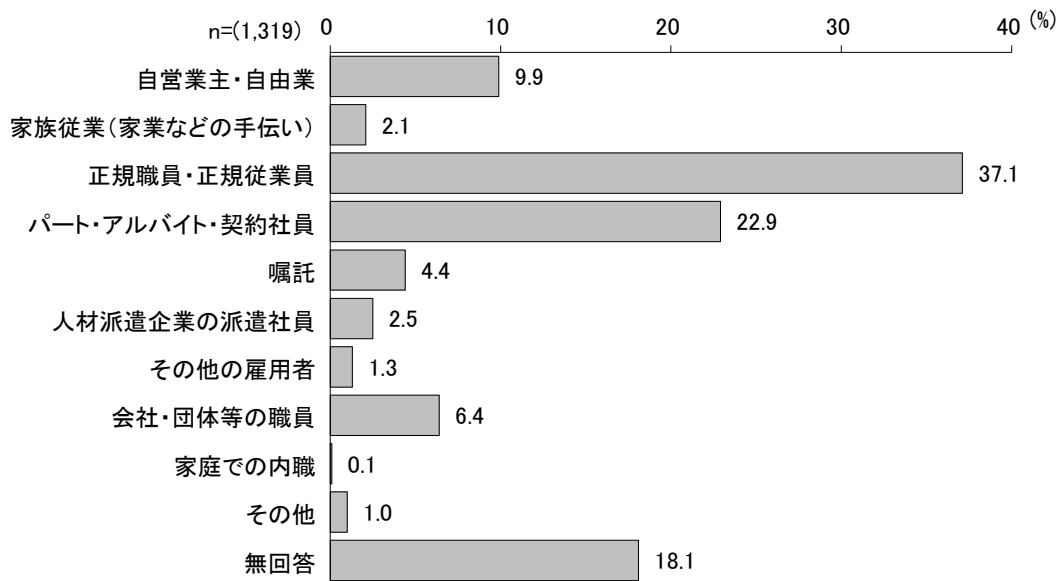


(2) 就労形態

【Q1で「1. 週に35時間以上働いている」「2. 短時間（週35時間未満）、または不定期的に働いている」と答えた方にうかがいます】

Q2. あなたの現在の雇用状況は、次のどれにあたりますか。（あてはまるものすべてに○）

「正規職員・正規従業員」が37.1%と最も多く、以下、「パート・アルバイト・契約社員」(22.9%)、「自営業主・自由業」(9.9%)、「会社・団体等の職員」(6.4%)と続いています。



〈性別、年齢別／就労形態〉

性別に見ると、男性は「正規職員・正規従業員」(48.3%)や「自営業主・自由業」(13.5%)で多く、女性は「パート・アルバイト・契約社員」(32.2%)で多くなっています。

年齢別に見ると、55～59歳は「正規職員・正規従業員」(49.3%)、60～64歳は「パート・アルバイト・契約社員」(27.0%)で多くなっています。

(%)

		回答者数	自営業主・自由業	家族従業員 (家族などの手伝い)	正規職員・正規従業員	パート・アルバイト・契約社員	嘱託	人材派遣企業の 派遣社員
全体		1,319	9.9	2.1	37.1	22.9	4.4	2.5
性別	男性	673	13.5	0.3	48.3	14.6	5.3	0.7
	女性	625	5.8	4.2	25.6	32.2	3.4	4.5
年齢別	55～59歳	604	9.9	1.5	49.3	18.9	0.8	3.1
	60～64歳	674	9.9	2.7	26.7	27.0	7.4	1.9

		回答者数	その他の雇用者	会社・団体等の職員	家庭での内職	その他	無回答
全体		1,319	1.3	6.4	0.1	1.0	18.1
性別	男性	673	1.5	8.5	0.1	1.6	12.0
	女性	625	1.1	4.5	-	0.2	23.8
年齢別	55～59歳	604	0.8	7.0	-	0.7	13.7
	60～64歳	674	1.8	6.1	0.1	1.2	21.1

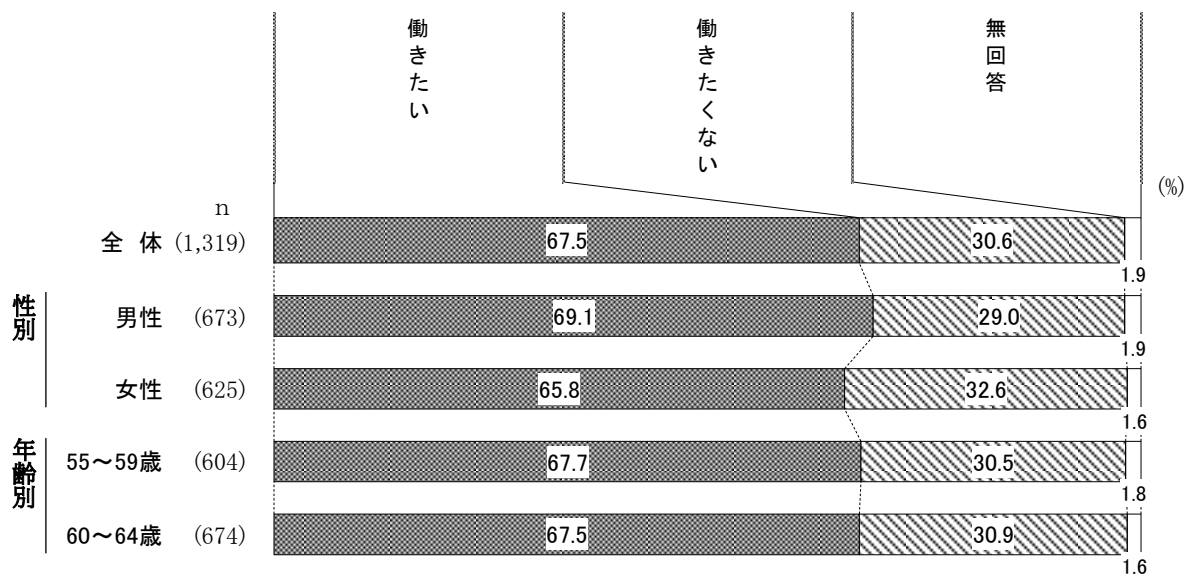
(3) 65歳以降の就労意欲

Q3. あなたは65歳以降も働きたいですか。(○は1つ)

「働きたい」が67.5%、「働きたくない」が30.6%となっています。

〈性別、年齢別／65歳以降の就労意欲〉

性別に見ると、「働きたい」は男性で69.1%と女性（65.8%）をやや上回っています。





(4) 希望する就労年齢

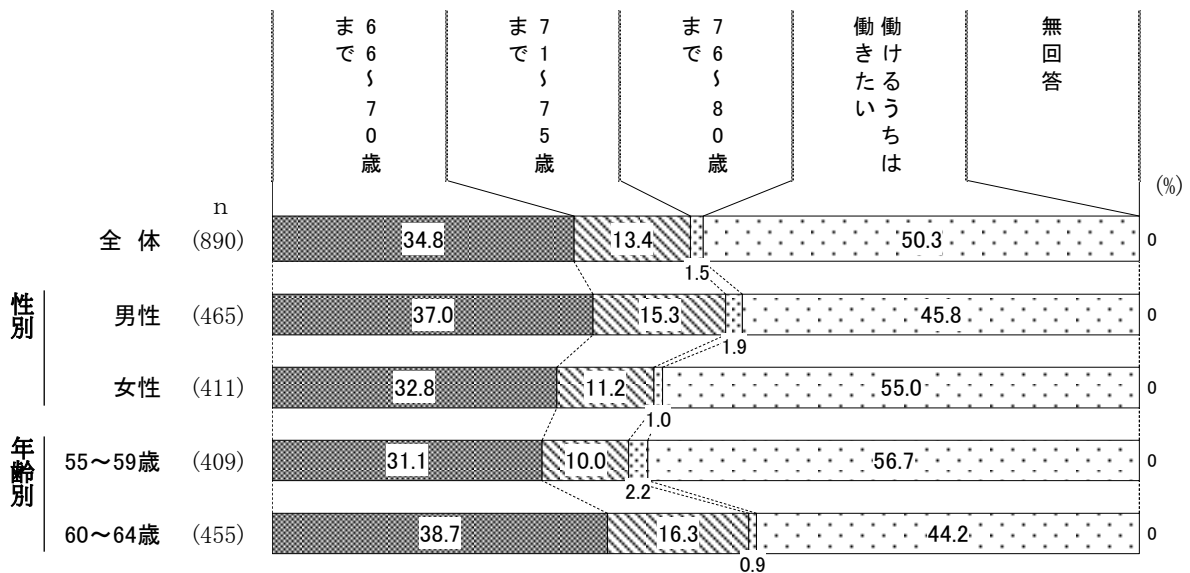
【Q3で「1. 働きたい」と答えた方にかがいます】  
 Q4. あなたは何歳まで働きたいですか。(フルタイムだけではなく、1日2時間や週1~2日など、短時間勤務や勤務日数が少ない仕事も含まれます。)(〇は1つ)

「働けるうちは働きたい」が50.3%と半数で、「66~70歳まで」が34.8%、「71~75歳まで」が13.4%、「76~80歳まで」が1.5%となっています。

〈性別、年齢別／希望する就労年齢〉

性別に見ると、具体的な年齢による回答はいずれも男性が多く、女性は「働けるうちは働きたい」が55.0%と多くなっています。

年齢別に見ると、55~59歳は女性、60~64歳は男性に近い分布となっています。

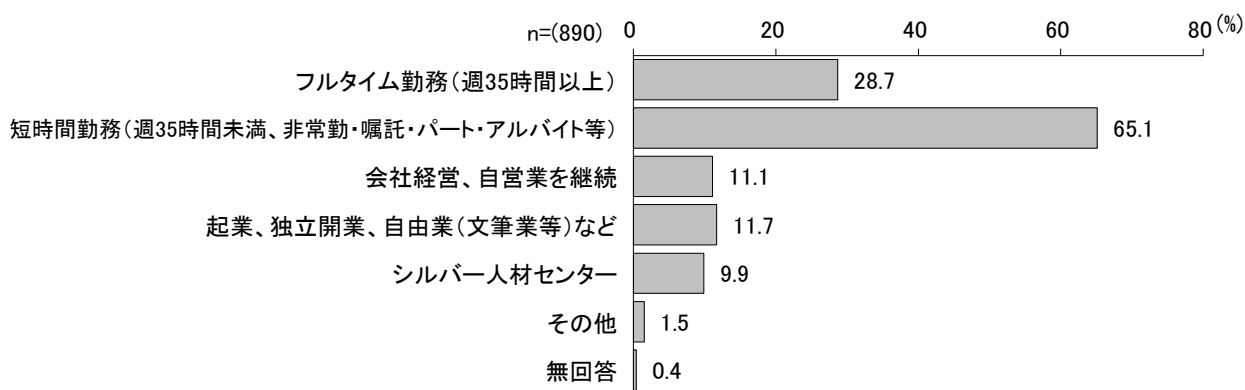


(5) 希望する働き方

【Q3で「1. 働きたい」と答えた方にうかがいます】

Q5. どのような働き方をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

「短時間勤務（週35時間未満、非常勤・嘱託・パート・アルバイト等）」が65.1%で、以下、「フルタイム勤務（週に35時間以上）」（28.7%）、「起業、独立開業、自由業（文筆業等）など」（11.7%）、「会社経営、自営業を継続」（11.1%）と続いています。



〈性別、年齢別／希望する働き方〉

性別に見ると、「フルタイム勤務」や「会社経営、自営業を継続」は男性で多く、「短時間勤務」は女性で多くなっています。

年齢別に見ると、「フルタイム勤務」や「会社経営、自営業を継続」は55～59歳でやや多くなっています。

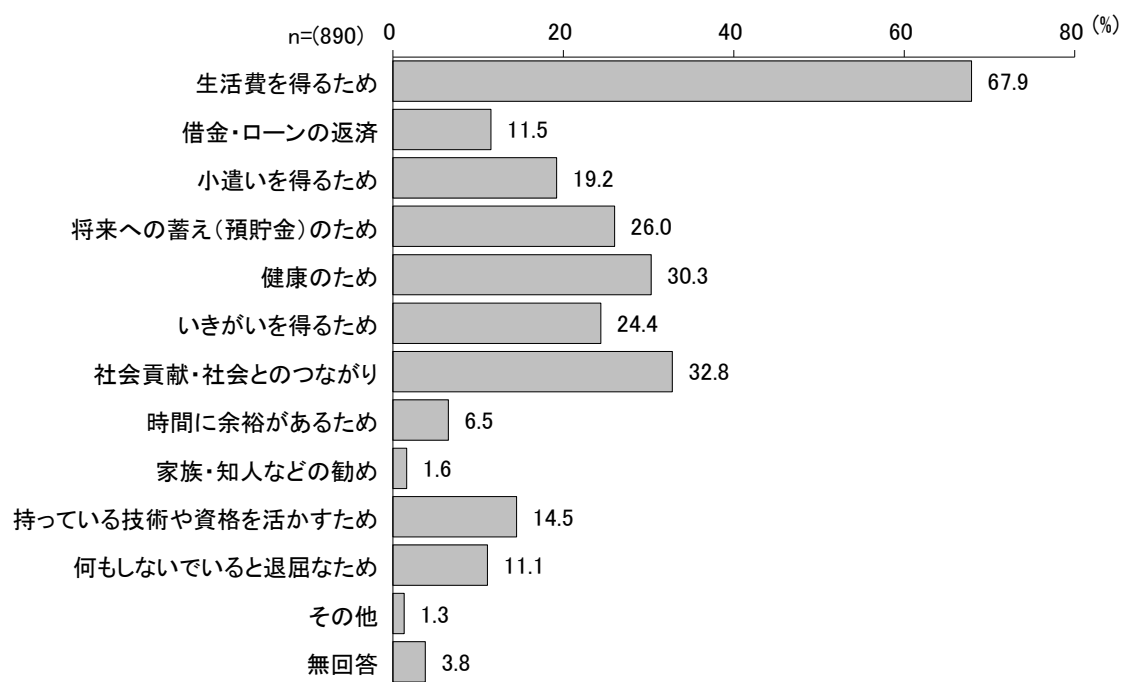
		回答者数	フルタイム勤務(週35時間以上)	短時間勤務(週35時間未満、非常勤・嘱託・パート・アルバイト等)	会社経営、自営業を継続	起業、独立開業、自由業(文筆業等)など	シルバー人材センター	その他	無回答
全体		890	28.7	65.1	11.1	11.7	9.9	1.5	0.4
性別	男性	465	37.8	54.4	15.1	12.0	9.9	1.7	0.4
	女性	411	18.2	76.9	6.8	10.7	10.2	1.2	0.5
年齢別	55～59歳	409	31.5	63.1	12.0	14.9	9.3	1.5	-
	60～64歳	455	25.9	66.6	10.5	7.9	10.5	1.3	0.9

## (6) 就労希望理由

【Q3で「1. 働きたい」と答えた方にかがいます】

Q6. 働きたいのは、どのような理由からですか。(〇は3つまで)

「生活費を得るため」が67.9%と特に多く、以下、「社会貢献・社会とのつながり」(32.8%)、「健康のため」(30.3%)、「将来への蓄え(預貯金)のため」(26.0%)、「いきがいを得るため」(24.4%)と続いています。



#### 第4章 55歳以上64歳以下調査の結果

##### 〈性別、年齢別／就業希望理由〉

性別に見ると、「生活費を得るため」や「借金・ローンの返済」は男性で多く、「健康のため」は女性で多くなっています。

年齢別に見ると、「生活費を得るため」は55～59歳で71.6%と多くなっています。

		回答者数	生活費を得るため	借金・ローンの返済	小遣いを得るため	(将来への蓄え （預貯金）のため	健康のため	いきがいを得るため	社会貢献・社会との つながり	(%)
全体		890	67.9	11.5	19.2	26.0	30.3	24.4	32.8	
性別	男性	465	71.2	14.4	18.3	24.1	26.2	23.2	32.0	
	女性	411	64.0	8.0	20.4	28.2	34.8	25.5	33.6	
年齢別	55～59歳	409	71.6	12.2	18.3	27.4	30.1	24.0	31.8	
	60～64歳	455	65.3	11.0	20.2	25.1	29.9	24.4	33.4	

		回答者数	時間に余裕があるため	家族・知人などの勧め	持っている技術や資格を活かすため	何もしないでいると 退屈なため	その他	無回答
全体		890	6.5	1.6	14.5	11.1	1.3	3.8
性別	男性	465	7.5	1.5	16.1	10.3	0.9	2.4
	女性	411	5.6	1.5	13.1	12.2	1.7	5.6
年齢別	55～59歳	409	6.1	1.2	13.4	12.2	1.5	3.4
	60～64歳	455	7.0	1.8	15.6	10.1	1.1	4.2

(7) 希望する月給額

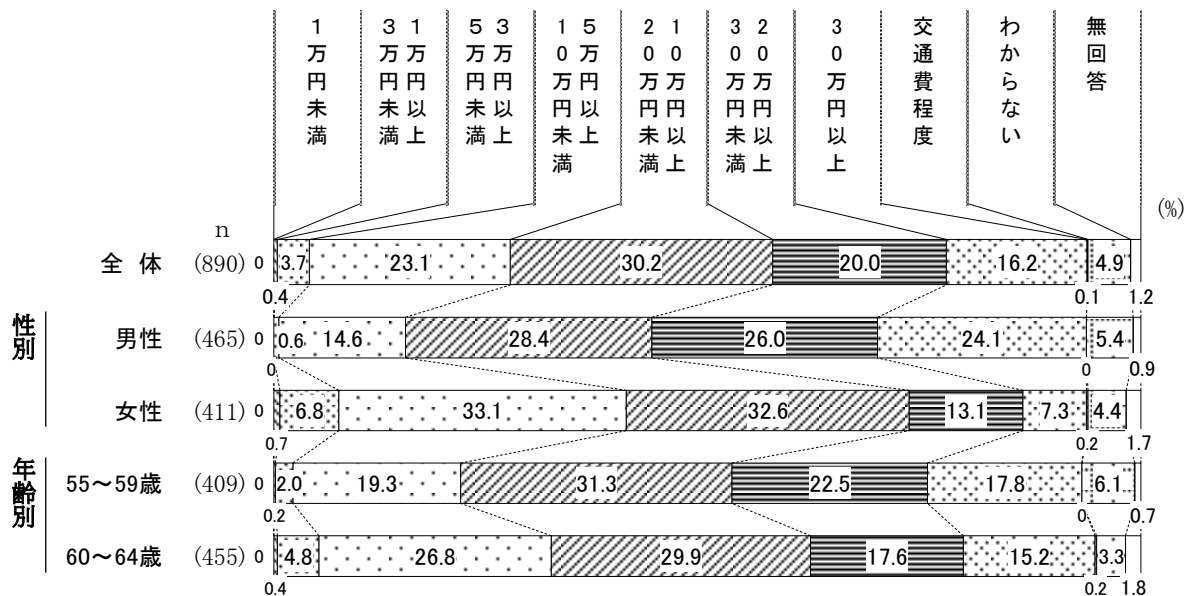
【Q3で「1. 働きたい」と答えた方にうかがいます】  
 Q7. 月にどのくらいの報酬がほしいですか。(〇は1つ)

「10万円以上20万円未満」が30.2%と最も多く、以下、「5万円以上10万円未満」(23.1%)、「20万円以上30万円未満」(20.0%)、「30万円以上」(16.2%)と続いています。

〈性別、年齢別／希望する月給額〉

性別に見ると、「3万円以上5万円未満」「5万円以上10万円未満」「10万円以上20万円未満」は女性の方が多く、「20万円以上30万円未満」と「30万円以上」は男性で多くなっています。

年齢別に見ると、10万円未満は60～64歳で多く、10万円以上は55～59歳でやや多くなっています。

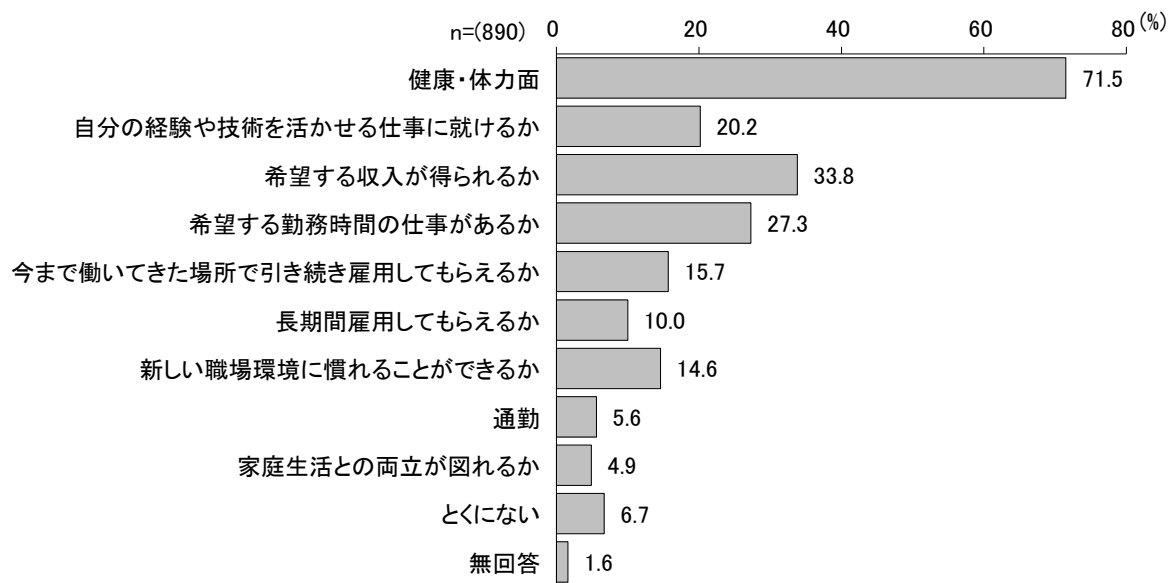


(8) 65歳以降も仕事を続けるうえでの不安

【Q3で「1. 働きたい」と答えた方にうかがいます】

Q8. 65歳以降も仕事を続けるうえで不安に感じていることはありますか。(〇は3つまで)

「健康・体力面」が71.5%で特に多く、以下、「希望する収入が得られるか」(33.8%)、「希望する勤務時間の仕事があるか」(27.3%)、「自分の経験や技術を活かせる仕事に就けるか」(20.2%)、「今まで働いてきた場所で引き続き雇用してもらえるか」(15.7%)と続いています。



〈性別、年齢別／65歳以降も仕事を続けるうえでの不安〉

性別に見ると、「自分の経験や技術を活かせる仕事に就けるか」は男性が24.3%と女性（15.8%）に比べて多くなっています。

年齢別に見ると、「自分の経験や技術を活かせる仕事に就けるか」、「希望する収入が得られるか」、「長期間雇用してもらえるか」は55～59歳で多く、「希望する勤務時間の仕事があるか」と「今まで働いてきた場所で引き続き雇用してもらえるか」は60～64歳で多くなっています。

		回答者数	健康・体力面	自分の経験や技術を活かせる仕事に就けるか	希望する収入が得られるか	希望する勤務時間の仕事があるか	今まで働いてきた場所で引き続き雇用してもらえるか	長期雇用してもらえ
全体		890	71.5	20.2	33.8	27.3	15.7	10.0
性別	男性	465	70.5	24.3	35.9	24.7	13.1	8.6
	女性	411	72.3	15.8	31.6	29.9	18.5	11.9
年齢別	55～59歳	409	72.4	23.7	38.1	24.9	12.5	13.7
	60～64歳	455	70.5	17.6	30.1	29.5	18.9	6.8

		回答者数	新しい職場環境に慣れることができるか	通勤	家庭生活との両立が図れるか	とくにな	無回答
全体		890	14.6	5.6	4.9	6.7	1.6
性別	男性	465	13.3	3.4	4.7	7.3	0.4
	女性	411	16.1	7.8	5.4	6.1	2.9
年齢別	55～59歳	409	15.2	4.4	5.4	6.1	1.2
	60～64歳	455	13.8	6.2	4.8	7.0	2.0

## 2. 地域とのつながり、社会参加

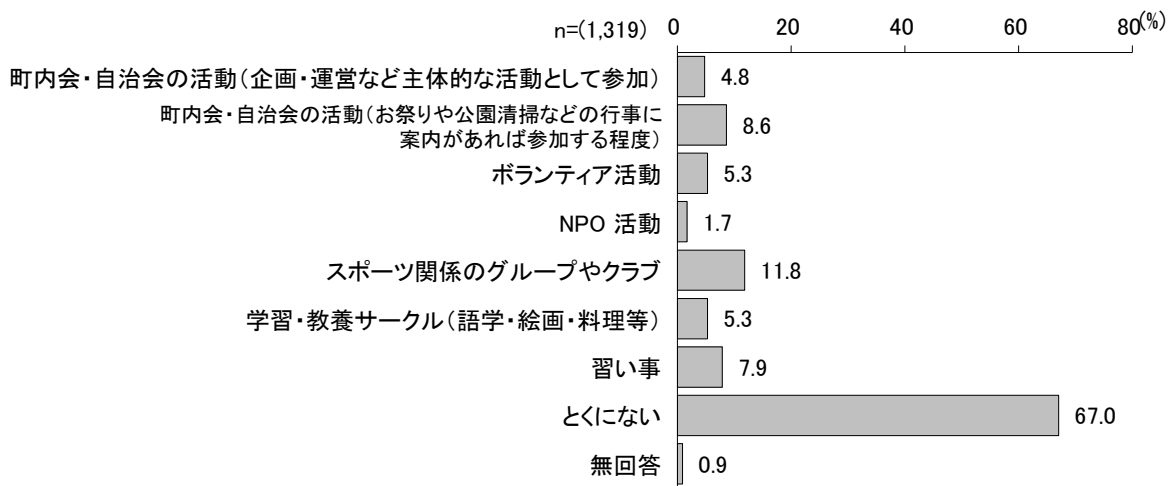
### (1) 活動参加状況

Q1. 現在、住んでいる地域にかかわらず、下記の活動に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

全体から「とくにない」(67.0%)と無回答(0.9%)を除いた32.1%が、何らかの活動に参加しています。

「スポーツ関係のグループやクラブ」が11.8%と最も多く、以下、「町内会・自治会の活動(お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度)」(8.6%)、「習い事」(7.9%)となっています。



#### 〈性別、年齢別／活動参加状況〉

性別に見ると、男性は「とくにない」が74.1%と多く、女性は「スポーツ関係のグループやクラブ」(13.4%)と並んで「習い事」(13.1%)が多くなっています。

年齢別に見ると、「スポーツ関係のグループやクラブ」は55～59歳でやや多く、「町内会・自治体の活動」はいずれも60～64歳でやや多くなっています。

(%)

	回答者数	町内会・自治会の活動(企画・運営など主体的な活動として参加)	町内会・自治会の活動(お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度)	ボランティア活動	NPO活動	スポーツ関係のグループ	学習・教養サークル(語学・絵画・料理等)	習い事	とくにない	無回答
全体	1,319	4.8	8.6	5.3	1.7	11.8	5.3	7.9	67.0	0.9
性別										
男性	673	4.0	7.3	4.5	1.3	10.4	3.0	3.1	74.1	0.9
女性	625	5.6	9.8	6.1	2.1	13.4	7.8	13.1	59.8	0.5
年齢別										
55～59歳	604	3.3	7.1	5.6	1.8	13.7	6.0	8.1	66.7	0.7
60～64歳	674	5.9	9.9	4.7	1.3	10.2	4.6	7.3	67.7	0.7



(2) 参加頻度

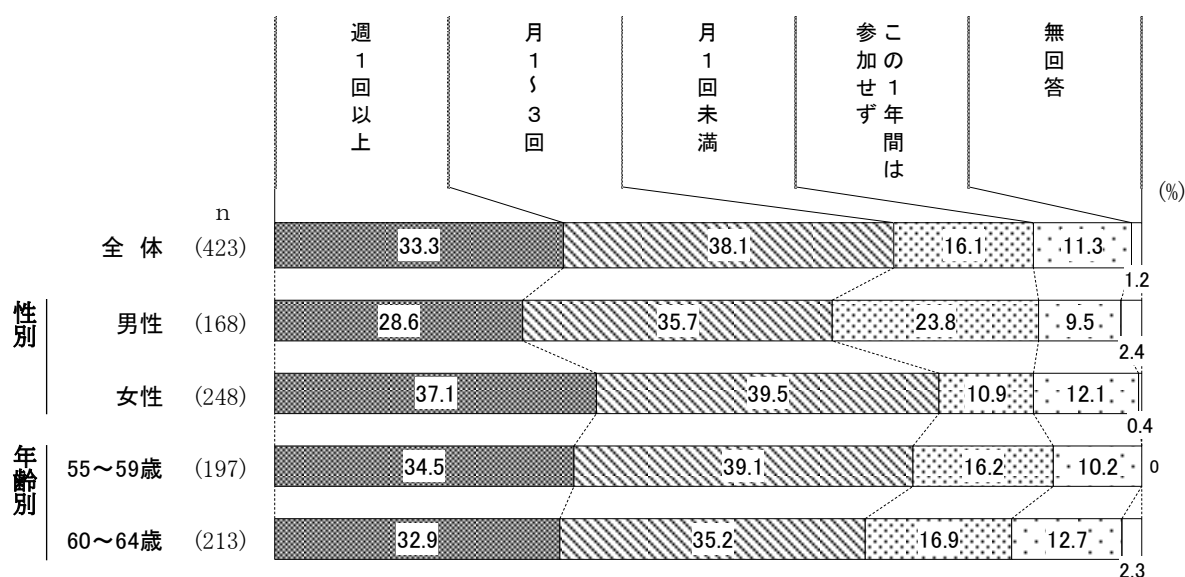
【Q1で「1. 町内会・自治会の活動（企画・運営など主体的な活動として参加）」「2. 町内会・自治会の活動（お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度）」「3. ボランティア活動」「4. NPO活動」「5. スポーツ関係のグループやクラブ」「6. 学習・教養サークル（語学・絵画・料理等）」「7. 習い事」と答えた方におうかがいします】  
 Q2. 上記のグループや団体の活動には、合計でどのくらい参加していますか。（〇は1つ）

「月1～3回」が38.1%で最も多く、「週1回以上」が33.3%、「月1回未満」が16.1%となっています。

〈性別、年齢別／参加頻度〉

性別に見ると、「週1回以上」と「月1～3回」はいずれも女性で多くなっています。

年齢別に見ると、「週1回以上」と「月1～3回」はいずれも55～59歳で多くなっています。



(3) 活動場所

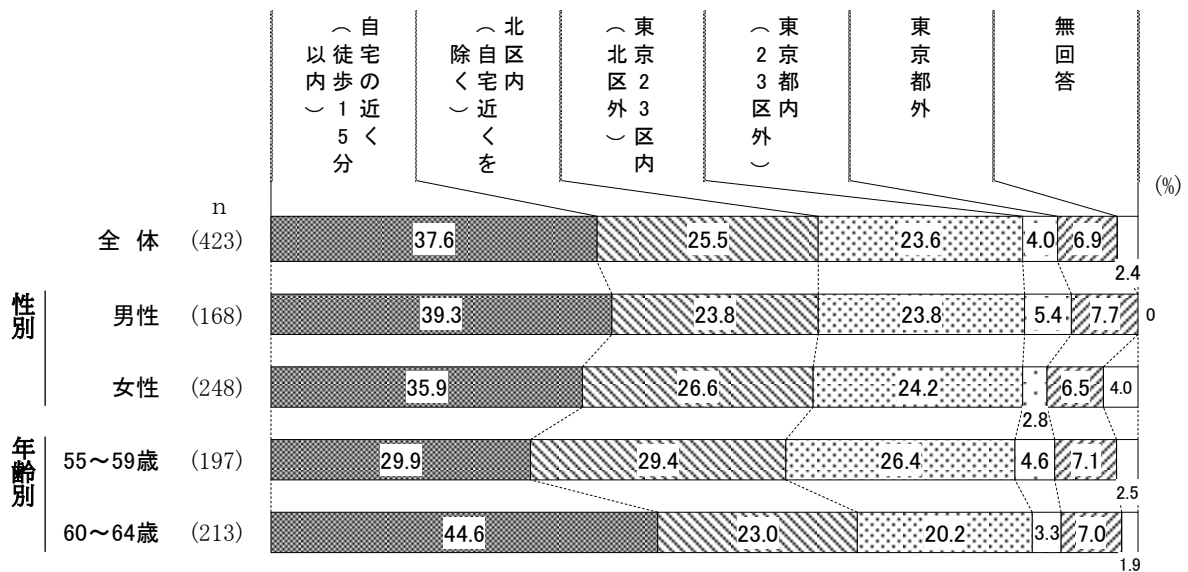
【Q1で「1. 町内会・自治会の活動（企画・運営など主体的な活動として参加）」「2. 町内会・自治会の活動（お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度）」「3. ボランティア活動」「4. NPO活動」「5. スポーツ関係のグループやクラブ」「6. 学習・教養サークル（語学・絵画・料理等）」「7. 習い事」と答えた方におうかがいします】

Q3. 活動場所はどこですか。複数の活動を行っている場合は最も力を入れている活動についてお答えください。（〇は1つ）

「自宅の近く（徒歩15分以内）」が37.6%と最も多く、「北区内（自宅近くを除く）」が25.5%、「東京23区内（北区外）」が23.6%となっています。

〈性別、年齢別／活動場所〉

年齢別に見ると、「自宅の近く（徒歩15分以内）」は、60～64歳で44.6%と多くなっています。

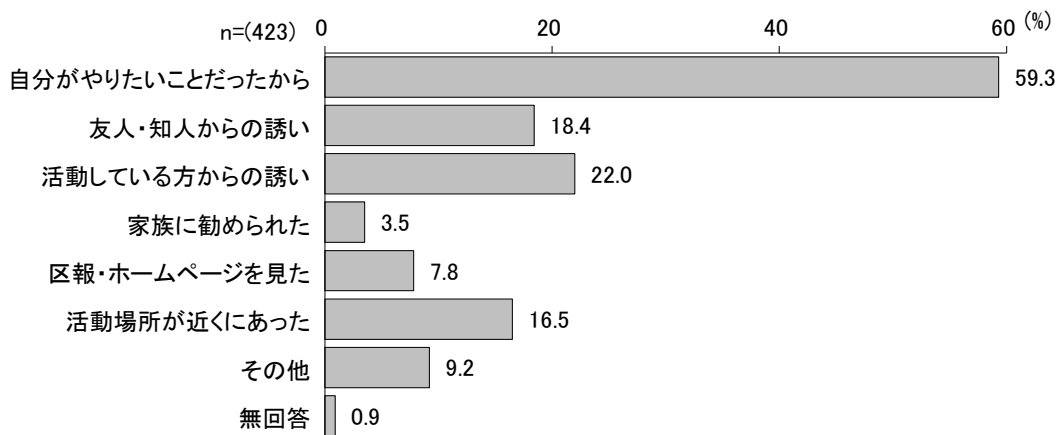


(4) 活動を始めたきっかけ

【Q1で「1. 町内会・自治会の活動（企画・運営など主体的な活動として参加）」「2. 町内会・自治会の活動（お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度）」「3. ボランティア活動」「4. NPO活動」「5. スポーツ関係のグループやクラブ」「6. 学習・教養サークル（語学・絵画・料理等）」「7. 習い事」と答えた方におうかがいします】

Q4. 現在、参加している活動を始めたきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「自分がやりたいことだったから」が59.3%と突出しており、以下、「活動している方からの誘い」（22.0%）、「友人・知人からの誘い」（18.4%）、「活動場所が近くにあった」（16.5%）と続いています。



〈性別、年齢別／活動を始めたきっかけ〉

性別でみると、女性では「自分がやりたいことだったから」が62.5%と多くなっています。また、男性では「活動している方からの誘い」が27.4%と女性より多くなっています。

年齢別では、55～59歳で「自分がやりたいことだったから」が62.4%となっています。

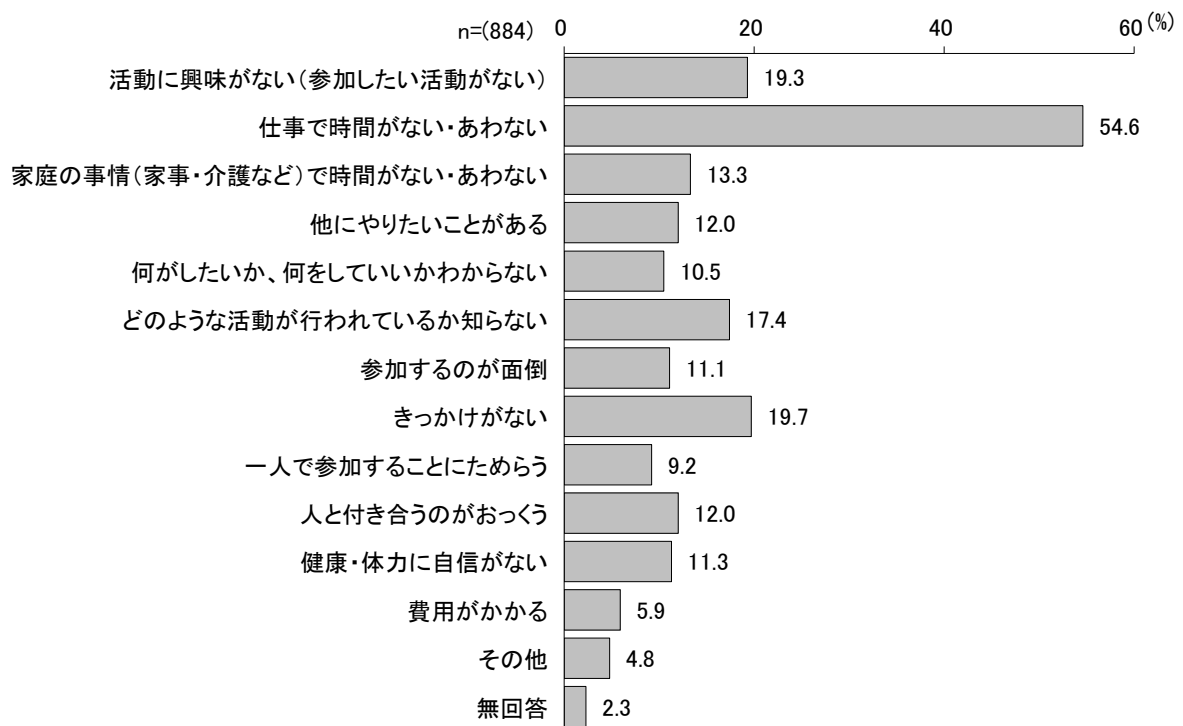
		回答者数	自分がやりたいことだったから	友人・知人からの誘い	活動している方からの誘い	家族に勧められた	区報・ホームページを見た	活動場所が近くにあった	その他	無回答
全体		423	59.3	18.4	22.0	3.5	7.8	16.5	9.2	0.9
性別	男性	168	55.4	20.2	27.4	4.2	3.6	15.5	8.9	0.6
	女性	248	62.5	17.7	18.1	3.2	10.9	17.3	9.3	1.2
年齢別	55～59歳	197	62.4	17.8	19.8	4.1	8.6	17.8	7.1	0.5
	60～64歳	213	55.9	19.2	23.9	3.3	7.0	15.5	10.8	1.4

(5) 活動不参加の理由

【Q1で「8. とくにない」と答えた方におうかがいします】

Q5. 活動に参加しない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「仕事で時間がない・あわない」が54.6%で特に多く、以下、「きっかけがない」(19.7%)、「活動に興味がない(参加したい活動がない)」(19.3%)、「どのような活動が行われているか知らない」(17.4%)、「家庭の事情(家事・介護など)で時間がない・あわない」(13.3%)と続いています。



〈性別、年齢別／活動不参加の理由〉

性別に見ると、「活動に興味がない」や「他にやりたいことがある」は男性で多く、「家庭の事情」は女性で多くなっています。

年齢別に見ると、「きっかけがない」は55～59歳で多く、「健康・体力に自信がない」は60～64歳で多くなっています。

		回答者数	(活動に興味がない 活動がない)	仕事で時間がない・あわない	家庭の事情(家事・介護など) 時間がない・あわない	他にやりたいことがある	何がしたいか、何をしたいか わからない	どのような活動が行われているか 知らない	(%) 参加するのが面倒
全体		884	19.3	54.6	13.3	12.0	10.5	17.4	11.1
性別	男性	499	23.0	55.1	7.8	15.6	10.4	19.6	11.6
	女性	374	15.0	54.5	20.6	7.2	10.7	15.0	10.2
年齢別	55～59歳	403	18.6	56.1	13.4	12.4	8.9	18.9	10.7
	60～64歳	456	20.4	54.2	13.2	11.8	12.1	16.9	11.4
		回答者数	きっかけがない	一人で参加することにためらう	人と付き合うのがおっくう	健康・体力に自信がない	費用がかかる	その他	無回答
全体		884	19.7	9.2	12.0	11.3	5.9	4.8	2.3
性別	男性	499	21.4	7.6	12.2	10.2	3.2	3.4	2.2
	女性	374	17.6	11.2	11.0	12.3	9.4	6.7	2.4
年齢別	55～59歳	403	23.6	9.2	11.9	7.9	5.0	4.7	2.2
	60～64歳	456	16.7	9.4	11.4	13.8	6.4	4.8	2.0

(6) 近所との付き合いの程度

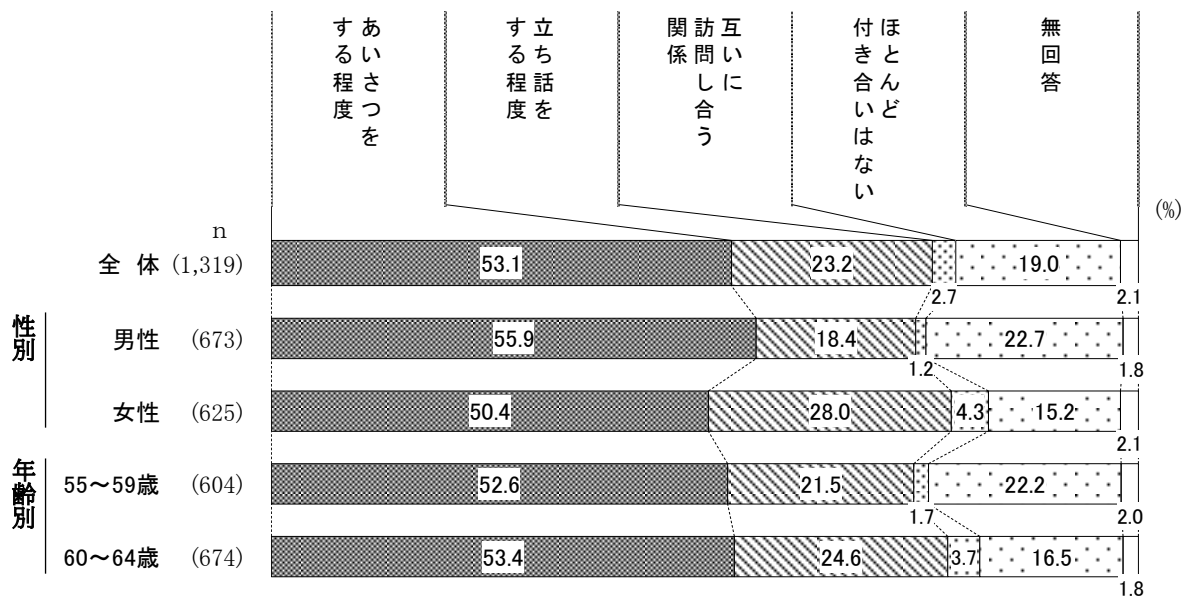
Q6. 日頃、身近な地域に住む方と、どの程度お付き合いをしていますか。(〇は1つ)

「あいさつをする程度」が53.1%で、次いで「立ち話をする程度」が23.2%、「ほとんど付き合いはない」が19.0%となっています。

〈性別、年齢別／近所との付き合いの程度〉

性別に見ると、女性は「立ち話をする程度」が28.0%と、男性の18.4%を大きく上回っています。

年齢別に見ると、55～59歳は「ほとんど付き合いはない」が22.2%と、60～64歳の16.5%を上回っています。



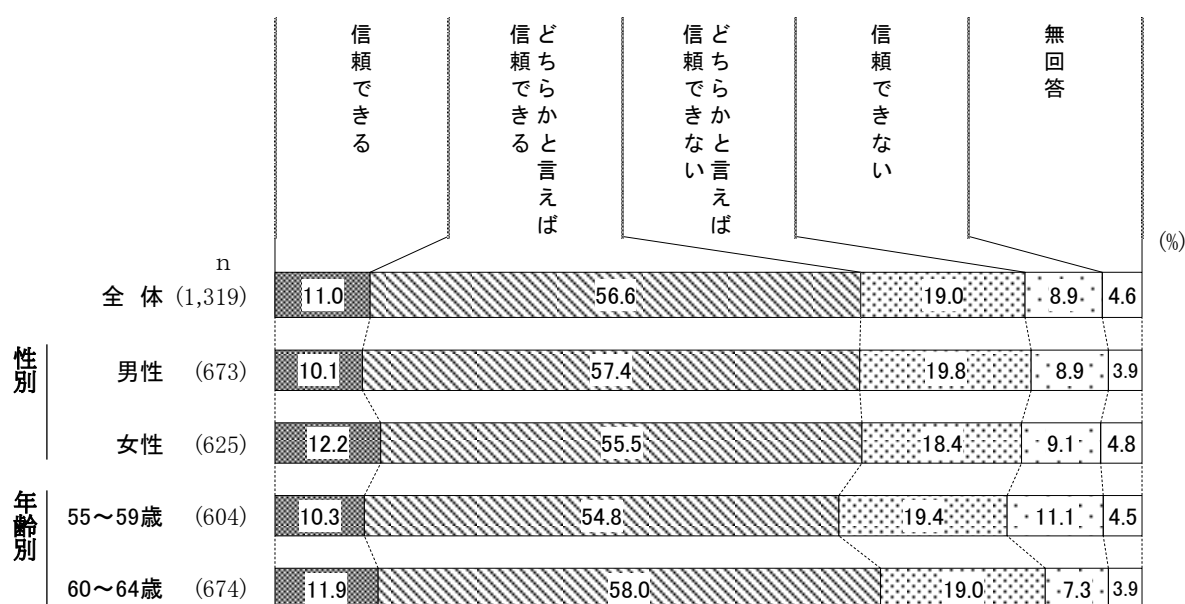
(7) 近所への信頼

Q7. あなたはご近所の方を信頼できますか。(〇は1つ)

「どちらかといえば信頼できる」が56.6%で、「信頼できる」(11.0%)と合わせた『信頼』の割合は67.6%となっています。

〈性別、年齢別／近所への信頼〉

年齢別で見ると、『信頼』は、55～59歳が65.1%、60～64歳が69.9%で後者がやや多くなっています。



(8) 近所に対する期待度

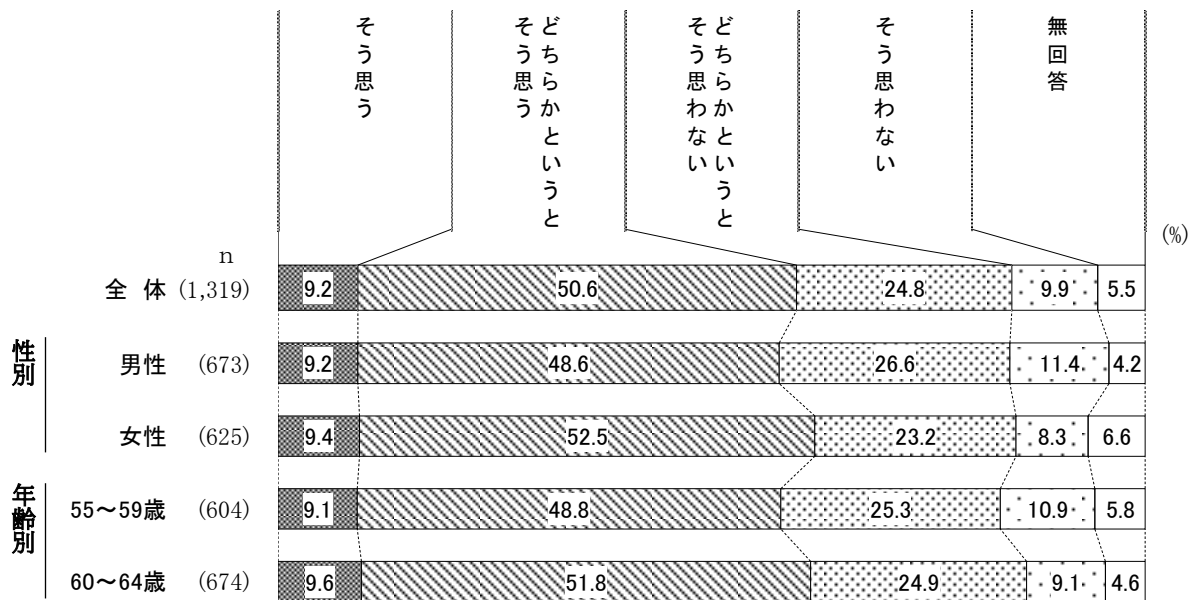
Q8. ご近所の方々は、多くの場合、他の人の役に立とうとしますか。(〇は1つ)

「どちらかというと思う」が50.6%で、「そう思う」(9.2%)と合わせた『期待する』割合は59.8%となっています。

〈性別、年齢別／近所に対する期待度〉

性別に見ると、『期待する』は男性が57.8%、女性が61.9%で後者がやや多くなっています。

年齢別に見ると、『期待する』は55～59歳が57.9%、60～64歳が61.4%で後者がやや多くなっています。



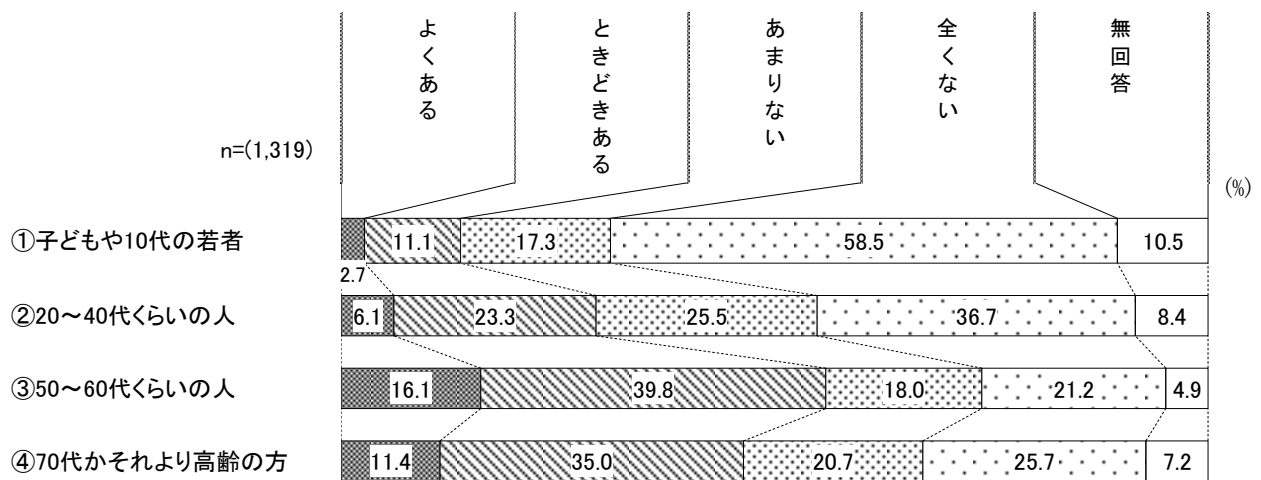


(9) 各年齢層との会話頻度

Q9. 近所づきあいや、地域活動・余暇活動の中で、次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。(ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。)

(〇は1つずつ)

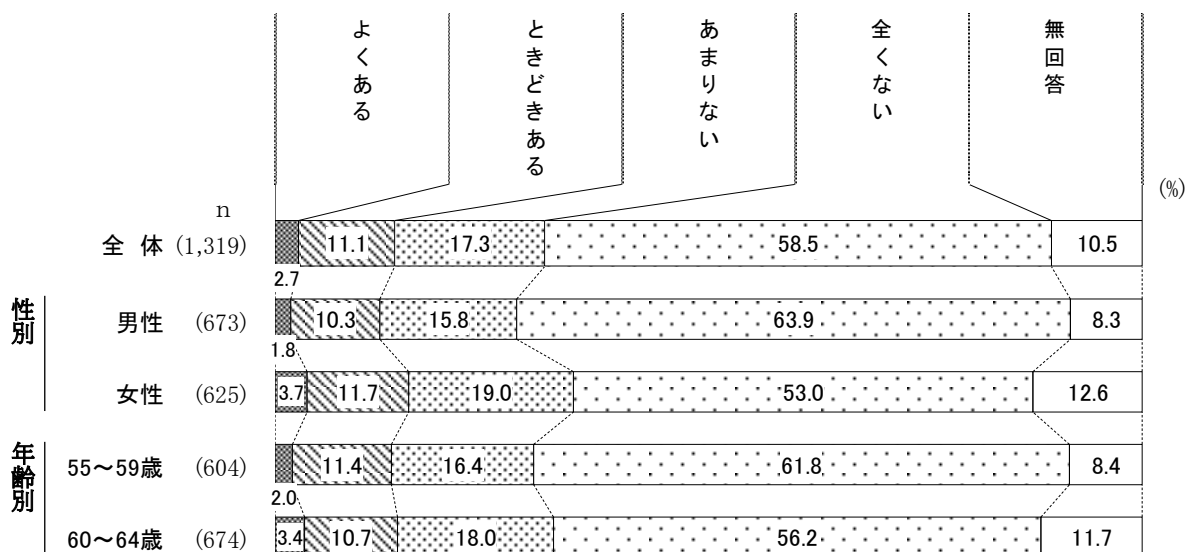
「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』の割合は、子どもや10代の若者が13.8%、20~40代くらいの方が29.4%、50~60代くらいの方が55.9%、70代かそれより高齢の方が46.4%で、対象者と同年代が最も多く、年齢が離れるほど少なくなっています。



〈①子どもや10代の若者／性別、年齢別／各年齢層との会話頻度〉

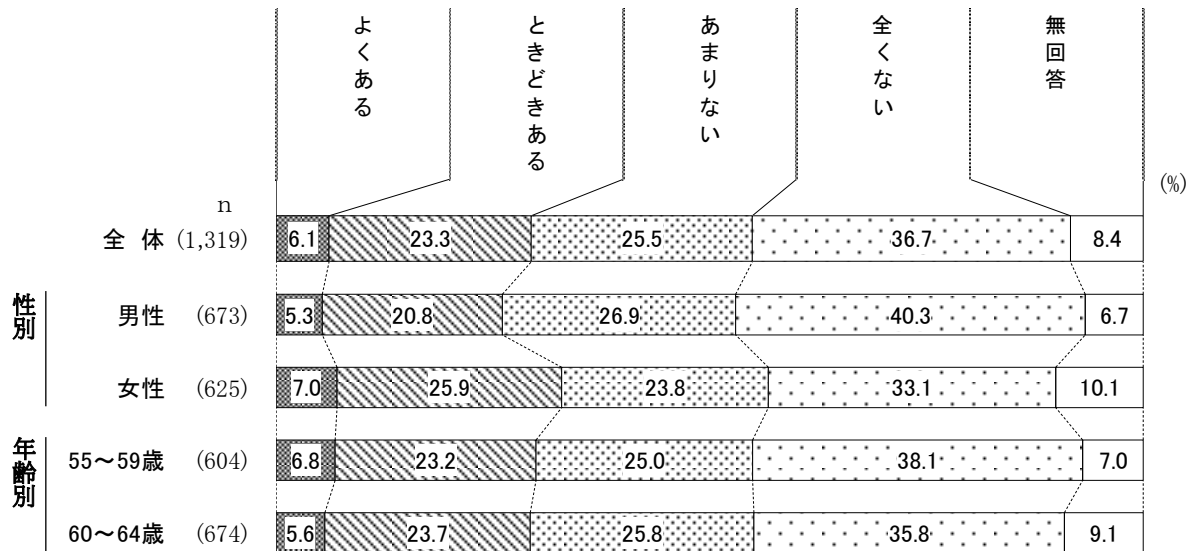
性別に見ると、『ある』の割合は、男性が12.1%、女性が15.4%で女性がやや多くなっています。

年齢別に見ると、『ある』の割合は、55~59歳で13.4%、60~64歳で14.1%です。



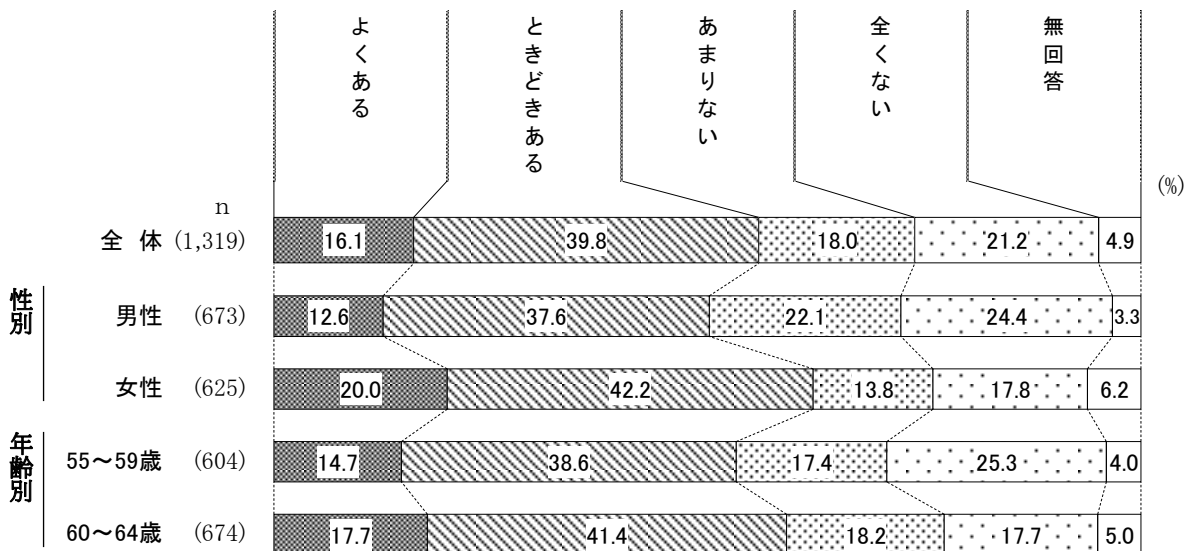
〈②20～40代くらいの人／性別、年齢別／各年齢層との会話頻度〉

性別に見ると、『ある』の割合は、男性が26.1%、女性が32.9%で、女性の方で多くなっています。



〈③50～60代くらいの人／性別、年齢別／各年齢層との会話頻度〉

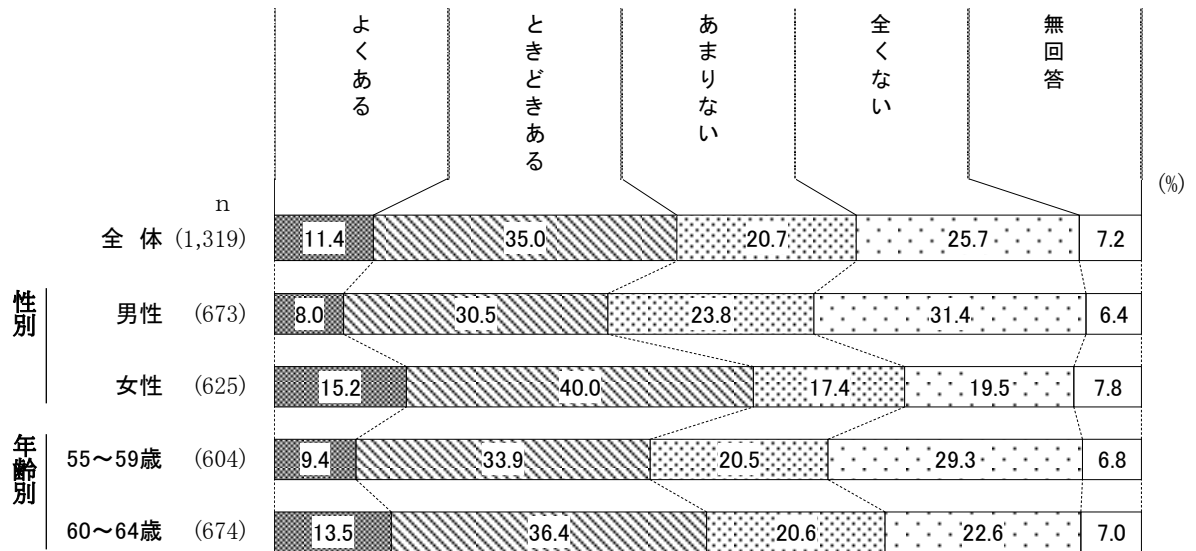
性別に見ると、『ある』の割合は、男性が50.2%、女性が62.2%で、女性が多くなっています。年齢別に見ると、『ある』の割合は、55～59歳で53.3%、60～64歳で59.1%です。



〈④70代かそれより高齢な方／性別、年齢別／各年齢層との会話頻度〉

性別に見ると、『ある』の割合は、男性が38.5%、女性が55.2%で、女性の方が多くなっています。

年齢別に見ると、『ある』の割合は、55～59歳が43.3%、60～64歳が49.9%で、60～64歳が多くなっています。



(10) 65歳以降の近所との関わり意向

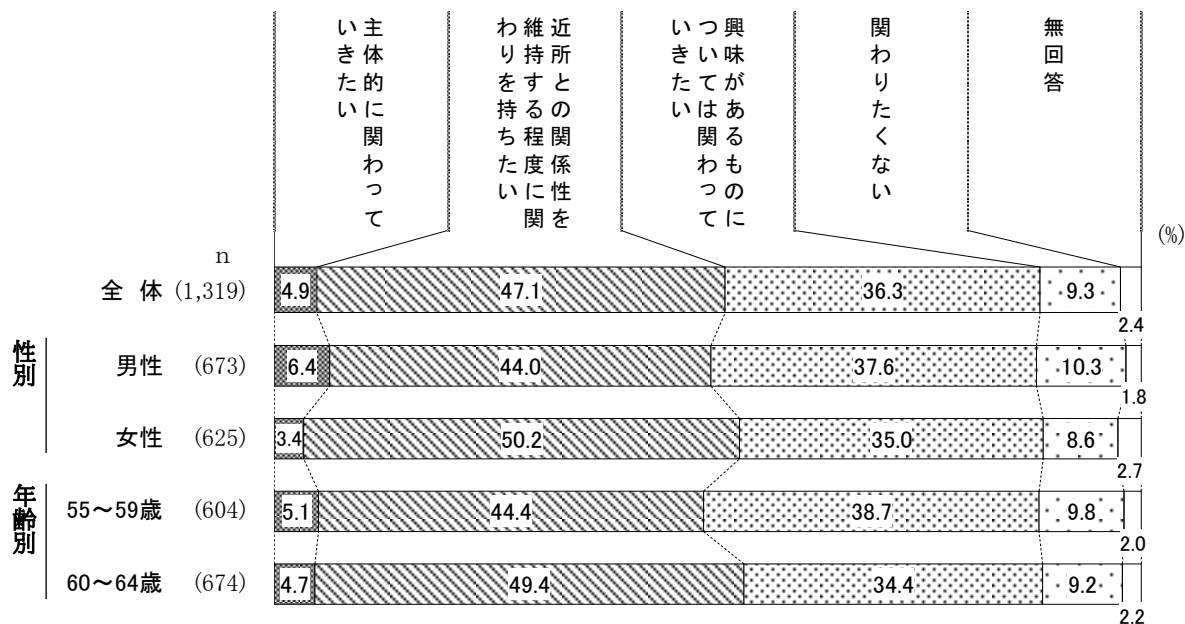
Q10. あなたは65歳以降、あなたの住んでいる地域との関わりをどの程度持ちたいですか。  
(〇は1つ)

「近所との関係性を維持する程度に関わりを持ちたい」が47.1%、「興味があるものについては関わっていきたい」が36.3%、「関わりたくない」が9.3%となっています。

〈性別、年齢別／65歳以降の近所との関わり意向〉

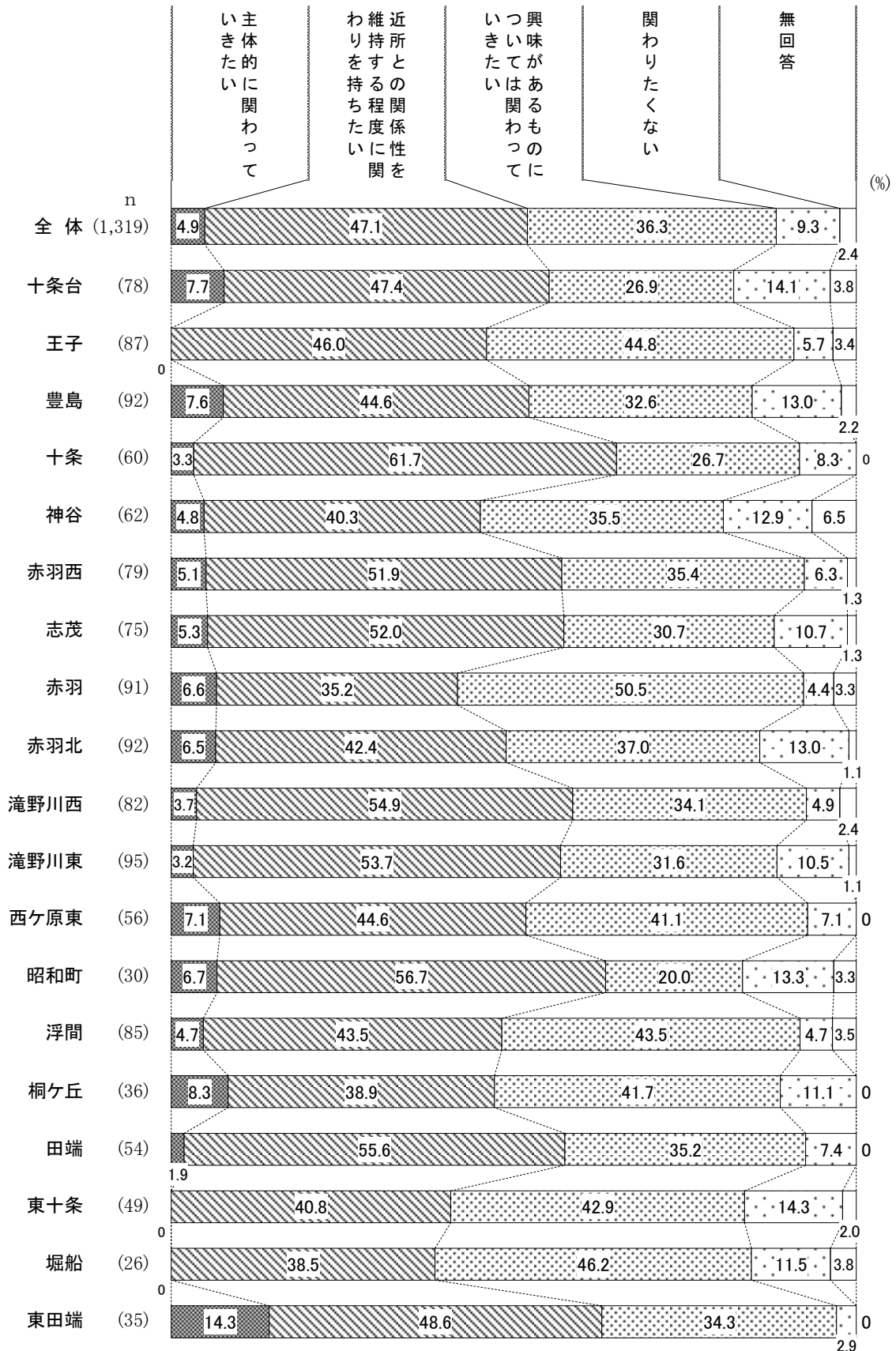
性別に見ると、「近所との関係性を維持する程度に関わりを持ちたい」は、女性が50.2%で男性（44.0%）よりも多くなっています。

年齢別に見ると、「近所との関係性を維持する程度に関わりを持ちたい」は、60～64歳が49.4%で55～59歳（44.4%）よりも多くなっています。



〈居住地区別／65歳以降の近所との関わり意向〉

居住地区別に見ると、「主体的に関わっていきたい」と「近所との関係性を維持する程度に関わりを持ちたい」を合わせた割合は、十条（65.0%）、昭和町（63.4%）、東田端（62.9%）の3地区で6割を超えています。

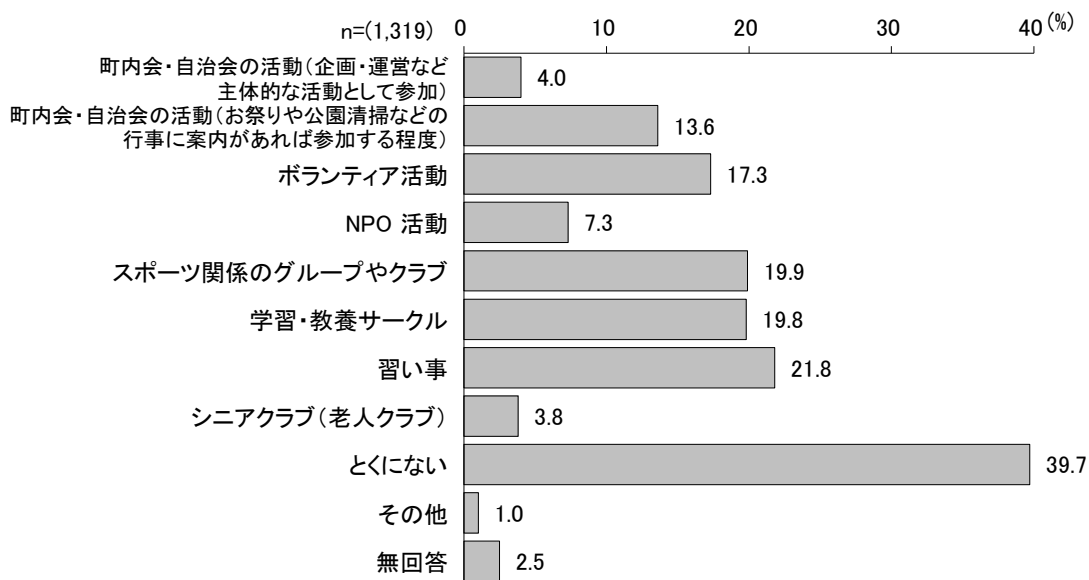


(11) 65歳以降にやってみたい活動

Q11. あなたは、65歳以後あなたの住んでいる地域における活動でやってみたいことはありますか。(〇は3つまで)

全体から「とくにない」(39.7%)と無回答(2.5%)を除いた57.8%が、何らかの活動を選んでいました。

「習い事」が21.8%で最も多く、以下、「スポーツ関係のグループやクラブ」(19.9%)、「学習・教養サークル」(19.8%)、「ボランティア活動」(17.3%)、「町内会・自治会の活動(お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度)」(13.6%)と続いています。



〈性別、年齢別／65歳以降にやってみたい活動〉

性別に見ると、男性は「とくにない」が45.2%と多く、女性は「習い事」（31.5%）や「学習・養サークル」（24.0%）が多くなっています。

		回答者数	市町村・自治会・主体的な活動（企業・参加）	町内会・自治会の活動（お祭りや清掃などの行事に案内があれば参加する程度）	ボランティア活動	NPO活動	スポーツ関係のグループやクラブ	学習・教養サークル
全体		1,319	4.0	13.6	17.3	7.3	19.9	19.8
性別	男性	673	5.5	14.4	18.6	8.9	20.2	15.9
	女性	625	2.6	13.1	16.0	5.6	19.8	24.0
年齢別	55～59歳	604	4.3	13.4	17.1	7.5	21.4	21.5
	60～64歳	674	3.9	14.2	17.2	7.3	19.0	17.8

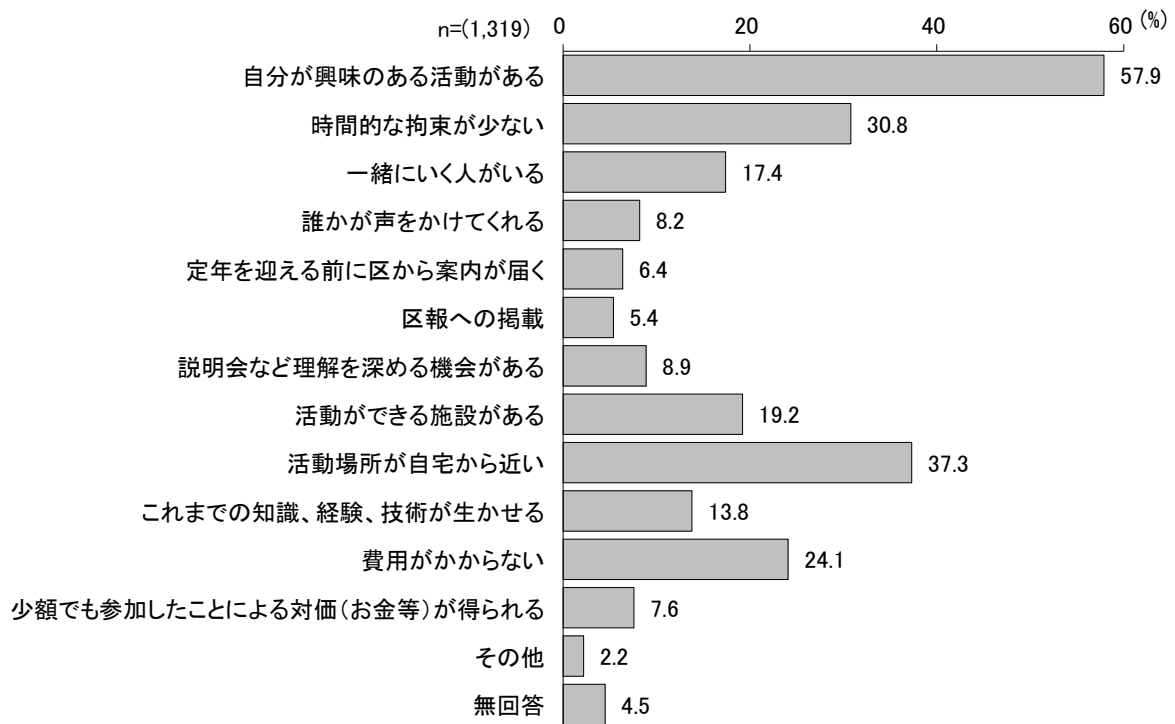
  

		回答者数	習い事	（シニアクラブ）	とくにない	その他	無回答
全体		1,319	21.8	3.8	39.7	1.0	2.5
性別	男性	673	12.8	2.8	45.2	0.4	1.8
	女性	625	31.5	5.0	33.3	1.6	3.0
年齢別	55～59歳	604	22.5	3.6	36.9	1.3	2.6
	60～64歳	674	20.8	4.0	41.7	0.7	2.1

(12) 地域活動への参加に必要なだと思うこと

Q12. 高齢期を元気に過ごすためには、社会とのつながりを持つことが大切と言われておりますが、地域活動等に参加するために必要なと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

「自分が興味のある活動がある」が57.9%と特に多く、以下、「活動場所が自宅から近い」(37.3%)、「時間的な拘束が少ない」(30.8%)、「費用がかからない」(24.1%)と続いています。





〈性別、年齢別／地域活動への参加に必要なと思うこと〉

性別で見ると、男性は「これまでの知識、経験、技術が生かせる」で19.2%と多く、女性は「活動場所が自宅から近い」(44.3%)で多くなっています。

(%)

		回答者数	自分が興味のある活動がある	時間的な拘束が少ない	一緒にいく人がいる	誰かが声をかけてくれる	定年を迎える前に案内が届く	区報への掲載	説明会など理解を深める機会がある
全体		1,319	57.9	30.8	17.4	8.2	6.4	5.4	8.9
性別	男性	673	57.4	33.4	16.6	7.9	6.4	3.4	9.8
	女性	625	58.2	27.8	18.2	8.6	6.7	7.5	8.2
年齢別	55～59歳	604	59.9	28.8	18.5	9.6	7.8	5.1	9.1
	60～64歳	674	56.4	32.8	16.2	6.7	5.6	5.3	8.9

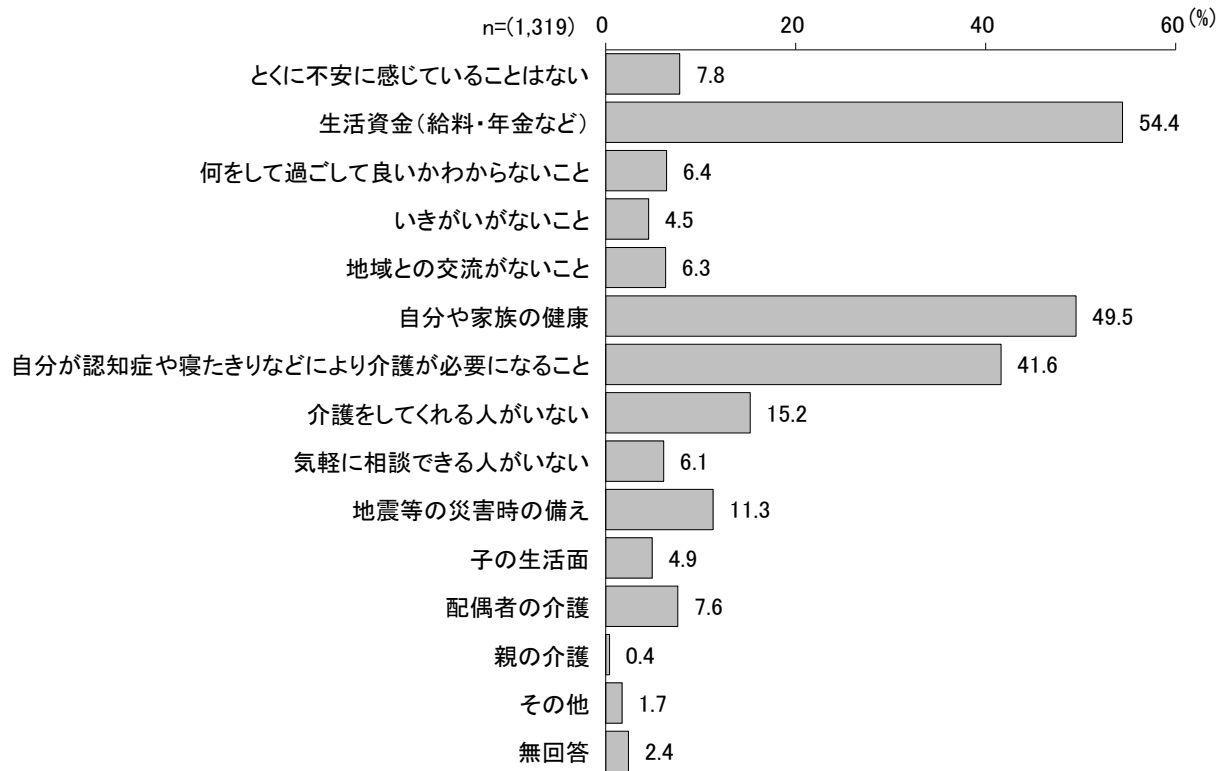
  

		回答者数	活動ができる施設がある	活動場所が自宅から近い	これまでの知識、経験、技術が生かせる	費用がかからない	少額でも参加したことが得られる(お金等)	その他	無回答
全体		1,319	19.2	37.3	13.8	24.1	7.6	2.2	4.5
性別	男性	673	16.2	31.6	19.2	21.5	7.9	2.1	3.1
	女性	625	22.6	44.3	8.3	27.4	7.4	2.2	5.6
年齢別	55～59歳	604	18.9	34.8	15.1	26.0	7.3	2.2	3.8
	60～64歳	674	19.6	40.4	13.2	23.4	8.0	2.2	4.5

(13) 将来への不安

Q13. あなたは高齢期の生活に不安を感じていることはありますか。不安を感じていることはどのようなことですか。(〇は3つまで)

「生活資金（給料・年金など）」（54.4%）、「自分や家族の健康」（49.5%）、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」（41.6%）の3つに回答が集中しています。



〈性別、年齢別／将来への不安〉

性別で見ると、男性は「生活資金」、女性は「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」や「地震等の災害時の備え」が比較的多くなっています。

年齢別に見ると、55～59歳は「生活資金」、60～64歳は「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が多くなっています。

		回答者数	多くは不安を感じていないこと	生活資金（給料・年金など）	何をかからず過ごして良いかわからないこと	いきがいがないこと	地域との交流がないこと	自分や家族の健康	自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	介護をしてくれる人がいない
全体		1,319	7.8	54.4	6.4	4.5	6.3	49.5	41.6	15.2
性別	男性	673	8.3	58.4	6.4	4.2	7.3	49.3	38.3	14.0
	女性	625	7.4	50.4	6.4	4.8	5.4	49.8	45.8	16.6
年齢別	55～59歳	604	7.8	59.6	4.3	4.1	6.1	50.2	37.7	15.7
	60～64歳	674	8.0	50.3	8.3	4.9	6.7	48.4	45.1	14.4

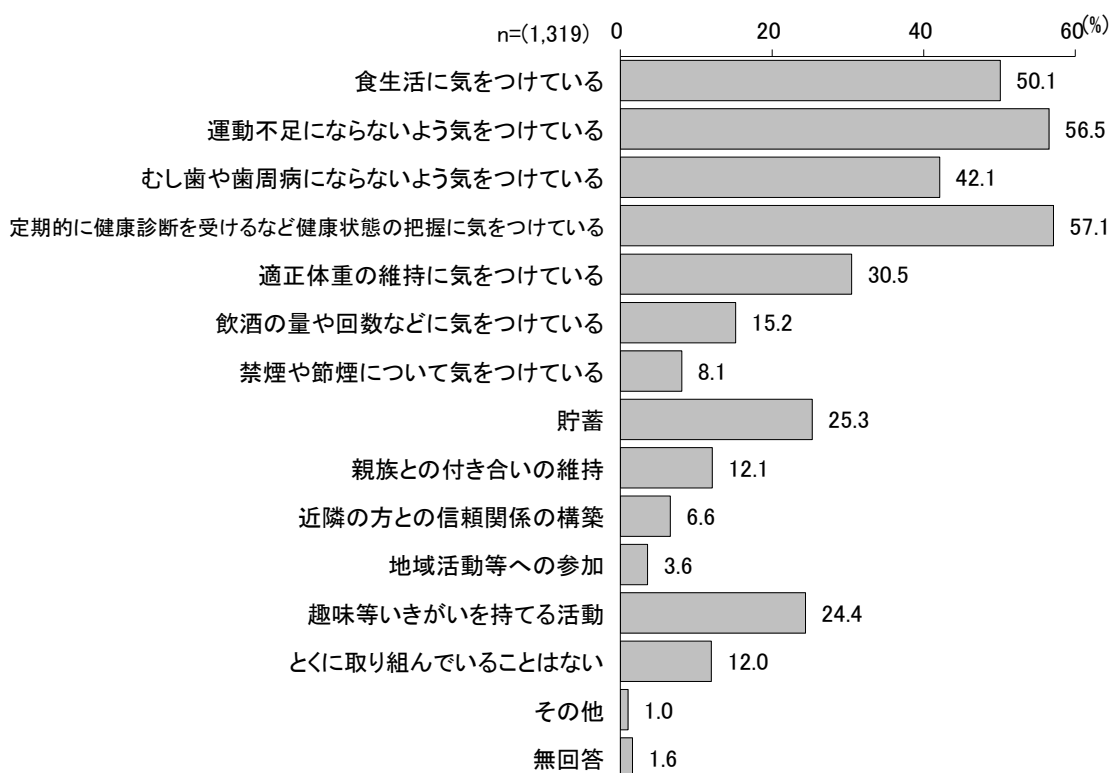
  

		回答者数	人が気軽に相談できる	地震等の災害時の備え	子の生活面	配偶者の介護	親の介護	その他	無回答
全体		1,319	6.1	11.3	4.9	7.6	0.4	1.7	2.4
性別	男性	673	5.5	9.1	5.8	6.7	0.3	1.5	1.8
	女性	625	6.9	13.6	4.2	8.8	0.3	2.1	2.7
年齢別	55～59歳	604	6.1	9.8	4.5	6.1	0.3	2.3	2.6
	60～64歳	674	5.9	12.8	5.6	9.1	0.3	1.3	1.8

(14) 高齢期に向けて今から取り組んでいること

Q14. いきいきとした高齢期を過ごすために、今から取り組んでいることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「定期的に健康診断を受けるなど健康状態の把握に気をつけている」が57.1%で、以下、「運動不足にならないよう気をつけている」(56.5%)、「食生活に気をつけている」(50.1%)、「むし歯や歯周病にならないよう気をつけている」(42.1%)、「適正体重の維持に気をつけている」(30.5%)と続いています。



〈性別、年齢別／高齢期に向けて今から取り組んでいること〉

性別に見ると、女性は「食生活に気をつけている」(56.0%)、「むし歯や歯周病にならないよう気をつけている」(48.3%)、「定期的に健康診断を受けるなど健康状態の把握に気をつけている」(63.4%)が多く、男性は「飲酒の量や回数などに気をつけている」(19.9%)が多くなっています。

年齢別で見ると、60～64歳は「食生活に気をつけている」(53.0%)、「運動不足にならないよう気をつけている」(59.2%)がやや多くなっています。

		回答者数	食生活に気をつけている	運動不足にならないよう気をつけている	むし歯や歯周病にならないよう気をつけている	定期的な健康診断を受けたい	正しい体重の維持に気をつけている	飲酒の量や回数などに気をつけている	禁煙や節煙について気をつけている	貯蓄
全体		1,319	50.1	56.5	42.1	57.1	30.5	15.2	8.1	25.3
性別	男性	673	45.2	55.7	36.8	52.5	28.5	19.9	10.0	24.2
	女性	625	56.0	58.2	48.3	63.4	33.1	10.2	6.2	27.0
年齢別	55～59歳	604	47.4	54.3	40.4	55.6	31.6	15.9	7.8	29.5
	60～64歳	674	53.0	59.2	43.9	59.2	29.7	15.0	8.6	22.3

		回答者数	親族との付き合い	近隣関係の方との構築	地域活動等への参加	趣味等いろいろな活動に意欲がある	どこかへ行くことに取組む	その他	無回答
全体		1,319	12.1	6.6	3.6	24.4	12.0	1.0	1.6
性別	男性	673	8.6	5.1	4.0	22.0	15.0	0.9	1.3
	女性	625	16.2	8.3	3.2	27.5	8.3	1.1	1.4
年齢別	55～59歳	604	10.4	5.1	3.1	25.8	11.8	1.2	1.2
	60～64歳	674	14.2	7.9	3.7	23.4	12.2	0.7	1.5

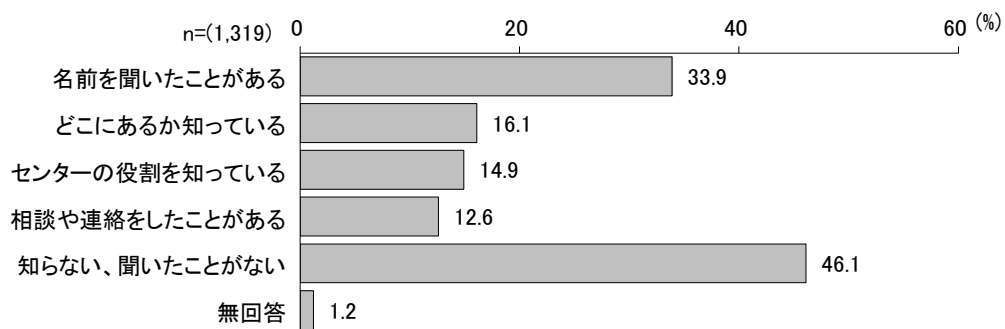
### 3. 高齢者あんしんセンター

#### (1) 「高齢者あんしんセンター」の認知度

Q1. あなたは高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）を知っていますか。  
 （あてはまるものすべてに○）

全体から「知らない、聞いたことがない」（46.1%）と無回答（1.2%）を除いた52.7%が、何らかの形でセンターを知っています。

「名前を聞いたことがある」が33.9%、「どこにあるか知っている」が16.1%、「センターの役割を知っている」が14.9%となっています。



#### 〈居住地区別／「高齢者あんしんセンター」の認知度〉

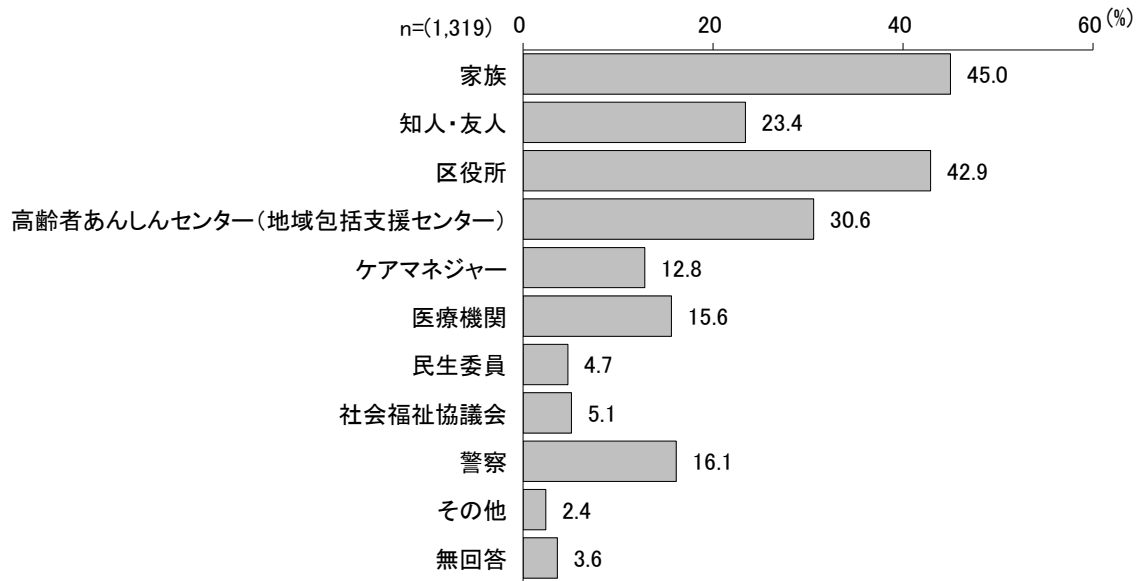
何らかの形でセンターを知っている割合は、十条（63.3%）、神谷（61.3%）、東田端（60.0%）の順で多く、逆に、「知らない、聞いたことがない」が多いのは、桐ヶ丘（58.3%）や堀船（57.7%）となっています。

	回答者数	名前を聞いたことがある (%)	どこにあるか知っている (%)	センターの役割を知っている (%)	相談や連絡をしたことがある (%)	知らない、聞いたことがない (%)	無回答 (%)
全体	1,319	33.9	16.1	14.9	12.6	46.1	1.2
十条台	78	29.5	11.5	12.8	11.5	56.4	-
王子	87	26.4	11.5	17.2	6.9	52.9	1.1
豊島	92	42.4	19.6	21.7	10.9	40.2	3.3
十条	60	36.7	25.0	21.7	13.3	36.7	-
神谷	62	40.3	22.6	22.6	17.7	38.7	-
赤羽西	79	43.0	15.2	11.4	16.5	40.5	-
志茂	75	24.0	22.7	14.7	17.3	48.0	-
赤羽	91	26.4	13.2	12.1	11.0	53.8	-
赤羽北	92	31.5	15.2	16.3	7.6	52.2	-
滝野川西	82	39.0	17.1	18.3	17.1	41.5	-
滝野川東	95	40.0	21.1	12.6	15.8	41.1	-
西ヶ原東	56	25.0	12.5	17.9	16.1	50.0	-
昭和町	30	50.0	6.7	6.7	16.7	43.3	-
浮間	85	36.5	22.4	12.9	9.4	43.5	-
桐ヶ丘	36	25.0	13.9	11.1	2.8	58.3	2.8
田端	54	38.9	7.4	9.3	3.7	51.9	-
東十条	49	40.8	10.2	14.3	8.2	40.8	-
堀船	26	26.9	11.5	7.7	15.4	57.7	-
東田端	35	37.1	17.1	14.3	14.3	40.0	-

(2) 高齢者に関する相談先

Q2. あなたのご家族または困っている高齢者を見かけた時にどこに相談しますか。  
 (〇は優先度が高いもの3つまで)

「家族」が45.0%と最も多く、以下、「区役所」(42.9%)、「高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)」(30.6%)、「知人・友人」(23.4%)、「警察」(16.1%)と続いています。

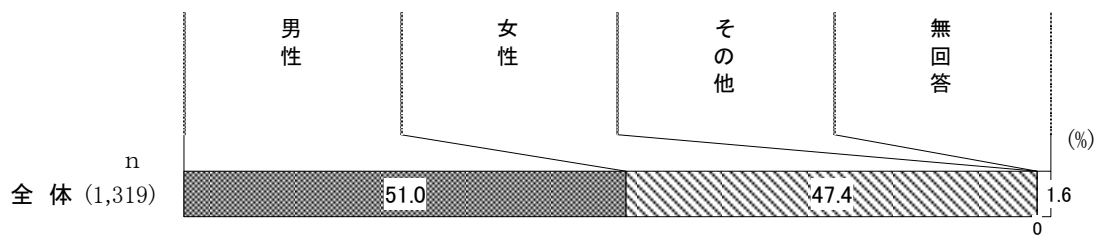


## 4. 家族や生活状況

### (1) 性別

Q1. あなたの性別をお答えください。

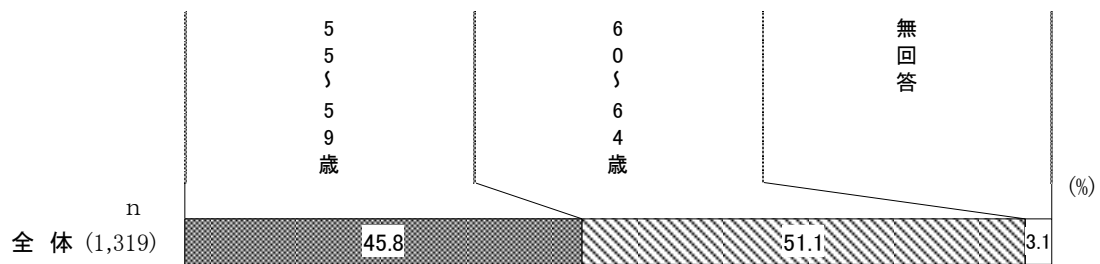
「男性」が51.0%「女性」が47.4%となっています。



### (2) 年齢

Q2. あなたの年齢をお答えください。

「60～64歳」が51.1%、「55～59歳」が45.8%となっています。

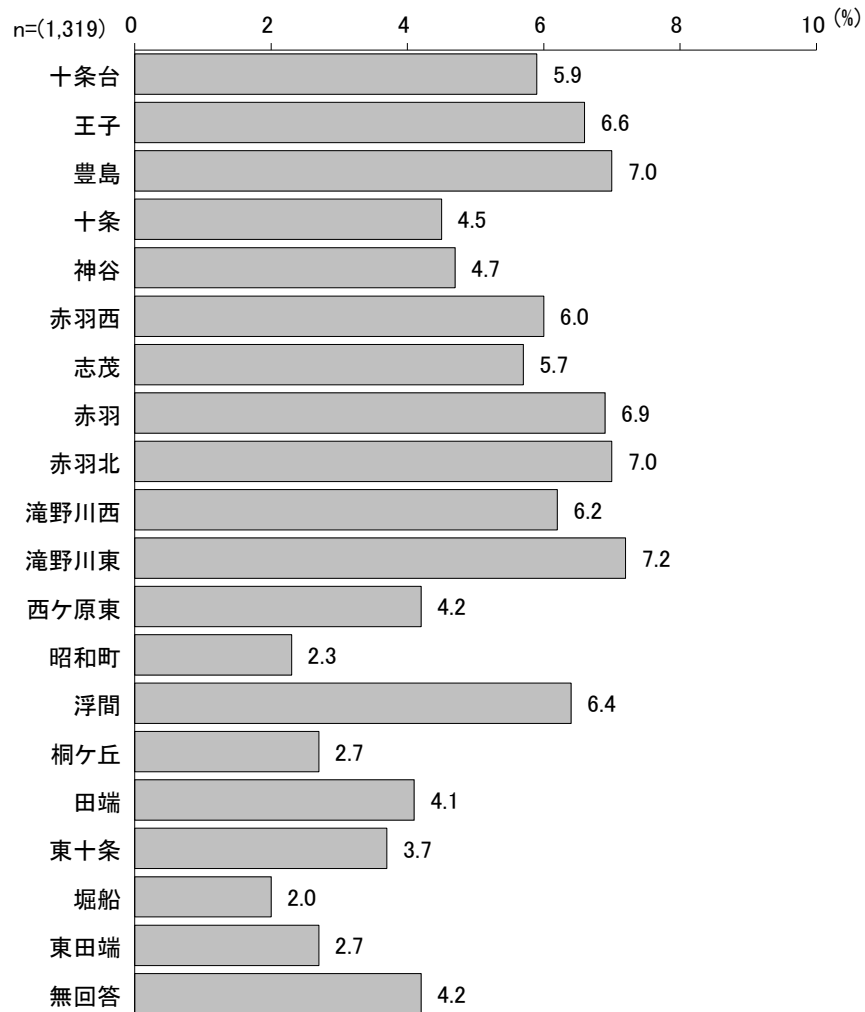




## (3) 居住地区

Q3. あなたの住まいはどちらですか。記入例を参考に、下の欄にお書きください。

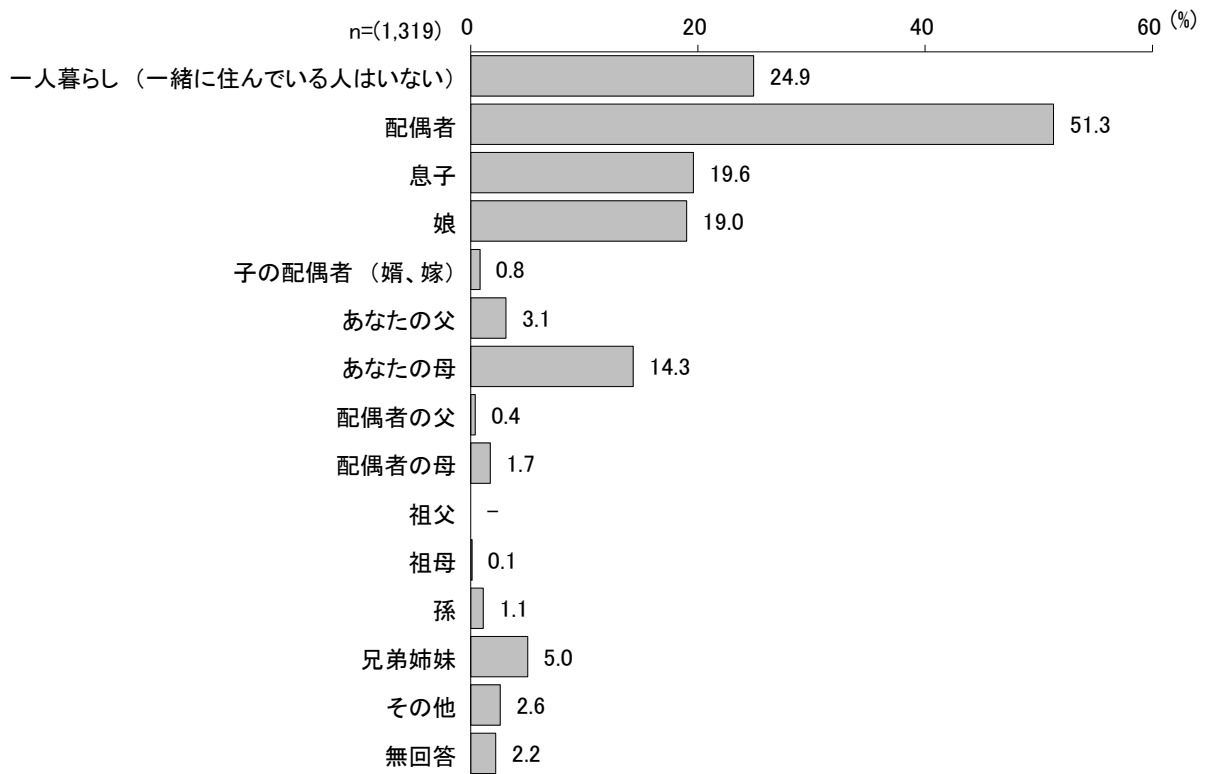
「滝野川東」が7.2%と最も多く、以下、「豊島」「赤羽北」が7.0%、「赤羽」が6.9%、「王子」が6.6%、「浮間」が6.4%と続いています。



(4) 家族構成

Q4. 同居のご家族を教えてください（あなたからみた続柄でお答えください）。  
（あてはまるものすべてに○）

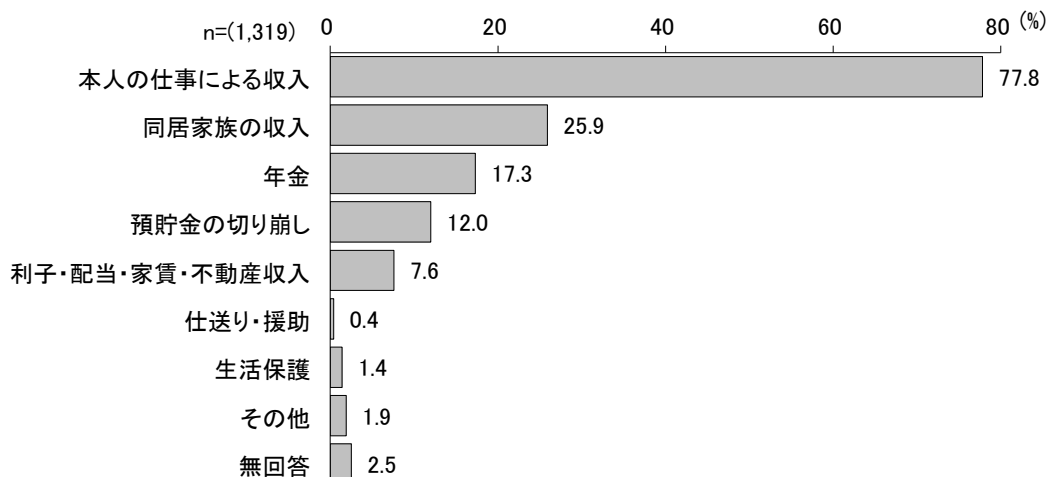
「配偶者」が51.3%、次いで「息子」が19.6%、「娘」が19.0%となっています。



(5) 収入源

Q5. あなたの収入は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

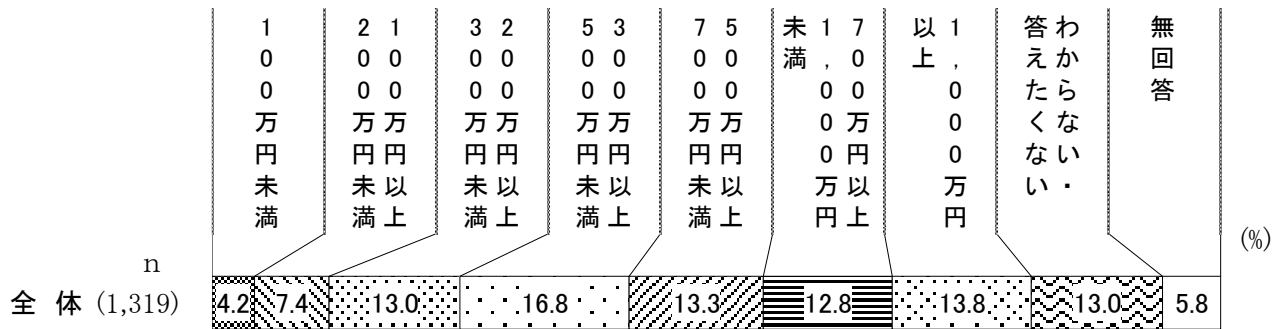
「本人の仕事による収入」が77.8%と特に多く、以下、「同居家族の収入」（25.9%）、「年金」（17.3%）「預貯金の切り崩し」（12.0%）と続いています。



(6) 世帯収入

Q6. 昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入（税込）総額はどれくらいですか。  
 (〇は1つ)

「300万円以上500万円未満」が16.8%と最も多く、以下、「1000万円以上」（13.8%）、  
 「500万円以上700万円未満」（13.3%）、「200万円以上300万円未満」（13.0%）と続いでい  
 ます。



## ■自由記述

これからの健康福祉施策や地域づくりのあり方等についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。

218件の回答があり、内容別では「区や国への意見・要望」についての意見が79件と最も多く、次いで「高齢者福祉・地域福祉」が61件となっています。

項目		件数
1	区や国への意見・要望	79
2	高齢者福祉・地域福祉	61
3	医療・健康	17
4	将来の不安	16
5	経済事情・経済的負担	11
6	介護保険制度・介護サービス	7
7	在宅介護・介護者	3
8	入所施設	3
9	その他	21
回答総数		218

※複数の項目にまたがる意見もあるため、各項目の件数の合計は回答総数を上回ります。

### ■主な意見の概要（抜粋、要約の場合あり）

#### ①区や国への意見・要望

多摩地域より転居してきましたが、北区は高齢者を大切にしていると感じております。多くの区営公園や道路も常に清掃が行き届き、清潔で過ごしやすいです。広報紙（区報）に高齢者専門の読みやすいページがあると良いかなと思います。バスの本数を増やしてほしいです。

情報が少な過ぎる。北区のホームページの構成も非常にわかりづらく、探したいことがどこにあるのかなかなか見つからない。“キーワード”の目次（一覧）を作って欲しい。

良い仕組みがあっても、それを知ることができないし、わからないことが多い気がします。わかりやすい告知（難しい言葉だとわかりづらく、誰もがすぐに見てわかりやすい内容）が必要。説明会等を設け、具体的にわかりやすく、理解しやすく。年を取ると、何事にも理解しにくくなります。

### ②高齢者福祉・地域福祉

一人暮らしの高齢者が自分で頼れる公的機関があると良いです。あんしんセンターは家族が利用できてなかなか本人が自分では相談しにくいかと思います。自分の地域の担当場所や電話番号やその役割がもっとわかりやすく知らせてもらえると良いです。

周囲を見ると70歳以上の高齢で、一人暮らしの方が多。例えば民生委員の方、もしくは行政の下で働いている方に、独居に限らず定期的に巡回するとか考えて欲しい。

地方都市から引っ越してみると、やはり地域の中での繋がりはかなり低いと感じます。日頃の繋がりを深めていく地道な取り組みがなければ、災害時等にスムーズな連携ができないのではないかと思います。又、地域活動も淋しくなっていくのではないのでしょうか。

### ③医療・健康

高齢者が増えている現状で、健康に過ごしていただくための健康問題と充実した生活を社会貢献しながら送る二本立ての生活が大切だと思います。前者は区の無料健診等があると思いますが、後者は本人の意識と行動によって変わると思います。仕事と子育て中心で生活してきた者は、生きがいを失う可能性が高いと思います。そうすると健康に問題を生じ、行政面でお金がかかるようになる可能性が高くなります。そうさせないためにも行政の方から、高齢者へのボランティア活動や趣味や生きがいを刺激する様な情報がもらえると有難いと考えます。

人間ドック等の検査は高額で受けられません。区の健診だけでは不安です。人間ドック等のせめて助成金等があれば、もっと積極的に受診しようという気持ちになる人が多くいるので考えて欲しい。

### ④将来の不安

独居、親戚なしのため金銭面等、準備はしているが老後の居住先や健康相談、後見人など、不安なことも多く、行政を頼りにしたいと考えている。気軽に相談できる場所や案内の広報を広く進めてもらいたい。

介護で生活基盤を失い、生活のために用意した物に税金、国保が大きいのしかかり、結局、体調を崩して医療を受ければ出費しかない。そんな生活の中で健康福祉と言われても、精神的・経済的ダメージを救済する接点は見出せない。

### ⑤経済事情・経済的負担

病気治療をしているため、蓄えがなかなかできない。定年後の健康面、生活面が不安です。

食費に困るので、無料食物のイベントが月に一度あれば、地域づくり・生活面でも北区が健康的な交流のある町づくりができると思います。

### ⑥介護保険制度・介護サービス

介護等で相談する時は急を要します。直ぐに対処してほしいです。

介護保険を使って支援を受けている場合、家族の支援があっても、介護保険の支援の範囲を限定しないで欲しい。訪問介護員、ケアマネジャーに人間味がなく、ただ仕事をこなしている感じ。

⑦在宅介護・介護者

介護をしなければならない状況で、まず支援の依頼の先がわかりませんでした。仕事、子育て、親の世話、近所付き合いもなく家庭だけを見て、気付くと自分が介護を受けてもおかしくない年齢で親の介護、その内配偶者の介護。北区ニュースは参考になりますが、もう少し相談コーナー（連絡先、情報）も欲しいです。

⑧入所施設

介護が必要になった時、家族に迷惑をかけたくないので、希望したらすぐに入れる施設を用意してほしい。

高齢者と障害者や体の不自由な方が一緒に安心して生活できる入所施設を作ってください。

⑨その他

毎日忙しく、区報もよく見てないので、このような取り組みがされていることを知らず、申し訳ない気持ちです。区からのアンケートと書いてあったので、気軽に開封致しました。少し勉強になりました。アンケートもそういう意味でも役に立つと実感致しました。

地域に貢献できることをしたい気持ちはあるが、現在、何もしていないので、区報等を読むようにしたいと思う。その他どこから情報を得られるのかがわからない。

# 資料編





# 1. 一般高齢者調査

要介護認定を受けていない方

## 北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

### <要介護認定を受けていない方の調査票>

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。北区では、「長生きするなら北区が一番」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがいづくり・社会参加につながる取り組みに力を入れています。

このアンケート調査において高齢者の方等の日常生活への意向と生活実態を把握し、令和6年度からの高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

この調査は、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を何卒ご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年12月 東京都北区 福祉部

### ご記入にあたって

- ①この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです。
- ②この調査票は、令和4年11月1日現在の状況でお答えください。
- ③封筒のあて名ご本人が回答できない場合は、ご家族などが代わりにお答えください。該当しない項目や、回答したくない項目は回答していただく必要もありません。
- ④ご回答は、あてはまる選択枝の番号に○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を( )内にご記入ください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ⑤この調査票や返信用封筒には名前や住所、電話番号は書かないでください。また、調査票以外の書類等を同封しないください。
- ⑥記入した調査票は、2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに  
令和4年12月27日(火)までに、郵便ポストにご投入ください。

【お問い合わせ先】北区 福祉部 高齢福祉課 電話：03-3908-1158 FAX：03-3908-1229

要介護認定を受けていない方

- Q. この調査票にお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)
- 1. あて名ご本人(ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含みます。)
  - 2. あて名ご本人の配偶者(夫・妻)
  - 3. あて名ご本人の兄弟姉妹
  - 4. あて名ご本人の子ども
  - 5. あて名ご本人の子どもの配偶者(夫・妻)
  - 6. その他( )

※以下は、封筒のあて名ご本人の情報をご記入ください。

### 問1 ご家族や生活状況について

- Q1. あなたの性別をお答えください。
- 1. 男性
  - 2. 女性
  - 3. その他
- Q2. あなたの年齢をお答えください。
- 1. 65～69歳
  - 2. 70～74歳
  - 3. 75～79歳
  - 4. 80～84歳
  - 5. 85～89歳
  - 6. 90歳以上
- Q3. 家族構成をお答えください。(○は1つ)
- 1. 1人暮らし
  - 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
  - 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
  - 4. 息子・娘との2世帯
  - 5. その他( )

- Q4. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)
- 1. 介護・介助は必要ない(⇒Q7へ)
  - 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない(⇒Q5へ)
  - 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けていないが家族などの介護を受けている場合も含む)(⇒Q5、6へ)

- Q5. 【Q4で「2.」または「3.」と答えた方にうかがいます。】  
介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
- 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
  - 2. 心臓病
  - 3. がん(悪性新生物)
  - 4. 呼吸器の病気(肺炎等)
  - 5. 関節の病気(リウマチ等)
  - 6. 認知症(アルツハイマー病等)
  - 7. パーキンソン病
  - 8. 糖尿病
  - 9. 腎疾患(透析)
  - 10. 視覚・聴覚障害
  - 11. 骨折・転倒
  - 12. 腎椎損傷
  - 13. 高齢による衰弱
  - 14. 骨や関節の痛み
  - 15. 精神疾患
  - 16. 事故
  - 17. 薬の副作用
  - 18. その他( )
  - 19. 不明

- Q6. 【Q4で「3.」と答えた方にうかがいます。】  
主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○は1つ)
- 1. 配偶者(夫・妻)
  - 2. 息子
  - 3. 娘
  - 4. 子の配偶者
  - 5. 孫
  - 6. 兄弟姉妹
  - 7. ハルパーなど介護サービスの人
  - 8. その他( )

要介護認定を受けていない方

- Q7. あなたの収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)
1. 仕事による収入
  2. 年金
  3. 預貯金の切り崩し
  4. 利子・配当・家賃・不動産収入
  5. 仕送り・援助
  6. 生活保護
  7. その他 ( )
- Q8. 昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入(税込)総額はどれくらいですか。(○は1つ)
1. 100万円未満
  2. 100万円以上200万円未満
  3. 200万円以上300万円未満
  4. 300万円以上500万円未満
  5. 500万円以上700万円未満
  6. 700万円以上1,000万円未満
  7. 1,000万円以上
  8. わからない
- Q9. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)
1. 大変苦しい
  2. やや苦しい
  3. ぶつう
  4. ややゆとりがある
  5. 大変ゆとりがある
- Q10. お住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)
1. 持家(一戸建て)
  2. 持家(集合住宅)
  3. 公営賃貸住宅(区・都営、UR、公社等)
  4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
  5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
  6. 借間
  7. その他 ( )
- Q11. ご自身の住んでいる地域を「住みやすい地域」だと感じますか。(○は1つ)
1. とても住みやすい
  2. まあ住みやすい
  3. やや住みにくい
  4. 住みにくい

問2 からだを動かすことについて

- Q1. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)
1. できるし、している
  2. できるけどしていない
  3. できない
- Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)
1. できるし、している
  2. できるけどしていない
  3. できない
- Q3. 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)
1. できるし、している
  2. できるけどしていない
  3. できない
- Q4. 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)
1. ほとんど外出しない
  2. 週1回
  3. 週2~4回
  4. 週5回以上
- Q5. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)
1. とても減っている
  2. 減っている
  3. あまり減っていない
  4. 減っていない
- Q6. 外出を控えていますか。
1. はい (⇒ Q7ハ)
  2. いいえ (⇒ Q8ハ)

要介護認定を受けていない方

- Q7. 【Q6で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】  
外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)
1. 病気
  2. 障害(脳卒中の後遺症など)
  3. 足腰などの痛み
  4. トイレの心配(失禁など)
  5. 耳の障害(聞こえの問題など)
  6. 目の障害
  7. 外での楽しみがない
  8. 経済的に出られない
  9. 交通手段がない
  10. その他 ( )
- Q8. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
1. 徒歩
  2. 自転車
  3. バイク
  4. 自動車(自分で運転)
  5. 自動車(人に乗せてもらう)
  6. 電車
  7. 路線バス
  8. 病院や施設バス
  9. 車いす
  10. 電動車いす(カート)
  11. 歩行器・シルバーカー
  12. タクシー
  13. その他 ( )
- Q9. 過去1年間に転んだことがありますか。(○は1つ)
1. 何度もある
  2. 1度ある
  3. ない
- Q10. 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)
1. とても不安である
  2. やや不安である
  3. あまり不安ではない
  4. 不安ではない

問3 食べることにについて

- Q1. 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。
1. はい (⇒ Q2ハ)
  2. いいえ (⇒ Q3ハ)
- Q2. 【Q1で「1. はい」と答えた方にうかがいます。】  
減少の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
1. 食欲不振のため
  2. 病気のため
  3. 意識的に体重管理をしたため
  4. その他 ( )
- Q3. 身長    cm 体重    kg  
※整数を右詰めで記入してください。
- Q4. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
1. はい
  2. いいえ
- Q5. お茶や汁物等でもせせることがありますか。
1. はい
  2. いいえ
- Q6. 口の渇きが気になりますか。
1. はい
  2. いいえ
- Q7. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。
1. はい
  2. いいえ

Q8. 現在のご自分の歯の本数と入れ歯の使用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は親知らずを含めて32本です）。(Oは1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

Q9. 【Q8で「1.」または「3.」と答えた方（入れ歯を使っている方）にうかがいます。】  
毎日入れ歯の手入れをしていますか。

1. はい
2. いいえ

Q10. どなたかと食事をとむにする機会がありますか。(Oは1つ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

#### 問4 物忘れ・認知症について

Q1. 物忘れが多いと感じますか。

1. はい
2. いいえ

Q2. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると云われますか。

1. はい
2. いいえ

Q3. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

1. はい
2. いいえ

Q4. 今日が何月何日かわからない時がありますか。

1. はい
2. いいえ

Q5. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいいますか。

1. はい
2. いいえ

Q6. あなた自身が認知症になったら、周囲に知られてもよいと思いますか。(Oは1つ)

1. 知られてもよい
2. 知られたくない
3. その他 ( )
4. わからない

Q7. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい (⇒ Q8^)
2. いいえ (⇒ 問5 Q1^)

Q8. 【Q7で「1. はい」と答えた方におうかがいします。】  
物忘れや認知症の不安がある時、どこに（誰に）相談をしますか。  
(あてはまるものすべてにO)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. かかりつけ医療機関
4. 薬局
5. 高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）
6. 認知症カフェ（オレンジカフェい〜な）
7. 区役所
8. 民生委員
9. ケアマネジャー
10. 社会福祉協議会
11. その他 ( )
12. 相談しない

#### 問5 毎日の生活について

Q1. バスや電車をって1人で外出していますか（自家用車でも可）。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるだけしていない
3. できない

Q2. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるだけしていない
3. できない

Q3. 自分で食事の用意をしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるだけしていない
3. できない

Q4. 自分で請求書の支払いをしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるだけしていない
3. できない

Q5. 自分でごみ出しをしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるだけしていない
3. できない

Q6. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるだけしていない
3. できない

Q7. 携帯電話またはスマートフォン・タブレットを使っていますか。(Oは1つ)

1. 携帯電話を使っている (⇒ Q8^)
2. スマートフォンもしくはタブレットを使っている (⇒ Q8^)
3. 両方使っている (⇒ Q8^)
4. 使っていない (⇒ Q9^)

Q8. 【Q7で「1. 携帯電話を使っている」「2. スマートフォンもしくはタブレットを使っている」「3. 両方使っている」と答えた方にうかがいます。】  
通話以外でどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてにO)

1. メール
2. 写真撮影
3. ゲーム
4. 電卓
5. 動画・TV視聴
6. ネットショッピング
7. 健康管理
8. ネット検索
9. SNS (LINE (ライン)・Facebook・Twitter等)
10. ネットバンク
11. 決済サービス
12. 地図・交通情報の検索
13. 天気予報・ニュース閲覧
14. その他 ( )
15. 通話以外で使用する機能はない

Q9. パソコンを使っていますか。

1. 使っている (⇒ Q10^)
2. 使っていない (⇒ Q11^)

Q10. 【Q9で「1. 使っている」と答えた方に伺います】  
どのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてにO)

1. メール
2. ゲーム
3. 動画・TV視聴
4. ネットショッピング
5. 文書作成
6. ネット検索
7. SNS (LINE (ライン)・Facebook・Twitter等)
8. ネットバンク
9. 地図・交通情報の検索
10. 天気予報・ニュース閲覧
11. その他 ( )

要介護認定を受けていない方

Q11. あなたが現在日常生活の中で困っていることは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 話し相手・相談相手がいない
2. 日常の外出の移動手段(買い物・通院等)
3. 高いところの作業(天袋、電球の交換等)
4. 重い物の扱いや運搬(布団、灯油、米、粗大ごみ)
5. かかむ作業(風呂掃除・雑巾がけ等)
6. 手先や腕を使う作業(蓋の開閉、ドアノブ等)
7. 書類整理・事務手続き(役所関係、契約等)
8. 文字が読みづらい(回覧板、新聞等)
9. 金銭管理(預金の出し入れ、請求支払い等)
10. 屋外作業(草刈、庭木の手入れ等)
11. ごみの分別や集積場まで出しに行くこと
12. 食事のしたく(調理、栄養バランス等)
13. 電化製品やリモコン等の操作
14. 家族の介護や世話
15. ペットの世話(散歩、予防接種等)
16. その他( )
17. 特に困っていることはない

Q12. 成年後見制度※をご存じですか。(○は1つ)

1. 知っている (⇒ Q13へ)
  2. 知らない (⇒ 問6Q1へ)
- ※ 成年後見制度、認知症などで物事の判断が困難になった場合、本人に代わって財産管理や契約行為等を行う後見人を選定し、法的に保護・支援する制度です。後見人には、家族や親族の他に弁護士・司法書士・社会福祉士などが選任されます。

Q13. 【Q12で「1. 知っている」と答えた方に伺います】  
どのようにして知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 広報紙やパンフレット
2. テレビやラジオ、新聞
3. インターネット
4. 区役所で聞いた
5. 社会福祉協議会で聞いた
6. ケアマネジャーや介護職員などから聞いた
7. 支援団体の広報活動や住民相談で知った
8. その他( )

問6 社会参加について

Q1. 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。

1. はい
2. いいえ

要介護認定を受けていない方

Q2. 新聞を読んでいますか。

1. はい
2. いいえ

Q3. 本や雑誌を読んでいますか。

1. はい
2. いいえ

Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか。

1. はい
2. いいえ

Q5. 友人の家を訪ねていますか。

1. はい
2. いいえ

Q6. 家族や友人の相談にのっていますか。

1. はい
2. いいえ

Q7. 病人を見舞うことができますか。

1. はい
2. いいえ

Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか。

1. はい
2. いいえ

Q9. 趣味がありますか。ある方はカテゴリー内に具体的な内容をお書きください。

※ 「はい」と答えた方は、○を付けた後に、カテゴリー内に具体的な内容をお書きください。

1. はい(具体的に: )
2. 思いつかない

Q10. 生きがいがありますか。(○は1つ)

※ 「生きがいあり」と答えた方は、○を付けた後に、カテゴリー内に具体的な内容をお書きください。

1. 生きがいあり(具体的に: )
2. 思いつかない

Q11. 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	週 4 回 以上	週 2 ~ 3 回	週 1 回	月 1 ~ 3 回	年 に 数 回	参 加 し な い
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤(自主グループ、ご近所体操教室 など)介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥シニアクラブ(老人クラブ)	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

要介護認定を受けていない方

Q12. 【会・グループに参加している人にかがいます】  
参加活動の場所には、ご自宅から徒歩15分以内のものがありますか。  
1. はい 2. いいえ

Q13. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者や企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

	是非参加したい	参加しても良い	参加したくない	既に参加している
①参加者として	1	2	3	4
②企画・運営（お世話役）として	1	2	3	4

Q14. あなたはこの1年間に、以下のような活動にどのくらい参加しましたか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

	参加した	参加しなかつたが機会があれば参加したい	参加したくない
①高齢者を支援する活動（見守りなどを含む）	1	2	3
②子どもや子育てを支援する活動	1	2	3
③町会・自治会、シニアクラブ（老人クラブ）などの地域活動	1	2	3

要介護認定を受けていない方

Q2. あなたは今後、働きたいと思いませんか。現在働いている方も、今後どのように働きたいかをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. フルタイムで働きたい（週35時間以上） 2. 短時間で働きたい（週35時間未満）  
3. 不定期で働きたい 4. 働きたくない 5. わからない

Q3. 【Q2で「1. フルタイムで働きたい（週35時間以上）」「2. 短時間で働きたい」  
「3. 不定期で働きたい」と答えた方に伺います】

- 働きたいのは、どのような理由からですか。（○は3つまで）
- 生活費を得るため
  - 借金・ローンの返済
  - 小遣いを得るため
  - 将来への蓄え（預貯金）のため
  - 健康のため
  - いきがいを得るため
  - 社会貢献・社会とのつながり
  - 時間に余裕があるため
  - 家族・知人などの勧め
  - 持っている技術や資格を活かすため
  - 何もしていないと退屈するため
  - その他（具体的に）

Q4. 【Q2で「2. 短時間で働きたい」「3. 不定期で働きたい」と答えた方に伺います】  
月にとのくらの報酬がほしいですか。（○は1つ）

1. 1万円未満 2. 1万円以上3万円未満 3. 3万円以上5万円未満  
4. 5万円以上 5. 交通費程度 6. わからない

問7 仕事について

Q1. あなたは現在働いていますか。働いている方は勤務形態についてもお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. フルタイム（週35時間以上） 2. 短時間・不定期（週35時間未満）  
3. 自営業 4. シルバー人材センターの会員  
5. その他（具体的に） 6. 働いていない

要介護認定を受けていない方

問8 たすけあいについて

Q1. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。それぞれあてはまるものに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹	近隣	友人	その他（ ）	そのような人はいない
①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	1	2	3	4	5	6	7	8
③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
④反対に、看病や世話をしあげる人	1	2	3	4	5	6	7	8

Q2. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 自治会・町内会・シニアクラブ（老人クラブ）
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・看護師・薬剤師
5. 高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・区役所
6. その他（具体的に）
7. そのような人はいない

Q3. 友人関係についておうかがいします。

- (1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)
1. 毎日ある
  2. 週に何度かある
  3. 月に何度かある
  4. 年に何度かある
  5. ほとんどない

(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ)

※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

1. 0人（いない）
2. 1～2人
3. 3～5人
4. 6～9人
5. 10人以上

要介護認定を受けていない方

(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他（具体的に）
8. いない

(4) 友人・知人と電話やメール、手紙をやり取りする頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

Q4. あなたは災害時・緊急時に人の手助けができますか。(○は1つ)

1. できる
2. できない
3. わからない

Q5. ご近所の方とはどの程度付き合っていますか。(○は1つ)

1. 日常的に会って話をしたり、たすけあったりできる関係（定期的なごみ出し、買い物などの手伝い等）
2. 頼まれたときにはたすけあえる関係（病気の時の買い物、留守中の植木の水やり等）
3. お互いに訪問しあう程度
4. 立ち話をする程度
5. あいさつをする程度
6. ほとんどつきあいはない

Q6. あなたはご近所の方を信頼できますか。(○は1つ)

1. 信頼できる
2. どちらかと言えば信頼できる
3. どちらかと言えば信頼できない
4. 信頼できない

Q7. ご近所の方々は、多くの場合、他の人の役に立とうと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない
4. そう思わない

Q8. あなたは、ご近所の方から何らかの役割を期待されたり、頼りにされていると思えますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちよっとしたこと、お手伝いやお願い事など) (○は1つ)

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. ややそう思う
4. あまりそう思わない
5. まったくそう思わない

要介護認定を受けていない方

Q9. 近所つきあいや、地域活動・余暇活動の中で、あなたは、次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。(ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。) それぞれあてはまるものに○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

(回答例) 子どもや10代の若者	次のような年齢層の方と会話する機会			
	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
1. 子どもや10代の若者	1	②	3	4
2. 20~40代くらいの人	1	2	3	4
3. 50~60代くらいの人	1	2	3	4
4. 70代かそれより高齢の方	1	2	3	4

問9 健康について

Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)  
 1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

Q2. あなたは、現在のどの程度幸せですか(「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、あてはまる点数1つに○をつけてください)。  
 とても幸せ 10点 9点 8点 7点 6点 5点 4点 3点 2点 1点 0点

Q3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
 1. はい 2. いいえ

Q4. この1か月間、どうしても物事にに対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。  
 1. はい 2. いいえ

Q5. 生活様式や人付き合いの変化から、孤独や孤立への不安を感じていますか。(○は1つ)  
 1. 非常に不安 2. やや不安  
 3. どちらともいえない  
 4. あまり不安ではない 5. まったく不安ではない

Q6. お酒は飲みますか。(○は1つ)  
 1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. ほとんど飲まない

Q7. タバコは吸っていますか。(○は1つ)  
 1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている  
 3. 吸っていたがやめた 4. ほとんど吸っていない

Q8. あなたは、かかりつけ医がいますか。  
 1. はい 2. いいえ

要介護認定を受けていない方

Q9. あなたは、かかりつけ歯科医がいますか。

1. はい 2. いいえ

Q10. あなたは、かかりつけ薬剤師・薬局がありますか。

1. はい 2. いいえ

Q11. 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)  
 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常)  
 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)  
 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物)  
 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等)  
 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気  
 19. その他(具体的に )

Q12. あなたがいつまでも健康に暮生できよう、取り組んでいることはありますか。  
 また、取り組んでみたいと思つてはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 散歩やジョギングなど、自分で取り組める軽い運動  
 2. 地域で開催される定期的な体操や運動の場への参加  
 3. 区が実施する介護予防事業への参加  
 4. ぶらっとほーむ(介護予防拠点施設)へ通う  
 5. フィットネスクラブやスポーツジムへ通う  
 6. 食生活の改善(食事の量、栄養バランス、減塩、自炊等)  
 7. 趣味や楽しみごとの充実  
 8. お茶を飲みながらおしゃべりをするなど、友人との交流  
 9. かかりつけ医をもつなど、定期的な医療機関への通院  
 10. 区が実施する各種健診や人間ドックなどの受診  
 11. 献労(シルバー人材センター等を含む)  
 12. 町会自治会活動、シニアクラブ活動、ボランティア活動  
 13. 家庭での役割を持ち続ける(家事や家族、孫の世話など)  
 14. 適正体重の維持  
 15. その他(具体的に )

要介護認定を受けていない方

問10 在宅療養について

Q1. あなたが、もし入院生活から退院し、在宅で医療を受けながら生活する場合、どこに相談しますか。(Oは3つまで)

1. 区役所
2. 高齢者あんしんセンター (地域包括支援センター)
3. 訪問看護ステーション
4. ケアマネジャー
5. かかりつけ医
6. 医師会の電話相談
7. 病院の医師
8. 病院の看護師
9. 病院の医療相談室
10. 民生委員
11. 社会福祉協議会
12. 知人・友人
13. その他 (具体的に)
14. どこにも相談しない

Q2. あなたが、もしがんや脳障害などにより長期の療養が必要となった場合、理想として自宅での療養を続けたいと考えていますか。

1. 続けたい (⇒ Q3へ)
2. 続けたいと思わない (⇒ Q5へ)
3. わからない (⇒ Q5へ)

Q3. 【Q2で「1. 続けたい」と答えた方におうかがいします】

実際に自宅での療養は実現可能だと思いますか。(Oは1つ)

1. 可能だと思う (⇒ Q5へ)
2. 難しいと思う (⇒ Q4へ)
3. わからない (⇒ Q5へ)

Q4. 【Q3で「2. 難しいと思う」と答えた方におうかがいします】

自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか (Oは3つまで)

1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから
2. 急に病状が変わった時の対応が不安だから
3. 住診してくれる医師がいらないから
4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
5. 家族に負担をかけるから
6. 看護や介護してくれる家族がいらないから
7. 療養できる部屋やトイレなどの住環境が整っていないから
8. お金がかかるから
9. その他 (具体的に)

Q5. あなたが病気などで人生の最期を迎える時が来た場合、どこで過ごしたいと思いますか。(Oは1つ)

1. 自宅
2. 病院などの医療機関
3. 特別養護老人ホームなどの福祉施設
4. 高齢者向け住宅
5. その他 (具体的に)
6. わからない

問11 介護の状況などについて

Q1. あなたは、高齢者あんしんセンター (地域包括支援センター) について、どの程度ご存知ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 名前を聞いたことがある
2. どこにあるか知っている
3. センターの役割を知っている
4. 相談や連絡をしたことがある
5. 知らない、聞いたことがない

要介護認定を受けていない方

Q2. あなたは、ご家族または親族の介護をしていますか。(Oは1つ)

1. 現在、1人の介護をしている (⇒ Q3へ)
2. 現在、2人以上の介護をしている (⇒ Q3へ)
3. 過去に介護したことはあるが、今はしていない (⇒ Q3へ)
4. 介護をしたことはない (⇒ P15自由記入欄へ)

Q3. 【Q2で「1～3」と答えた方におうかがいします。】

介護をするうえで困っていること (困っていたこと) は何ですか。  
(あてはまるものすべてにO)

1. 精神的につらい
2. 自分の健康に不安がある
3. かわりを頼める人がいない
4. 体力的につらい
5. 自分の時間がとりにくい
6. 経済的な負担が大きい
7. 仕事との両立が難しい
8. 希望する介護サービスが利用できない
9. 介護の方法がわからない
10. 相談できる人がいない
11. 孫や子どもの世話もしなければならぬ
12. その他 (具体的に)
13. 特に困っていることはない

これからの高齢者施策や地域づくりのあり方等についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。



## 2. 認定者調査

要介護（要支援）認定を受けている方

### 北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

#### <要介護（要支援）認定を受けている方の調査票>

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。北区では、「長生きするなら北区が一番」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがいづくり・社会参加につながる取り組みに力を入れています。

このアンケート調査において高齢者の方等の日常生活への意向と生活実態を把握し、令和6年度からの高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

この調査は、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を何卒ご理解いただき、調査にご協力いただけますようお願いいたします。

令和4年12月 東京都北区 福祉部

#### ご記入にあたって

- ①この調査票で「あなた」とあるのは、**あて名ご本人**のことです。
- ②この調査票は、**令和4年11月1日現在の状況**でお答えください。
- ③封筒の**あて名ご本人が回答できない場合は、ご家族などが代わりにお答えください。**該当しない項目や、回答したくない項目は回答していただくことなくても差し支えありません。
- ④ご回答は、**あてはまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。**「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ⑤この調査票や返信用封筒には名前や住所、電話番号は書かないでください。また、調査票以外の書類等を同封しないでください。
- ⑥記入した調査票は、**2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに**  
**令和4年12月27日（火）までに、郵便ポストにご投函ください。**

【お問い合わせ先】北区 福祉部 介護保険課 給付調整係  
電話：03-3908-1286 FAX：03-3908-9257

要介護（要支援）認定を受けている方

Q. この調査票にお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

1. あて名ご本人（ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含みます。）
2. あて名ご本人の配偶者（夫・妻）
3. あて名ご本人の兄弟姉妹
4. あて名ご本人の子ども
5. あて名ご本人の子どもの配偶者（夫・妻）
6. その他（ ）

※以下は、封筒のあて名ご本人の情報をご記入ください。

#### 問1 ご家族や生活状況について

Q1. あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性
3. その他

Q2. あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 65～69歳
2. 70～74歳
3. 75～79歳
4. 80～84歳
5. 85～89歳
6. 90歳以上

Q3. あなたの要介護度（要支援度）をお答えください。(○は1つ)

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5
8. わからない

Q4. 家族構成をお教えください。(○は1つ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他（ ）

Q5. 要介護（要支援）認定を受けた主な原因は何ですか。(○は1つ)

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺炎腫・肺炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. ハーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 骨格損傷
13. 高齢による衰弱
14. 骨や関節の痛み
15. 精神疾患
16. 事故
17. 薬の副作用
18. その他（ ）
19. 不明

Q6. 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○は1つ)

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟姉妹
7. ヘルパー等介護サービスの人
8. その他（ ）
9. 介護・介助は必要ない

要介護（要支援）認定を受けている方

Q7. あなたの収入は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事による収入
2. 年金
3. 預貯金の切り崩し
4. 利子・配当・家賃・不動産収入
5. 仕送り・援助
6. 生活保護
7. その他（ ）

Q8. 昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入（税込）総額はどれくらいですか。（○は1つ）

1. 100万円未満
2. 100万円以上200万円未満
3. 200万円以上300万円未満
4. 300万円以上500万円未満
5. 500万円以上700万円未満
6. 700万円以上1,000万円未満
7. 1,000万円以上
8. わからない

Q9. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

Q10. お住まいは、次のどれにあたりますか。（○は1つ）

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（集合住宅）
3. 公営賃貸住宅（区・都営、UR、公社等）
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
6. 借間
7. サービス付き高齢者向け住宅
8. 有料老人ホーム
9. 介護保険施設（特養・老健）
10. 親族宅
11. その他（ ）

Q11. この1年間に住み替えをしましたか。（○は1つ）

1. はい（⇒ Q12△）
2. いいえ（⇒ Q13△）

Q12. 【Q11で「1. はい」と答えた方にかがいます。】

どこから住み替えましたか。（○は1つ）

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（集合住宅）
3. 公営賃貸住宅（区・都営、UR、公社等）
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
6. 借間
7. サービス付き高齢者向け住宅
8. 有料老人ホーム
9. 介護保険施設（特養・老健）
10. 親族宅
11. その他（ ）

Q13. 今後、住み替えを希望しますか。（○は1つ）

1. サービス付き高齢者向け住宅
2. 有料老人ホーム
3. 介護保険施設（特養・老健）
4. 親族宅
5. その他（持家から賃貸住宅等）
6. 自宅を改修して住み続ける
7. このまま住み続ける

Q14. ご自身の住んでいる地域を「住みやすい地域」だと感じますか。（○は1つ）

1. とても住みやすい
2. まあ住みやすい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

要介護（要支援）認定を受けている方

問2 からだを動かすことについて

Q1. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○は1つ）

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は1つ）

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

Q3. 15分位続けて歩いていますか。（○は1つ）

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

Q4. 週に1回以上は外出していますか。（○は1つ）

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

Q5. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ）

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

Q6. 外出を控えていますか。

1. はい（⇒ Q7△）
2. いいえ（⇒ Q8△）

Q7. 【Q6で「1. はい」と答えた方にかがいます。】

外出を控えている理由は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 病氣
2. 障害（脳卒中の後遺症など）
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配（失禁など）
5. 耳の障害（聞こえの問題など）
6. 目の障害
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない
10. その他（ ）

Q8. 外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車（自分で運転）
5. 自動車（人に乗せてもらう）
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす（カート）
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他（ ）

問3 食べることにについて

Q1. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

1. はい（⇒ Q2△）
2. いいえ（⇒ Q3△）

Q2. 【Q1で「1. はい」と答えた方にかがいます。】

減少の理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 食欲不振のため
2. 病気のため
3. 意識的に体重管理をしたため
4. その他（ ）

Q3. 身長   cm 体重   kg

※整数を右詰めで記入してください。

Q4. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1. はい 2. いいえ

Q5. お茶や汁等でむせることがありますか。

1. はい 2. いいえ

Q6. 口の渇きが気になりますか。

1. はい 2. いいえ

Q7. 歯磨き（人にやってもらってもらう場合も含む）を毎日していますか。

1. はい 2. いいえ

Q8. 入れ歯は使っていますか。(Oは1つ)

1. 使っている 2. 作ったが使っていない 3. 作っていない

Q9. 現在のご自分の歯の本数と入れ歯の使用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は親知らずを含めて32本です）。(Oは1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用  
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用  
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

Q10. 【Q9で「1」または「3」と答えた方（入れ歯を使っている方）にうかがいます。】  
毎日入れ歯の手入れをしていますか。

1. はい 2. いいえ

Q11. 現在、歯科診療を受けていますか。(Oは1つ)

1. 通院 2. 往診・訪問歯科診療 3. 受けていない

Q12. どなたかと食事をもにする機会がありますか。(Oは1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある  
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

#### 問4 物忘れについて

Q1. 物忘れが多いと感じますか。

1. はい 2. いいえ

Q2. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか。

1. はい 2. いいえ

Q3. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

1. はい 2. いいえ

Q4. 今日が何月何日かわからない時がありますか。

1. はい 2. いいえ

#### 問5 毎日の生活について

Q1. バスや電車を使得って1人で外出していますか（自家用車でも可）。(Oは1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

Q2. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

Q3. 自分で食事の用意をしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

Q4. 自分で請求書の支払いをしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

Q5. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

Q6. 携帯電話またはスマートフォン・タブレットを使っていますか。(Oは1つ)

1. 携帯電話を使っている (⇒ Q7へ)  
2. スマートフォンもしくはタブレットを使っている (⇒ Q7へ)  
3. 両方使っている (⇒ Q7へ) 4. 使っていない (⇒ Q8へ)

Q7. 【Q6で「1」、携帯電話を使っている」「2」、スマートフォンもしくはタブレットを使っている」「3」、両方使っている」と答えた方にうかがいます。】  
通話以外でどのようなことに使用していますか。(あてはまるものすべてにO)

1. メール 2. 写真撮影 3. ゲーム  
4. 電卓 5. 動画・TV視聴 6. ネットショッピング  
7. 健康管理 8. ネット検索  
9. SNS (LINE (ライン)・Facebook・Twitter等)  
10. ネットバンク 11. 決済サービス 12. 地図・交通情報の検索  
13. 天気予報・ニュース閲覧  
14. その他 ( )  
15. 通話以外で使用する機能はない

Q8. パソコンを使っていますか。

1. 使っている (⇒ Q9へ) 2. 使っていない (⇒ Q10へ)

要介護（要支援）認定を受けている方

Q9. 【Q8で「1. 使っている」と答えた方に伺います】

どのようなことに使用していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. メール
2. ゲーム
3. 動画・TV視聴
4. ネットショッピング
5. 文書作成
6. ネット検索
7. SNS (LINE (ライン)・Facebook・Twitter等)
8. ネットバンク
9. 地図・交通情報の検索
10. 天気予報・ニュース閲覧
11. その他 ( )

Q10. あなたが日常生活で、近所の人に手助けをしてほしいことがあれば、それはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 安否確認の声かけ
2. 話し相手
3. 悩み事、心配事の相談
4. 買い物・ごみ出しなど簡単な家事の手伝い
5. 食事の提供、調理の手伝い
6. 家のまわりの掃除
7. 通院等外出時の付き添い
8. 自治会の掃除当番等の軽減
9. 短時間の留守番
10. 災害時の避難支援
11. 財産管理
12. 入院の手続き
13. その他 ( )
14. 特になし

Q11. 成年後見制度※をご存知ですか。（○は1つ）

1. 知っている (⇒ Q12△)
2. 知らない (⇒ Q13△)

※ 成年後見制度：認知症などで物事の判断が困難になった場合、本人に代わって財産管理や契約行為等を行う後見人を選定し、法律的に保護・支援する制度です。後見人には、家族や親族の他に弁護士・司法書士・社会福祉士などが選任されます。

Q12. 【Q11で「1. 知っている」と答えた方に伺います】

どのようにして知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 広報紙やパンフレット
2. テレビやラジオ、新聞
3. インターネット
4. 区役所で聞いた
5. 社会福祉協議会で聞いた
6. ケアマネジャーや介護職員などから聞いた
7. 支援団体の広報活動や住民相談で知った
8. その他 ( )

Q13. あなたが、もしがんや脳梗塞などにより長期の療養が必要となった場合、理想として自宅での療養を続けたいと思いますか。（○は1つ）

1. 続けたい (⇒ Q14△)
2. 続けたいと思わない (⇒ Q16△)
3. わからない (⇒ Q16△)

Q14. 【Q13で「1. 続けたい」と答えた方に伺います】

実際に自宅での療養は実現可能だと思いますか。（○は1つ）

1. 可能だと思う (⇒ Q16△)
2. 難しいと思う (⇒ Q15△)
3. わからない (⇒ Q16△)

要介護（要支援）認定を受けている方

Q15. 【Q14で「2. 難しいと思う」と答えた方に伺います。】

自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか。（○は3つまで）

1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから
2. 急に病状が変わった時の対応が不安だから
3. 住診してくれる医師がいないから
4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
5. 家族に負担をかけるから
6. 看護や介護してくれる家族がいないから
7. 療養できる部屋やトイレなどの住環境が整っていないから
8. お金がかかるから
9. その他 ( )

Q16. あなたが病気などで人生の最期を迎えるときが来た場合、どこで過ごしたいと思いますか。（○は1つ）

1. 自宅
2. 病院などの医療機関
3. 特別養護老人ホームなどの福祉施設
4. サービス付き高齢者住宅
5. その他 ( )
6. わからない

問6 社会参加について

Q1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

1. はい
2. いいえ

Q2. 新聞を読んでいますか。

1. はい
2. いいえ

Q3. 本や雑誌を読んでいますか。

1. はい
2. いいえ

Q4. 健康についての記事や番組に関心がありますか。

1. はい
2. いいえ

Q5. 友人の家を訪ねていますか。

1. はい
2. いいえ

Q6. 家族や友人の相談のついでにしていますか。

1. はい
2. いいえ

Q7. 病人を見舞うことができますか。

1. はい
2. いいえ

Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか。

1. はい
2. いいえ

要介護（要支援）認定を受けている方

Q9. 趣味はありますか。ある方はカッコ内に具体的な内容をお書きください。

※「はい」と答えた方は、○を付けた後に、カッコ内に具体的な内容をお書きください。  
 1. はい（具体的に： ） 2. いいえ

Q10. 生気がいありますか。（○は1つ）

※「生気がいあり」と答えた方は、○を付けた後に、カッコ内に具体的な内容をお書きください。  
 1. 生気がいあり（具体的に： ） 2. いいえ

Q11. 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

	週4回以上	週2回	週1回	月に1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤（自主グループ、ご近所体操教室など）介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥シニアクラブ（老人クラブ）	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

Q12. 【会・グループに参加している人にかがいます】

参加活動の場所には、ご自宅から徒歩15分以内のものがありますか。

1. はい 2. いいえ

要介護（要支援）認定を受けている方

Q13. 地域住民の有志によって、健康づくりの活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者や企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いませんか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

	是非参加したい	参加しても良い	参加したくない	既に参加している
①参加者として	1	2	3	4
②企画・運営（お世話役）として	1	2	3	4

Q14. あなたはこの1年間に、以下のような活動にとのくらい参加しましたか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

	参加した	参加しなかったが機会があれば参加したい	参加したくない
①高齢者等を支援する活動（見守りなどを含む）	1	2	3
②子どもや子育てを支援する活動	1	2	3
③町会・自治会、シニアクラブ（老人クラブ）などの地域活動	1	2	3

要介護（要支援）認定を受けている方

問了 たすけあいについて

Q1. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えをお願いします。  
 それぞれあてはまるものに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

	配偶者	同居の子	別居の子	兄弟姉妹	近隣	友人	その他	そのような人はいない
①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	1	2	3	4	5	6	7	8
③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8
④反対に、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	7	8

Q2. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 自治会・町内会・シニアクラブ（老人クラブ）
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・看護師・薬剤師
5. 高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・区役所
6. その他（ ）
7. そのような人はいない

Q3. 友人関係についてお答えをお願いします。

- (1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（○は1つ）
1. 毎日ある
  2. 週に何度かある
  3. 月に何度かある
  4. 年に何度かある
  5. ほとんどない

(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。（○は1つ）

- ※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。
1. 0人（いない）
  2. 1～2人
  3. 3～5人
  4. 6～9人
  5. 10人以上

(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他（ ）
8. いない

要介護（要支援）認定を受けている方

(4) 友人・知人と電話やメール、手紙をやり取りする頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

Q4. あなたは災害時・緊急時に人の手助けができますか。（○は1つ）

1. できる
2. できない
3. わからない

Q5. ご近所の方とはどの程度付き合いをしていますか。（○は1つ）

1. 日常的に会って話をしたり、たすけあったりできる関係（定期的なごみ出し、買い物などの手伝い等）
2. 頼まれたときにはたすけあえる関係（病気の時の買い物、留守中の植木の水やり等）
3. お互いに訪問しあう程度
4. 立ち話をする程度
5. あいさつをする程度
6. ほとんどつきあいはない

Q6. あなたはご近所の方を信頼できますか。（○は1つ）

1. 信頼できる
2. どちらかと言えば信頼できる
3. どちらかと言えば信頼できない
4. 信頼できない

Q7. ご近所の方々は、多くの場合、他の人の役に立とうとしますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそう思わない
4. そう思わない

Q8. あなたは、ご近所の方から何らかの役割を期待されたり、頼りにされていると思いますか。（自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたしたこと、お手伝いやお願い事など）（○は1つ）

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. ややそう思う
4. あまりそう思わない
5. まったくそう思わない

Q9. 近所つきあいや、地域活動・余暇活動の中で、あなたは、次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。（ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。）それぞれあてはまるものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

	次のような年齢層の方と会話する機会		
	よくある	ときどきある	あまりない 全くない
(回答例) 子どもや10代の若者	1	2	4
1. 子どもや10代の若者	1	2	4
2. 20～40代くらいの人	1	2	4
3. 50～60代くらいの人	1	2	4
4. 70代かそれより高齢の方	1	2	4

### 問8 健康について

- Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)  
 1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
- Q2. あなたは、現在のどの程度幸せですか(「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、あてはまる点数1つに〇をつけてください)。  
 とても幸せ  
 10点 9点 8点 7点 6点 5点 4点 3点 2点 1点 0点
- Q3. あなたは、かかりつけ医がいますか。  
 1. はい 2. いいえ
- Q4. あなたは、かかりつけ歯科医がいますか。  
 1. はい 2. いいえ
- Q5. あなたは、かかりつけ薬剤師・薬局がありますか。  
 1. はい 2. いいえ
- Q6. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
 1. はい 2. いいえ
- Q7. 生活様式や人付き合いの変化から、孤独や孤立への不安を感じていますか。  
 (〇は1つ)  
 1. 非常に不安 2. やや不安  
 3. どちらともいえない 5. まったく不安ではない
- Q8. お酒は飲みますか。(〇は1つ)  
 1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. ほとんど飲まない
- Q9. タバコは吸っていますか。(〇は1つ)  
 1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている  
 3. 吸っていたがやめた 4. ほとんど吸っていない

Q2. 【Q1で「1. 現在作成・利用している」と答えた方にうかがいます。】  
 あなたは利用している介護保険サービスについて、どの程度満足していますか。

	満足	やや満足	やや不満	不満	未利用
1. ケアプラン作成（居宅介護支援）	1	2	3	4	5
2. 訪問介護	1	2	3	4	5
3. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5
4. 訪問看護	1	2	3	4	5
5. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5
6. 医師や薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）	1	2	3	4	5
7. 通所介護（デイサービス）	1	2	3	4	5
8. 通所リハビリテーション（デイケア）	1	2	3	4	5
9. 短期入所生活介護（ショートステイ）	1	2	3	4	5
10. 短期入所療養介護（医療ショートステイ）	1	2	3	4	5
11. 福祉用具貸与	1	2	3	4	5
12. 福祉用具販売	1	2	3	4	5
13. 住宅改修	1	2	3	4	5
14. 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5
15. 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5
17. 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5
18. 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5

### 問9 介護保険サービスについて

- Q1. あなたは現在、ケアプランを作成・利用していますか。(〇は1つ)  
 1. 現在作成・利用している (⇒ Q2へ)  
 2. 現在作成していない (⇒ Q3へ)  
 3. わからない (⇒ Q4へ)

要介護（要支援）認定を受けている方

Q3. 【Q1で「2. 現在作成していない」と答えた方にかがいます。】  
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自分で生活できるから
2. 家族の介護で十分だから
3. 他人を家に入れたくないから
4. 利用者負担が払えないから
5. 利用したいサービスが受けられないから
6. 利用したいサービスがないから
7. サービス内容がわからないから
8. 利用方法がわからないから
9. 外出するのが大変だから
10. 病院に入院して、医療保険の適用となっているから
11. その他（ ）
12. 特に理由はない

Q4. 過去1年間に、病院に入院されたことはありませんか。

1. はい（⇒ Q5へ）
2. いいえ（⇒ Q6へ）

Q5. 【Q4で「1. はい」と答えた方にかがいます。】

退院時に困ったことはありませんか。（あてはまるものすべてに○）

1. 在宅生活の維持（お風呂、トイレ、買い物、食事など）
2. ケアマネジャーの確保
3. 住宅改修
4. 退院後の見守りの体制
5. 転院先の確保
6. 入所施設の確保
7. 経済的な負担
8. 訪問対応可能な医療機関の確保
9. その他（ ）
10. 困ったことはない

Q6. 今後増やしてもらいたいと思う福祉サービス（介護保険サービス以外）はどれですか。下のなかからお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. ちょっとした家事や買い物の援助
2. 介護に関する知識と技術、介護サービスの利用方法などを内容とする家族介護講座の開催
3. 在宅介護をしている家族が、一日介護を休めるようなサービス
4. 家族介護者同士が交流できる家族会等の組織化
5. 病院内の介助
6. わからない
7. その他（ ）

要介護（要支援）認定を受けている方

これからの高齢者施策や介護のあり方についてのご意見・ご提案があれば、自由に記入してください。

以上で質問は終わります。ご協力ありがとうございました。



### 3. 在宅介護実態調査

在宅介護実態調査

#### 北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

##### <在宅介護実態調査票>

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。北区では、「長生きするなら北区が一番」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがいづくり・社会参加につながる取り組みに力を入れています。

このアンケート調査において高齢者の方等の日常生活への意向と生活実態を把握し、令和6年度からの高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を伺卒ご理解いただき、調査にご協力いただけますようお願いいたします。

令和4年12月 東京都北区 福祉部

##### ご記入にあたって

- ①この調査票で「ご本人」とあるのは、あて名にお名前のある方のことです。
- ②この調査票は、令和4年11月1日現在の状況でお答えください。
- ③封筒のあて名ご本人が回答できない場合は、ご家族や介護者などがお答えください。該当しない項目や、回答したくない項目は回答していただく必要もありません。
- ④ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ⑤返信用封筒には、調査票以外の書類等を同封しないでください。
- ⑥記入した調査票は、2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに  
令和4年12月27日(火)までに、郵便ポストにご投函ください。

【お問い合わせ先】北区 福祉部 介護保険課 給付調整係

電話：03-3908-1286 FAX：03-3908-9257

在宅介護実態調査

##### ■ 介護認定データの活用に関するお願い

- 今回の調査では、より充実した分析を行うために、区が保有している介護認定データを活用したいと考えております。あなたの介護認定データを調査に活用することにご同意いただける場合は、下記の同意書をよくお読みいただいた上で、ご署名をお願いいたします。ご署名いただいても、本人の許可なく、目的以外の使用はいたしません。
- ご同意いただけない場合であっても、設問にお答えいただければ、介護認定データは使用せずにご回答いただいた内容を統計的に処理した上で分析に活用いたします。このため、ご署名いただけない場合でも、次ページ以降の設問にはお答えくださるようお願いいたします。
- 調査の趣旨をご理解いただいた上で、ご協力をお願いいたします。

##### 「在宅介護実態調査」に係る 介護認定データの活用に係る同意書

私は、「在宅介護実態調査」に係る介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）の活用について、以下の事項を確認のうえ、同意します。

記

- 介護認定データの利用目的について  
介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）は、北区における高齢者等支援施策の検討の際の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。本人の許可なく、目的以外の使用はいたしません。

以上

東京都北区長 殿

令和 年 月 日

ご署名（ご本人）

在宅介護実態調査

A票 調査対象者様ご本人について

Q1. 現在、この調査票に回答される方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. その他

Q2. 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他

Q3. ご本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

- 1. 男性
- 2. 女性

Q4. ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

- 1. 65歳未満
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

Q5. ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5
- 8. わからない

Q6. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

- 1. 入所・入居は検討していない
- 2. 入所・入居を検討している
- 3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

Q7. ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 脳血管疾患(脳卒中)
- 2. 心疾患(心臓病)
- 3. 悪性新生物(がん)
- 4. 呼吸器疾患
- 5. 腎疾患(透析)
- 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、背柱管狭窄症等)
- 7. 膠原病(関節リウマチ含む)
- 8. 変形性関節疾患
- 9. 認知症
- 10. パーキンソン病
- 11. 難病(パーキンソン病を除く)
- 12. 糖尿病
- 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
- 14. その他
- 15. なし
- 16. わからない

Q8. 現在、(住居改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ)

- 1. 利用している (⇒ Q9A)
- 2. 利用していない (⇒ Q10A)

在宅介護実態調査

Q9. Q8で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「0回」または「1. 利用していない」を選択してください。(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
①訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
②訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
③訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
④訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
⑤通所介護(デイサービス) (地域密着型通所介護を含む)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
⑥通所リハビリテーション (デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
⑦夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上

	利用の有無(1つに○)	
⑧定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
⑨小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
⑩看護小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日 以上
⑪ショートステイ	0回	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
⑫居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回

Q10. Q8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他 ( )

※ここからは、再びすべての方にお伺いします。

Q11. 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し 6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 ( )
11. 利用していない

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

Q12. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し 6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) 8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 ( )
11. 特になし

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます。

Q13. ご本人 (調査対象者) は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
  2. 利用していない
- ※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まれません。

Q14. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(○は1つ)

1. ない (⇒ 10ページの自由回答へ。B票は回答不要です)
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1~2日ある
4. 週に3~4日ある
5. ほぼ毎日ある

次ページのB票へ  
お進みください

● Q14で「2.」~「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

● 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様 (調査対象者様) にご回答・ご記入をお願いします (ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

在宅介護実態調査

**B票 主な介護者の方について**

Q1. ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（あてはまるものすべてに○）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

Q2. 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他（ ）

Q3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

Q4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つ）

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

Q5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

- 【身体介護】
1. 日中の排泄
  2. 夜間の排泄
  3. 食事の介助（食べる時）
  4. 入浴・洗身
  5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
  6. 衣服の着脱
  7. 屋内の移乗・移動
  8. 外出の付き添い、送迎等
  9. 服薬
  10. 認知症状への対応
  11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
- 【生活援助】
12. 食事の準備（調理等）
  13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
  14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. その他（ ）
  16. わからない

在宅介護実態調査

Q6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

【身体介護】

1. 日中の排泄
  2. 夜間の排泄
  3. 食事の介助（食べる時）
  4. 入浴・洗身
  5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
  6. 衣服の着脱
  7. 屋内の移乗・移動
  8. 外出の付き添い、送迎等
  9. 服薬
  10. 認知症状への対応
  11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
- 【生活援助】
12. 食事の準備（調理等）
  13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
  14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. その他（ ）
  16. 不安に感じていることは、特にない
  17. 主な介護者に確認しないとわからない

Q7. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○は1つ）

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

Q11にお進みください

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者比へて短い方」が該当します。いわゆる「フルタイム」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

Q8. Q7で「1.」「2.」と回答した方（働いている方）にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。

- （あてはまるものすべてに○）
1. 特に行っていない
  2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、運出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
  3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
  4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
  5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
  6. 主な介護者に確認しないと、わからない

在宅介護実態調査

Q9. Q7で「1.」「2.」と回答した方（働いている方）にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思えますか。(Oは3つまで)

- 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3. 制度を利用しやすい職場づくり
- 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
- 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
- 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8. 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9. その他（ )
- 10. 特にない
- 11. 主な介護者に確認しないと、わからない

Q10. Q7で「1.」「2.」と回答した方（働いている方）にお伺いします。主な介護者の方は、今後働きながら介護を続けていけそうですか。(Oは1つ)

- 1. 問題なく、続けていける
- 2. 問題はありますが、何とか続けていける
- 3. 続けていくのは、やや難しい
- 4. 続けていくのは、かなり難しい
- 5. 主な介護者に確認しないと、わからない

Q11. 主な介護者の方の体調は、介護を始める前と比べて変わりましたか。(Oは1つ)

- 1. 健康を維持している
- 2. 少し健康でなくなった
- 3. 健康でなくなった

Q12. Q11で「2. 少し健康でなくなった」、「3. 健康でなくなった」と回答した方にお伺いします。具体的にどのような症状がありますか。

【例】(眠れない、憂鬱な気分、腰痛、肩がこる等)

Q13. 主な介護者の方は、現在何人のケア（介護・育児等）を行っていますか。(Oは1つ)

- 1. 1人
- 2. 2人 (⇒ Q14へ)
- 3. 3人 (⇒ Q14へ)
- 4. 4人以上 (⇒ Q14へ)

Q14. Q13で「2.」「3.」「4.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方はそのケアを行っていますか。(あてはまるものすべてにO)

- 1. 介護
- 2. 育児
- 3. 障害者（児）のケア
- 4. その他

在宅介護実態調査

※ すべての方にお伺いします。

これからの高齢者施策や介護のあり方についてのご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。

Blank text area for comments and suggestions.

以上で質問は終わります。ご協力ありがとうございました。

## 4. 55歳以上64歳以下の方の調査

55歳以上64歳以下調査

### 北区地域包括ケア推進計画の ためのアンケート調査のお願い

#### <55歳以上64歳以下の方の調査票>

日頃より北区の高齢者福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
北区では、「長生きするなら北区が一番」の実現に向けて高齢者一人ひとりが役割を持ち、いきがいづくり・社会参加につながる取り組みに力を入れています。  
このアンケート調査において今後高齢期を迎える方等の日常生活への意向と生活実態を把握し、令和6年度からの高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画である「北区地域包括ケア推進計画」を策定してまいります。

この調査は、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は統計的に処理されたうえで、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を何卒ご理解いただき、調査にご協力いただけますようお願いいたします。

令和4年12月 東京都北区 福祉部

#### ご記入にあたって

- ①この調査票で「あなた」とあるのは、あくまでご本人のことです。
- ②この調査票は、令和4年11月1日現在の状況でお答えください。
- ③該当しない項目や、回答したくない項目は回答していただく必要もありません。
- ④ご回答は、あくまでまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を( )内にご記入ください。回答をご記入いただく設問もありませんので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ⑤この調査票や返信用封筒には名前や住所、電話番号は書かないでください。また、調査票以外の書類等を同封しないでください。
- ⑥記入した調査票は、2つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

令和4年12月27日(火)までに、郵便ポストにご投函ください。

【お問い合わせ先】北区 福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係  
電話：03-3908-1158 FAX：03-3908-1229

55歳以上64歳以下調査

#### 問1 仕事に対する考え方について

Q1. あなたは現在、収入を伴う仕事(パート・アルバイト、家業の手伝い等を含む)をしていますか。(○は1つ)

1. 週に35時間以上働いている (⇒ Q2ハ)
2. 短時間(週35時間未満)、または不定期に働いている (⇒ Q2ハ)
3. 仕事はしていないが、探している (⇒ Q3ハ)
4. 仕事をしておらず、探していない (⇒ Q3ハ)

Q2. 【Q1で「1」「2」と答えた方にうかがいます】

あなたの現在の雇用状況は、次のどれにあたりますか。(あてはまるものすべてに○)

##### 【自営の仕事】

1. 自営業主・自由業 2. 家族従業(家業などの手伝い)

##### 【雇われている方】

3. 正社員・正規従業員 4. パート・アルバイト・契約社員 7. その他の雇用者  
5. 嘱託 6. 人材派遣企業の派遣社員

##### 【団体等役員・その他】

8. 会社・団体等の職員 9. 家庭での内職  
10. その他( )

Q3. あなたは65歳以降も働きたいですか。(○は1つ)

1. 働きたい (⇒ Q4ハ)
2. 働きたくない (⇒ 問2Q1ハ)

Q3で「1. 働きたい」と答えた方はQ4からQ8まで回答をお願いします

Q4. 【Q3で「1. 働きたい」と答えた方にうかがいます】

あなたは何歳まで働きたいですか。(フルタイムだけでなく、1日2時間や週1〜2日など、短時間勤務や勤務日数が少ない仕事も含みます。)(○は1つ)

1. 66〜70歳まで 2. 71〜75歳まで
3. 76〜80歳まで 4. 働けるうちは働きたい

Q5. 【Q3で「1. 働きたい」と答えた方にうかがいます】

どのような働き方をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. フルタイム勤務(週35時間以上)
2. 短時間勤務(週35時間未満、非常勤・嘱託・パート・アルバイト等)
3. 会社経営、自営業を継続 4. 起業、独立開業、自由業(文筆業等)など
5. シルバー人材センター 6. その他( )

Q6. 【Q3で「1. 働きたい」と答えた方にうかがいます】

働きたいのは、どのような理由からですか。(○は3つまで)

1. 生活費を得るため 2. 借金・ローンの返済 3. 小遣いを得るため
4. 将来への蓄え(預貯金)のため 5. 健康のため 6. いきがいを得るため
7. 社会貢献・社会とのつながり 8. 時間に余裕があるため
9. 家族・知人などの勤め 10. 持っている技術や資格を活かすため
11. 何もしていないと退屈するため 12. その他( )

Q7. 【Q3で「1. 働きたい」と答えた方におうかがいします】  
月にどのくらいの報酬がほしいですか。(Oは1つ)

1. 1万円未満
2. 1万円以上3万円未満
3. 3万円以上5万円未満
4. 5万円以上10万円未満
5. 10万円以上20万円未満
6. 20万円以上30万円未満
7. 30万円以上
8. 交通費程度
9. わからない

Q8. 【Q3で「1. 働きたい」と答えた方におうかがいします】

65歳以降も仕事を続けるうえで不安に感じていることはありますか。(Oは3つまで)

1. 健康・体力面
2. 自分の経験や技術を活かせる仕事に就けるか
3. 希望する収入が得られるか
4. 希望する勤務時間の仕事があるか
5. 今まで働いてきた場所で引き続き雇用してもらえないか
6. 長期間雇用してもらえないか
7. 新しい職場環境に慣れることができるか
8. 通勤
9. 家庭生活との面立が図れるか
10. とくにない

## 問2 地域とのつながり、社会参加について

Q1. 現在、住んでいる地域にかかわらず、下記の活動に参加していますか。  
(あてはまるものすべてにO)

1. 町内会・自治会の活動(企画・運営など主体的な活動として参加)
2. 町内会・自治会の活動(お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度)
3. ボランティア活動
4. NPO活動
5. スポーツ関係のグループやクラブ
6. 学習・教養サークル(語学・絵画・料理等)
7. 習い事
8. とくにない(⇒ Q5へ)

Q2. 【Q1で「1」～「7」と答えた方におうかがいします】

上記のグループや団体の活動には、合計でどのくらい参加していますか。(Oは1つ)

1. 週1回以上
2. 月1～3回
3. 月1回未満
4. この1年間は参加せず

Q3. 【Q1で「1」～「7」と答えた方におうかがいします】

活動場所はどこですか。複数の活動を行っている場合は最も力を入れている活動についてお答えください。(Oは1つ)

1. 自宅の近く(徒歩15分以内)
2. 北区内(1を除く)
3. 東京23区内(北区内)
4. 東京都内(23区外)
5. 東京都外

Q4. 【Q1で「1」～「7」と答えた方におうかがいします】

現在、参加している活動を始めたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 自分がやりたいことだから
2. 友人・知人からの誘い
3. 活動している方からの誘い
4. 家族に勧められた
5. 区報・ホームページを見た
6. 活動場所が近くにあった
7. その他( )

Q5. 【Q1で「8. とくにない」と答えた方におうかがいします】

活動に参加しない理由は何ですか。(Oは3つまで)

1. 活動に興味がない(参加したい活動がない)
2. 仕事で時間がない・あわない
3. 家庭の事情(家事・介護など)で時間がない・あわない
4. 他にやりたいことがある
5. 何がしたいか、何をしたいかわからない
6. どのような活動が行われているかわからない
7. 参加するのが面倒
8. きっかけがない
9. 一人で参加することにためらう
10. 人と付き合うのがおっくう
11. 健康・体力に自信がない
12. 費用がかかる
13. その他( )

Q6. 日頃、身近な地域に住む方と、どの程度お付き合いをしていますか。(Oは1つ)

1. あいさつをする程度
2. 立ち話をする程度
3. 互いに訪問し合う関係
4. ほとんど付き合いはない

Q7. あなたはご近所の方を信頼できますか。(Oは1つ)

1. 信頼できる
2. どちらかと言えば信頼できる
3. どちらかと言えば信頼できない
4. 信頼できない

Q8. ご近所の方々は、多くの場合、他の人の役に立とうとするとお思いますか。(Oは1つ)

1. そう思う
2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない
4. そう思わない

Q9. 近所づきあいや、地域活動・余暇活動の中で、次のような年齢層の方と会話をする機会が、どのくらいありますか。(ご家族や親戚、仕事関係の人は除きます。)  
(Oは1つずつ)

	次のような年齢層の方と会話する機会			
	よくある	ときどきある	あまりない	全くない
(回答例) 子どもや10代の若者	1	2	3	4
1. 子どもや10代の若者	1	2	3	4
2. 20～40代くらいの人	1	2	3	4
3. 50～60代くらいの人	1	2	3	4
4. 70代かそれより高齢の方	1	2	3	4

Q10. あなたは65歳以降、あなたの住んでいる地域との関わりをどの程度持ちたいですか。(Oは1つ)

1. 主体的に関わっていききたい
2. 近所との関係性を維持する程度に関わりを持ちたい
3. 興味があるものについては関わっていききたい
4. 関わりたくない

55歳以上 64歳以下調査

Q11. あなたは、65歳以後あなたの住んでいる地域における活動でやってみたいことはありますか。(Oは3つまで)

1. 町内会・自治会の活動 (企画・運営など主体的な活動として参加)
2. 町内会・自治会の活動 (お祭りや公園清掃などの行事に案内があれば参加する程度)
3. ボランティア活動 4. NPO活動 5. スポーツ関係のグループやクラブ
6. 学習・教養サークル 7. 習い事 8. シニアクラブ (老人クラブ)
9. とくにない 10. その他 ( )

Q12. 高齢期を元気に過ごすためには、社会とのつながりを持つことが大切と言われておりますが、地域活動等に参加するために必要だと思うことは何ですか。(Oは3つまで)

1. 自分が興味のある活動がある
2. 時間的な拘束が少くない
3. 一緒にいく人がいる
4. 誰かが声をかけてくれる
5. 定年を迎える前に区から案内が届く
6. 区報への掲載
7. 説明会など理解を深める機会がある
8. 活動ができる施設がある
9. 活動場所が自宅から近い
10. これまでの知識、経験、技術が生かせる
11. 費用がかからない
12. 少額でも参加したことによる対価 (お金等) が得られる
13. その他 ( )

Q13. あなたは高齢期の生活に不安を感じていることはありますか。不安に感じていることはどのようなことですか。(Oは3つまで)

1. とくに不安に感じていることはない
2. 生活資金 (給料・年金など)
3. 何をして過ごして良いかわからないこと
4. いきがないこと
5. 地域との交流がないこと
6. 自分や家族の健康
7. 自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること
8. 介護をしてくれる人がいない
9. 気軽に相談できる人がいない
10. 地震等の災害時の備え
11. 子の生活面
12. 配偶者の介護
13. 親の介護
14. その他 ( )

Q14. いきいきとした高齢期を過ごすために、今から取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 食生活に気をつけている
2. 運動不足にならないよう気をつけている
3. むし歯や歯周病にならないよう気をつけている
4. 定期的に健康診断を受けるなど健康状態の把握に気をつけている
5. 適正体重の維持に気をつけている
6. 飲酒の量や回数などに気をつけている
7. 禁煙や節煙について気をつけている
8. 貯蓄
9. 親族との付き合いの維持
10. 近隣の方との信頼関係の構築
11. 地域活動等への参加
12. 趣味等いきがいを有する活動
13. とくに取り組んでいることはない
14. その他 ( )

55歳以上 64歳以下調査

問3 高齢者あんしんセンターについて

Q1. あなたは高齢者あんしんセンター (地域包括支援センター) を知っていますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 名前を聞いたことがある
2. どこにあるか知っている
3. センターの役割を知っている
4. 相談や連絡をしたことがある
5. 知らない、聞いたことがない

Q2. あなたのご家族または困っている高齢者を見かけた時にごに相談しますか。(Oは優先度が高いもの3つまで)

1. 家族
2. 知人・友人
3. 区役所
4. 高齢者あんしんセンター (地域包括支援センター)
5. ケアマネジャー
6. 医療機関
7. 民生委員
8. 社会福祉協議会
9. 警察
10. その他 ( )

＜高齢者あんしんセンターとは＞  
 高齢者やそのご家族、地域住民からの介護や福祉に関するさまざまな相談に対応する総合相談窓口です。一般的には地域包括支援センターと言われておりますが、北区では高齢者あんしんセンターと称しております。現在区内に16ヶ所あります。お困りのことがありましたらご相談ください。

問4 ご家族や生活状況について

Q1. あなたの性別をお答えください。

1. 男性
2. 女性
3. その他

Q2. あなたの年齢をお答えください。

歳

Q3. あなたの住まいはどちらですか。記入例を参考に、下の欄にお書きください。

【記入例】

町名	王子本町	丁目	1
町名	<input type="text"/>	丁目	<input type="text"/>

※ ご住所に「丁目」がない場合は町名だけでかまいません。



55歳以上64歳以下調査

Q4. 同居のご家族を教えてください(あなたから見た続柄でお答えください)。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 一人暮らし (一緒に住んでいる人はいない)    2. 配偶者
- 3. 息子    4. 娘    5. 子の配偶者 (婿、嫁)
- 6. あなたの父    7. あなたの母    8. 配偶者の父
- 9. 配偶者の母    10. 祖父    11. 祖母
- 12. 孫    13. 兄弟姉妹
- 14. その他 (                  )

Q5. あなたの収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 本人の仕事による収入    2. 同居家族の収入    3. 年金
- 4. 預貯金の切り崩し    5. 利子・配当・家賃・不動産収入    6. 仕送り・援助
- 7. 生活保護    8. その他 (                  )

Q6. 昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入(税込)総額はどれくらいですか。

(○は1つ)

- 1. 100万円未満    2. 100万円以上200万円未満
- 3. 200万円以上300万円未満    4. 300万円以上500万円未満
- 5. 500万円以上700万円未満    6. 700万円以上1,000万円未満
- 7. 1,000万円以上    8. わからない・答えたくない

これからの健康福祉施策や地域づくりのあり方等についてのご意見・ご提案があれば、  
ご自由に記入してください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。



北区地域包括ケア推進計画のための  
アンケート調査結果報告書

刊行物登録番号 4-1-145

発行年月日：令和5年3月

発行：〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22

北区福祉部

■高齢福祉課 電話 03-3908-1158

■介護保険課 電話 03-3908-1286